

## Contents

2024年夏号

野鳥の動向等に関するトピックス（主として 2024 年 1 月～6 月）	2
イソヒヨドリ 2024 年に確認した営巣（微増に転じる）	5
2024 年東京都指定緑地保全地域における野鳥の生息調査の概要	9
ホタルの発生時期が早まっている感じ （2024 年浅川流域ホタルカエル調査結果）	12
2024 年度 八王子・日野カワセミ会総会（第 36 回）	14
2024 年日野市環境フェア参加結果報告	15
会報「かわせみ」72 号配布会・勉強会	16
2024 八王子環境フェスティバル 結果報告	16
2024 年「カワセミハウス環境パネル展」出展報告	18
八王子市・日野市 鳥類目録 補遺について 2	20
● <sup>ばいかじ</sup> 南風 に吹かれて 第 7 話 （宮島 仁）	21
●タイランド鳥だより（1）バンコク市内・近郊の探鳥地と主な野鳥 （宮越 俊一）	22
●イカルチドリの巣作りとコチドリの巣の審査？他 マイフィールド観察記 （岡本 昭男）	25
●サシバの渡り調査シリーズ 第九回 所沢北野タカの渡り観察カウント 22 年間 （大塚 隆廣）	26
●表紙の野鳥 ‘シジュウカラ’ について	28
●多摩丘陵の自然を守る会 40 周年記念誌発刊 （粕谷 和夫）	29
外部機関が主催する探鳥会の支援記録（2024 年 1 月～6 月）	29
探鳥の記録（2024 年 1 月～6 月）	34
地元発見探鳥会の記録（2024 年 1 月～6 月）	51
鳥信（主として 2024 年 1 月～6 月）	56
2024 年 オオルリ他夏鳥調査結果	82
2024 年 カルガモ繁殖状況調査結果	88

**「八王子・日野カワセミ会」は浅川流域の野鳥を観察する市民グループです**

# 野鳥の動向等に関するトピックス(主として2024年1月～6月)

まとめ： 粕谷 和夫

(以下、各セクションの先頭の数字は鳥番号で、日本鳥類目録改訂第7版(日本鳥学会2012)で使用されている番号)

## 24 オシドリ

- 1/15 1羽 JR 鉄橋上流側の多摩川と谷地川が合流する水路 オス  
4/6 2羽 北浅川・松竹 オス1メス1 タカの渡り調査地上流側のたまり  
4/9 2羽 北浅川・陵北大橋下流、沈下橋付近 オス、メス  
5/25 2羽 北浅川・松竹公園付近 オス、メス

## 27 ヨシガモ

- 3/29 2羽 川口川・駒形橋上流側 今年も来ていた  
5/1 2羽 高月浄水場の池 オス、メス

## 32 カルガモ

親子調査 親子組数は7組で1988年の調査開始以来最低であった。詳細は別途本文を参照

## 51 シノリガモ 1羽 多摩川・中央線鉄橋の下流 オス若? 2/11、2/18、2/24

## 58 ミコアイサ 2/2 3羽 多摩川・滝山下(昭和用水堰上流側) メス型3羽

## 64 カンムリカイツブリ 2～3羽 多摩川・JR鉄橋上流側 2/1～4/6 4/6は夏羽に変わっていた

## 141 ササゴイ 5/3 1羽 浅川・平山用水堰

## 144 アオサギ 中野上町・通称「山田の森」コロニー

5/15 20羽十、6/5 10羽十、6/12 11羽 内8羽は幼鳥



＜アオサギのコロニー＞



＜ヒクイナ＞



170 ヒクイナ

1/7 2羽 北浅川・天使病院横の堰の上流側

1/15 1羽 谷地川・新旭橋下流

4/7 1羽 浅川・ふれあい橋上流 水辺に現れ忍びやかに草陰へ

212 ヤマシギ 3/1 1羽 日野市落川（府中四谷橋下流の中洲）

340 ハチクマ 5/25 3羽 谷地川上流端（岩の入り橋）付近

356 オオタカ 少なくとも2ヵ所で営巣立ち

364 クマタカ 4/7 1羽 北浅川・佐戸バス停付近

372 フクロウ

4/3～/6/6 多摩病院裏の雑木林方面から声

5/9 恩方・大久保バス停付近で声

5/23～6/11 甲の原中学校方面から声

374 アオバズク

5/10 声 高尾山口駅西側の山の中

6/3 2羽 駒木野公園付近 電線や電柱に止まったり、向かいの森に飛んで電線に戻って来たりした。

6/17 声 湯殿川・西明神橋付近

6/24 声 川口川・下田守橋～新関戸橋

401 チョウゲンボウ 6/3 2羽 JR八王子駅（北口）付近 幼鳥 ビル壁面に設置された広告取付用の台座から顔を出す

412 サンショウクイ 11ヵ所で観察（うち亜種サンショウクイ3ヵ所、亜種リュウキュウサンショウクイ5ヵ所、亜種区分不明3ヵ所）

418 サンコウチョウ 観察件数12（うち八王子城跡4 高尾山5 戸吹緑地1 底沢峠1 長沼公園1）

438 キクイタダキ 1/13 3羽 片倉城跡公園

457 ツバメ 集団ねぐら 本年も多摩川・多摩大橋下流に形成された。昨年までは右岸（八王子・日野市側）から観察できたが、今年はねぐら位置が左岸側に移動したので、左岸の新奥多摩街道の「団地西」バス停から南に約500m地点が観察地となった。このねぐら地が8月中旬に多摩大橋上流側の「昭和用水堰上流」に移動した。ここは2004年にも一時的に集団ねぐらとなった場所であり、その記録は「数え上げた浅川流域の野鳥2」の46頁に記載されている。

459 コシアカツバメ

4/14 2羽+ 都営日野新井アパート上空

5/18 2羽 日野市・仲田小学校付近

476 オオムシクイ 5/25 1羽 谷地川源流/戸吹町の谷戸 囀り 鳴き声が3音節のジジロジジロであることから判断

479 エゾムシクイ 4/20 1羽 いしばしいり緑地 「ヒーツーチャー」と聞こえてきた

500 キレンジャク 3/13 1羽 小宮公園 ヒレンジャクの群れとは少し離れて目の前に来てくれた

501 ヒレンジャク

1/23 5羽 高尾山

2/1 6羽 黒川清流公園

2/7 3羽 黒川清流公園

2/14 1羽 高尾山・浄心門

2/24 12羽 南浅川・陵南公園分園横

3/7 3羽 黒川清流公園

3/9 2羽 小宮公園 ヤブランの実を食べる

3/11 10羽± 小宮公園

514 トラツグミ

1/13・14 1羽 多摩御陵・参道

1/20 1羽 宇津木台緑地

1/21 2羽 小宮公園

2/18 1羽 小宮公園

3/18 1羽 八王子市堀之内田んぼの学校

3/19 1羽 長沼公園

3/28 1羽 御陵参道緑地帯



<トラツグミ>

530 コマドリ 5/26 1羽 醍醐林道（関場～和田峠）

542 ノビタキ 4/4 2羽 浅川・鶴巻橋下流

549 イソヒヨドリ 詳細は別途本文を参照

618 ミヤマホオジロ 多摩森林科学園（1/8 オス3羽、1/31 5羽）

625 クロジ 1/11 1羽 高尾山6号路、 1/20 1羽 館町緑地

外 23 カオグロガビチョウ

1/14 声 松枝住宅バス停付近 左岸対岸から声が聞こえた

5/3 1羽 北浅川・松枝橋から少し上流側雑木林の中 声が聞こえた

# イソヒヨドリ 2024 年に確認した営巣（微増に転じる）

まとめ： 粕谷 和夫

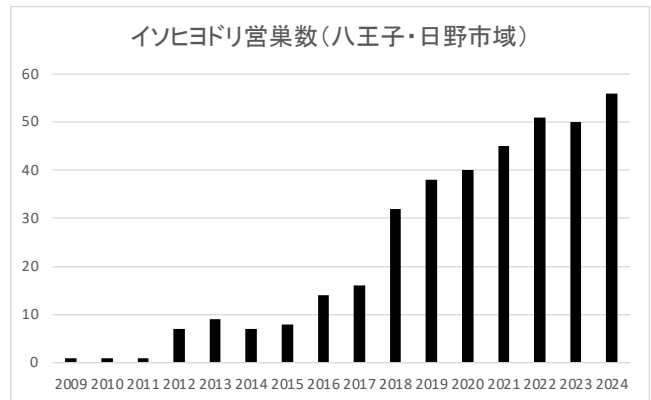
## 1. 1 月から 7 月までの観察件数

イソヒヨドリの観察はカワセミ会の会員が 365 日観察し、その結果を鳥信として事務局（粕谷）に送られる仕組みになっている。また非会員からの情報も常時受け付けている。2024 年に「鳥信」に報告があった件数は 156 件で昨年と同数であった。

イソヒヨドリの鳥信の件数（2024年7月は6日迄）						
観察月	2019	2020	2021	2022	2023	2024
1月	6	15	17	6	16	9
2月	4	4	8	9	7	4
3月	19	36	35	11	13	10
4月	37	42	36	50	30	49
5月	51	72	86	74	67	49
6月	26	32	33	23	21	33
7月	7	8	8	3	2	2
計	150	209	223	176	156	156

## 2. 2024 年 7 月までに確認された営巣の状況

2024 年の営巣状況は右図の通り 56 巣が確認され、前年の 50 巣より 6 巣増えた。内訳は前年から 23 巣減少し、29 巣増え、トータル 56 巣である。29 巣増えたもののうち前年又はそれ以前からの復活は 11 巣であった。単年の巣数の増加傾向は昨年は足踏みしたが本年は微増した。



イソヒヨドリの営巣地(八王子・日野市域)													
No	巣の場所	巣のある建物	確認できた巣の数										
			2009	2010	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2024特記事項
1	JR八王子駅南口付近	集合住宅	1	1				無し	無し	無し	無し	無し	
2	JR八王子駅北口東側付近(京王プラザホテル駐車場の南側)	集合住宅			1		1	1	1	無し	無し	無し	
3	JR八王子駅北口東側付近(八栄ビル)	事務所ビル			1			1	1	無し	無し	無し	
4	JR八王子駅北口東側付近(八王子市まちづくり公社付近)	事務所ビル				1	1	1	1	無し	無し		
5	JR八王子駅北口東側付近(京王プラザホテル東の自転車駐輪所の東)	個人住宅							1	無し	無し	1	巣のあるらしい所に入入り
6	京王八王子駅付近(たましん支店付近)	事務所ビル				1	1	1	1	1	無し	無し	
7	京王八王子駅付近(保健所付近)	不明						1	不明	不明	無し	無し	
8	JR八王子駅南口付近(子安町4丁目)	事務所ビル					1	無し	無し	無し	1	無し	
9	JR八王子駅南口付近(子安町1丁目)	民家						1	1	1	1	不明	
10	八王子市明神町3丁目(ふゆとう医院)	医院			1	1	1	1	無し	無し	無し	無し	
11	明神町3-3(松姫最中ビル)	店舗							1	1	無し	無し	
12	明神町2丁目目の交差点(日本通運の倉庫)	倉庫							1	無し	1	1	オスメス観察
13	北野町の明神町2丁目目の境界付近(ファーストフード工場附近)	不明							1	1	不明	不明	
14	大和田町3丁目	不明									2	1	巣立ち
15	大和田町のエコタウン(旧ムラウチ電気)	大型量販店							1	無し	無し	1	餌を啜えて巣があると思われる中に入ってしまった。
16	浅川右岸山田川合流付近	不明									1	1	オスメス観察
17	中央高速道・八王子インター入口付近	不明								1	無し	無し	
18	石川町民間工場	工場							1	1	1	不明	
19	石川町(都道59号の中央高速道立体交差点付近)	不明									1	不明	
20	浅川・浅川橋左岸	不明										1	複数日観察
21	川口川・川口川橋付近	不明								1	無し	無し	
22	八王子市南町付近(住宅地事務所混在)	不明						無し	無し	1	1	不明	
23	八王子市八日町	不明					1	1	1	不明	不明	1	複数日観察
24	八王子市八幡町	不明						1	1	1	1	1	複数日観察
25	八王子市(間宮病院付近)	不明									1	1	前年の巣近くでさえずり
26	天神町18・天神町ぼうれんひろば	不明										1	警戒音
27	元八王子2丁目バス停付近	不明										1	巣立ち
28	城山川・三村橋付近	不明								1	不明	1	以前の巣近くでさえずり
29	城山川・中央高速との交差点	不明									1	不明	
30	JR西八王子駅北口付近	不明			1	1	1	無し	無し	無し	無し	不明	
31	ヤオコー八王子並木町店	不明										1	餌運び
32	JR西八王子駅南口付近	集合住宅						無し	無し	無し	無し	無し	
33	JR西八王子駅南口(散田3丁目9田沢ビル付近)	店舗			1			1	1	1	無し	1	前年の巣近くでさえずり
34	JR西八王子駅南口(南多摩病院付近)	不明				1	1	1	無し	無し	無し	1	複数日観察
35	JR西八王子駅南口付近(踏切近く)	業務ビル			1	1	1	無し	無し	1	不明	不明	
36	JR西八王子駅南口(西ハイツ付近)	不明					1	1	1	1	1	1	複数日観察
37	西浅川町(現甲州街道から旧甲州街道小仏方面に入って50m位の所)	個人住宅					1	1	1	1	1	1	前年の巣近くでさえずり
38	小仏川・上栢田橋付近	個人住宅										1	餌運び
39	甲州街道小名路・西浅川信号脇	集合住宅							1	不明	不明	不明	
40	小仏関所跡の南側	個人住宅										1	オスメス観察

No	巣の場所	巣のある建物	確認できた巣の数										2024特記事項
			2009	2010	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	
41	駒木野公園付近住宅地(小仏川沿い)	個人住宅									1	1	2024特記事項 毎日同じ場所で高らかに囀っている
42	みどり幼児園付近(小仏川沿い・荒井)	個人住宅										1	毎日同じ場所で高らかに囀っている
43	廿里町公会堂向かいの民家	個人住宅							1	不明	不明	不明	
44	高尾駅北口(甲州街道マンション・マイキャッスル高尾)	集合住宅			1	1	1	1	1	1	1	1	巣立ち
45	高尾駅北口(甲州街道グランシャリオ)	集合住宅				1	1	1	1	1	1	不明	
46	高尾駅北口(JA八王子付近)	集合住宅					1	1	1	1	1	1	複数日観察
47	高尾駅北口(「高尾駅前第二信号」角の木造住宅)	個人住宅								1	1	無し	
48	高尾駅北口(浅川市民センター付近)	不明									1	1	複数日観察
49	高尾駅構内	駅構内通路							1	1	不明	無し	
50	高尾駅南口付近(グルメシティダイエー)	大型量販店			1	2	2	1	無し	無し	不明	無し	
51	高尾駅南口付近(高尾パークハイツA棟)	集合住宅					1	1	1	1	不明	1	以前の巣近くでさえずり
52	高尾駅南口付近(グルメシティ前のマンション)	集合住宅								1	1	不明	
53	高尾駅南口付近(KEIO TAKAO BLDG ANNEX)	集合住宅			1	1	無し	無し	無し	無し	無し	無し	
54	高尾駅南口付近(みころん保育園分園)	不明					1	無し	無し	無し	無し	無し	
55	高尾駅付近(スーパーバリュー)	大型量販店							無し	無し	無し	無し	
56	高尾駅付近(イーアス)	大型量販店				1	1	1	1	不明	1	不明	
57	東浅川町(東浅川ビル・町田街道「東浅川信号」付近)	集合住宅							2	1	1	1	前年の巣近くでさえずり
58	東浅川町のマンション・サニーハイツ	集合住宅										1	警戒音
59	東浅川町(御室製作所付近)	事務所							1	無し	無し	1	
60	狭間町(佐藤製菓)	事務所								1	1	1	前年の巣近くでさえずり
61	狭間駅前(スフォルタリーナ付近)	不明										1	複数日観察
62	狭間駅付近(イトーヨーカ堂)	大型量販店			1	1	1	無し	1	1	1	1	無し
63	狭間駅付近(ヤマダ電機)	大型量販店					1	1	1	1	1	不明	
64	狭間町(「ジャノメ」か「洋服の青山」)	不明									1	不明	
65	狭間町・住宅地	不明									1	1	前年の巣近くでさえずり
66	狭間駅付近(大信工業)	工場				1	無し	無し	無し	無し	無し	無し	
67	狭間駅付近(双葉製作所)	事務所ビル				1	1	1	無し	無し	無し	無し	
68	館町八王子医療センター付近	民家									1	1	前年の巣近くでさえずり
69	京王めじろ台駅付近	不明				1	1	1	無し	1	不明	1	前年の巣近くでさえずり
70	京王めじろ台駅付近(永生病院)	病院				1	1	1	1	不明	不明	不明	
71	京王めじろ台駅付近(ドンキホーテ)	大型量販店				1	無し	1	無し	無し	無し	1	以前の巣近くでさえずり
72	湯殿川左岸白旗橋付近	倉庫								1	1	1	複数日観察
73	御霊神社(館町)	不明										1	親子連れ
74	横浜線片倉駅	駅ホームの下				1	1	1	1	1	無し	無し	
75	横浜線八王子みなみ野駅付近	大型量販店			1	1	2	1	2	2	2	2	複数日観察
76	横浜線八王子みなみ野駅付近(フレスポ八王子みなみ野附近)	複合商業施設				1	1	1	1	1	無し	無し	
77	横浜線八王子みなみ野駅付近(第1・3学生会館)	不明									1	不明	
78	宇津貫工業団地(栄太郎工場)バス停付近	不明									1	1	前年の巣近くでさえずり
79	みなみ野4丁目(みなみ野君田小学校入口信号付近)	不明								1	無し	無し	
80	みなみ野5丁目(その1)	集合住宅								1	1	1	餌運び、巣立ち
81	みなみ野5丁目(その2)	不明								1	不明	無し	
82	兵衛川左岸・みなみ野大橋	不明									1	不明	
83	南大沢駅付近(三井アウトレット)	大型量販店				1	1	1	1	1	1	1	前年の巣近くでさえずり
84	南大沢駅付近(イトーヨーカ堂)	大型量販店				2	2	2	2	2	2	1	オスメス観察
85	南大沢駅付近(イトーヨーカ堂立体駐車場)	大型量販店								1	1	1	前年の巣近くでさえずり
86	小山西公園	不明										1	オスメス観察
87	南大沢駅交番の西の横断歩道付近	不明									1	不明	
88	南大沢駅付近(バオレ南大沢店?)	大型量販店							1	1	1	不明	
89	八王子市別所(ぐりんうおーく多摩)	大型量販店							不明	不明	不明	不明	
90	京王堀之内駅前「日産東京」南側の線路下	線路下										1	鳩よけトゲの脇の狭い隙間に一直線に入っていた。
91	京王堀之内駅付近	不明						1	1	1	1	1	同時に3羽(♂2、♀1)
92	大栗川・大田川合流付近(峯が谷戸橋)	不明								1	不明	1	幼鳥を観察
93	都営鎌水2丁目団地	不明							1	1	1	不明	
94	京王北野駅北口(交番裏のビル)	雑居ビル				1	無し	1	1	1	1	不明	
95	北野町(八王子消防署北野出張所付近)	不明				1	1	1	無し	無し	無し	無し	
96	北野駅北口(新潟運輸)	事務所							1	無し	無し	無し	
97	京王北野駅付近(南口)	集合住宅				1	1	無し	1	不明	1	不明	
98	北野駅南口16号西側附近	不明								1	1	1	餌運び
99	京王線北野駅前、北野街道との交差点近く	不明										1	複数日観察
100	京王長沼駅南口(長沼町ビッグエー付近)	不明						1	1	不明	不明	不明	
101	絹ヶ丘1丁目	不明										1	複数日観察
102	京王高幡不動駅付近	不明				1	1	1	1	1	不明	不明	
103	浅川・高幡橋付近	不明									1	不明	
104	京王平山城址公園駅付近	不明				1	無し	無し	無し	1	1	不明	
105	谷地川新旭橋付近	工業団地							無し	無し	無し	無し	
106	豊田駅付近(イオンモール多摩平の森の屋上付近)	不明					1	無し	無し	1	1	1	親子連れ
107	豊田駅付近(富士電機敷地内)											1	餌運び
108	浅川・一番橋北側	不明								1	1	1	同日に雌雄を観察
109	日野市豊田2丁目付近	個人住宅										1	同日に雌雄を観察
110	豊田小学校周辺	不明										1	餌運び
111	日野市立七生中学校附近	不明							1	1	無し	無し	
112	日野市旭が丘1丁目(MFLP日野付近)	不明				1	1	1	不明	不明	不明	不明	
113	日野市旭が丘4丁目付近	不明							1	不明	不明	不明	
114	日野駅付近	不明										1	同日に雌雄を観察
115	日野市日野台	工場				1	2	2	2	無し	無し	不明	不明
	巣数(単年)		1	1	16	32	38	40	45	51	50	56	



### 3. 56 巣以外に 2024 年に営巣した可能性がある巣

「営巣が確認された」とは①巣の具体的な場所が確認できて、親の巣への出入りが認められたもの、②具体的な巣の場所は確認できないが巣材運びが確認できたもの、③親が巣のあるところと思われる方への餌運びが観察できたもの、④繁殖期にほぼ同じ場所で何回もさえずりが観察されたもの、⑤オスメスが同じ場所に観察されたもの、⑥前年またはそれ以前に営巣された場所で観察されたもの、⑦巣立直後と見られる親子を確認したもの等とした。①～⑦が確認できなかったが、営巣の可能性がある場所と思われるものは 20 カ所あった。これ等の場所は 1 カ所辺りの観察回数が少ないので営巣の可能性があるものとして 2024 年の営巣数 56 には含まれていない。

2024年イソヒヨドリが営巣した可能性がある場所とその状況

	観察場所	観察年月日	観察状況(営巣の可能性)	メッシュ
1	京王線高尾山口駅付近	2024/4/8	電柱に止まり、囀り (古山隆)	八王子1F
2	秋川街道・檜原バス停横	2024/4/14	ジェーソン八王子檜原店 屋上 め囀り (古山隆、粕谷和夫)	拝島4B
3	みなみ野病院の屋上	2024/4/20	オス。8:00過ぎ。屋根の上の端でひとしきり囀っていました。(高橋靖乃)	八王子5F
4	八王子市下恩方町	2024/4/22	め。リトルリーグランド隣の高尾製作所の屋根の上いた。見慣れない鳥がいたので双眼鏡で見たらイソヒヨドリだった。(中村后子)	拝島1A
5	明神公園(通称タコ公園)	2024/4/22	雄。明神公園の地面から隣接する民家の屋根に飛び立った。(尾本聖子、尾本琴美)	八王子7J
6	ニュータウン通り松木CoCo壱番屋前	2024/4/23	め。ニュータウン通り松木CoCo壱番屋前の茶色のマンション屋上アンテナの上。綺麗な囀りが聞こえてきたので探してみると、マンション屋上で囀っている姿を確認した。(市村緑)	武蔵府中2E
7	北浅川・松竹橋付近	2024/5/4	オス。松竹バス停の向かい側の電線で鳴いていた。(青木静子他定期カウント参加者)	八王子0K
8	浅川・ふれあい橋上流右岸そばの集合住宅	2024/5/8	マンションのあちこちをオスが移動。繁殖の可能性あり。この場所で観察したのは初めて。(玉木 雅治他一番橋コース定期C参加者4人)	武蔵府中3K
9	高尾駅北口(入口交番より)	2024/5/14	高尾駅入口交番より、東側、甲州街道沿いのマンション(協立リライアンス・高尾駅前)屋上のソーラーパネルの角にイソヒヨドリめが止まっていました。南側の遊歩道から見ました。(千葉楨子)	八王子2G
10	西八王子駅北口付近	2024/5/19	オスの声。甲州街道南側の千人町2丁目のビルの上(宇都宮信子)	八王子5J
11	セブンイレブン長沼店の駐車場前の電柱	2024/5/19	セブンイレブン長沼店の駐車場前の電柱でさえずっていたが、店舗屋根に飛び見えなくなった。(山崎久美子)	八王子9G
12	南大沢郵便局の西側のライオンズマンションの屋上	2024/5/25	オス。屋根の上で鳴いていた。この位置では見かけた記憶があまりない。(岡田浩郎)	武蔵府中0D
13	松木「レクセルマンション京王堀之内」	2024/5/28	め。「レクセルマンション京王堀之内」北側の階段の手摺。綺麗な囀りが聞こえて来たので探していたらマンションの北側に居るのが観察出来た。暫くすると大栗川の方に飛び去った。(市村緑他1名)	武蔵府中1E
14	長沼駅と北野駅の間、北野街道の手動交差点の民家の屋根上	2024/5/28	16時頃、京王線長沼駅と北野駅の間、北野街道の手動交差点の民家の屋根上で、雄1羽が鳴いていた。駅前と違う所で声がするので、注意して眺めていると電線の上から屋根上に飛び移った。(山崎悠一)	八王子9G
15	松木・旧ボルボディーラー	2024/5/30	♀。松木、旧ボルボディーラーのスロープの手摺の様な白いパイプの上にいたがその後飛び去った。レクセルマンションの目の前なので見に行ってみたらメスがいた。餌は加えていなかったし近くには雄の姿もなかった。(市村緑)	武蔵府中1E
16	福祉センター入口バス停(東浅川町)付近	2024/6/1	若鳥オス。バス停の電線、民家の屋根等を移動していた。(粕谷和夫)	八王子3G
17	ステーキハウスあさくま(打越町)の屋根	2024/6/6	朝7時半頃、ステーキハウスあさくま(八王子市打越町673-2)の屋根でさえずっていた。(山崎悠一)	八王子8G
18	スシロー(長沼町)の前の電線	2024/6/6	13:20頃、スシロー(八王子市長沼町1076-1)の前の電線に留ってさえずっていた。(山崎久美子)	八王子8G
19	松枝住宅グランド側の通路	2024/6/7	3, 4階をいったり来たりし飛んでいた。(中村后子他定期カウント)	拝島3B
20	宇津貫公園入口付近	2024/6/17	め。「宇津貫公園入口」信号の角のマンションの屋上角にいて、直ぐに姿を消した。粕谷和夫他(宇津貫カウント参加者)	八王子6F

#### 4. 点から面への営巣地の拡大

営巣場所が駅周辺の大規模量販店や集合住宅に集中している傾向にあるが、駅周辺からやや遠い所でも営巣または、営巣の可能性がある例が 2021 年頃から認められるようになり、2022 年は駅から概ね 1 km 以上離れた所で 4 巣が確認された。2024 年はさらに増えて 11 か所で営巣が確認された。

#### 5. 本調査に参加した会員、非会員

今期、鳥信に観察情報を寄せられた会員は以下の 36 名でした（五十音順）。青木静子、井川麻利子、井川志織子、市村緑、宇都宮信子、岡田浩郎、岡本昭男、岡本昭子、小川圭太、荻島伸介、尾本聖子、尾本琴美、粕谷和夫、門口一雄、門口裕子、今野美代子、佐藤哲郎、下野彰夫、関谷孝、高橋靖乃、玉木雅治、千葉楨子、中村后子、中山尊人、中山千晶、能田正行、野口佐和子、浜田早苗、浜野建男、浜野知恵子、福本順吉、古山隆、武藤邦子、山崎悠一、山崎久美子、横山由美子。この他に非会員でカワセミ会 HP の窓口アドレスを通じて、また粕谷に直接 e メールで情報を送って頂いた方は 8 名です。有難う御座いました。カワセミ会では、本会の HP を通じて常にイソヒヨドリの観察情報の送信を依頼していますので、今後とも引き続き情報提供をお願いします。送られた情報は固有名詞を伏せて逐次本会の HP に「速報」としてアップしています。

#### 6. イソヒヨドリの城山川・開戸中橋付近での営巣観察（参考）

カワセミ会ではホームページで会員外からもイソヒヨドリの観察情報を呼び掛けている。2024 年も 1 月～6 月の間に八王子・日野市内から 8 名、その他の地域からも 8 名の方から観察情報が寄せられた。このうち、城山川・開戸中橋付近での観察記録が 3 月 31 日から 5 月 31 日まで 2 か月にわたり、20 回報告された。繁殖期に継続的に観察され、最後に「親子連れ」が確認されたので、この場所で営巣したものと推定した。報告者は畔蒜(くろね)浩氏で、実名を含め本人から内容公表の承諾が得られたので、以下に概要を紹介する。

観察場所は元八王子 2 丁目の石神坂バス停付近（城山川・開戸中橋付近）である。この場所は高尾駅の北側約 2 km の所、イソヒヨドリの営巣地は駅の近くからその周辺に拡大の傾向があり、当地もそのような最近の傾向を反映した場所である。環境は駅付近のような高層マンションや商業ビルはなく、2 階建て民家群とその周辺に城山川や田んぼが混在する地域である。

【以下は畔蒜浩氏の観察記録の抜粋、送られた写真に対する粕谷の追記です】

3 月 31 日と 4 月 1 日に連続で見ました。場所は、元八王子 2 丁目の石神坂バス停付近、時間は、両日共に午前 10 時頃。あまり鮮明ではありませんが、写真も撮りました。私は、近くを流れる城山川沿いを毎日散歩して、いろいろな鳥たちを見て楽しんでいます。この鳥は初めて見ました。城山川は小さな川ですが、毎年カワセミが子育てをしているようですし、何度かカワウを見たこともあります。昨日、自宅近くでツバメを見ましたが、季節が廻ると楽しみが次々に出て来て嬉しいです。

4 月 2 日もイソヒヨドリと思われる鳥を妻が近所の家の屋根で見つけて、短いですが動画を撮りました。これで 3 日連続での観察となりますので、近所に巣があるのでしょうか。

4 月 3 日も散歩中にイソヒヨドリに会いました。朝、城山川沿いの道を何時ものように散歩していたら、月夜峯新橋の少し下流の柵の上にとまっているのを妻を見つけました。散歩の時間帯と鳥の行動パターンがうまく一致しているのでしょうか、これで 4 日連続で会うこととなりました。今日の城山川では、20 羽位のオナガの群れが、木の枝と地上との間を忙しく往復する姿を見ました。誰かが猫の為にエサを撒いていたのかもしれないのですが、確かなことは分かりません。オナガの数羽の群れを見るこ

とはありますが、あれほど多くが忙しく飛び交うのを見たのは初めてです。その後にイソヒヨドリに会えたのです。

4月11日、犬の散歩中に聞き慣れない鳥の鳴き声が聞こえたので見上げるとイソヒヨドリでした。慌てて自宅からカメラを持ってきて撮りました。前回の報告は4月3日でしたので、8日ぶりとなります。

4月14、15日に数回観察しました。その後、声を聴くこともなく、姿も見ませんでした。

4月28日に10回目の観察をしました。これまでと大きく異なるのは、2羽を同時に観察したことでした。《粕谷追記：送られた写真から2羽は共にオスでバトルのシーンでした》

5月にも10回の観察をしましたので報告します。5月6日に民家の屋根で、2羽のオスが威嚇し合っていました。5月10日にオスが毛虫のような物を咥えて移動していました。

5月24日に城山川に架かる開戸中橋付近の広場で2羽のイソヒヨドリを観察しました。色が薄くてメスではないかと思う個体がいいたのですが、確信が持てないので、不鮮明な写真もありますが確認していただければありがたいです。《粕谷追記：メスと思われる個体は幼鳥（オス）と判断しました》。

5月31日、幼鳥は色が薄いんですね。幼鳥がいるということは、この地域で繁殖が進んでいる可能性が高いと言えるのかもしれませんが。

これからも楽しみに観察しようと思います。



## 2024 年東京都指定緑地保全地域における野鳥の生息調査の概要

まとめ：粕谷 和夫

カワセミ会では東京都指定緑地保全地域で野鳥の定期カウントを行っている。2024 年も越冬期 1 月、繁殖期 5 月に以下の調査を行った（暁町は一月遅れ）。調査した 9 地域全体で種類数は越冬期 34 種、繁殖期 33 種、両期計で 48 種であった。地域別では館が最も多く 30 種、20 種を超えたのは 4 地域であった。

（第 1 表）2024 年の調査結果概要

地域	越冬期				繁殖期				種類数 計
	実施月日	観察種数	担当者	参加者数	実施月日	観察種数	担当者	参加者数	
1 東豊田	1/20	18	浜田早苗	3	5/18	10	浜田早苗	2	20
2 宇津木	1/20	17	粕谷和夫	4	5/18	14	粕谷和夫	3	19
3 宝生寺	1/22	14	柚木育子	1	5/27	16	柚木育子	1	18
4 石川	1/20	18	渡辺仁	1	5/19	17	渡辺仁	2	24
5 戸吹	1/20	14	門口一雄	1	5/18	16	門口一雄	2	20
6 館	1/20	21	加藤岸男	2	5/18	19	加藤岸男	2	30
7 長房	1/20	10	千葉楨子	1	5/18	7	千葉楨子	1	15
8 川口	1/20	11	山崎悠一	4	5/18	10	山崎悠一	4	15
9 暁町	2/7	6	粕谷和夫	1	6/26	6	粕谷和夫	1	10
計		34		18		33		18	48

種別のカウント数は、第2表のとおりである。アオバトが4カ所、アオバズクが1カ所、サンショウクイが2カ所、サンコウチョウが1カ所、トラツグミが1カ所、コサメビタキが1カ所、オオルリが1カ所、クロジが1カ所であった。キビタキが7カ所であったのに対し、オオルリは1カ所でしか確認できなかった。

以下は担当者のコメントの抜粋である。

- ① 東豊田 ・越冬期：前日にはカシラダカ、アオジを観察したがこの日は見られなかった。東寄りの園内でソウシチョウが鳴きあう声を聴き姿も確認出来た。カラ類の混群にアオゲラ、カワラヒワも混じり活発に動くのを観察した。 繁殖期：園内東側でオナガが群れていた。シジュウカラとハシブトガラスの幼鳥がいた。前日にヤマガラの子立ち雛を観察、この日はいなかった。
- ② 宇津木 ・越冬期：ミヤマホオジロが前日までに観察されたという情報があったが、出会うことができなかった。その代わりトラツグミを観察できた。 繁殖期：キビタキが宇津木緑地の杉林の中、オス2羽が至近距離で杉の枝に止まって2羽ともさえずっていた。市指定の宇津木台緑地でもキビタキ1羽がさえずっていた。
- ③ 宝生寺 ・繁殖期：ナラ枯れのためか、毎日チェーンソーがうるさかったが、今日は休みだった。アオバトは川口方面から声が聞こえた。
- ④ 石川 ・越冬期：アカゲラが3年ぶりに出現した。猛禽類が全く出現せず。トビすら飛ばず。 繁殖期：いつものアカマツの樹上のトビの巣は、上空を成鳥が飛び交っていたもののヒナがいるかは確認できなかった。リュウキュウサンショウクイの声を確認。
- ⑤ 戸吹 ・越冬期：アカゲラは尾根筋の歩道北側の明大の学校林内の古木の梢付近で採餌していた。降雨のため途中で打ち切った。 繁殖期：ホトトギス1は、緑地南側林内を鳴きながら飛び回っていた。サンコウチョウ1は、緑地沢沿いの高木を鳴きながら移動していた。オオルリ1が緑地中央部の高木の中程で鳴いていた。約1時間後にコース上部の尾根筋を通ったが先程と同じ付近で鳴いていた。
- ⑥ 館 ・越冬期：後半には小雨がふる悪条件の調査だった。リュウキュウサンショウクイが2羽いた。ミソサザイもハイタカもここでは初確認だった。 繁殖期：コジュケイがよく鳴いていた。シジュウカラのヒナが多数いた。ガビチョウは相変わらず。
- ⑦ 長房 ・越冬期：ハクセキレイ1羽は、バス折返し場でエノキの実を採餌。カワラヒワ13羽は、もみじ公園地上で採餌。ソウシチョウ6羽は、舗装道路上でヌルデの実を採餌。 繁殖期：コサメビタキ4羽は、陵東公園で親鳥と巣立ち雛。チェーンソーを使用してボランティアが作業中で鳥が少ない。
- ⑧ 川口 ・越冬期：登り始めた時点で、コジュケイが親1子3の4羽で神社の境内で観察した。尾根道ではメジロとシジュウカラの声が聞こえた。尾根道の倒木の手入れは未実施のまま。 繁殖期：数年前の台風による倒木で、通路を見失うことも多かったが、昔の通路を歩いて何とか終了できた。ウグイス、キビタキ、ヒヨドリが多かった。ホトトギスの声が聞こえた。
- ⑨ 暁町 ・越冬期：コゲラ、シジュウカラの混群を見ているとその奥でアオゲラも幹を突いて餌を探していた。雑木林の中央高速道側まで行くと1羽のタカが地面から飛び上がり木の枝に止まった。ノスリであった。 繁殖期：ハシボソガラスの親子が賑やかであった。アオゲラの声が聞こえたが姿は飛んでいるところしか確認できなかった。



(第2表) 2024 年緑地保全地域野鳥カウント結果

		越冬期(2024年1月)										繁殖期(2024年5月)									
		1 東 豊 田	2 宇 津 木	3 宝 生 寺	4 石 川	5 戸 吹	6 館	7 長 房	8 川 口	9 暁 町	出 現 個 所 数	1 東 豊 田	2 宇 津 木	3 宝 生 寺	4 石 川	5 戸 吹	6 館	7 長 房	8 川 口	9 暁 町	出 現 個 所 数
5	キジ													1							1
30	マガモ	11									1										
32	カルガモ	8									1					1		1			2
74	キジバト	10	7	3	1	4	6	1	1		8	6	3	2	1		2		2		6
78	アオバト			1							1			1							1
185	ホトトギス													2		1	1		1		4
342	トビ														2					1	2
355	ハイタカ						1				1										
374	アオバズク											1									1
383	カワセミ							1			1						1				1
390	コゲラ	5	4	1	8	5	3		2		7	1	2	2	7	5	1				6
393	アカゲラ				1	1					2										
397	アオゲラ	1	1	1		2					4		3	2	1	1	1		3	1	7
412	サンショウクイ						2				1				1						1
418	サンコウチョウ															1					1
420	モズ	1						1			2										
427	カケス		2	3			3				3										
429	オナガ											10									1
435	ハシボソガラス	4	6		6	2	1		1	2	7		6		4	3	3				4
436	ハシブトガラス	5	7	5	2	5	5	1	3		8	3	6	2	1	6	2		4	10	8
442	ヤマガラ	4		17	6	5	5		2		6			2	4	2	1		3		5
443	ヒガラ																1				1
445	シジュウカラ	24	10	13	10	7	8	2	7	2	9	10	6	6	5	15	13	4	3	4	9
457	ツバメ												2		2			2			3
461	イワツバメ														2						1
463	ヒヨドリ	16	16	6	18	15	7	7	4	4	9	8	16	9	12	35	15	8	6	5	9
464	ウグイス	4	1	3	10	1	11				6	4	3	9	6	9	12	3	4	6	9
465	ヤブサメ													2							1
466	エナガ		14	11	8	10	8		4	4	7		1	2	8	4	1				5
485	メジロ	20	15	18	30	18	15	4	12		8	1	4	10	8	20	2		4		7
504	ミソサザイ						1				1										
506	ムクドリ	1	2		2						3	11	15				1				3
514	トラツグミ		1								1										
521	シロハラ	2	1		5	2	3				5										
525	ツグミ	3	1		3		2				4										
536	ルリビタキ		1								1										
540	ジョウビタキ			3	2		1				3										
554	コサメビタキ																	4			1
558	キビタキ												3	7	1	14	1	2	6		7
561	オオルリ															1					1
569	スズメ		4		11						2		7		2		2				3
574	ハクセキレイ						1	1		1	3										
587	カワラヒワ	4			1			13	6	20	5						2				1
600	シメ	1					1				2										
602	イカル			2				4			2			1		3					2
610	ホオジロ																1				1
624	アオジ				4	1	7		2		4										
625	クロジ						1				1										
	出現総羽数	124	93	87	128	78	92	35	44	33		55	77	60	67	121	63	24	36	27	
	種類数	18	17	14	18	14	21	10	11	6		10	14	16	17	16	19	7	10	6	
	外来種																				
901	コジュケイ	1					5		4(1+3)		3	2		1		5	6+				4
903	カワラバト(ドバト)	13									1										
909	ガビチョウ	5	2	2	4		5				5	3	8	3	7	6	13	1	3	4	9
910	ソウシチョウ	2						13			2										
	オス・メス等の内訳																				
420-2	モズ♀	1						1			2										
536-1	ルリビタキ♂		1								1										
540-3	ジョウビタキ不明			3			1				2										

# ホタルの発生時期が早まっている感じ

(2024 年浅川流域ホタルカエル調査結果)

まとめ： 粕谷 和夫

## 1. 浅川本支流

浅川本支流のホタルとカエルの調査を 2024 年も行った。この調査は 2001 年から始めたので今年で 24 年目となった。浅川水系の下流部にどのくらいゲンジボタルが復活しているか、これが本調査のメインテーマである。本年は 6/16 に南浅川、6/17 に湯殿川、6/19 に北浅川、6/20 に城山川、6/24 に川口川を粕谷が自転車で行った。ゲンジボタルの発光周期には地理的変異があり、短周期型(西日本型・2 秒型)と長周期型(東日本型・4 秒型)あるが、東京のホタルは人為的に 2 秒型が導入されていることが知られているので、発光周期も合わせて調査した。その結果、この調査で観察されたゲンジボタルは全て 2 秒型であった。5 河川の 2024 年の結果は以下のとおりである。本年は 2022 年、2023 年と比べて大幅に減少した。この原因として調査時期が発生の最盛期より遅かったのではないかと推定される。その理由はホタルを見に集まって来ていた地元の方々から今年はもっと早い時期の方が多かったという情報を数か所聞いたことによる。来年の調査は 6 月 10 日前後を予定するつもりである。

**北浅川**： 陵北大橋から市役所のある鶴巻橋までの間で 28 頭、このうち、陵北大橋～流れ橋では 15 頭が見られた。その下流の天使病院までの間の湿地的な場所にヘイケボタル 10 頭がいた。

**南浅川**： 以前は必ずいた両界橋から白山橋は本年も 0、多かった白山橋から敷島間でも 3 頭しか観察できなかった。東横山橋の上下流域では今年も観察され 22 頭であった。

**川口川**： 上流部は低調であった。東釜の橋と十内入橋の間に新たにできた幻鏡橋の下流側で 7 頭観察した。

**城山川**： 昨年は出羽橋上流でホタル祭りが行われていて 60 頭いたが、本年は 5 頭しかいなかった。本年のホタル祭りは 6 月 8 日から 9 日に行われたとのことで、この日は多数観察されたとのことであった。

**湯殿川**： 地蔵橋付近とさかい橋～櫛橋間は今年も多くが観察された。湯殿川ではないが、片倉城跡公園で 15 頭が観察された。

この調査は鳥のナイトウォッチングも兼ねていて、本年は 2 カ所(湯殿川・西明神橋付近と川口川・下田守橋付近)でアオバズクの声を聞いた。ホタルの観察地点を NPO バードリサーチの協力を得てマッピングした。

### 浅川水系中下流部におけるゲンジボタル成虫カウント数

(カウント者は粕谷和夫でカウント日は各年6月中下旬～7月上旬の任意の日で最盛期に一致しない) 「-」は未調査

河川名	カウント区間	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2024年観察した最下流地点
北浅川	陵北大橋下流～鶴巻橋	2	4	29	9	20	2	1	6	7	2	28	中央高速道橋～鶴巻橋
南浅川	案内川・小仏川合流地～北浅川合流地	7	56	96	96	40	2	1	1	9	15	32	東横山橋～睦橋
川口川	田守橋～川口川橋	-	26	5	102	14	23	7	14	79	80	16	幻鏡橋～十内入橋
城山川	新宮田橋～五反田橋	0	-	2	20	13	4	2	1	41	67	26	滝原新橋～櫛橋
山田川	月見橋～黄金橋	-	-	-	0	0	-	-	-	0	-	-	
湯殿川	湯島橋～住吉橋	20	-	-	4	34	38	16	79	275	152	66	櫛橋～船橋
	計	29	86	132	231	121	69	27	101	411	316	168	

## 2. 「上川の里(北沢谷戸)」のホタル

八王子里山クラブは川口川の源流部の「上川の里」の田んぼで稲の不耕起栽培を行っている。6/22 日にここでホタル観察会を行った。その結果、ゲンジボタル 50(2 秒点滅型)、ヘイケボタル 100(田んぼ)

が観察された。モリアオガエルの声も観察された。

### 3. 高月水田用水路の末端水路で滝山丘陵北側の山裾の小川

粕谷が 6/8 にカウントした。その結果はゲンジボタル約 45 頭であり、2 秒点滅であった。

浅川水系中下流で観察されたホタルマップ 2024 年



### 4. その他（以下の報告があった）

(1) 小俣軍平さん：湯殿川の調査、私も久しぶりで、6月18日と16日の2回、上館公園の上流から、めじろ台からグリーンヒル寺田のバス通りの所まで歩いてみました。10日の夜は、出発点で、まだ明るい午後7時半に雄成虫の発光が始まりました。この日は、ここから終点まで、数の多少はありましたが、街灯の点灯している所もふくめてほぼ全域から発光・飛翔がみられました。総数は1800程でした。16日は、一転して出発点から新田中橋まで、3頭だけで、びっくりでした。新田中橋から下流のめじろ台～寺田の道路まで10日より減少し200頭程がみられました。この日は、上館町の町会によるホタル観察会が初めて開かれましたが、会場にゲンジの発光・飛翔はなく、お気の毒でした。

(2) 塩谷暢生さん：堀之内での観察結果をお知らせします。6月22日 午後8:00～8:20 ・堀之内沖ノ谷戸公園…5、・堀之内里山公園…30、いずれもゲンジボタル。堀之内には、上記の他、田入り（谷戸）と堀之内里山保全地域の2個所にホタルが生息しています。

(3) 真堂が谷戸螢の会（日野市）の笹木延吉さんから「真堂が谷戸ハンドブック2024」が送られてきた。この会は16年前に立ち上がり、ゲンジボタルの生息地である雑木林の管理と調査を継続している。ホタル発生期の6月上旬から7月上旬までの1ヵ月、毎日欠かさず成虫の飛翔数をカウントしている。この結果、2024年までの16年間で1000頭以上が飛ぶのが5年周期であることがデータで示されている。

# 2024 年度 八王子・日野カワセミ会総会（第 36 回）

報告： 佐藤 哲郎

1. 日時 ： 2024 年 1 月 28 日（日） 14:00～16:30
2. 会場 ： 八王子市学園都市センター 第 5 セミナー室
3. 概要 ：

## （1）総会議案書について

今回の総会より、事前に紙面の議案書の送付を希望した会員以外は、原則的に当会ホームページの会員専用掲示板から議案書をダウンロードしてもらうこととした。また、昨年の規約改正に基づき、総会開催日の 2 週間前までに議案書を送付・掲示した。

## （2）総会の開会・定足数確認

山崎副会長の進行により総会を開始し、粕谷会長から開会挨拶をいただいた。続いて佐藤事務局長より定足数の報告があった。当日出席者 46 名、委任状提出者 23 名、委任状なしの当日欠席者 196 名（規約第 13 条 3 項により議決権を会長に委任）で総会の定足数（133 名）を満たし、総会は成立した。（総会当日の在籍会員数 265 名）

## （3）議長選任

出席者から議長への立候補はなく、関谷孝会員を議長として選任した。以降、議長の指示により議事を進行した。

## （4）議案

### ①2023 年度事業報告

佐藤事務局長より 2023 年度の探鳥会、調査活動、支援活動その他の実施報告があった。出席者より質問はなく、採決の結果、賛成多数で承認された。（採決は議案②と一括採決）

### ②2023 年度会計報告

加藤会計長より 2023 年度一般会計、特別会計、支援謝金、寄付金等の報告があった。続いて会計監査の岡田浩郎会員より、適正に会計処理されていることを確認した旨の報告があった。出席者より質問はなく、採決の結果、賛成多数で承認された。

### ③2024 年度事業計画

粕谷会長より 2024 年度の探鳥会、調査活動、支援活動その他の実施計画について説明があった。出席者より質問はなく、採決の結果、賛成多数で承認された。（採決は議案④と一括採決）

### ④2024 年度予算

加藤会計長より 2024 年度一般会計予算案、特別会計予算案について説明があった。出席者より質問はなく、採決の結果、賛成多数で承認された。

### ⑤カワセミ会規約改正

粕谷会長より、カワセミ会規約第 21 条の改正（カワセミ会ジュニアクラブ関連）について説明があった。出席者より質問はなく、採決の結果、賛成多数で承認された。

## （5）その他

高橋靖乃会員から「イソヒヨドリの子育て記録」の発表、佐藤事務局長から冬鳥一斉調査概要報告に続いて、会員からの出品によるオークションを行った。最後に門口副会長より閉会の挨拶があり、全ての予定を終了した。なお、本総会の議事は浜野（知）幹事により総会議事録として記録され、粕谷会長、関谷議長の確認を経て、事務局にて保管した。



# 2024 年日野市環境フェア参加結果報告

報告： 福本 健

2023 年 12 月に日野市より「日野市環境フェア」への参加依頼があった。準備期間が短く出展するか迷ったが、日野の会員を中心に参加することとした。

日時 2024 年 2 月 10 日（土） 13:00～17:00

天候 晴れ

場所 イオンモール多摩平の森 （出展場所：陽だまりのアトリウム）

内 容 ①A0 判のカワセミの写真とカワセミ及びツバメの集団ねぐら入りパネルと DVD 放映  
②35 周年記念で作成した野鳥の増減パネル 5 枚  
③カワセミの写真集（ボードに展示）  
④野鳥写真クイズ（ボードに展示）  
⑤バードカービング展示（11 点）  
⑥野鳥図鑑販売

参加者 ①カワセミ会ブース来訪者 約 1000 名  
②カワセミ会会員（お手伝い 8 名 顔出し 16 名）

## 概要

前日 9 日の 10 時から事前準備したものを日野市のカワセミハウスに持ちより、会員 5 名で A0 判ボード作成・パネル貼り付け及びカワセミ及び野鳥クイズ用写真のボード貼り付け作業を行った。

当日は 9 時 50 分にイオンモールに集合し、設営を開始し、11 時半ごろには準備がほぼ終わった。

場所はイオンモール入り口のエントランスのエスカレータ横で、正面玄関から来店された方はブースの前を通ることから、設営が終わると次々とブースに来られたので、DVD の放映を始めるなど実質オープンするような対応を行った。

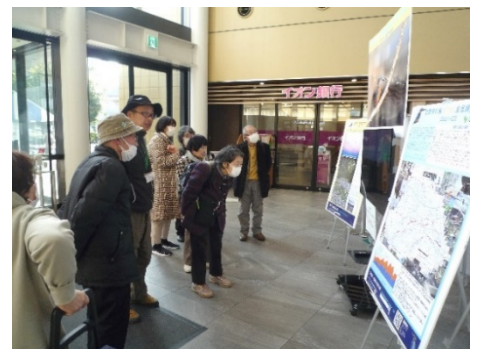
イオンモールの入り口を入ると、正面の A0 判のカワセミの写真と DVD とが目につくことから、パネルの前には常に人だかりがあった。午前中はモニターに日光が直接当たり画像は見にくかったが、午後 2 時頃からは良く見えるようになった。

ブース内ではカワセミの写真と野鳥写真クイズにも関心が高く、熱心に見ている方が多かった。バードカービングもじっくり見ている方もいて、ブース内は人が途切れることがなかった。

12 時より図鑑販売を開始し、12 冊販売できた。沢山の方の来訪があり、野鳥に関心がある人が多いのに驚いた。カワセミ会の PR にもなったと思われる。



イオン入り口から見た風景



## 展示会出展、準備・当日の運営について

- ① 準備期間が短く、パネル印刷、A0 判ボード作成、展示するカワセミ・野鳥写真の選択などぎりぎりの運営で、担当者間の調整にも苦労したが、カワセミハウスの協力もあって、無事開催することができた。
- ② A0 判のカワセミの写真にインパクトがあり、通る人々を引き付け多くの方がブースに来られた。カワセミに焦点を絞ったことも良かった。カワセミに対し予想以上に皆さんの関心が高かった。A0 版パネルも見やすく好評であった。
- ③ 外のモニター前とブース内に常に来訪者があったので、図鑑販売も含め常に会員 5～6 名ほどで対応した。質問される方も多く、滞在時間も比較的長かった。
- ④ 野鳥クイズに関心が高く、鳥の名前を熱心に考えられていましたが、景品があったらもっと盛り上がった。
- ⑤ 図鑑の販売と値段を表示する小さな立札のようなものがあると良かった。
- ⑥ 場所が狭いため、来訪者と話す際入り口近くに立ってしまい他の来訪者の邪魔になることがあった。

## 会報「かわせみ」72 号配布会・勉強会

報告： 浜野 建男

日時 2024 年 3 月 9 日(土) 13:00～16:00

会場 八王子市 由木中央市民センター 会議室 1, 2, 3

内容 (1) 野鳥勉強会

- ・ 13:15～14:30 東京都公園協会賞 最優秀賞受賞 渡辺仁会員

昨年、カワセミ会が応募した表記の論文について、内容の説明を行った。

(2) 会報配布会

- ・ 14:40～15:30 担当：浜野建男、浜野知恵子、木澤隆雄

封筒のラベル貼り・会報の封筒入れ・糊付け。勉強会に出席の会員の方に参加いただき、効率よく作業を終了することができた。また、本人だけでなく近隣の会員、贈呈先の会報を持ち帰っていただき、費用削減を図った。ご協力ありがとうございました。

## 2024 八王子環境フェスティバル 結果報告

担当： 加藤 岸男、 古山 隆

2024 八王子環境フェスティバルが開催され、カワセミ会も次の通り参加した。

日 時 2024 年 6 月 9 日(日) 10:00～16:00 (準備は 9:00～、片付けは～16:10)

天 気 晴れ

場 所 東京多摩未来メッセ(都立多摩産業交流センター)

内 容 ①DVD 放映、野鳥の声のリスニング等での野鳥相談

②野鳥クイズに挑戦。正解者に野鳥写真の絵葉書をプレゼント

③「高尾・浅田野鳥図鑑」の販売

参加者 ①環境フェスティバル参加者総数約 15,000 名(主催者発表)

②カワセミ会ブース訪問者約 500 名

(野鳥クイズ用紙使用数 175 枚、ポストカード配布数 327 枚)

③野鳥の声のリスニングと野鳥相談には約 50 名が訪れた。

#### ④カワセミ会員 31 名

青木静子 井川麻利子 市村緑 宇都宮信子 大石茂雄 荻島伸介 尾本聖子 粕谷和夫  
加藤岸男 門口一雄 門倉美登利 神谷古牧 管野桂子 木野孔司 久保山嘉男 佐藤恒子  
佐藤哲郎 對中義雄 高橋靖乃 高橋千晶 浪川百合 萩原ユリ子 原田佳世 古山隆  
本田文彦 三浦明子 武藤邦子 村田靖雄 安江正人 山崎悠一 山崎久美子

費用 物品借用代 9,200 円、野鳥クイズ印刷(300 枚印刷)代 3,770 円、

プレゼント用ハガキ印刷(500 枚印刷)代 2,370 円 合計 15,340 円 ※図鑑販売数 11 冊

#### 概要・感想等:

この室内会場になって 2 年目。昨年は初めて、ということもあったろうけれど、ブースの狭さ、放送等の音量の大きさやモニター光量の強さ等「環境」と銘打っているのに、と思うことが多かった。しかし今年は、他のブースとの間に通路があり、放送も終了時以外なかったり、壁面のモニター音量・光量も抑制されていたり、と改善の跡が多く見えた。昨年より数段、ブースでの来訪者とのやりとりもしやすかった。

9 時 20 分頃には準備も終わり、10 時の開始を待つばかり。お手伝いの方も野鳥クイズの仕方を古山さんから丁寧に受ける時間も確保できた。佐藤さんの担当の DVD や野鳥の声のリスニングも昨年より音量を小さくして準備が整う。ジュニアクラブの PR 用のプリントも用意できた。何より今回は初めて、ジュニアクラブの「卒業生」がお手伝いに加わってくれて、大いに若返った。

開始から少し経つとカワセミ会ブースにも訪問者がやって来た。混み過ぎないように、暇にならないように、野鳥クイズテーブルの様子を見ながら呼び込みをした。これまでより比較的ゆっくり対応できていた。クイズの挑戦者に贈るカワセミのポストカードも好評。このポストカードを見せながらの呼び込みにも、それはカワセミ！という人が大半だった。

クイズから図鑑の案内にうまくつなげるお手伝いの方もいて、徐々に購入者も出てきた。これ持つてくるよ、と言う方も案外多かった。使い勝手は？とお聞きすると、使いやすいという方がほとんどだった。クイズに正解して歓声を上げる家族も。入会案内も何枚か配付出来た。クイズコーナーはずうっとほぼ満席。

13 時で午後のお手伝いの方と交代。訪問者も少しずつ落ち着いてきて来て、じっくり対応できるようになった。取材の方が来て、このイベントになぜ参加したのか、メリットは、等を聞かれる。野鳥写真を始めて教室に通っているという方も。もう少しうまくなったらカワセミ会に入会します、と言っていた。カワセミ会員の訪問者も倍増した。

16 時で終了。片付けはすぐに終わった。来年のお手伝いもお願いして解散した。昨年のような後味の悪さはなかった。

#### <評価・反省>

○会場のレイアウト、ブースの広さ、音量を含む放送の仕方、壁のモニターの光量等、昨年より大幅に改善されていた。来年度の参加に支障はない。

○荷物置き場があれば尚良し。

○電源の位置が通路との境だったので引っかかった。

○野鳥クイズのお手伝いの方に大学生も加わっていただき、新鮮さがあってよかった。

○野鳥クイズの担当は 30 分でその大変さが分かったが、一日中対応されていた方もいて、大変だろうな、と思った。

# 2024 年「カワセミハウス環境パネル展」出展報告

報告： 佐藤 哲郎

1. 会期 : 2024 年 6 月 2 日 (日) ~22 日 (土)
2. 場所 : 日野市立カワセミハウス
3. 出展者: 自然・環境関連団体 22 団体 (カワセミ会含む)
4. カワセミ会展示物:
  - ①展示パネル:A1 サイズ1枚「日野市のコシアカツバメ営巣地のゆくすえ」  
テキスト・写真 小久保雅之会員
  - ②バードカービング:2点(コシアカツバメ、ツバメの給餌)
  - ③チラシ等:高尾・浅川野鳥図鑑販促チラシ20部、カワセミ会入会案内20部
5. 概要:

日野市立カワセミハウスが主催する「カワセミハウス環境パネル展」は、6月2日から6月22日まで同所で開催された。今年は日野市で活動する自然・環境関連団体から22団体(去年は24団体)が出展し、カワセミ会も昨年に続き出展した。

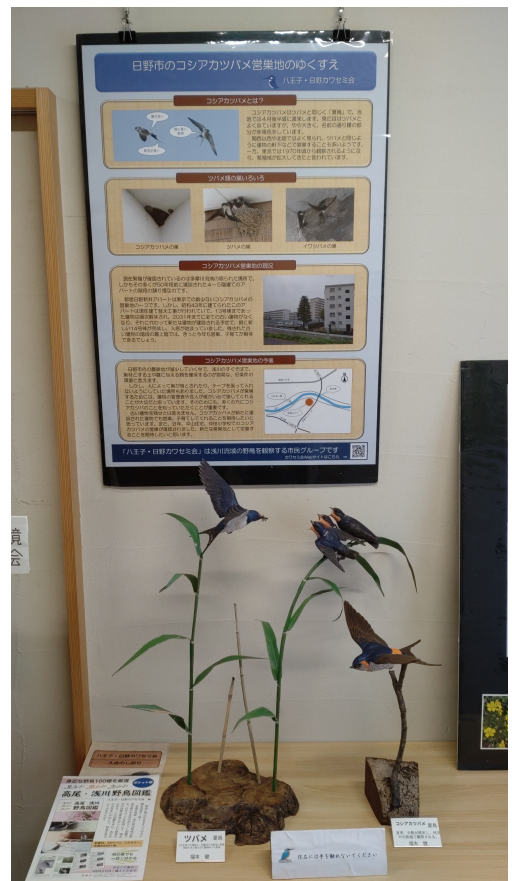
今回の展示パネルは、日野市の浅川近くの集合住宅に営巣するコシアカツバメについて、その現状と今後について概要をまとめたものである。

コシアカツバメは、当地では多くがこの集合住宅の階段の踊り場に営巣している。この集合住宅は建設後50年以上経過しているため、老朽化に伴い順次建て替え工事が進められており、2031年までに全て建て替えられる予定とのことである。一方で、近隣の他の集合住宅や小学校などでコシアカツバメの営巣が確認されており、新たな営巣地として定着するか注目されている。

カワセミハウス事務局からの連絡では、環境パネル展の期間中の入場者は121名(来場者はオニグルミを壺に入れる)であったが、壺に入れなかった人もいたので、実数はもっと多いとのことであった。

## 【出展団体:22団体】

浅川流域市民フォーラム、市民環境大学OB会、NPO法人樹木・環境ネットワーク、真堂が谷戸蛸の会、南丘雑木林を愛する会、援農ボランティア養成講座「農の学校」、八王子・日野カワセミ会、東豊田緑湧会、日野市環境共生部環境政策課、日野市雑木林ボランティア講座、ひの市民リサイクルショップ回転市場、日野植物研究グループ、ひの炭やきクラブ、日野団塊世代広場、ひのどんぐりクラブ、日野の自然を守る会、日野の水車活用プロジェクト、ひの・まちの生ごみを考える会、みずとくらす・ひの、水と緑の日野・市民ネットワーク、みどりわくわくチーム、谷仲山緑地を守る会



＜カワセミ会展示コーナー＞



## 日野市のコシアカツバメ営巣地のゆくすえ



八王子・日野カワセミ会

### コシアカツバメとは？



コシアカツバメはツバメと同じく「夏鳥」で、当地では4月後半頃に渡来します。見た目はツバメとよく似ていますが、やや大きく、名前の通り腰の部分が赤褐色をしています。

関西以西や北陸ではよく見られ、ツバメと同じように建物の軒下などで営巣することも多いようです。一方、東京では1970年頃から観察されるようになり、繁殖域が拡大してきたと言われています。

### ツバメ類の巣いろいろ



コシアカツバメの巣



ツバメの巣



イワツバメの巣

### コシアカツバメ営巣地の現状

現在繁殖が確認されているのは多摩川流域に限られた場所で、しかもその多くが50年程前に建設された4～5階建てのアパートの階段の踊り場なのです。

都営日野新井アパートは東京での数少ないコシアカツバメの営巣地の一つです。しかし、昭和43年に建てられたこのアパートは現在建て替え工事が行われていて、13号棟まであった建物は順次解体され、2031年までに全ての古い建物がなくなり、それに代わって新たな建物が建設される予定で、既に新しい14号棟が完成し、入居が始まっています。残された古い建物の階段の最上階では、きっと今年も営巣、子育てが期待できるでしょう。



### コシアカツバメ営巣地の今後

日野市内の農耕地が減少していく中で、浅川のすぐそばで、巣材とする土や雛に与える餌を確保するのが容易な、好条件の環境と言えます。

しかし、人によって巣が落とされたり、テープを張って入れないようにしていた場所もありました。コシアカツバメが営巣するためには、建物の管理者や住人が暖かい心で接してくれることが大切だと思っています。そのためにも、多くの方にコシアカツバメのことを知っていただくことが重要です。

古い建物を残せとは言えません。コシアカツバメが新たに建設された建物でも営巣、子育てしてくれることを期待したいと思っています。また、近年、平山住宅、仲田小学校でのコシアカツバメの営巣が確認されました。新たな営巣地として定着することを期待したいと思います。



「八王子・日野カワセミ会」は浅川流域の野鳥を観察する市民グループです

カワセミ会Webサイトはこちら →



# 八王子市・日野市 鳥類目録 補遺について 2

八王子市・日野市鳥類目録フォロー委員会 (古山 隆)

2016 年(平成 28 年)12 月、当会発行の「八王子市・日野市鳥類目録」では、外来種や参考種も含めて、計 277 種の鳥類を掲載しました。その後、2021 年 9 月発行の「会報かわせみ 67 号」にて、新たに文献調査で見つかった過去の記録や新たに観察された種(亜種)について、10 種(外来種や参考種も含む)を追加報告しました。

今回は、さらにその後の文献調査で新たに見つかった過去の記録や新しく追加された初記録の種について報告します。観察記録の収集および検討・とりまとめは、2019 年(平成 31 年)に当会内に設置された「八王子市・日野市鳥類目録フォロー委員会」で行い、今回、以下の 9 種を追加しました。多摩川や秋川等、隣接する自治体との行政区分が複雑な境界付近での観察記録も暫定的に記載してあります。

2016 年発行の「八王子市・日野市鳥類目録」は「日本鳥類目録改訂第 7 版(日本鳥学会 2012)」に準拠していますが、本年(2024 年)9 月には、「日本鳥類目録改訂第 8 版」が日本鳥学会より出版される予定です。これに合わせて、「八王子市・日野市鳥類目録」もいずれ新しいリストに準拠した改訂版を発行できればと思います。

- 51 シノリガモ 2024.2.11 多摩川 JR 中央線鉄橋下流側 日野市(立川市との境界) 1 羽 ※<sup>1</sup> 他
- 56 ヒメハジロ 2023.1.20 多摩川 府中四谷橋下流側 日野市(府中市・多摩市との境界) 1 羽 ※<sup>1</sup>
- 98 オオミズナギドリ 2022.10.30 多摩川 日野用水堰 八王子市(昭島市との境界) 1 羽 ※<sup>3</sup> 他
- 128 ウミウ 2022.12.24 秋川 東秋川橋下流側 八王子市(昭島市との境界) 1 羽 ※<sup>6</sup>
- 150 カラシラサギ 2013.4.16 多摩川 昭和用水堰付近 八王子市(昭島市との境界) 1 羽 ※<sup>6</sup>
- 316 クロハラアジサシ 2022.9.21 多摩川 石田大橋下流 日野市(国立市との境界) 1 羽 ※<sup>2</sup>
- 414 オウチュウ 2011.5.19 多摩川・秋川合流点 八王子市(昭島市との境界) 1 羽 ※<sup>5</sup>
- 511 ホシムクドリ 2013.3.20 多摩川 多摩大橋付近 日野市(昭島市との境界) 1 羽 ※<sup>6</sup>
- 594 アカマシコ 2020.12.5 多摩川・河畔林 日野市 1 羽 ※<sup>6</sup>

○ 種名の前に付いている数字は日本鳥類目録改訂第 7 版で使用されている通し番号です

※<sup>1</sup> 八王子・日野カワセミ会 鳥信

※<sup>2</sup> 私信(小林健人氏)

※<sup>3</sup> 私信(駒井隆蔵氏)

※<sup>4</sup> 「多摩の鳥」1977~1999 支部報が記録した鳥たち 日本野鳥の会奥多摩支部

※<sup>5</sup> 多摩の鳥 鳥類目録 2000~2012 日本野鳥の会奥多摩支部

※<sup>6</sup> 日本野鳥の会奥多摩支部公式ホームページ>奥多摩支部フィールド内新記録



オオミズナギドリ 2022.10.30

写真提供 駒井隆蔵氏

フォロー委員会では、八王子・日野カワセミ会の「鳥信」以外に出版物やネットからの情報、会員以外の私信等、幅広く情報を集めています。上記以外に八王子市・日野市における情報をお持ちの方はぜひ、フォロー委員会までに情報提供をお願いします。





宮島 仁

沖縄には琉球王府時代から独特の食文化があるが、沖縄の食文化を語るうえで欠くことの出来ない食べ物のひとつに“ポーク”がある。“ポーク”といっても豚の精肉のことではなく、正確には“ポークランチョンミート”。戦後の闇市世代の方の中には覚えていらっしゃる人もいるかもしれない、豚のくず肉に香辛料などを加えて金型に入れて固めたもので、ちょっと脂っぽい高カロリーー高塩分の食材なのだ。これは第二次世界大戦の戦時携行食であり、戦後、米軍によって日本に大量に持ち込まれた食品だが、その後、内地では影をひそめていく。しかし、沖縄は米軍統治が続いたことと、さらに、琉球王府時代から豚肉を食べる文化が根付いていたため、沖縄県民の豚肉嗜好とマッチして日常食材としてすっかり定着しているのである。いまでも輸入量の9割以上が沖縄で消費されていて、食肉加工品のなかでもダントツの売れ行きなのである。ちなみに沖縄では、アメリカ・ホーム社社の「SPAM」とデンマーク・チューリップ社の「TULIP」が2大勢力であるが、「TULIP」の方が伝統的に根強い人気があるという。そうそう、“ポーク”は、昔ながらのコンビーフ缶のような開け方で、缶に付いているT字型の付属品の鍵みたいなものの先に穴が開いていて、それを缶の側面の金属の出っ張りに入れてくるくと巻き取って開けるのだが、これがなかなかうまくいかずに途中でT字の鍵が折れたり巻き取る金属が切れたりすると、その都度、ペンチやハンマーを出してきて大変な思いをして、時には流血騒ぎとなる。

このポークを使った代表的な料理に「ポーク玉子」がある。缶詰のポークをスライスして数枚焼き、これに玉子焼きとサラダを添えただけという、こんなのを料理とっていいのかというくらい超簡単なメニューだが、驚くなかれ沖縄の大衆食堂では定番メニューとして堂々と君臨しているのだ。

私もポークが大好きで、ちょくちょく近くのスーパー・サンエーで購入する。もちろんポークを買うのは合法なのだが、どういう訳か、後ろめたい気持ちというか、やましい心というか、やってはいけないことをしているような感じで、ついつい辺りの様子をうかがい、周囲の目に付かないように素早くカゴ入れ、速やかにその場を立ち去りながら急いでポーク缶をマイバックの陰に隠すのである。考えてみると、やっている行為が「万引き犯」とよく似ているのだ。

では、なぜ、後ろめたい気持ちになるかというと、それはポークが缶詰だからである。

貧乏学生の下宿生活でもないのに、六十をゆうに超えた大の大人があろうことか缶詰をおかずにしようというのである。今どきはキャンプでも、缶詰をおかずにすることはないだろう。だから、妙な後ろめたい気持ちを抱いてしまうのだが、これは私が内地出身者だからかもしれない。内地では缶詰をそのままおかずにするにはいろいろと抵抗があるが、この複雑な気持ちは、ポークの缶詰をずっと普通に食べ続けてきたウチナアンチュ（沖縄人）の方々には理解できないことと思うのである。

「ポーク缶」を買いに行くスーパー・サンエーの駐車場の裏に小さな川が流れていて、時々、リュウキュウヨシゴイを見ることがある。リュウキュウヨシゴイは奄美諸島以南の琉球列島に分布し、河川や湿地などに生息し、魚類、両生類、甲殻類、昆虫類などを捕食する。

このリュウキュウヨシゴイがなかなかの曲者で、ポーク缶やゴーヤなどが入ったスーパーの袋を持っているとジーとこっちを向いて動かないのだが、双眼鏡やカメラを持っていると大慌てで草の中へと入っていくという、ちょっと嫌な鳥なのである。



# タイランド鳥だより (1) バンコク市内・近郊の探鳥地と主な野鳥

宮越 俊一（バンコク駐在）

観光や仕事でバンコクを訪れたことのある方は、少なくないと思います。しかし、公共交通が整備途上で、暑い気候や言葉の問題もあって、限られた時間の中でまとまった野鳥観察ができなかった方も多いのではないのでしょうか。赴任して1年になる私も、この地では車を運転しないこともあって、いまだにその傾向があります。ここでは都心から比較的アクセスしやすい探鳥地のいくつかと、そこで見られる主な野鳥をご紹介します。タイでは、北はラオス・ミャンマーとの国境から、南はマレーシアとの国境まで、留鳥・渡り鳥・旅鳥などを合わせると、日本の約2倍の1,200種もの野鳥が記録されていますが、ここではバンコク市とその周辺で、年間を通じて普通に見られる野鳥とお考えください。



## 1. バンコク市内の公園

バンコクは 800 万人の人口を擁する大都市ですが、都心近くに整備の行き届いた公園があります。その中で4か所ほどをご紹介します。

### ① ベンチャキティ公園・② ルンピニー公園

この2つの公園は都心の南寄りにあって、ほぼ繋がっていますので併せてご紹介します。ベンチャキティ公園は BTS スカイトレインのアソーク駅または地下鉄 MRT のクイーンシリキット国際会議場から徒歩数分～10分程度、ルンピニー公園は BTS のサラデー駅または MRT のシーロム駅から徒歩数分と、いずれも利便なところにあって都民の憩いの場となっています。ルンピニー公園は水辺も豊富な日比谷公園といった趣の人工的な都市公園で、観光客が「ワニがいる！」と騒ぎになる、実はおとなしいミズオオトカゲが生息しています。ベンチャキティ公園はタバコ公社の跡地を利用して、この地に本来あったと考えられる湿性環境を復活させ、そこを高架歩道で散策できるようにした公園で、ルンピニー公園とは好対照ですが、市内では一番にお勧めの公園となります。

共通に必ずみられる野鳥は、チョウショウバト、カノコバトなどハトの仲間、鳴き声が特徴的なムネアカゴシキドリとオニカッコウ、ヒメアマツバメ、ムクドリなどのインドハッカ、オオハッカ、クビ





ワムクドリ、スズメとカラス各2種、ヒタキ科ではこの地を代表するシキチョウ、ムナオビオオギビタキ、そのほかオウチュウ、ヒヨドリの仲間ではメグロヒヨドリ、ミミジロヒヨドリなどです。コウライウグイスもさほど珍しくはありません。さらにベンチャキティ公園の水辺を中心に、サギではコサギ、アオサギ、ササゴイといったおなじみの種に加えてアカガシラサギの仲間（非繁殖期の判別が難しい）がよく見られます。NHKの「ダーウィンが来た」でも子育てが紹介されたスキハシコウは、ベンチャキティ公園で採餌行動が見られます。そのほかシロハラクイナ、インドヒメウ、アジアコビトウ、シマキンバラなど。

### ③ スリナコン ケン カン公園

チャオプラヤー川がバンコクの西を南流してすぐに大きく蛇行し、広い巾着田のようになった地域があります。開発を逃れて別名「バンコクの緑の肺」と呼ばれる地域となっていますが、この一角にあるのがスリナコン ケン カン公園で、王室の提案もあって環境保全地域となっています。交通はやや不便ですが、BTS ウォンウェンヤイ駅からタクシー、又はクロントイ港から渡し舟が使えます。① ② でおなじみの野鳥の他に、コウハシショウビン、コアオバト、ハイイロオウチュウ、シロガシラトビなどが高頻度で見られます。



### ④ ラーマ9世記念公園

バンコクの東寄り、エアポートレイルリンクのバンハチャン駅か、イエローラインのシウドム駅からバスまたはタクシーになりますが、新しく整備された広い公園で熱帯植物園・薬草植物園なども備えています。期待される鳥はベンチャキティ公園と共通の種のほか、ここで繁殖するヤツガシラや、日本など極東で繁殖して11～3月に戻ってくるヒタキの仲間などがあります。

## 2. バンコクからの日帰り探鳥地

### ⑤ バンポー リゾート


バンコクから日帰りで海の鳥を見るなら、こちらが初心者向けとなります。公共交通はBTSのスクンビット線がケーハまでしか行きませんので、そこからタクシーなどで15分ほどです。ちょっとした観光地で、一部餌付けもされていますが、チャガシラカモメ、クロハラアジサシをはじめ多くの水鳥に会えます。栈橋の他はマングローブの林と干潟になっていて、私はなかなかタイミングが合わずにいますが、干潮時に訪れればシギ・チドリ類も多くみられることと思います。





## ⑥ パトゥムタニ ライス リサーチセンター

広く公開されている場所ではありませんが、国立の稲・バイオ関連の研究所で、広い圃場にはバーダーが自由に出入りしていて、ちょっとした穴場です。交通はヴィクトリーモニュメントから路線バスか、レッドラインの北の終点ランシット駅か BTS の終点クーコット駅からタクシー等を利用します。圃場では都心の公園でもおなじみの鳥のほか、セイタカシギ、インドトサカゲリ、アカガシラサギが多く見られます。ここで見逃せない隠れたポイントは、敷地の北西端にある池の周囲です。私が行った時はたまたまかもしれませんが、クロカッコウハヤブサやヤツガシラも見られました。



以上、簡単に述べてきましたが、これらの場所であれば、車がなくても何とか野鳥観察が楽しめるのではないのでしょうか。タイというと、色鮮やかで見たこともないような熱帯鳥を連想するかもしれませんが、それは一面では正しいですが、意外に日本との共通点もあります。日本でいう夏鳥の、これまで見られなかった非繁殖期の姿などが見られることや、ジェット機でも5時間かかる4,500 kmの道のりを、あの小さな体で渡ってきたのだなあ・・・と思うと感慨深いものがあります。

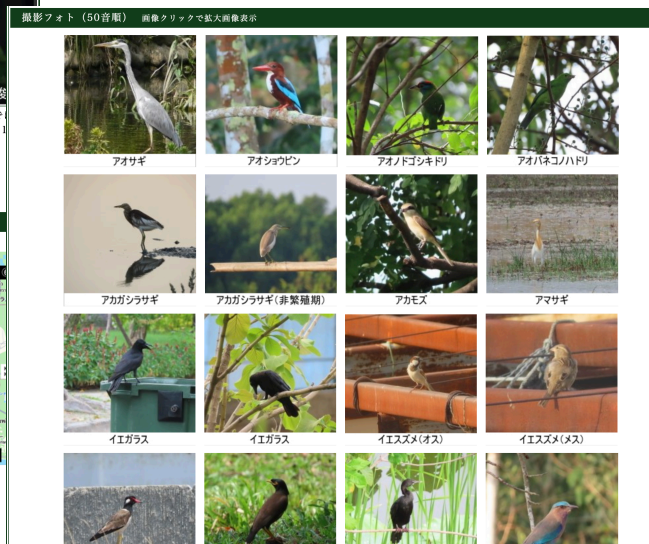
もし次の機会がありましたら、1泊以上で行くようなタイ国内の主な国立公園や、ガイドによるツアーなどについて触れてみたいと思います。それまでに研究しておきたいですが、なかなか日々余裕がないのが実情です。

カワセミ会のホームページにタイの野鳥の写真を載せました。

昨年5月から一年と少しの間、タイ国内で週末に少しずつ撮りためたものです。

お楽しみください。

URL : <https://kawasemi.main.jp/guide/thai/birds.html>





# イカルチドリの巣作りとコチドリの巣の審査？他

マイフィールド観察記

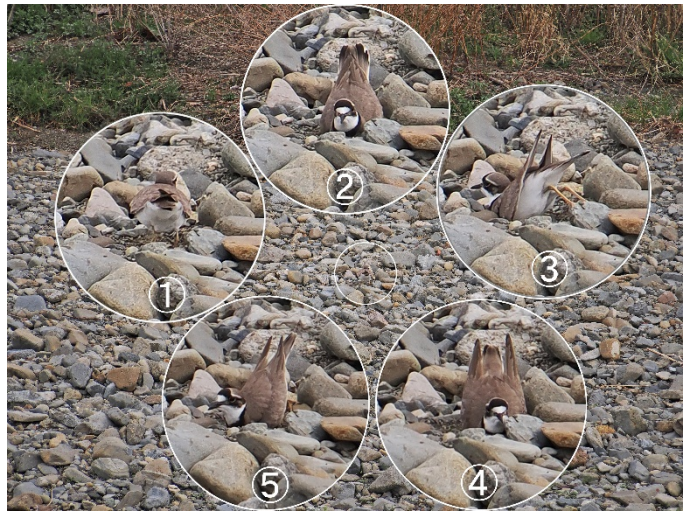
岡本 昭男

## まえがき

マイフィールドでは毎年イカルチドリやコチドリの繁殖期における何某かの行動を目にしています。その中で珍しいと思われるシーンをピックアップしてみます。イカルチドリもコチドリもその行動は驚くほど同一か近似していると感じています。

### 1. イカルチドリの巣作り

賑やかにピッピッピッ・・・と声がる河原を探すとイカルチドリがなにやら動き回っています。「はてな？」と見続けると胸を石ころの凹みに押し付けながら足を懸命に踏ん張ります。角度を変えてはその動作を繰り返します。回転角度は実にアバウト。戻ったり行き過ぎたりしてほぼ一周します。今まで適当な凹みを見つけて巣にしていたとばかり思っていたので意外であり、とんでもない誤解でした。



### 2. コチドリの巣の審査？

巣作りが完成して鳴き声やディスプレイなどでメスを呼び込みます。

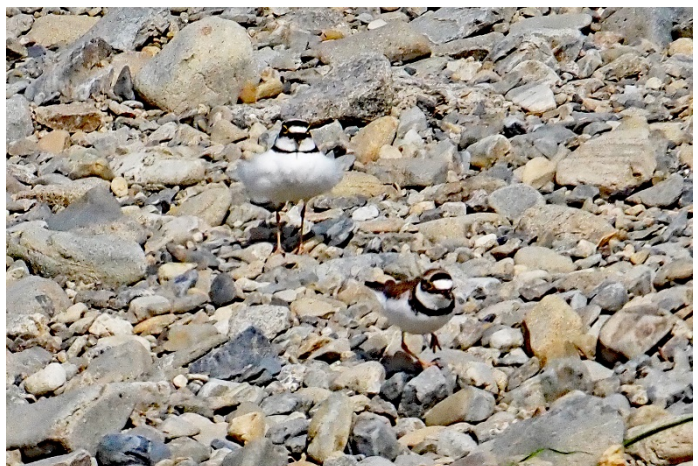
「雌が来て巣の居心地をテストする光景」と昔、先輩が教えてくれましたが再確認はしていません。これも稀なシーンの一つと思います。雄が羽を広げ雌が巣に入りしばらくして出てきました。

その後、交尾したので合格だったようです。



### 3. 交尾の前の同意？

人間社会では不同意なんとかと言って問題になっていますがコチドリの雄は体を横に膨らませ同意を得ているように思われます。別の時にイカルチドリがしつこくコチドリ追いまわし、近寄っては体を膨らませていました。コチドリは嫌気がさしてか飛び去りました。その直後に少し離れたもう一羽のコチドリが飛び去り様にイカルチドリを足蹴にしていたのには驚きました。



## 所沢北野タカの渡り観察カウント 22 年間

所沢北野タカ観察グループ 大塚 隆廣

はじめに

所沢市内をサシバがわたっていることはあまり知られていないように思います。

しかし、狭山丘陵の西側にあたる東京都西多摩郡瑞穂町に六道山公園展望塔があり、タカの渡り観察が一般化する以前から熱心な方が観察カウントをされていて、そちらへ向かうサシバが所沢市内を通過していることが予想され、それを確認できたのが 1995 年頃、以来その時期に空を見上げサシバの観察を楽しんでいました。そのうちに仲間も増え、発見率も上がりましたが、別の場所でも観察されていてサシバたちは市内を幅広く渡っているように思えます。

調査地の概要

観察を行っている場所は所沢市北野新町 2 丁目  $35^{\circ} 47'52''\text{N}$   $139^{\circ} 25'36''\text{E}$  標高は 95 メートルの農耕地内のわずかばかりの公有地（公道）、平地なのでタカの渡りの観察にてきた場所とは言い難いのですが自宅から近いのが良い点です。西武ドームや東京の水瓶「狭山湖」などがあり、近くが小手指ヶ原古戦場となった場所です。

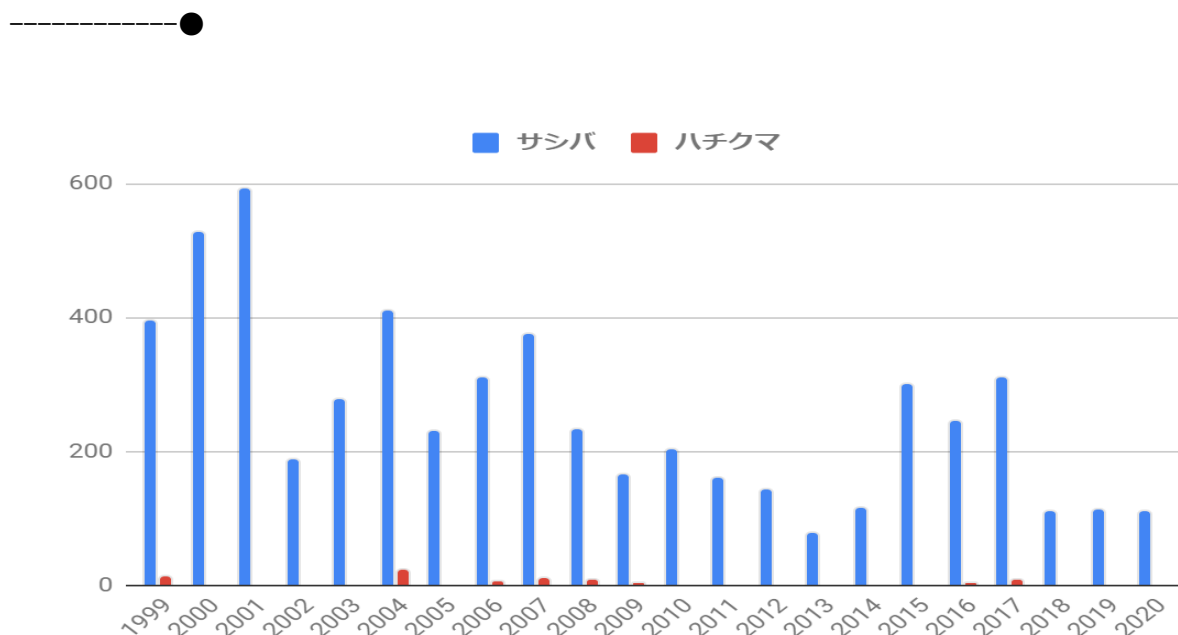
周辺は平地林も点在し、駅近の割には緑が多く広び

ろとした環境が広がり、所沢西高等学校が北側にあり、すぐ南側には 463 バイパスが通る。西側奥に奥多摩、秩父の山並みが望める。北側に広がる農耕地の先に所沢西校の校舎があり、中間を走る送電線の鉄塔が並んでいる。サシバが来ると送電線の南番と仲間と教え合うには便利だ。





## 観察カウントの結果



同所で 1999 年～2021 年まで 22 年間、9 月 15 日～10 月上旬まで継続観察カウントを行った。

結果はパソコン通信「NIFTY-Serve」の F-bird 「タカの渡り会議室」やその後普及したインターネットなどで報告、他の定点の皆様とリアルタイムで情報交換させていただき、調査の方法などいろいろ教えていただいた。

観察結果は記録用紙に時系列に種名、数 捕捉方向 飛去方向を記録、タカ柱、などその他の渡り鳥としてツバメ類、アマツバメ類、ヒヨドリ、カケス、アサギマダラなど。

結果としてサシバの年平均飛去数 255 羽、最高 2001 年の 592 羽、最低 2013 年の 77 羽でハチクマに関しては全期間中 71 羽とかなり少なく、もっと山側を渡っているようだ。

地付きのオオタカ、チョウゲンボウ、トビの他 ノスリ ハイタカ、ハヤブサ、チゴハヤブサなどのタカ類と 9 月下旬頃よりヒヨドリがにぎやかにわたりだすと楽しみも増える。

晴れて北寄りの風が吹くと、渡りに好条件のようでそれなりの数が渡ってくれるが 2 桁に満たない日も多い。

飛去方向は南西から西で大半は「西南西」へ向かうのは、近辺の定点と同じようだ。いずれどこかで南下し太平洋南岸を西進すると推測しているが、近年の伊良湖の低迷が気がかり。

## 終わりに

数名のタカ好きメンバーがサシバの渡りを観察に来て、魅力に取りつかれサシバのファンになり、観察カウントに参加してくれた。

2021 年観察場所の地権者より他の場所で・・・と言われ、同所を断念近くにそれなりの場所が見つからず 2022 より約 2 km 北側の「所沢市北中運動場駐車場」へ移動 2 期カウントしたが、気兼ねなく観察に専念できるものの観察ポイントとしてはいまいちだが・・・

# 表紙の野鳥 ‘シジュウカラ’ について

会報カワセミ編集長： 浜野 建男

今回の表紙は「シジュウカラ」です。会員から募集したシジュウカラの感想文書を以下に掲載します。(投稿順、敬称略)

- ☆ 我が家の庭で一番「高い」(高木という意味と、購入時の値段が高かった、という意味)ナツツバキ(夏椿)の洞に雨水が溜まるとシジュウカラやスズメが水飲みにやってきます。洞に水が溜まることは木にとっては決していいことではないのですが、野鳥達は喜んでいるように見えます。でも、夏椿の根元にはいつも水盤に野鳥用の水を入れているので、そちらへどうぞ。(加藤 岸男)
- ☆ 【福生市の鳥】は【シジュウカラ】です。福生市の愛鳥モデル校に勤めた時からたくさんの鳥たちとの出会いが始まりました。【商売繁盛!】で【シジュウカラ】では困るけど親しみのある鳥です。毎年我が家の巣箱から巣立つ可愛いシジュウカラ。鳴き声にコミュニケーションがあると言われていますが親子でどんな会話をしているのか聞いてみたいです。(門倉 美登利)
- ☆ 五月中旬の早朝に賑やかな鳥の声がした。自宅斜向かいの家のブロック塀近くからだ。ブロック塀に風抜き用の小窓ありその奥の小さな穴から 5 羽の幼鳥が次々に巣立っていった。2, 3 年続いたが塀が取り壊され、それに代わって隣家のブロック塀が利用された。今ではそれも取り壊された。我が家の庭に設置した巣箱には寄り付かない。その後も元気な子連れのシジュウカラの姿を庭に見る。命をつなぐ賢くも強かなシジュウカラに脱帽!(岡本 昭男)
- ☆ 5 月のジュニアクラブに子供たちと参加したとき、歩き始めてすぐ、あったかホールの林の中でシジュウカラの幼鳥に出会いました。チチチと鳴いて可愛かったです。自力ではどこにいるか分からなかったので、支援者の方に「あそこにいるよ」と教えていただけて、有り難かったです。(尾本 聖子)
- ☆ 引越失敗  
シジュウカラが数年来繁殖に利用していた掛け木が朽ちて、倒れたので 10m 程離れた木に掛け替えたところ、近くに飛来し採餌しているがその巣箱は利用しなくなった。(門口 一雄)
- ☆ 3 年程前から我が家の庭の巣箱にシジュウカラが毎年営巣している。しかし今年は残念ながら途中で放棄されてしまった。母鳥の不在中何羽かのスズメが巣穴を覗いていて、時には戻って来た母鳥とバトルになる事もあった。だが今年母鳥はそれっきり帰って来なかった。とても悲しく寂しい気持ちになった。自然界での子育てはいつも危険と隣り合わせなので毎年ハラハラしながら見守っている。(市村 緑)
- ☆ 自宅に巣箱を架けたのは、カワセミ会に入って少し経ったころなので、15 年ぐらい前のことになる。毎年ではないが、営巣して親が頻繁にエサを運ぶ姿を見ると、いつでも元気づけられる。これからも、無事に巣立ちますようにと、見守っていきたい。(浜野 建男)
- ☆ 早朝に親鳥の騒ぐ声で目が覚めた。隣家の庭にヒナが 1 羽、動かない。親が去り、猫やカラスが来たら心配で見ていると、10 分ほどで戻ってきて給餌。少し動けるようになり、車の下に潜り込む。その後も 20-30 分間隔で親が給餌。まだ飛べず、30 センチの壁を上げるのに四苦八苦していたが、やがて兄弟達もやってきて連れられて行った。良かった。元気でね!!(浜野 知恵子)

<表紙画像提供者> 以下の方々からご提供いただきました。ありがとうございます。

粕谷 和夫、加藤 岸男、佐藤 哲郎、浜野 建男、浜野 知恵子 他



# 多摩丘陵の自然を守る会 40 周年記念誌発刊

粕谷 和夫

多摩丘陵の自然を守る会は 1982 年に「南陽台の自然を守る会」として発足し、1985 年に「多摩丘陵の自然を守る会」に改称し、2024 年に 40 周年記念誌を発刊しました。書名は「守っていききたい 多摩丘陵の自然 創立 40 周年を迎えて」です。守る会の発足当時の目的は「①南陽台及び周辺の自然を守ること、②自然観察会を行うこと、③車の排気ガス及び騒音対策を考えること」、3 年後に会の名称が改称されたのは活動範囲が南陽台から多摩丘陵に広がったことによるものと記載されています。

守る会は観察会や調査による発見を起爆剤として「自然を楽しむだけでなく、守るべき自然は積極的に保護すべき」と考えて行政はもとより、公園の指定管理者、地元、他団体や専門家と柔軟にネットワークを作り多大な成果をあげてきたことが特質されます。記念誌には活動の内容や成果が克明に記載されています。記念誌には 3 年後に発足した八王子・日野カワセミ会の今後の活動に参考となる内容が多く含まれています。

また本誌には「八王子市堀之内における学校林の誕生」という件名で、「里山に関わって来た人々がどのような思いをもってきたのかを知ることも、里山のこれからを考えるうえで重要なことである」という要旨の論文も掲載されています。

預布価格 1300 円です。連絡先は多摩丘陵の自然を守る会石黒富江会長、電話 042-676-6140 です。



## 外部機関が主催する探鳥会の支援記録 (2024 年 1 月～6 月)

### ○八王子市立高尾山学園小学部野鳥観察会支援

日 時 2024 年 1 月 10 日 (水) 10:00～12:00

天 気 晴れ

場 所 館ヶ丘団地調整池～殿入中央公園・館町緑地往復

観察した鳥：27 種

オシドリ マガモ コガモ カイツブリ キジバト カワウ トビ モズ ハシブトガラス ヤマガラ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス メジロ ムクドリ ツグミ ジョウビタキ キセキレイ ハクセキレイ カワラヒワ シメ ホオジロ カシラダカ アオジ クロジ コジュケイ ガビチョウ

参加者 小学部児童 8 名 教職員 9 名

カワセミ会 4 名 加藤岸男 佐藤哲郎 対中義雄 玉木雅治

#### 概要・感想等

数日前は雨予報だったが、風もなくいい天候に恵まれた。8 名の子ども達は昨年よりややおとなしい感じ。首掛け図鑑と観察カードを配布と出発するとトビが上空に。先ずは団地内の調整池へ。カイツブリが鳴く。マガモとコガモはすぐ見つかったが本命のオシドリが…。でも水面まで伸びた常緑樹の隙間からやっと見つけた。大型図鑑で補足説明をする。きれい！という声があがった。

長く急な階段を下る。途中の空地にモズとジョウビタキのオス。そしてキセキレイ！殿入中央公園ではトイレ休憩。残念ながらカワセミは出て来なかった。館町緑地に入ると、ジョウビタキのオスが目の前にいた。望遠鏡で全員がじっくり観察できた。カシラダカ、アオジ、シジュウカラ、ヤマガラ…、なんとクロジまで観察できた。帰校時刻が設定されているので、少し速足になる。車道に出るとガビチョウが十数個体右から左に飛んだ、テニスコートの前で比較的近くの本に止まるシメを見つけた。これも全員観察できた。

学校までは長い上り坂。予定時刻通りに帰着した。すぐに鳥合せ。昨年より 3 種少ない 27 種。子ども達の一番印象に残ったのはジョウビタキとのことだった。来年の予定の提示もあった。

(担当 加藤 岸男)

#### ○八王子市立館小中学校小学部 1 年野鳥観察会支援

日 時 2024 年 1 月 18 日 (木) 8:50~12:00

天 気 晴れ

場 所 館ヶ丘団地調整池～殿入中央公園・館町緑地往復

観察した鳥：28 種

オシドリ マガモ コガモ カイツブリ キジバト トビ ハイタカ カワセミ コゲラ アオゲラ サンショウクイ(リュウキュウ) ハシボソガラス ハシブトガラス ヤマガラ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ ムクドリ ツグミ ジョウビタキ キセキレイ ホオジロ カシラダカ アオジ クロジ ガビチョウ

参加者 小学部 1 年生 15 名 教職員 2 名

カワセミ会 5 名 加藤岸男 門倉美登利 佐藤哲郎 玉木雅治 玉木ちづ子

#### 概要・感想等

時間設定の連絡ミスで開始早々戸惑うが、今年の 1 年生は前向きな子が多かった。

メジロの声を聞きながら調整池に向かう。コガモ、マガモ、オシドリがのんびりしていた。カワセミが移動しながらも視界の中にしばらくいて、全員じっくり観察できた。長い階段を下り車道に出て、前方の草むらの鳥を探していると、頭上の本になんとサンショウクイ(リュウキュウ)がいた。それも複数羽。鳴き声も含め観察した。

殿入中央公園で休憩後館町緑地に入る。するとすぐにジョウビタキを担当の先生が見つけた。これもじっくり観察。ガビチョウが飛び交う中を進む。カシラダカ、エナガ、ヤマガラ、キジバトも観察。数人がクロジを見られた。木々の隙間からハイタカも見られた。モズを探したが見つからず。テニスコート付近には何もいなかった。学校に向かおうとしたら、僕はもう一度池に行きたい、とのリクエスト。階段を上がり調整池に行く。氷上にキセキレイが。カイツブリも 2 羽いた。

学校に戻り鳥合せをした。一番よかった鳥はやはりカワセミだった。最後までしっかり参加できた 1 年生。たっぷり時間があり、ゆったりした探鳥になった。

(担当 加藤 岸男)

#### ○八王子市立上川口小学校 2023 年度 3・4 年第 3 回野鳥観察会支援

日 時 2024 年 1 月 22 日 (月) 8:45~10:15

天 気 曇り

場 所 学校周辺東部・西部コース

観察した鳥：24 種(両コース合せて)

カルガモ キジバト アオサギ トビ カワセミ モズ ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ  
ウグイス メジロ ムクドリ ツグミ ショウビタキ スズメ キセキレイ ハクセキレイ  
セグロセキレイ カワラヒワ シメ イカル ホオジロ アオジ ガビチョウ

参加者 上川口小学校 3・4 年児童 12 名 教職員 3 名

カワセミ会 5 名 市村緑 加藤岸男 門倉美登利 佐藤哲郎 玉木雅治

概要・感想等(担当・加藤が参加した西部コースの様子を報告する。)

4 年生は最後の野鳥観察会。張り切っていた。出発式で、上川口小出身の支援者・市村さんから、この学校の卒業生の方がカワセミ会支援の野鳥観察会をきっかけに野鳥好きになり、今世界の鳥を求めて外国旅行中、との話があった。カワセミ会としてもうれしい話。

校庭を出るとショウビタキの声がした。川は瀬切れしていた水がない。栗林に行くとモズ。すこし進むとやはり栗の木にアオゲラのオスがいた。しかし見えにくい。電線の鳥は何？の問いに全員が正解。スズメだから…。上川口小の子ども達には失礼な質問だった、と反省。イカルが遠くで鳴く。都道を渡って畑地に行く。ウグイス、ホオジロが鳴く。ちょっと遠い木の 11 時にシメがいた。当地では比較的珍しい。校長先生も、初めてだ、と喜んでいて。帰路を急ごうとした時、ツィーッと甲高い声があった。カワセミだった。一部の子供達も姿も確認した。(東部コースでもカワセミを見られたとのこと。)

定刻に帰校。鳥合せをした。帰校式で担任の先生から、なかなかいいまとめがあった。

来年度も実施予定とのこと。

(担当 加藤 岸男)

## ○東京都農林水産振興財団「森林ふれあい教室 野鳥観察会」支援

日 時 2024 年 3 月 2 日(土) 9:40～14:10

天 気 晴れ、午前中風強し

コース あきる野市八雲神社・・・秋川(左岸)・・・秋川ふれあいランド・・・東秋川橋を渡り秋川右岸へ・・・(堤防を下流方向に進む)・・・高月貯水場・・・(高月の水田地帯を進む)・・・高月の集落・・・滝山城址公園(展望広場、昼食)・・・(公園内の雑木林の鳥を探す)・・・高月街道・・・谷地川・・・道の駅八王子滝山(鳥合わせ、解散)

参加者・支援者等 30 名

\*カワセミ会 7 名 粕谷和夫、加藤岸男、浜野建男、浜野知恵子、岡田浩郎、古山隆、門口一雄

\*財団事務局(森林ボランティア含む) 7 名、

\*一般参加者 15 名

確認した野鳥：43 種(ベスト：オオタカ モズ カワセミ)

キジ オカヨシガモ マガモ カルガモ ホシハジロ コガモ キジバト カワウ アオサギ  
ダイサギ オオバン ヒメアマツバメ イカルチドリ イソシギ トビ オオタカ カワセミ  
コゲラ アオゲラ モズ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス ヤマガラ シジュウカラ  
ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ ムクドリ シロハラ ツグミ ショウビタキ スズメ  
キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ カワラヒワ ホオジロ アオジ カワ  
ラバト(ドバト) ガビチョウ

概要・感想等

この観察会の支援は、コロナ感染症の拡大等で中止が続き 5 年ぶりの開催である。参加者は財団が公募した方々で、都内各地から参加とのこと。開会式のあと、3 班に分かれてもらい出発した。コースはコロナ前から実施してきたコースで、都内最大の水田地帯、川面やアシ原、貯水池、アップダウンのある雑木林の公園や小河川等変化に富んだ全長約 6km の長丁場である。

出発早々住宅街の電線に止まるモズ、庭木を飛び回るオナガ、シジュウカラやメジロの鳴き声を聞きながら水田地帯に進む。ここでもモズが近くに出現しクチバシやみもの識別点などを観察した。秋川の堤防に出ると風が強くなる。枯れたアシ原をホオジロ等の小鳥が飛び交うが直ぐ潜る。キジ♀が近くのヨシ原を飛び移る姿を見て感動する。草地ではツグミが胸をはり、川面ではオオバンが見られた。突然

オオタカが上空を旋回し堪能した。秋川ふれあいランド前の堰堤ではイカルチドリ2羽がよく見られた。橋を渡り秋川右岸堤防へ進む。堤防下の広場ではツグミ4羽が採餌中、高月貯水池では、オカヨシガモ、マガモ、コガモにホシハジロ等カモの仲間がゆったりと泳いでいた。さらに水田の中程の道を進み、タヒバリ数羽が畔越しに見え隠れし、飛び上がる様子が見られた。

滝山城址公園の広場に上り昼食とした。ここでは、雪をかぶった赤城山をバックに飛び交うヒメアマツバメとオオタカが見られた。公園内遊歩道ではシロハラ、ヤマガラが出現し、アオゲラやアオジ、ウグイスの声が再三聞こえた。観察会終盤の谷地川では、カワセミが再三出現し多くの参加者が観察でき、本日のベストとなった。(担当 門口 一雄)

### ○コニカミノルタサイエンスドーム野鳥イベント支援

日 時 2024年5月6日(月・振替休日) 12:30~16:00

場 所 コニカミノルタサイエンスドーム 2階八王子を知らうコーナー(半分利用)

主 催 コニカミノルタサイエンスドーム

支援参加者 11名(カワセミ会5名、ジュニアクラブ:6名)

内容 タイトル:鳥の紙芝居、カルタ遊びと八王子の野鳥講座

①鳥の紙芝居と浅川野鳥カルタ遊び(13:40~14:10)

②野鳥講座と浅川野鳥カルタ遊び(15:15~15:45)

③野鳥クイズラリー(13:00~16:00 ①②以外の時間)

- ・紙芝居はジュニアクラブ2名と玉手母が担当
- ・カルタはジュニアクラブ3名が読み手となり、参加者(2回合わせて17人)がとり手となってやった。大変盛り上がった。
- ・クイズラリーは受付でラリー用紙を配布し、館内3カ所でクイズを解き、イベント会場に用紙を持ってきて賞品と交換した。担当はジュニアクラブ一家。
- ・野鳥講座は粕谷和夫が講師を担当し、身近な公園で見られる野鳥を説明した。
- ・高尾・浅川野鳥図鑑の広報用チラシ、ジュニアクラブ参加案内のチラシを配布した。

概要・感想等

昨年10月に続いて2回目のサイエンスドームイベント支援。今年はゴールデンウィーク期間内だったので、館内に人が多く、本イベントへの参加者も多かった。野鳥講座の講師の質問にも参加者が積極的に答えていた。楽しかったという感想を言う子が多く、2家族がジュニアクラブに入会した。

(担当 粕谷 和夫)

### ○相模原市立ふるさと自然体験教室やませみ支援

日 時 2024年5月16日(木) 9:45~12:15

天 気 曇り

場 所 相模原市緑区澤井 やませみ・大日野原往復コース

対象校 相模原市立青和学園5・7年生

観察した野鳥:20種

キジバト トビ クマタカ ノスリ コゲラ アオゲラ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ツバメ イワツバメ ヒヨドリ ウグイス メジロ キビタキ キセキレイ ハクセキレイ カワラヒワ ホオジロ ガビチョウ

(下見時 アオバト ホトトギス オオヨシキリ イカル サンショウクイ コジュケイ)

観察した野草:15種

ハルジオン クジャクシダ ユキノシタ セリバヒエンソウ ヤブデマリ コウゾリナ カタバミ アメリカフウロ ヘビイチゴ ナガミヒナゲシ ヤブジラミ ノイバラ フタリシズカ マユミ ナヨクサフジ

参加者 児童・生徒12名 教職員4名 やませみ職員3名



カワセミ会 井上京子 加藤岸男 管野桂子 佐藤哲郎 4名

#### 概要・感想等

下見を始めたころはかすかに霧雨が降っていた。大田野原に着くと、なんとクマタカの番が飛翔し、1羽が頭上に、1羽はやや遠くのスギの木に止まった。後でまた来るからその時までいてね！とお願いして、やませみに戻った。

目標は野鳥10種、野草10種との出会いと設定し、総勢24名なので班分けはしないで出発。すぐにイワツバメ、ツバメ、キセキレイ、メジロがいた。最初の草花はハルジオン、次はクジャクシダやユキノシタ。スギ・ヒノキの林では、鳥はヒヨドリとガビチョウくらい。あまり鳴かない。途中2班に分かれて進む。

大田野原の畑地に入る。カタバミやアメリカフウロを見ていると近くの低木の天辺にカワラヒワが止まった。望遠鏡でじっくり観察。下見ではけたたましく鳴いていたオオヨシキリは静かだった。ナヨクサフジを見て、折り返し地点の畑にあと少しの所、下見でクマタカを見た地点に着くと、なんとクマタカが下見のとき止まっていたスギの木に止まっているではないか！望遠鏡で数人が見たところで飛んだ。陣場山前の山を右に左に飛ぶ。カラスがモビング。子ども達も双眼鏡でクマタカを追う。歓声が上がった。更にノスリも登場。番が頭上をしばし飛翔した。

畑で少し休憩の後、土器の観察、周りの風景の説明、ネイチャゲーム「私の宝物」をした。5分間の間じっと一点を見つめる子どももいた。15分程でやませみに戻りまとめをした。「鳥や草花の生き方を学んだのでこれからの生活に活かしたい」との感想も聞かれた。

クマタカのお陰で支援の私たちも充実した時間を過ごせて満足した。(担当 加藤 岸男)

#### ○八王子市立上川口小学校 2024 年度 3・4 年第 1 回野鳥観察会支援

日 時 2024 年 5 月 27 日 (月) 8:50~10:05

天 気 曇り

場 所 学校周辺東部・西部コース

観察した鳥：26 種(両コース合せて)

カルガモ キジバト アオサギ ホトドクス アマツバメ アオゲラ サンショウクイ(亜種サンショウクイ) モズ ハシブトガラス ハシボソガラス シジュウカラ ツバメ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ ムクドリ キビタキ スズメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ ホオジロ コジュケイ ガビチョウ

参加者 上川口小学校 3・4 年児童 10 名 教職員 4 名

カワセミ会 6 名 市村緑 荻島伸介 加藤岸男 門倉美登利 佐藤哲郎 玉木雅治

概要・感想等(担当・加藤が参加した西部コースの様子を報告する。)

子ども達の人数がまた減ってしまい、少し寂しさを感じながら出発。セグロセキレイ、メジロ、ガビチョウ等の声を聞きながら橋を渡る。ホトトギスの声も徐々に大きくなった。男子が多いグループ構成。寂しさは感じなくなった。遠くの枯れ木にウグイスを発見。スコープで見る。少し進むと更に近くでウグイスを発見。こんな色なの、との声。こんなにじっくり見られるのは珍しいことを強調。カワラヒワがピーンと鳴き続ける。サンショウクイが鳴き、アオサギが飛んだ。大きいな、との声。

都道を渡り畑地へ。メジロを探していると、上空にアマツバメを発見。植林地前でキビタキを探す、ちょっと遠い。でも声は聞こえた。更に、畑地の杭にモズが止まっていた。今年生まれの子だった。全員、スコープで確認できた。少人数のいいところだ。学校に戻る途中でホオジロとコジュケイの声がした。学校に定刻に戻り鳥合せと帰校式をした。子ども達からはウグイス、モズ等がかわいかった、アオサギが大きかった等の感想があった。

第 1 回目は無事終了。校長先生に、子ども 10 名に支援者 6 名は多くないですか？とお聞きすると、ちょっと考えて、色々話しながら鳥の観察ができる雰囲気大切にしたいので、今年度は 6 名の支援でお願いします、との回答だった。(担当 加藤 岸男)



## 探鳥の記録(2024 年 1 月～6 月)

1 月 17 日 (水)	平日探鳥会	高尾山周辺探鳥会 藤野・京塚山と喜庵(きあん)での昼食
1 月 24 日 (水)	平日探鳥会	あきる野市 養沢川・乙津(里山生きもの観察会)
2 月 3 日 (土)	遠出探鳥会	都市公園シリーズ <sup>15</sup> 都立・舎人公園
2 月 8 日 (木)～ 9 日 (金)	遠出探鳥会 (1泊2日)	秘湯めぐり探鳥会 <sup>16</sup> 埼玉 大麻生・宝登山と柴原温泉 (第1回)
2 月 13 日 (火)～ 14 日 (水)	遠出探鳥会 (1泊2日)	秘湯めぐり探鳥会 <sup>16</sup> 埼玉 大麻生・宝登山と柴原温泉 (第2回)
2 月 11 日 (日)	月例探鳥会	北浅川(松枝橋～陵北大橋)
2 月 28 日 (水)	平日探鳥会	高尾山周辺探鳥会 町田 相原中央公園・七国峠・造形大学裏
3 月 10 日 (日)	公開探鳥会	浅川・多摩川合流～多摩川石田大橋
3 月 13 日 (水)	平日探鳥会	高尾山周辺探鳥会 藤野 佐野川の林道と鷹取山
3 月 16 日 (土)	遠出探鳥会	都市公園シリーズ <sup>16</sup> 東京港野鳥公園
3 月 19 日 (火)	平日探鳥会	多摩動物公園(コウノトリを主体とした観察会)
4 月 7 日 (日)	遠出探鳥会	サシバ春の渡り 秦野市・菜の花台
4 月 13 日 (土)	遠出探鳥会	都市公園シリーズ <sup>17</sup> 多磨霊園・野川公園
4 月 14 日 (日)	月例探鳥会	北浅川(松枝橋～小田野中央公園)
4 月 19 日 (金)	平日探鳥会	高尾山周辺探鳥会 藤野・湖周辺を歩いて Shu で昼食
5 月 9 日 (木)	遠出探鳥会	里山を歩く(平塚市北豊田の田んぼ)
5 月 12 日 (日)	その他	密猟防止パトロール(小下沢林道)
5 月 12 日 (日)	月例探鳥会	裏高尾(小下沢林道)オオルリを探す会
5 月 14 日 (火)	平日探鳥会	高尾山周辺探鳥会 大月市秀麗富嶽シリーズ <sup>8</sup> 雁ヶ腹摺山と姥子山
5 月 16 日 (木)	遠出探鳥会	玉原湿原・玉原高原
5 月 22 日 (水)	遠出探鳥会	小山なまい渡良瀬遊水地(コウノトリを主体とした観察会)
6 月 3 日 (月)	平日探鳥会	高尾山周辺探鳥会 藤野・綱子沢と藤野やまなみ温泉
6 月 5 日 (水)	遠出探鳥会	入笠湿原 野草・野鳥観察会
6 月 8 日 (土)	月例探鳥会	小仏川、御霊谷川経由八王子城跡
6 月 15 日 (土)～ 17 日 (月)	遠出探鳥会 (2泊3日)	秘湯めぐり探鳥会 <sup>17</sup> 新潟・奥胎内と鷹ノ巣温泉
6 月 19 日 (水)	遠出探鳥会	里山を歩く(鎌倉・永福寺跡)
6 月 27 日 (木)～ 7 月 1 日 (月)	遠出探鳥会 (4泊5日)	夏季北海道・札幌周辺探鳥会

\*天候などの理由で中止となった探鳥会

1/21 相模原 宮ヶ瀬湖・早戸川林道、2/21 里山を歩く(平井川中流域)、3/20 里山を歩く(狭山湖と狭山丘陵)、4/24 里山を歩く(小山田緑地)、4/30 御岳山・日の出山、5/28～30 豊岡コウノトリ探鳥会

### ○平日探鳥会 高尾山周辺探鳥会 藤野 冬の林道・栃谷坂沢線を歩く

日時: 1 月 17 日 (水) 8:50～12:30 (～14:30)

天気: 快晴

集合: JR 中央線藤野駅改札口 8:40

行程: JR 豊田駅発 8:08→八王子 8:13→高尾 8:25→藤野駅 8:38 着 藤野駅 8:50 出発⇒日連大橋⇒秋川橋  
⇒名倉地区⇒京塚山 12:00⇒喜庵着 12:30(昼食) 14:00 発⇒藤野駅着 14:25・14:38 発⇒高尾着 14:51

観察した鳥: 34 種(ベスト: サンショウクイ オシドリ エナガ ミサゴ イカル)

オシドリ マガモ カルガモ ホシハジロ カイツブリ キジバト カワウ アオサギ ダイサギ

オオバン ミサゴ トビ コゲラ アオゲラ サンショウクイ（リュウキュウ） カケス ハシブトガラス ヤマガラ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ トラツグミ シロハラ ツグミ ジョウビタキ ハクセキレイ カワラヒワ シメ イカル カシラダカ アオジ ソウシチョウ

参加者：16 名

概要、感想等：

昨日でなくてよかった！が先ずの感想。穏やかな天気恵まれた。このシリーズの探鳥会としては大人数になった。どうもソバ目当て、のような方もちらほら…。日連大橋の上から、ツグミの群れ、ホシハジロ、オオバン、そしてオシドリ。秋川橋からもオシドリが。少し先のスギにはイカル。芸術の道に入ると先ずミサゴ、ジョウビタキ、カケス、ソウシチョウが姿を見せる。畑の際にトラツグミ。正念寺でトイレを借りる。カシラダカを確認して出発するとすぐにシメ。京塚山へのハイキングコースに入る。エナガとヤマガラ、メジロ。後ろの方たちはリュウキュウサンショウクイを確認した。

京塚山には予定通りに到着。しばし休憩。丹沢の山々、陣場山から続く峰々の展望が素晴らしい。20 分下って今回のもう一つの目的地・手打ちそばの喜庵に到着。鴨南ばんそばや天ぷらそばを注文する。しかし…、時間が過ぎていく。仕方なく、ここで本日のベストを決め、ここで探鳥会を一応の終了とした。食べ終わった方から帰路へ。全員が食べ終わったのは到着してから 1 時間 20 分も経過してからだった。おいしかったが…。

藤野駅までイソヒヨドリを探しながら歩いたが見つからず。藤野駅には予定通りの時刻に到着した。

（担当 加藤 岸男）

#### ○平日探鳥会 あきる野市 養沢川・乙津（里山生きもの観察会）

日時：1 月 24 日（水）10:15～14:30

天気：曇り（風花混じり）

コース：武蔵五日市駅から上養沢行バスで終点まで行き、養沢神社から養沢川沿いの道を歩いて下り、五柱神社から乙津の山裾の長閑な道を檜原街道の畔荷田バス停まで歩いた。

観察した鳥：14 種（ベスト：アオサギ）

キジバト、アオサギ、ダイサギ、コゲラ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、メジロ、ジョウビタキ、キセキレイ、ホオジロ

参加者：6 名

概要、感想等：

養沢川にアオサギが何度も出現した程度でベニマシコ、アトリ、シロハラなどの冬鳥、カワガラスを期待したが、不発であった。風花が舞う寒さが身にしみた。五柱神社の前に杉の巨樹の看板があり、樹齢約 400 年、幹回り約 8 メートルと表示されていた。堂々たる圧倒的な杉の巨木を拝み、パワーをもらった。

（担当 粕谷 和夫、千葉 槇子）

#### ○遠出探鳥会 都市公園シリーズ⑯ 都立・舎人公園

日時：2 月 3 日（土）10:00～13:15

天気：快晴

集合：舎人ライナー舎人公園改札前 9:50

行程：JR 高尾駅発 8:06→神田→日暮里（舎人ライナー）→舎人公園駅着 9:40 舎人公園駅発 9:55→舎人公園（観察・昼食・休憩）⇒舎人公園駅着 13:35 舎人公園駅発 13:43→西日暮里→京王新宿駅→高尾駅着 15:32 解散：舎人公園 13:25

観察した鳥：34 種（ベスト：クイナ バン シロハラ ユリカモメ）

ヒドリガモ マガモ カルガモ キンクロハジロ コガモ カイツブリ キジバト カワウ アオサギ クイナ バン オオバン ヒメアマツバメ ユリカモメ トビ カワセミ コゲラ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス メジロ ムクドリ シロハラ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ アトリ カワラヒワ アオジ カワラバト（ドバト）

参加者：16 名

概要・感想等：

舎人公園駅の改札前で、足立区野鳥モニターの鈴木さんが待っていてくださった。お仲間の酒井さん、平石さんも。参加者 16 名は駅横の広場でご挨拶、そしてコースの説明等を聞く。先ずは大池東側へ。移動途中、カワセミ、ユリカモメ、ヒドリガモ等を見つける。第 1 ポイントのスターはクイナ。バンとオオバンが目の前にいる。クイナは葦の中から時々顔を出す。時に見やすい所にほんのわずかな時間出てくる。見逃すとしばらくはバンで楽しむ。キャンプ場に行くとジョウビタキ・オスがフレンドリーな態度で迎えてくれる。至近で撮影。でも逃げようとしめない。鈴木さんは、いつもそうです、とのこと。多目的広場へはシロハラ、ツグミが案内してくれた。遠く、日光の山々と筑波山が見えた。丹沢も。梅林ではメジロ、そしてその隣では樹上にアトリの群れ。

車道を渡ってカラスの捕獲小屋付近へ移動。キジバト…。水鳥の池・みんなの広場で昼食。ヒメアマツバメが飛ぶ。風は微風。穏やかな時間。自然観察園ではアオサギがのんびり。午前の早い時間帯にはオオタカやハイタカがいたとのこと。大池西側へ移動。ユリカモメ、カワラバト等が一斉に飛び立つ。もしや、と猛禽を探すがいない。マガモやカルガモとの交雑種が沢山いた。最後は桜広場周辺へ。アオジ、モズを確認。

駅横の広場に戻り鳥合せをした。34 種。満足の出来る種類数。でも鈴木さんは、いつもならもっと見られたのに！と残念がる。いえいえ、私たちは満足しています、と伝え、お別れした。舎人公園の主、鈴木さん、酒井さん、平石さんに感謝

(担当 加藤 岸男)

## ○遠出探鳥会 秘湯めぐり探鳥会⑩ 埼玉 大麻生・宝登山と柴原温泉（第 1 回）

日時：2024 年 2 月 8 日（木）～9 日（金）1 泊 2 日

天気：1・2 日目共に晴れ

日程：

第 1 日（2/8 木）集合：秩父鉄道大麻生駅改札口 9:30 高尾駅発 7:06→西国分寺駅着 7:31・7:41 発（むさしの号）→大宮駅着 8:15・8:30 発（高崎線籠原行）→熊谷駅着 9:06・9:21 発（秩父鉄道）→大麻生駅着 9:29⇒大麻生（探鳥・昼食・休憩）⇒ひろせ野鳥の森駅着 13:50・14:13 発→武州日野駅着 15:42（送迎バス）⇒宿着 15:55 ※宿：柴原温泉「かやの家」秩父市荒川小野原 1009-1 Tel.0494-54-1192  
第 2 日（2/9 金）朝探なし 宿発 8:50（送迎バス）→武州日野駅 9:06 発→長瀬駅着 9:42⇒宝登山（探鳥）⇒岩畳（昼食・探鳥）⇒長瀬駅着 13:45・14:08 発→寄居駅着 14:26・14:44 発（八高線）→高麗川乗換→八王子駅着 16:21→高尾駅着 16:28

観察した鳥：35 種（ベスト：ノスリ アトリ メジロ）

キジ マガモ カルガモ カイツブリ キジバト カワウ ダイサギ オオバン トビ ノスリ コゲラ アカゲラ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ シロハラ ツグミ ルリビタキ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ ビンズイ アトリ カワラヒワ シメ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラバト（ドバト） ガビチョウ

参加者：5 名

概要・感想等

第 1 日目：

今回は安近短。安くはないが、近場で短い秘湯めぐり探鳥会。埼玉県唯一の日本秘湯を守る会会員の宿、柴原温泉かやの家。人数は 6 名まで、ときつく言われ、2 回実施することに。その 1 回目の結果。

荒川の河川敷に広がる大麻生。ゴルフ場が出来てだいぶ環境も変わった。先ず、土手を歩く。風は強くない。ホオジロが数羽、シメが高木の上に、水路にビンズイとダイサギ。ツグミはゴルフ場の芝生の上。河畔林の中を歩いているとキジが飛んだ。遠いがアカゲラが飛ぶ。荒川の水たまりにはオオバンとカイツブリ。ゴルフ場の縁に沿って歩く。ノスリが木の天辺にいた。エナガやコゲラ、シジュウカラがいるがじっくり観察できない。アトリが落葉の上と低木の中にいた。大麻生野鳥の森公園に入ると、シロハラ、そしてビンズイがいた。ベンチのある池に着いたので、ここで昼食にした。ここでしばらく観察することに。でも、鳥が来ない。ようやくやっとルリビタキ、メジロとエナガ。地元カメラマンによると、今日はサッパリ、とのこと。

予定より早めに切り上げて秩父鉄道に乗る。武州日野駅で宿の送迎車に乗り、宿へ。落ち着いた清潔な佇まい。榎（カヤ）で作られた浴槽は高血圧症の方にいいとか…。

第 2 日目：

積雪 30 cm の柴原温泉を後にして長瀬駅へ。宝登山神社の大鳥居をくぐる。徒歩？それともロープ

ウェイ？の問いに、皆さんロープウェイを選択。往復 1200 円。山頂駅に着くと、大勢の人が山頂まで続くロウバイ園でほぼ満開の花を楽しんでいた。遠く両神山や甲武信岳が見えた。でも、鳥はいない。ツグミがやっと…。長瀬駅に戻り秩父で話題のみそポテトのお店を探しながら岩畳に向かう。途中のお店で昼食。みそポテトは極普通の味。昔は秩父の農家のおやつだったらしい。岩畳に行ったが鳥はいない。瀬にマガモが数羽のみ。河畔の林からも鳥の声はしなかった。

岩畳の東屋で鳥合せ。種類数も個体数も少ない。温泉はよかったね、とのまとめとなった。

(担当 加藤 岸男)

## ○遠出探鳥会 秘湯めぐり探鳥会⑩ 埼玉 大麻生・宝登山と柴原温泉（第 2 回）

日時：2024 年 2 月 13 日（火）～14 日（水）1 泊 2 日

天気：1・2 日目共に晴れ

日程：

第 1 日（2/12 火） 集合：秩父鉄道大麻生駅改札口 9:30 高尾駅発 7:06→西国分寺駅着 7:31・7:41 発（むさしの号）→大宮駅着 8:15・8:30 発（高崎線籠原行）→熊谷駅着 9:06・9:21 発（秩父鉄道）→大麻生駅着 9:29⇒大麻生（探鳥・昼食・休憩）⇒ひろせ野鳥の森駅着 14:05・14:13 発→武州日野駅着 15:42（送迎バス）⇒宿着 15:55 ※宿：柴原温泉「かやの家」秩父市荒川小野原 1009-1 Tel0494-54-1192

第 2 日（2/13 水） 朝探なし 宿発 8:50（送迎バス）→武州日野駅 9:06 発→長瀬駅着 9:42⇒宝登山（探鳥）⇒岩畳（昼食・探鳥）⇒長瀬駅着 13:25・13:38 発→寄居駅着 13:56・14:44 発（八高線）→高麗川乗換→八王子駅着 16:21→高尾駅着 16:28

観察した鳥：44 種（ベスト：シメの群れ ベニマシコ オオジュリン）

キジ マガモ コガモ カイツブリ キジバト カワウ オオバン ミサゴ トビ ノスリ カワセミ コゲラ アカゲラ アオゲラ モズ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス ヤマガラ ヒガラ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ ヒレンジャク ムクドリ シロハラ ツグミ ジョウビタキ スズメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ シメイカル ホオジロ カシラダカ アオジ クロジ オオジュリン コジュケイ ガビチョウ

参加者：8 名

概要・感想等

第 1 日目：

今回は安近短。安くはないが、近場で短い秘湯めぐり探鳥会。埼玉県唯一の日本秘湯を守る会会員の宿、柴原温泉かやの家。人数は 6 名まで、ときつく言われ、2 回実施することに。その 2 回目の結果。

荒川の河川敷に広がる大麻生。ゴルフ場が出来てだいぶ環境も変わった。まず、土手を歩く。ホオジロが数羽、シメが藪の中を数羽で移動している。ゴルフ場の芝生の上にツグミ。そしてシメの 50 羽以上の群れが遠く近くでせわしくなく動く。荒川の水たまりにはオオバンとオオジュリン。キジが一直線に飛んだ。ゴルフ場の縁に沿って歩く。エナガやカシラダカ、アカゲラが道案内をする。すると、木の天辺にシメ、との声。もうシメはいい、と先に進むと後ろの方で、ヒレンジャクだ、と大騒ぎ。数名のみが見られた。遅くなったので少し急ぎ。ベンチのある池で昼食にした。ここでしばらく観察する。でも鳥が来ない。地元の方達も、今日はダメ、とのこと。

仕方なく荒川の流れの方に行ってみたが、変化はなく、池に戻った。でもシジュウカラとエナガ、メジロだけ。でも、クロジのメスが水飲みに来て、少しだけ慰めてくれた。

再度秩父鉄道で武州日野駅へ。宿の送迎車に乗り、今日の宿、かやの家へ。山道にはまだ沢山の雪が残っていた。落ち着いた清潔な佇まい。おいしい料理を堪能する。明日は探鳥というより観光になります、と伝えた。

第 2 日目：

宿の送迎車で武州日野駅に戻り長瀬駅へ。宝登山神社の大鳥居をくぐる。今回も全員がロープウェイを選択。往復 1200 円。山頂駅に着くと、皆さん暑くて上着だけでなくシャツも脱いだ。ロウバイは満開、両神山や甲武信岳を主峰にした奥秩父の山々がよく見えた。でも、鳥はいない。長瀬駅に戻る途中、今日は観光なので、天然氷の店に入り、かき氷をいただく。なんと 1400 円も…。確かにおいしかった。秩父で話題のみそポテトのお店を探すが、どこも定休日。諦めて岩畳に向かう。カワセミ、マガモ、カイツブリがいた。岩畳の東屋で鳥合せ。種類数はますますかな…。予定より早い電車で寄居へ。でも八高線は 50 分待ちだった。探鳥と観光を楽しんだ旅となった。

(担当 加藤 岸男)

### ○月例探鳥会 北浅川（松枝橋～陵北大橋）

日時：2024 年 2 月 11 日（日）8:00～10:45

天気：晴れ

場所：北浅川（松枝橋～陵北大橋）

観察した鳥：40 種（ベスト：イカルチドリ、アオジ、ジョウビタキ）

キジ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、イカルチドリ、ミサゴ、トビ、コゲラ、アカゲラ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ムクドリ、アカハラ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、ベニマシコ、シメ、イカル、ホオジロ、カシラダカ、アオジ、コジュケイ、カワラバト（ドバト）、カオグロガビチョウ、ガビチョウ

参加者：22 名

概要・感想等：

天気は快晴で探鳥会日和でした。出発して雑木林の中を行くとアオジがあちこち飛んでいた。コジュケイの声も聞こえてきた。キジのオスが松枝住宅手前付近の畑の川側のブッシュの上にどこからか飛んできてきれいな姿を見せてすぐに消えた。ジョウビタキのオス、メスが再三見られた。モズ、ツグミ、ウグイス、エナガの姿が見られた。天使病院裏堰で小休憩、イカルチドリ 2 羽、セキレイ 3 種、カモ類は、ヒドリガモ、マガモ、カルガモがみられた。期待したタシギ、カワセミは見られなかった。

（担当 中村 后子）

### ○平日探鳥会 高尾山周辺探鳥会 町田 相原中央公園・七国峠・造形大学裏

日時：2024 年 2 月 28 日（水）9:00～13:00

天気：快晴

集合：JR 横浜線相原駅改札口 9:00

行程：JR 高尾駅発 8:31→八王子駅発 8:46→相原駅着 8:55・9:00 発⇒諏訪神社⇒相原中央公園着 9:40（休憩）・9:50 発⇒相原七国峠古道⇒七国の尾根緑地着 11:00（休憩・昼食）11:45 発⇒造形大学裏（市道）⇒JR 相原駅着 13:00・13:13 発 解散：JR 相原駅 13:05

観察した鳥：24 種（ベスト：ノスリ アオジ）

キジバト ミサゴ トビ ノスリ コゲラ アオゲラ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス ヤマガラ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ シロハラ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ アオジ コジュケイ カワラバト（ドバト） ガビチョウ

参加者：12 名

概要・感想等：

2 日続いた台風並みの強風も止み、穏やかな天気となった。相原駅を出発するとすぐにカラスにモビングされているノスリを発見。諏訪神社には夕焼け小焼けの碑があった。中村紅雨が養子に來たとのこと。相原中央公園に着くとモズの番が迎えてくれた。トイレ休憩をして出発。エナガやコゲラ等の小さな混群、階段にシロハラ、上空をミサゴが通過した。尾根筋に出るとアオジが道案内。七国峠を過ぎるとアオゲラ。

のんびり、ゆっくり歩いたけれど、ドッグランのある七国公園には予定より 30 分早く到着した。遠くは日光白根山や男体山・女峰山、近くは景信山や高尾山等を眺めながら昼食にした。アオジの群れを見ながら再度町田市と八王子市の境の尾根に戻る。「ダーウィンが来た」で放送されたムササビが営巣する幼稚園の横を通過。ウグイスのまだ下手な囀りを聞く。造形大学の裏を通り、相原とみなみ野を結ぶ市道に出た。相原駅までは車道を歩く。梅が満開だった。

（担当 加藤 岸男）

### ○公開探鳥会 浅川・多摩川合流～多摩川石田大橋

日時：2024 年 3 月 10 日（日）8:15～11:40

天気：晴

場所（コース）：浅川・多摩川合流部（右岸）・・・（浅川右岸を上流方向に進む）・・・新井橋（左岸に渡る）・・・（浅川左岸を下流方向に進む）・・・浅川・根川・多摩川合流部・・・（多摩川右岸を上流方向に進む）・・・北川原公園（解散）

参加者：54 名（一般参加者 29 名（小人 2 人含む）、会員 25 名）



確認した野鳥：45 種（本日のベスト：キジ、ベニマシコ、クサシギ、カワウ・コサギ・ダイサギの混群の漁）

キジ、カルガモ、コガモ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、クイナ、バン、オオバン、ヒメアマツバメ、イカルチドリ、クサシギ、トビ、ハイタカ、ノスリ、カワセミ、コゲラ、チョウゲンボウ、モズ、オナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒバリ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ムクドリ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、キセキレイ、ハクセキレイ、カワラヒワ、シメ、ホオジロ、ベニマシコ、カシラダカ、アオジ、カワラバト（ドバト）、ガビチョウ

概要：

集合場所の浅川・多摩川・大栗川の三川合流部では開会を待つ間にカワセミが飛ぶ。開始早々合流部の石原に下り対岸の草地にジョウビタキ、石原にイカルチドリ、川の中にダイサギ、岸边にいるアオサギを観察する。遠くの方ではカワウにバンの群れが流れに逆らい浮く様が見られる等、幸先の良いスタートとなった。浅川堤防右岸下に戻り上流方向に進む。草地の敷上にモズ、遠くでキジも鳴く、河畔林や小公園のコナラ等の樹幹をコゲラが上り下りし、エナガ、シジュウカラにヤマガラも出現した。大きな木の古巣（カラスの巣？）の周りではオナガ数羽がウロツク様子なども見られた。上空をチョウゲンボウが多摩川方向に飛ぶ。新井橋上ではクサシギとカワセミが出現しジックリと見られた。浅川左岸に渡り下流に進む。日野市清掃工場付近では、コサギ 30 羽、カワウ 10 羽、ダイサギ数羽の混群が川底を突っつき、潜り、川中を動き回る集団漁？の様子が観察でき本日のベストとなった。川岸の枯れたアシの間隙をベニマシコが飛ぶのも見られた。三川合流部の多摩川右岸堤防に出て上流に進む。ノスリが上空を飛び、解散地点の北川原公園ではヒバリが出た。

天候に恵まれ、多くの市民・会員に参加いただいた。一行の列が長くなったが、確認した野鳥の種類数や冬鳥も多く見られ、満足頂けたと思っています。

（担当 門口 一雄）

#### ○平日探鳥会 高尾山周辺探鳥会 藤野 佐野川の林道と鷹取山

日時：2024 年 3 月 13 日（水）8:30～13:40（降雨のため 1 日延期して実施）

天気：晴れ

集合：JR 中央線藤野駅改札口 8:00

行程：JR 高尾駅 7:39 発→藤野駅着 7:52・8:10 発（路線バス）→和田バス停着 8:24・8:30 発→林道入口・橋詰・上岩→鷹取山登山口 10:55→鷹取山山頂着 11:20（昼食・休憩）・11:45 発→小淵山→岩戸山→藤野駅着 13:40（鳥合せ）・14:04 発→高尾駅着 14:20、解散：JR 藤野駅 13:55

観察した鳥：23 種（ベスト：アカゲラ ウグイス イカル）

キジバト トビ コゲラ アカゲラ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス ヒガラ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ シロハラ ツグミ ジョウビタキ スズメ キセキレイ カワラヒワ ウソ イカル ホオジロ ガビチョウ

参加者：2 名

概要・感想等：

結局「藤野・佐野川の林道と藤野アルプス」となった。健脚 2 名の参加者だったので。

終点和田でバスを降りたのは 4 名だった。和田峠方面に少し進みすぐに左折して林道に入る。多数ある河津桜は満開だった。ウグイスが鳴く。キセキレイが数羽飛ぶ。カワラヒワが十数羽飛ぶ。ホオジロは木の天辺に。杉の高木の天辺でイカルもいい声を出す。

橋詰地区に入る。ミソサザイが囀るが姿は見えない。庭先で竹細工をされていたので声をかけた。高尾の陵南中学校の隣りの日産にいたとのこと。話が盛り上がり、竹カゴをいただくことになってしまった。スギやヒノキの林になると鳥の声も姿もなくなった。シロハラのみ。ただ富士山はずっと見えている。昨夜の雪が相当積もったようだ。

上岩地区に着いた。高齢者施設「銀の館」でトイレを借りることにしていたが、男のみだったので挨拶だけに。鷹取山登山口からは少しきつい登りだった。少し遠くでウソの声がした。山頂には予定よりも 1 時間早く到着。展望を楽しみながらの昼食。山頂の道標には、藤野駅まで 2 時間、とあった。藤野駅まで歩くことに異論はなかった。「藤野 15 名山」の小淵山と岩戸山。気持ちよく歩く。岩戸山を過ぎた時、ケラの声が出た。じっと待っているとアカゲラのオスが近くまで来た。じっくり観察。ここまで歩いたご褒美、という感じだった。降雨のために、1 日延期しての実施だったこのコース。四季それぞれに歩いてもいいね、との感想をいただいた。

（担当 加藤 岸男）

## ○遠出探鳥会 都市公園シリーズ⑩ 東京港野鳥公園

日時：2024 年 3 月 16 日（土）10:00～13:45

天気：快晴

集合：東京モノレール流通センター駅改札口付近 9:40

行程：JR 高尾駅発 8:04（特快）→神田駅発 9:11 発→浜松町駅発 9:26→

流通センター駅着 9:36・9:45 発⇒東京港野鳥センター着 10:00（探鳥・昼食・休憩）・14:00 発⇒流通センター駅発 14:21→浜松町駅→東京駅発 14:53（特快）→高尾駅着 15:49、解散：東京港野鳥公園芝生広場 13 時 55 分頃

観察した鳥：34 種（ベスト：オオジュリン カンムリカイツブリ コサギ）

ヒドリガモ マガモ カルガモ ハシビロガモ コガモ ホシハジロ キンクロハジロ スズガモ カイツブリ カンムリカイツブリ カワウ アオサギ コサギ ヒクイナ オオバン イソシギ トビ コゲラ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス メジロ ムクドリ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ オオジュリン カワラバト（ドバト）

参加者：16 名

概要・感想等：

流通センター駅から東京港野鳥公園までは徒歩で 15 分。ツグミしかいなかった。先ず自然生態園に行く。3 号観察小屋にはハシビロガモの番とオオジュリンが目の前にいた。遠くでマガモの番が愛情確認の動作を繰り返していた。4 号観察小屋は閉鎖中。芝生広場に戻り、東観察広場から見える東淡水池を探す。ツグミとモズのみ。ノスリもいない。ネイチャーセンター2Fから潮入りの池を探す。遠くにカモ類が少しいる程度。イソシギが慰めてくれた。2 つの観察小屋を飛ばして、先に前浜干潟を見に行く。観察デッキからじっくり探す。目の前にコサギ。魚を取るのに夢中。次々と高い確率で捕え、食べていた。イソシギが飛び、色鮮やかになったカンムリカイツブリが近くに来る。遠くでは、ヒドリガモとホシハジロの小さな群れ。スズガモも、キンクロハジロもいた。

ネイチャーセンターに戻り昼食。すると、2 号観察小屋でヒクイナが 30 分おきに出ている、との情報をいただいた。食事もそこそこに 2 号観察小屋へ。葦の中にいるらしいが、なかなか姿を見せない。極短時間、一人が確認したのみ。芝生広場に戻って鳥合せ。

レンジャーの、鳥が少ないんですよ、という言葉に、納得。

（担当 加藤 岸男）

## ○平日探鳥会 多摩動物公園（コウノトリを主体とした観察会）

日時：2024 年 3 月 19 日（火）10:30～14:15

天気：晴れ

コース：多摩動物公園内で、コウノトリの他、ワシタカ類、ツル類、水鳥等の飼育ケージを中心に回った。

観察した鳥：20 種（ベスト：トビ、ハシボソガラスの巣資材運び、ジョウビタキ）

以下は、公園の飼育下にある鳥は含まれていない。

キジバト、アオサギ、トビ、コゲラ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ムクドリ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、アオジ、カワラバト（ドバト）、ガビチョウ

参加者：18 名

概要・感想等：

事前に多摩動物公園の教育普及課に依頼しておいたので、コウノトリのケージ前でコウノトリの飼育担当者から日常的飼育や繁殖についての説明を受けた。飼育の関係では餌の確保の苦労話、人工繁殖の関係では国内の他施設と協力しながら、遺伝的に健全な野外個体群および飼育下個体群の維持をめざし、コウノトリの保全に取り組んでいることが理解できた。

飼育下のワシタカ類、ツル類、水鳥等の野鳥も観察できたが、鳥インフルエンザ対策で隔離されているため、昔と比べ、見られる鳥の数は少なかった。ワライカワセミは飼育舎の中で高らかに鳴いてくれた。

（担当 粕谷 和夫、浜田 早苗）

## ○遠出探鳥会 サシバ春の渡り 秦野市・菜の花台

日時：2024 年 4 月 7 日（日）9:00～14:20

天気：曇り（晴れ間あり）

集合：小田急線秦野駅改札口付近 8:15

行程：高尾駅発 6:50→八王子駅発 7:03→町田駅発 7:40→秦野駅着 8:12 秦野駅発 8:24→菜の花台バス停  
着 8:49→展望台 9:00（観察・昼食・休憩）・菜の花台バス停発 14:43→秦野駅着 15:20・15:28 発→町田駅  
発 16:13→八王子駅発 16:44→高尾駅着 16:51 解散：菜の花台 14:20 頃

観察した鳥：24 種（ベスト：サシバ ノスリ カワウ）

カワウ アマツバメ ヒメアマツバメ トビ ツミ オオタカ サシバ ノスリ コゲラ アオゲ  
ラ サンショウクイ（リュウキュウ） ハシボソガラス ハシブトガラス ヤマガラ シジュウカラ  
イワツバメ ヒヨドリ ウグイス メジロ オオルリ マヒワ ウソ ホオジロ ガビチョウ

参考：ハヤブサ、ハイタカ（現地観察者情報）

参加者：13 名

概要・感想等：

心配した天候。前夜の気象情報で大丈夫そうだったので実施した。前夜の問合せ者 1 名。

菜の花台に着いた時は、相模湾・箱根方面は霞んでいた。車で来た参加者が、もう 6 羽飛んだよ、と教えてくれた。以前会報に原稿をいただいた臼井さんにご挨拶をして観察開始。メジロがほぼ満開のサクラで騒がしく鳴く。ホオジロも。居付きのノスリが近くを飛ぶ。渡りのノスリが遠くを飛ぶ。今日のメインのサシバも遠く近くを時々飛ぶ。ウソの声。オオルリの声。アマツバメが高く飛ぶ。

11 時を過ぎると霞みが徐々に薄くなり、湘南平や箱根、秦野の街もすっきり見えるようになった。箱根の二子山の上空で見つけたサシバが湘南平の上空から江の島方面にものすごいスピードで渡っていく。時には、弘法山付近の低空をやはり猛スピードで通過する。12 時過ぎると、頭上近くで上昇し渡っていくサシバが 2～3 羽ずつやってくる。静岡方面の今日の通過はなし、との情報をいただく。午後は期待できないか、と思っていると、時には 1 羽で、時には数羽で通過していくサシバ。そのたびに首が痛くなるのを我慢して見送る。ツバメ類も時々飛ぶ。53 羽のカワウが相当な高度を V 字に隊列を組んで通過していった。みなさん、妙に感激していた。14 時過ぎから鳥合せ。この時点のサシバの渡り個体数は 33 だった。（本日の正式記録は、渡りのサシバは 36 羽、ノスリは 6 羽、とのこと。）

大変お世話になった臼井さんにお礼を言って、バスに乗り込んだ。皆さん、ますます、といった顔をしていた。

（担当 加藤 岸男）

## ○遠出探鳥会 都市公園シリーズ⑦ 多磨霊園・野川公園

日時：2024 年 4 月 13 日（土）9:40～13:15

天気：晴れのち曇り

集合：多磨霊園表門付近 9:25

行程：高尾（京王）駅発 8:06→多磨霊園駅着 8:50・9:02 発（路線バス）→多磨霊園表門着 9:08（武蔵小金井駅南口発 9:05→表門着 9:21）多磨霊園表門発 9:40 発⇒外国人墓地・1 区・8 区・7 区・5 区・22 区（通称朴の木ロータリー）⇒浅間山公園（中山）着 12:00（昼食・休憩）・12:35 発⇒前山付近⇒浅間山公園（中山）着 13:15（鳥合せ・解散）→東府中駅発 14:01

観察した鳥：24 種（ベスト：ホンセイインコ ツミ オナガ）

キジバト ツミ コゲラ アオゲラ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス ヤマガラ シジュウカラ ツバメ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ ムクドリ シロハラ ツグミ スズメ カワラヒワ シメ イカル カワラバト（ドバト） ガビチョウ ホンセイインコ（ワカケホンセイインコ）

参加者：23 名

概要・感想等：

多磨霊園探鳥会では珍しくいい天気になった。雨の心配はなし、寒くもなし、風もなし。

ご案内の大原さんに、多磨霊園の近況をお聞きし出発。表門付近のここかしこで鳴いていたオナガを外国人墓地でじっくり観察。散りかけのサクラにも止まった。シメの音がするがなかなか探せない。イカルの声もするが…。ホンセイインコも飛び交う。アオゲラの開けた巣穴にホンセイインコが入るのが見られた。時に外を覗いたり、飛び出したり。更に進むと、墓地の塀の手前に下りたアオゲラを発見。少し見にくかったがどうにか観察できた。声だけだったイカルもシメも樹上に多数出現。しかしゆっくり見せてくれない。

エナガの巣を見つけている方たちの横を通り過ぎて、浅間山公園に向かう。前山に到着。キジバトが夫婦のきずなを確かめているのを見ながら昼食。アカゲラのポイントを過ぎると、樹上見えにくい所にいた小型猛禽類を見つけた参加者がいた。場所を調整しながら観察するとツミのオスだった。小鳥達がいなかったのはこのためだったのか…。

前山付近を一周して中山の東屋で鳥合せ。渡り途中の夏鳥達の大爆発には出会えなかったが、小爆発には出会えた。萌黄色の木々の中を歩くのは大変いい気分だった。大原さんに次回のご案内もお願いして解散した。浅間山下のバス停で、東府中駅方面と武蔵小金井駅方面に分かれて帰路に着いた。

(担当 加藤 岸男)

#### ○月例探鳥会 北浅川（松枝橋～小田野中央公園）

日時：2024 年 4 月 14 日（日）8:00～11:00

天気：晴れ

コース：北浅川 松枝橋～小田野中央公園

観察した鳥：35 種（ベスト：イカル、キジ、カワセミ（オス、メス））

キジ、マガモ、カルガモ、カイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、クイナ、トビ、カワセミ、コゲラ、アオゲラ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、セッカ、ムクドリ、スズメ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、シメ、イカル、ホオジロ、アオジ、コジュケイ、カワラバト（ドバト）、ガビチョウ

参加者：14 名

概要：

天気も良く探鳥会日和でした。集合場所にイカルの群れ（30+）が行ったり来たり、その中にシメ 1 羽がいた。アオゲラのドラミングが集合場所付近の左岸から聞こえた。

キジ、コジュケイ、ウグイス、ガビチョウの声もよく聞こえた。天使病院裏堰上流でクイナを数人が見る事ができた。又、このコースでセッカの声（今季初認）が聞こえた。カワセミも 3 回見られ、また、同時にオス、メスも見られた。鳥合わせ後、カワセミ会記念樹のさくらの満開の下でお弁当を食べながら、思い出話や昔懐かしい話に花を咲かせて楽しいひとときを過ごした。

(担当 中村 后子)

#### ○平日探鳥会 高尾山周辺鳥会 藤野・湖周辺を歩いて Shu で昼食

日時：2024 年 4 月 19 日（金）8:15～11:40

天気：快晴

集合：JR 中央線藤野駅改札口 8:00

行程：JR 高尾駅 7:40 発→藤野駅着 7:52・8:15 発→澤井地区日野→吉野→勝瀬橋 11:05→Shu 着 11:4（昼食・休憩）・13:00 発→藤野駅着 13:30・13:38 発→高尾駅着 13:51 解散：藤野駅 13:30 頃

※カフェレストラン Shu 相模原市緑区日連 042-687-2333

観察した鳥：38 種（ベスト：イソヒヨドリ センダイムシクイ キビタキ ウグイス）

キジ カルガモ キジバト カワウ アオサギ トビ ノスリ コゲラ アオゲラ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス ヤマガラ ヒガラ シジュウカラ ツバメ イワツバメ ヒヨドリ ウグイス ヤブサメ エナガ センダイムシクイ メジロ ムクドリ イソヒヨドリ キビタキ オオルリ スズメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ シメ イカル ホオジロ コジュケイ カワラバト（ドバト） ガビチョウ

参加者：13 名

概要・感想等：

新緑そして好天。少し汗ばむ。風はやや強かったが気分のいい探鳥会になった。

藤野駅を出るとイソヒヨドリが出迎えてくれた。本日の第 1 個体。澤井トンネルの入り口を右折して藤野神社方面に向かう。イソヒヨドリ 2 個体目。峠（？）の手前でキビタキの声。近い。でも視認はできなかった。ノスリも頭上を飛んだ。ホオジロを確認しながら沢井川に沿って歩く。イソヒヨドリ 3 個体目を確認。ウグイスの声も近い。藪の中をうろちょろしている。じっと待っていると時々見える。どうも巣材を運んでいるようだ。写真で確認。急いで移動する。少し進むとオオルリの声が遠くで聞こえた。クロツグミの声だ、と思ったが、じっくり聞くとガビチョウの鳴きまねだった。センダイムシクイも近く遠くで鳴いた。旧吉野小学校の横を進む。イソヒヨドリ 4 個体目。奈良本の休憩舎で休む。

吉野地区を歩いていると、邪魔だ、歩き方を考えろ！叫びながら通り過ぎたランナーがいた。車道



から入ると、ホタルカズラのきれいな花があった。20号線を横断し勝瀬橋へ。遠くにはカワウ、上空をアオサギが飛んだ。青田の遊歩道はカット。そのまま進むと野菜の販売所があった。タケノコを買った方もいた。

本日の目的地・カフェレストラン Shu にはほぼ予定通りに到着。料理を注文して待つ間に鳥合せをした。38種も。少しびっくりした。夏鳥がほぼそろったからだろうと思う。おいしい料理をいただき、藤野駅まで歩く。途中でイソヒヨドリ 5 個体目。Shu の雰囲気も料理もますます、とのことだった。

(担当 加藤 岸男)

### ○遠出探鳥会 里山を歩く(平塚市北豊田の田んぼ)

日時：2024 年 5 月 9 日(木) 10:05~14:50

天気：曇り後晴れ

コース：伊勢原駅から平塚行バスで東橋バス停下車、鈴川右岸の遊歩道を北上、えのしろ公園で昼食、岡崎大橋から北豊田の田んぼで探鳥後、東橋バス停まで一周した。

観察した鳥：21 種(ベスト：チュウシャクシギ、オオヨシキリ)

カルガモ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、イカルチドリ、チュウシャクシギ、トビ、カワセミ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒバリ、ツバメ、オオヨシキリ、セッカ、ムクドリ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ、カワラバト(ドバト)

参加者：5 名

概要、感想等：

先ず、鈴川で、オオヨシキリ、カワセミ、イカルチドリ、カルガモ、アオサギ、ダイサギなどを観察。田んぼでも休耕田のヨシ原でさえずるオオヨシキリを比較的近くで観察。田んぼには未だ水が引かれてなく、代掻き前の耕耘がトラクターで行われていて、そのトラクターの後ろにムクドリ、ハクセキレイ、ハシブトガラスが来て採餌していた。そのような中でチュウシャクシギ 2 羽は耕耘直後の田んぼに来ていた。

(担当 粕谷 和夫、千葉 槇子)

### ○密猟防止パトロール(小下沢林道)

日時：2024 年 5 月 12 日(日) 7:00~ 8:00

天候：くもり

場所：小下沢林道

参加者：3 名

概要：

定刻 7 時に、3 名の参加で小下沢梅林前から密猟防止パトロールをスタートした。日差しはないが比較的暖かい朝だった。ゆっくりと林道を進んでいくと、キビタキやオオルリ、クロツグミの声が聞こえた。さらに進むとサンコウチョウの声も。

30 分ほど歩いた地点で引き返す。途中数名の登山者、バイク等とすれ違ったが、密猟と思しき不審者とは出会わなかった。

(担当 佐藤 哲郎)

### ○月例探鳥会 裏高尾(小下沢林道) オオルリを探す会

日時：2024 年 5 月 12 日(日) 8:45~10:55

天気：曇り

コース：小下沢林道の中央高速道路ガード手前の空き地に集合し、小下沢林道を浩宮殿下御誕生記念植樹の記念碑の数百メートル先まで進んで折返し、浩宮殿下御誕生記念植樹の記念碑の所をゴールとした。

観察した鳥：17 種(ベスト：オオルリ、キセキレイ)

トビ、コゲラ、アオゲラ、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、ヤブサメ、エナガ、メジロ、ミソサザイ、クロツグミ、キビタキ、オオルリ、キセキレイ、ガビチョウ

参加者：20 名

概要、感想等：

2024 年総会資料では「公開探鳥会」となっていたが、2019 年の 19 号台風で林道が崩壊された箇所への復旧工事が続いていて、公式には、未だ「日曜日は作業は行われませんが、危険であるため通行注

意」という状態なので公開を止めて月例探鳥会として久しぶりに復活した。事前の下見ではカワセミ  
会会員の歩行には大きな支障は無いと判断して実施したものである。

オオルリは旧キャンプ場跡地（ザリクボ分岐）の手前の林道の上に張り出す枝にオスが止まっていたので、参加者全員が近くで観察することができた。夏鳥は他にヤブサメ、クロツグミ、キビタキの  
鳴き声を確認できたが、全般に野鳥が少なかった。他にテン（哺乳類）、ヤマメ（魚類）、オオバウマ  
ノスズクサ（植物）の花などを観察できた。

（担当 粕谷 和夫）

### ○高尾山周辺探鳥会 大月市秀麗富嶽シリーズ⑧ 雁ヶ腹摺山と姥子山

日時：2024 年 5 月 14 日（火）8:30～15:00

天気：晴れのち曇り

集合：JR 中央線大月駅改札口 7:45

行程：JR 高尾駅発 7:07→大月駅着 7:43・7:50 発（自家用車 2 台に分乗）→大峠登山口着 8:30・8:45 発  
→雁ヶ腹摺山着 10:00・10:15 発→姥子山着 11:30（休憩・昼）・12:05 発→林道終点着 15:00（鳥合せ）・  
15:25 発→大月駅着 15:50・16:13 発→高尾駅 16:56 着 解散：奈良子林道終点 15:25

観察した鳥：25 種（ベスト：オオルリ コマドリの声 コルリの声）

ツツドリ コゲラ アカゲラ アオゲラ カケス ハシブトガラス コガラ ヤマガラ ヒガラ  
シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エゾムシクイ センダイムシクイ ゴジュウカラ ミソサザイ  
クロツグミ アカハラ コマドリ コルリ ルリビタキ キビタキ オオルリ キセキレイ イカル

参加者：9 名

概要・感想等：

大峠に向かう車中、真木付近で霧雨がだんだん濃くなって焦ったが、高度を上げるに従って晴れ間  
も見えてきて安心した。大峠ではきれいな富士山とオオルリの声が歓迎してくれた。ヒガラやルリビ  
タキはひっきりなしに囀り、コマドリも姿は見せないが声はコース全体で頻繁に聞こえた。アカゲラ  
のオスも登場。じっくり観察した。山頂へもう少しの場所でコルリが短く鳴いた。ゴジュウカラの声  
も少し遠くから。雁ヶ腹摺山へは予定通りに到着。島根から富士山の展望台巡りに来られていたご夫  
妻に会う。ここからの富士山は流石！という感じだった。

姥子山へ向かって高度差 300m の下り。昨夜の雨で滑りやすい。慎重に下る。ヒガラとコガラが姿を  
見せてくれた。センダイムシクイの声もした。途中、濃霧が出てきた。奈良子林道まで下り、お二人  
はここで待機、7 名で姥子山に向かう。少し険しいコースを西峰、そして東峰へ。予定より 10 分遅れ  
で到着。しかし濃霧で富士山は見えない。昼食、そして休憩。奈良子林道に戻り、約 7km の林道歩き  
が始まった。ミソサザイはコース全体のどこでも鳴いていた。小さな流れのところでやっと姿を観察  
できた。キビタキもようやく登場。その後はひっきりなしに鳴いた。林道歩きに飽きはじめて、こ  
ろ、木々の向こうに後ろ向きのオオルリを発見。やっと全員が観察でき、目が覚めた感じになった。少し  
進むと今度は前向きのオオルリがいた。堪能する。キセキレイとエゾムシクイ、ツツドリの声を聞き  
ながら、奈良子林道終点に到着した。

運転手は大峠まで車を取りに行き、戻ってから鳥合せ。残念ながら、下見の時に聞いたジュウイチ  
は鳴かず、2 羽見たヤマドリは出なかった。車を提供してくださった会員 2 名に感謝。みんな満足気な  
顔だった。

（担当 加藤 岸男）

### ○遠出探鳥会 玉原湿原・玉原高原

日時：2024 年 5 月 16 日（木）10:00～14:50

天気：曇り

場所：玉原湿原、玉原高原（10:00～14:50）

参加者：22 名（カワセミ会員 17 名、会員外 5 名 2 班編成で探鳥・植物観察）

コース：八王子駅 6:30 集合⇒コンビニ⇒圏央道あきる野 IC⇒上越道沼田 IC⇒玉原センターハウス着⇒  
玉原高原探鳥コースのブナ平迄往復⇒バスの中で昼食⇒玉原湿原散策 植物・鳥観察⇒玉原センタ  
ーハウス⇒JR 八王子駅南口 解散 18 時

観察した鳥：25 種（ベスト：コルリ アオジの囀り、クロジの地鳴き・囀り）

キジ オシドリ ツツドリ カヤクグリ コゲラ アカゲラ アオゲラ カケス ハシブトガラス  
ヒガラ シジュウカラ ヤブサメ ウグイス センダイムシクイ ゴジュウカラ ミソサザイ ノビ  
タキ ルリビタキ コサメビタキ キビタキ ビンズイ アオジ クロジ コルリ コマドリ

\*テツカエデの葉に羽化したばかりの春ゼミがいて太陽が照り始めたら春ゼミが鳴きだした。鳴き声にも感激した。

観察した花・樹木：

ブナ ハウチワカエデ ヒロハツリバナ テツカエデ ホオノキ イタヤカエデ ウリハダカエデ トチノキ オオカメノキ ツクバネソウ ハンゴンソウ ミヤマナラ アオダモ ササの仲間 ミズメ シナノキ コバイケソウ ミズバショウ キンコウカ アスナロ ヌマガヤ ムラサキヤシオ オゼタイゲキ（ハクサントタイゲキの変種） リョウブ ワタスゲ オオバクロモジ

概要・感想等：

今年もバスで行く遠出観察会。再募集したが参加者が今年は少なく前日まで募集受付をした。前日、発熱、腰痛、捻挫など急なキャンセルが多く出て、会員外5名を急遽誘った。27人乗り中型バスで参加者22名。バス代は高速代金値上げなどで臨時徴収し6600円かった。

前日の天気予報では上空5500m付近で-24℃以下の強い寒気が日本海に南下し、低気圧が発生で大気が非常に不安定で雷突風の注意報が出た。昨年も雨具や十分な防寒着がなく肌寒かったので雨と天気を心配した。当日は雨も降らず転ぶ人もなく、霧にむせぶブナ林散策や玉原湿原散策の時は晴れ間が出て、探鳥・植物観察など楽しめた。クロジの地鳴きとさえずり、アオジのさえずりなどを皆で聞き比べ楽しんだ。帰りのバスの中での話は、霧がかかり、新緑のブナ林は別世界にいるようで素晴らしかったとの感想が多く出た。高尾山の貴重なホンブナの話、日本の林やブナ林の美しさに感動したとの感想が多く出た。テツカエデの葉に羽化したばかりの春ゼミがいた。帰るころ陽が出たら木々の林の中で春ゼミが鳴き出し、皆で春と夏を楽しんだ。バスの中での自己紹介や感想では朝早くで大変だったが、和気あいあいとして、参加して良かったとの声が多かった。今回参加者数が少なく、直前のキャンセルも多く出て苦労した。粕谷会長からバスが予定していた水曜日が取れず木曜に変更したので玉原高原センターハウスが休業でトイレが使えないことが反省で出た。雨も降らず無事楽しく行け、今回の観察会で新しい会員が増えたことが何よりもよかった。

（担当 粕谷 和夫、門倉 美登利）

#### ○遠出探鳥会 小山なまい渡良瀬遊水地（コウノトリを主体とした観察会）

日時：2024年5月22日（水）10:30～15:45

天気：曇り

コース：往きは宇都宮線の野木駅から徒歩で、帰りは間々田駅まで地域バスを利用した。往きの途中では思川の河原を少し散策した。現地では先ずコウノトリ交流館に行き、コウノトリの説明を受けた。その後、旧思川沿いの遊歩道を歩き、なまいふるさと公園に向かい堤防から人工塔で営巢しているコウノトリを観察した。

観察した鳥：27種（ベスト：コウノトリ、オオヨシキリ、ヒバリ）

キジ、カルガモ、カイツブリ、キジバト、コウノトリ、アオサギ、ダイサギ、カッコウ、トビ、チョウゲンボウ、モズ、オナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒバリ、ツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、オオヨシキリ、セッカ、ムクドリ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ、カワラバト（ドバト）

参加者：5名

概要・感想等：

人工塔の巢の中にメス親と雛が3羽いて親鳥の半分以上の大きさに育っていた。しばらくすると巢にオス親が餌を運んで来て、その後でそろって顔を上に向ける儀式のようなポーズをとってくれた。その後、オス親は頭上を越えて生井の集落の方へ飛んで行った。コウノトリ親子を堤防から観察中にキジ、オオヨシキリ、ヒバリなども観察された。少し遠くからカッコウの声が聞こえてきた。遊水地の中は賑やかにさえずっているオオヨシキリ、ヒバリがいた。近くの田んぼで大規模に栽培されている麦が収穫期を迎え、麦秋となっていた。

（担当 粕谷 和夫）

#### ○平日探鳥会 高尾山周辺探鳥会 藤野・綱子沢と藤野やまなみ温泉

日時：2024年6月3日（月）8:40～13:35

天気：曇り 晴れ間あり

集合：JR中央線藤野駅改札口 7:55

行程：JR高尾駅発 7:40 発→藤野駅着 7:52・8:08 発（奥牧野行バス）→舟久保バス停着 8:34・8:40 発⇒舟久保⇒さつき学園⇒綱子沢（折返）⇒舟久保⇒旧牧郷小学校着 12:10（昼食・休憩）・12:40 発⇒堂

地⇒藤野やまなみ温泉着 13:35（鳥合せ）・温泉入口バス停 14:16 発⇒藤野駅着 14:28・14:38 発⇒高尾駅着 14:51

観察した鳥：32 種（ベスト：キビタキ センダイムシクイ キセキレイ）

キジ キジバト アオバト ホトトギス トビ ノスリ コゲラ アオゲラ センダイムシクイ  
サンコウチョウ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス ヤマガラ ヒガラ シジュウカラ ツバメ  
イワツバメ ヒヨドリ ウグイス ヤブサメ サンショウクイ（亜種サンショウクイ） メジロ  
ムクドリ キビタキ オオルリ キセキレイ カワラヒワ イカル ホオジロ コジュケイ ガビチョウ  
（鳥合せ終了後 スズメ イソヒヨドリ）

参加者：8 名

概要・感想等：

舟久保バス停で降車し自己紹介の後出発。センダイムシクイ、キビタキ、ホトトギスの声。ツバメは電線で親から子への餌渡しをしていた。緑の木々の中の車道歩き、雨上がりで気持ちいい。アオバトも遠くで鳴く。舟久保の畑ではホオジロがネムノキに止まっていた。外国人の住民の方が飼っている七面鳥を見たが、なんとも…。ヤブサメの小さな声。さつき学園からはサンコウチョウポイント。ゆっくり耳を澄まして歩くが、声がしない。サンショウクイが鳴く。遠くにイカル。綱子地区に入る橋で折返すと、後ろを歩いていた方たちが遠くのサンコウチョウの声に気づいたが姿は見えなかったとのこと。少し進むと確かにサンコウチョウの声がした。遠い。オオルリも鳴くがやはり遠い。相変わらずキビタキは声のみ。さつき学園でトイレをお借りしていると、今年生まれのキセキレイが木の上に止まった。かわいい、黄色い、との声。

旧牧郷小学校へは 10 分遅れで到着。校庭に入ると、なんとキビタキが飛んで、雲梯に止まった。きれいなオス。校舎に沿って移動する。ベンチを日陰に移動して昼食にした。キビタキがまた近くにやって来た。ゴルフ場脇を通り、中尾八幡神社の大スギ（神奈川県名木 100 選の一つ）を見て、やまなみ温泉へ。お一人が入浴。他の方はバス停に移動し鳥合せをした。定刻にバスに乗り、藤野駅へ。

32 種も確認したのに、鳥が少ない、との印象が強い。やはり姿をじっくり見られなかったからだろう。

（担当 加藤 岸男）

#### ○遠出探鳥会 入笠湿原野草野鳥観察会

日時：2024 年 6 月 5 日（水）10:40～14:30

天気：晴れ

コース：中央線富士見駅からシャトルバスと Gondola 利用で入笠湿原までを往復した。

観察した鳥：11 種（ベスト：ノスリ、キセキレイ）

ホトトギス、カッコウ、ノスリ、ハシブトガラス、シジュウカラ、ツバメ、イワツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、キセキレイ、ハクセキレイ

参加者：7 名

概要・感想等：

この時期入笠湿原はスズランの開花が売り物になっているが、希少種のイチヨウランの開花に出合い、ラッキーだった。入笠湿原はシカの食害から野草を保護するためにネットが張りめぐらされているので、このような希少植物が守られていることを実感した。もっと希少なカモメランも開花していた。この時期入笠湿原ではクリンソウ、スズラン、マイヅルソウ、ウマノアシガタ、イヌザクラ、ズミなど春の花が咲き誇り、ノスリの飛翔、ウグイス、ホトトギスの声の共演が楽しめた。また、キセキレイが木のとっぺんに止まっていて、最初はピンズイかと間違えたが、確認するとキセキレイであった。

（担当 粕谷 和夫、千葉 槇子）

#### ○月例探鳥会 小仏川、御霊谷川経由八王子城跡

日時：2024 年 6 月 8 日（土）9:00～13:30

天気：晴れ

コース：高尾駅北口駅⇒小仏川上栢田橋⇒小仏川遊歩道⇒小仏関所跡⇒神明神社⇒中央高速道沿いの道⇒御霊谷川⇒八王子城跡入口⇒八王子城跡（御主殿の滝他）⇒鳥合わせ・解散⇒八王子城跡入口バス停（14:10）

観察した鳥：23 種（ベスト：イソヒヨドリ キビタキ シジュウカラ）

キジバト コゲラ ホトトギス アオゲラ ハシボソガラス ハシブトガラス ヤマガラ シジュ



ウカラ ツバメ イワツバメ ヒヨドリ ウグイス ヤブサメ センダイムシクイ メジロ ムクドリ  
リ イソヒヨドリ キビタキ キセキレイ イカル コジユケイ カワラバト（ドバト） ガビチョウ  
観察した動物など：＊猿の親子 ＊アオダイショウ ＊カジカガエル

参加者：20 名

概要・感想等：

総会資料では 9 日の予定だったが 9 日が環境フェスティバルとなり前日の土曜日に実施した。高尾  
駅で会長から「この辺りはイソヒヨドリが沢山見られる所なので皆で探そう」と出発。小仏川上欄田  
橋付近まで来ると、電線にオスが止まっているのを皆で観察。動き回っていた。駒木野公園と小仏関  
所の住宅街の庭でも、イソヒヨドリのオス、メス 2 羽が、庭や電線を動き回っていた。オス、メス 2  
羽が電線に並んだのを皆でゆっくり観察できた。小仏川ではカジカガエルがあちこちで鳴いていて皆  
さんから「良いですね！」との声があがった。小仏関所近くの山道に入り、神明神社に着くと、いき  
なり大きなアオダイショウがニョロニョロ出てきて皆驚き大騒ぎでした。中央高速の川沿いの山道は  
キビタキが鳴いていた。粕谷会長がオカリナで「エーデルワイス」を披露。トンネルの中でオカリナ  
が響き素敵で、皆拍手喝采でした。林の中でシジュウカラの親子が沢山見られた。

木が動き猿 2 頭に驚いていると、奥の木からも 2 頭の猿が出てきた。親子で木の枝を揺さぶり何か  
食べ物を探している様子でした。御霊谷川最上流では今頃、田んぼにはホタルが飛ぶそうです。

採れたて野菜売り場でジャガイモやズッキーニを買う人もいた。御霊谷神社で休憩し、暑い日なの  
で熱中症にならないよう水分補給しながら八王子城跡をめざし歩いた。八王子城跡ガイダンスで昼食  
を食べ午後はキビタキ、サンコウチョウを探した。キビタキは 3 か所で姿が見られた。皆写真を撮  
り、感動した様子。本日 10 時に雛が巣立ったそうで、カメラマンから可愛いヒナの写真をを見せてもら  
った。サンコウチョウは 3 か所で営巣しているが、午後のせいかわ、オスもメスも姿や、ホイホイと鳴  
きながら飛ぶ姿も見られなかった。やはりカメラマンの写真を皆で見せてもらった。ホトトギスは鳴  
いていたが、アオバト、キバシリ、クロツグミ、オオルリなどの姿は見られなかった。

参加者の皆からは、暑い日でしたが涼しい山道を歩き、川沿いの道では、いろいろな鳥も見られ特  
にイソヒヨドリオス・メスが見られて良かった。鳥の他にも、猿の親子や、アオダイショウが現れ  
た。カジカガエルの声も聞けたし、会長のオカリナも聞けたし、大変良いコースで、いろいろ楽しめ  
たとの感想が多くでて、一安心しました。

（担当 粕谷 和夫、門倉 美登利）

## ○遠出探鳥会 秘湯めぐり探鳥会⑦ 新潟・奥胎内と鷹ノ巣温泉

日時：2024 年 6 月 15 日（土）～17 日（月）2 泊 3 日

天気：1・2・3 日目共に晴れ時々曇り

集合：JR 新潟駅西改札口前 10:30

日程：

第 1 日（6/15 土）

高尾駅発 7:08→八王子駅発 7:21（むさしの号）→大宮駅着 8:12・8:47 発（とき 307 号）→新潟駅着  
10:21・10:50 発（レンタカー）→瓢湖着 11:20（探鳥・昼食・休憩）・14:00 発→奥胎内・宿着 15:40  
※19:30～20:40 ヒュッテ主催夜の探鳥会に参加 ※宿：奥胎内ヒュッテ 新潟県胎内市下荒沢  
Tel0254-48-0161

第 2 日（6/16 日）

※4:30～7:05 ヒュッテ主催朝の探鳥会に参加 宿発 8:45→胎内林道往復→奥胎内ヒュッテ→胎内平  
（昼食・探鳥）→宿着 15:40

※宿：鷹ノ巣温泉・鷹の巣館 新潟県岩船郡関川村 Tel0254-64-1009

第 3 日（6/17 月）

※5:30～6:45 鷹ノ巣キャンプ場付近を探鳥 宿発 7:55 頃→津川・狐の嫁入り着 9:45（探鳥・昼食）・  
14:00 発→道の駅和賀の里（買物）14:45 発→新潟駅着 16:00（解散）・16:30 発（とき 330 号）→大宮  
着 18:15・18:47 発（むさしの号）→八王子駅着 19:47→高尾駅着 19:56

観察した鳥：63 種（ベスト：ヤマセミ カンムリカイツブリ ヨシゴイ アカショウビンの声）

コハクチョウ オオハクチョウ ヒドリガモ マガモ カルガモ オナガガモ コガモ ホシハジ  
ロ カイツブリ カンムリカイツブリ キジバト カワウ ヨシゴイ アオサギ ダイサギ コサギ  
バン オオバン ホトトギス ツツドリ ヨタカ イカルチドリ イソシギ ウミネコ ミサゴ ト  
ビ ノスリ コノハズク アカショウビン ヤマセミ コゲラ オオアカゲラ アオゲラ ハヤブサ  
サンショウクイ（亜種サンショウクイ） カケス オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス ヤマ

ガラ ヒガラ シジュウカラ ツバメ イワツバメ ヒヨドリ ウグイス ヤブサメ センダイムシ  
クイ メジロ オオヨシキリ ゴジュウカラ ミソサザイ ムクドリ クロツグミ アカハラ キビ  
タキ オオルリ スズメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ ホオジロ

※クマタカ アオバズクの情報あり

参加者：10名

概要・感想等：

#### 【第1日目】

まずは瓢湖に向かう。あやめ祭りに大勢の方が見えていた。鳥見をしている方がいろいろ情報をく  
ださった。居残りのハクチョウ類、カモ類が思いの外多い。カンムリカイツブリの番が未だ巢作りを  
している。遠くには背中にヒナを載せているペアも。ハスの花は未だ咲いていない。ヨシゴイ探しに  
苦労する。何とか見つけても遠い。更に真夏のような暑さが堪える。パンの額板の紅さが目立つ。オ  
オヨシキリの声がうるさい。

奥胎内ヒュッテに着くと、アカショウビンの声が比較的近くから聞こえた。期待が高まる。コース  
料理の夕食の後、ヒュッテ主催の探鳥会に参加。ガイドは新潟野鳥界の重鎮布川さん。しかし、コノ  
ハズクもヨタカも遠くで鳴くのみ。こんな日もありますね、とのこと。

#### 【第2日目】

ヒュッテ主催の探鳥会は4時30分集合。宿泊者はこれが主目的。期待しているのが伝わる。アカシ  
ョウビンは勿論、キビタキ、センダイムシクイ、ホトトギス、カラ類の音がする。広い車道を進む。  
オオアカゲラが林の奥で飛んだ。アカショウビンのポイントは500mおきぐらいにあるようだ。次の個  
体、また次の個体と続けて別個体が鳴くが姿はなし。2番のイヌワシやクマタカのポイントもあった。  
帰路キビタキの姿がやっと見られた。朝食後鳥合せ。23種だった。

宿を出て再び朝の探鳥コースを歩いた。胎内ダムの入口の橋を過ぎ、更に奥の登山口手前まで。オ  
オルリとキビタキ、ゴジュウカラが歓迎してくれ、何個体も視認した。しかし、アカショウビンは声  
のみ。

ロイヤル胎内パークホテルでパンを購入し、胎内平に行く。昼食後ここを一周したが、アカハラの  
声位。

40分程走って鷹ノ巣温泉の宿へ。鷹の巣館には荒川に架かる吊り橋を歩いて到着。お湯を楽しみゆ  
っくり過ごす。すごい夕立があった。豪華な夕食。特に地元産の山菜類が美味しかった。談話室で鳥  
合せ。そしておしゃべり。長々と…。

#### 【第3日目】

朝の探鳥は宿の裏山にあるキャンプ場へ。サンショウクイとアカショウビンが極近くで鳴いたが、  
やはり姿は見えぬ。残念。1時間早めてもらった朝食もまた豪華。8時前に宿を出た。目的地は和賀町  
津川地区。奥胎内ヒュッテの夕食時に隣り合わせた横浜の方の情報で、ヤマセミが営巢中、確実に見  
られる場所とのことだった。そこで大石ダム等からここに変更した。途中、ウミネコの大群が水田で  
休んでいた。「狐の嫁入り」に到着。観光案内所を兼ねた施設の庭から阿賀野川の支流が見える。約  
100m先の対岸にヤマセミがやってくるらしい。情報を提供してくれた方もいた。10分前に上流に通過  
したとのこと。待つこと40分。上流から飛んで来た。しかしどこにも止まらずに餌を銜えて阿賀野川  
の本流側にある巣に行ってしまった。これを約1時間おきに繰り返していた。その間はオオヨシキリ  
が楽しませてくれた。昼食は場所柄「きつねの冷やしうどん」を食べた。おいしかった。14時のタイ  
ムリミットまであと15分。やっと対岸の流木に止まった。そしてまた上流へ飛び去った。これを潮に  
終了。笹だんごを購入しに地元のスーパーに行ったが4つしかなかったので、道の駅に立ち寄り、新  
潟に向かった。途中車内で鳥合せ。予定通りに上越新幹線に乗車。解散した。

目的のアカショウビンは声のみだったが、秘湯は楽しめた。良しとしよう。

(担当 加藤 岸男)

#### ○遠出探鳥会 里山を歩く(鎌倉・永福寺跡)

日時：2024年6月19日(水) 9:20~13:36

天気：晴れ

コース：鎌倉駅から鶴岡八幡宮経由、永福寺跡、瑞泉寺までを往復した。

観察した鳥：19種(ベスト：オオルリ、ホオジロ)

カルガモ、キジバト、ホトトギス、トビ、ハシブトガラス、シジュウカラ、ツバメ、ヒヨドリ、ウ  
グイス、メジロ、ムクドリ、イソヒヨドリ、オオルリ、スズメ、ハクセキレイ、イカル、ホオジロ、  
カワラバト(ドバト)、ガビチョウ。番外：ヤマユリ、タイワンリス、モリアオガエル

参加者：9 名

概要、感想等：

鎌倉駅東口の改札口の真上のツバメの巣に巣立ち間際の雛が 4 羽いて、親鳥が餌を運んで来た。巣の直下は改札口で、雛の糞が落ちる所の自動改札口は「閉鎖」されていた。永福寺跡（ようふくじあと）には池があり、ツバメ数羽が水面上を低く飛び餌を取っていた。モリアオガエルの声が聞こえ、卵胞も確認できた。

瑞泉寺までの参道はアジサイ満開、庭園にはヤマユリが咲いていた。そこにオオルリのさえずりが高らかに聞こえてきた。鎌倉でオオルリのさえずりが聞こえるとは思っていなかったのが、驚いた。帰路はイソヒヨドリのオスに 2 カ所で出会った。うち 1 カ所では側溝で水浴びをしていた。

（担当 粕谷 和夫、千葉 槇子）

## ○遠出探鳥会 夏季北海道・札幌周辺探鳥会

日時：2024 年 6 月 27 日（木）～7 月 1 日（月）4 泊 5 日

天気：第 1 日目雨、第 2 日目～第 5 日目晴れ時々曇り又は曇り時々晴れ

日程：

（1）JR 東日本・北海道「大人の休日倶楽部パス」利用の場合：12 名

【往路】6/27（木）

高尾駅発 4:57→東京駅着 6:03・6:32 発（はやぶさ 1 号）→大宮駅発 6:57→新函館北斗駅着 10:53・11:05 発（北斗 9 号）→札幌駅着 14:41

【復路】7/1（月）

札幌駅発 10:56（北斗 10 号）→新函館北斗駅着 14:45・14:48 発（はやぶさ 34 号）→大宮駅着 18:39→東京駅着 19:04・19:15 発（かいじ 51 号）→高尾駅着 20:20

（2）飛行機利用 羽田・成田空港⇄新千歳空港：3 名 （3）フェリー・車利用：1 名

観察した鳥：57 種（ベスト：アカモズ ノゴマ コムクドリ エゾセンニュウの声 ハリオアマツバメ オジロワシ）

オシドリ マガモ カルガモ カンムリカイツブリ キジバト ウミウ アオサギ ダイサギ ツツドリ ハリオアマツバメ アマツバメ イソシギ オオセグロカモメ トビ オジロワシ カワセミ アリスイ コゲラ アカゲラ モズ アカモズ ハシボソガラス ハシブトガラス ハシブトガラ ヤマガラ ヒガラ シジュウカラ ヒバリ ツバメ ヒヨドリ ウグイス エゾムシクイ センダイムシクイ メジロ エゾセンニュウ コヨシキリ ゴジュウカラ コムクドリ クロツグミ アカハラ ノゴマ コルリ ノビタキ コサメビタキ キビタキ オオルリ スズメ キセキレイ ハクセキレイ カワラヒワ ベニマシコ イカル ホオジロ ホオアカ アオジ オオジュリン カワラバト（ドバト）

参加者：16 名

概要・感想等：

【第 1 日目】（6/27）参加者 13 名

《北海道大学構内》12 種 15:45～17:30

札幌駅北口から 10 分程で、広大な敷地をもつ北海道大学の正門に到着。近くのホテルの方は既に観察中。沢山のハシブトガラスの歓迎を受ける。高木の枝先にモフモフの小鳥がいた。シロハラゴジュウカラの巣立ちヒナ。そしハシブトガラスの巣立ちヒナ。クラーク像を過ぎて蓮池へ行くが何もいない。上空にアマツバメ。雨が少しずつ強くなる中、ポプラ並木へ。アカゲラの親から巣立ちヒナへ給餌していた。雨が強くなったので早めに切り上げ、第 1 日目の反省会（？）の海鮮居酒屋へ急いだ。

【第 2 日目】（6/28）参加者 16 名

《石狩川河口》32 種 8:50～14:55

札幌駅から JR 学園都市線で太平駅へ、そこからは中央バス石狩線で石狩温泉・番屋の湯前で下車。長野県から参加の方と合流。早速、アカモズ探しに出かけた。海水浴場用の駐車場を左折する。アリスイがいた。更に進むと海岸側の草原の中にアカモズを発見。でも遠い。どうも巣があるようだ。じっくり待つと何回も低木の枯れ木の上にやって来た。アカモズの生息調査をされている方の話では激減しているとの話だった。日本全国で 40 個体…、とのことだったが、にわかに信じがたい、と思った。

ノビタキやノゴマを見ながらビジターセンターへ行く。少し早い昼食。至近でノゴマが鳴く。一部木道が整備されたはまなすの丘公園へ。原生花園の中にノビタキ、ホオアカ、ヒバリが。暑い！東屋で休憩後公園を一周する。ヒバリが樹上に。オオジュリンもいた。コヨシキリも盛んに鳴いていた。

紫色のショウブがきれいだった。再度ビジターセンターで休憩後、バス停に向かう。昨年アカモズが繁殖していた木が切られていた。突然、ジョビ、ジョビピンカケタカの鳴き声。エゾセンニュウだ。でも姿は見えない。

石狩バス停から中央バスで札幌に戻り、第2日目の反省会(?)は八王子でもなじみの居酒屋へ。

【第3日目】(6/29)参加者16名

《屯田西公園》8種 10:00~11:30

札幌駅から学園都市線で新琴似駅へ。そこからバスに乗って…、の予定だったが、バス停探しに大わらわ。バス停が見つかった時には、目の前を通過していく、という始末。どうにか40分遅れて屯田西公園に到着した。ここの狙いはチゴハヤブサ。ここ数年繁殖している、との情報で訪ねたが…、なんと大規模工事中。散歩中の方に聞くと、今年は誰も来てないよ、とのこと。あんな苦労をしてきたのに大きく外してしまった。ただ、コムクドリが繁殖中だったのが救い。2羽のヒナはまもなく巣立ちのようだった。防風林を探したが鳥影はなかった。早めに切り上げて次の目的地へ向かった。

《西岡公園・西岡水源地》13種 13:10~16:40

地下鉄南北線の麻生駅までバスで移動し澄川駅で下車。そこから路線バスで20分ほどで西岡公園に着いた。東屋で遅い昼食。そしてここまでの鳥合せをした。ここの狙いはハリオアマツバメの水飲み。既に何人かカメラマンがいた。観察の前に、参加者の友人で、近くにお住まいの方に公園を案内していただいた。クマガウのポイントを通ったが、主に朝ですな、とのこと。熊にも注意しながら一周した。

いよいよハリオアマツバメの観察。カメラもスタンバイする。数羽が遠くの湖面にやってくるがなかなか近くには来ない。撮影も難しい。ただ、徐々に十数羽の群れで近くに来るようになったが、撮影は難しい。コルリやキビタキ、アカハラの声もする。少し早めに切り上げようとしたら、相当数の群れが極近くに来了。でも撮影は難しい。

札幌駅に戻り第3日目の反省会(?)は焼き鳥専門店。もちベーコン巻きがおいしかった。

【第4日目】(6/30)参加者14名

《北海道大学苫小牧研究林》23種 8:20~11:20

7時前の特急北斗又は特快エアポートで札幌から苫小牧へ移動。そこからタクシー4台で北大苫小牧研究林へ行った。ここでの狙いはヤマゲラ。昨年はこの時期に繁殖していたので期待していたが、なんとその営巣木が伐採されていた。その他の鳥達も芳しくない。ツツドリ、ゴジュウカラ、アカハラ、イカル、アオジ等のさえずりは聞かれた。新しくなった東屋の先はヒグマの目撃情報が多発していて立ち入り禁止になっていた。水場に戻る途中、コサメビタキがいた。親子がじっくり観察していた。するとキビタキがやって来て並んだ。

研究林手前の比較的大きな池までもどり昼食にした。タクシーを呼んだら10分程で来てしまっ、慌てて昼食を切り上げ、苫小牧駅に向かった。

《ウトナイ湖サンクチュアリー》11種 13:20~15:00

苫小牧駅から道南バスで40分、ウトナイ湖ネイチャーセンター入口で下車し、アカハラとクロツグミの声を聞きながら20分ほど歩いて到着。すぐにネイチャートレイルを進み湖岸にでる。湖面には何もいない。更に進んで観察小屋に入る。しばらくするとオジロワシが2羽飛んだ。小屋から出るとオオジシギの特徴ある声が聞こえた。帰路、前を歩いていた方のみがベニマシコを見られた。残念ながらここでけがをされた方がいて、対応する。

バス停まで戻りまたバスで新千歳空港へ。快速エアポートで札幌に戻った。第4日目の食事は、全日と同じ焼き鳥屋へ。

【第5日目】(7/1)参加者9名

《北海道大学構内》16種 6:00~7:40

4時には明るくなる札幌。6時に北大正門に集合。最後の探鳥をした。すでに観察していた方がオシドリを見たとのこと。ここでの繁殖は有名だ。開始早々エゾリスがかわいい仕草で楽しませてくれた。第1日目と同じコースを歩く。蓮池でオシドリが飛んだ。ポプラ並木には何もいなかった。

10時30分に札幌駅に集合し鳥合せ。予定通りの旅程で帰路に着いた。

このフリーな形式での探鳥会を実施できる場所はどこだろうか…、車中で考えた。

(担当 加藤 岸男)



# 地元発見探鳥会の記録（2024 年 1 月～6 月）

## ○浅川 2 カ所の復元ワンドと南浅川を歩く

日時：1 月 16 日（火）9:00～11:37

天気：晴 強風

コース：八王子駅北口⇒浅川大橋⇒浅川の川口川合流地ワンド⇒浅川右岸萩原橋上流ワンド⇒鶴巻橋迄⇒八王子市役所で鳥合わせ（南浅川横川橋⇒五月橋⇒吉祥院⇒西八王子駅へ）

観察した鳥：27 種（ベスト：オオタカ イソシギ、ワンドのコガモ群）

カルガモ コガモ キジバト カワウ アオサギ ダイサギ イソシギ トビ ハイタカ オオタカ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ メジロ ムクドリ ツグミ スズメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ ベニマシコ ホオジロ アオバト カワラバト（ドバト）

参加者：8 名、体験：1 名

概要・感想等：

浅川の河川工事で復元された 2 カ所のワンドを訪ね、そのあとに南浅川に向かい五月橋から八王子の七福神のゴールになっている吉祥院まで歩く予定でしたが天気が急変し、浅川の土手は冷たい向かい風、強風が吹き始め八王子市役所前鶴巻橋迄とし、その後の合流点や、南浅川での観察は中止した。

会長から八王子駅から浅川大橋までの【桑並木通り】は、八王子は古くから桑都と呼ばれ生糸の産地として養蚕が盛んであった話があり、道路拡張の折に、桑に似た感じの和名【紅花トチノ木】俗名【マロニエ】が植えられたことや日本遺産【霊気満山高尾山～桑都物語】なども話題になり盛り上がった。

浅川大橋を渡ると早速「オオタカ」が近くで見られた。ムクドリの群れの中に頭の白いムクドリが 1 羽いた。浅川の川口川合流地の草におおわれたワンドには「コガモ」がたくさん集まって来て、観察しているとほほえましく思った。萩原橋付近で「ベニマシコ」の声を確認した。ホオジロはたくさんいたが本日目の「オオジュリン」は強風のせいが見つけられなかった。

トビが羽ばたけなくなるほど、風が強くなったので鶴巻橋迄の観察会とし市役所で鳥あわせをした。

その後の合流点や南浅川と七福神吉祥院付近での観察会は残念ながら安全確保のため中止した。

（担当 粕谷 和夫、門倉 美登利）

## ○鑑水の二つの谷戸を歩く

日時：2 月 14 日（水）9:00～12:15

天気：晴れ

コース：JR 片倉駅から大塚山公園に出て、絹の道を歩き絹の道資料館に立ち寄り、子の神谷戸（行き止まり）を往復後、永泉寺で解散した。計画では西の谷戸（行き止まり）も往復の予定であったが、時間切れとなり、この部分は中止した。

観察した鳥：23 種（ベスト：ノスリ、アオジ、ジョウビタキ）

カルガモ、コガモ、キジバト、トビ、ノスリ、コゲラ、アオゲラ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、ムクドリ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、アオジ、カワラバト（ドバト）、ガビチョウ

参加者：10 名

概要、感想等：

子の神谷戸ではアオジが多く、ノスリの飛翔もあった。この谷戸ではスズメバチの大きな古巣が目立った。カルガモ、コガモは片倉駅近くの兵衛川で、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイは永泉寺に向かう途中に大栗川で出会ったものである。

（担当 粕谷 和夫、渡辺 正樹）

## ○ 3 つの調整池と館町緑地

日時：2024 年 2 月 17 日（土）8:30～11:40

天気：くもり

集合：町田街道医療センター入口交差点付近 8:30（高尾駅南口 8:13 発館ヶ丘団地行バス「北館ヶ丘バス停」下車すぐ）

行程：浅川トンネル出口⇒館ヶ丘団地⇒殿入中央公園（トイレあり）⇒館町緑地⇒湯殿川上流部⇒上館公園着 11:40（鳥合せ・解散・徒歩 5 分で上館バス停）

観察した鳥：40 種（ベスト：アオゲラ ツグミ ノスリ オカヨシガモ）

オシドリ ヨシガモ オカヨシガモ マガモ カルガモ コガモ カイツブリ キジバト アオサギ ダイサギ オオバン ノスリ カワセミ コゲラ アオゲラ モズ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス ヤマガラ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ ムクドリ シロハラ ツグミ ジョウビタキ スズメ キセキレイ ハクセキレイ シメ イカル ホオジロ カシラダカ アオジ カワラバト（ドバト） ガビチョウ ソウシチョウ

参加者：12 名

概要・感想等：

予報に反して曇り空。でも野鳥の種類数はこのコース最高となった。

浅川トンネル入口の 1 つ目の調整池には、マガモとヨシガモ、そしてなんとオカヨシガモ。当地初観察かな…。でも個体数は少なかった。2 つ目の調整池にはオオバンのみ。館ヶ丘団地内の 3 つ目の調整池のオシドリは健在だったが個体数は少なかった。殿入中央公園に向かう途中で上空をノスリが飛ぶ。アオゲラやイカル、シメなどがいた。休耕田にはカシラダカ等のホオジロ類。館町緑地を時計回りで回ったが鳥は極端に少なかった。枝止まりのノスリのせいかもしれない…。

湯殿川ではカワセミとカルガモ、スズメ等がいた。上館公園で鳥合せをして解散した。

（担当 加藤 岸男）

### ○永林寺から寺沢里山公園

日時：2024 年 3 月 7 日（木）8:35～11:25

天気：くもり

コース：由木農協⇒永林寺⇒由木の里山⇒寺沢里山公園⇒大栗川公園

観察した鳥：29 種（ベスト：ヤマガラ、オナガ、アオジ）

カルガモ、コガモ、キジバト、ダイサギ、トビ、モズ、オナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ムクドリ、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ホオジロ、アオジ、コジュケイ、カワラバト（ドバト）、ガビチョウ、タカ sp

参加者：8 名

概要：

集合場所の八王子農協由木支店前に集まったのは 8 名。天気予報では朝から「晴」だったが曇天である。寒い日にもかかわらず参加していただき感謝！ 早速永林寺へと向かう。立派な赤門をくぐり山門の仁王様にあいさつして境内へ入る。シーンとしていて鳥の声はほとんどしない。ここはいつも手入れが行き届いていて気持ちのいい場所だ。時折、カラスの声。墓地奥にある由木城跡から三重塔を巡って永林寺は終了。ここではカラス 2 種のほかヒヨドリ、シジュウカラ、ヤマガラ、エナガなど。1 名だけシロハラを確認とのこと。

永林寺を後にして由木の里山へ向かう。途中、無人の野菜販売所を覗く。フキノトウが売られている。やっぱり春だ。

いつも通る道が通行止めとなっていたので、少し迂回して細い用水路沿いの道を歩く。用水路の中にキセキレイがいた。畑が広がる由木の里山は、それほど鳥は多くないが、それでもホオジロやツグミ、モズ、オナガの小群などが姿を見せてくれた。いつもはいないダイサギも用水路から急に飛び立って驚いた。ウグイスもまだ拙い声で鳴いてくれた。ヒヨドリの群れが畑の野菜をせっせとついばんでいた。よほど美味しいのだろう。

寺沢里山公園の入口近くでようやくジョウビタキに出会ったが、公園内では鳥が出ない。公園管理棟前で休憩していると、西側の上空高くタカの姿があった。トビでないことはわかるが遠すぎて種の判別ができない。おそらくノスリと思われたが、タカ sp としておいた。

大栗川に出ると、内田橋の上流側にカルガモとコガモの姿。大栗川公園で鳥合わせを行う。締めてみると 29 種（タカ sp 含む）とますますだった。ベストはヤマガラ、オナガ、アオジとなった。鳥合わせをしていると、ようやく日差しが出てきた。

（担当 佐藤 哲郎）

### ○松が谷を歩く

日時：2024 年 4 月 17 日（水）9:00～11:40

天気：晴れ

コース：多摩モノレール松が谷駅から多摩ニュータウン内の公園 2 カ所を回った後、低地の栗川に

出て、再び台地上の大塚公園を経由して松が谷駅まで一周した。

観察した鳥：27 種（ベスト：カワセミ、アオゲラ、アオジ）

カルガモ、コガモ、キジバト、アオサギ、ダイサギ、コサギ、カワセミ、コゲラ、アオゲラ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ムクドリ、ツグミ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ、アオジ、コジュケイ、カワラバト（ドバト）、ガビチョウ

参加者名：11 名

概要、感想等：

大塚西公園の雑木林でアオゲラ 2 羽と一緒にいる所を観察できた。東中野公園では芝生広場でカワラヒワ 2 羽がタンポポの種を食べていた。多摩ニュータウンの区域の外に出て、大栗川までの間は農家が点在する里山的なのどかな場所を通過。大栗川の「下の川橋」から上流側にカワセミ、下流側の堤防内側のコンクリート張の所でコサギがコガモとともに腹をコンクリートに着けて座って休んでいた。通常は長い脚で立っているサギが座っている姿はユウモラスであった。帰路「松が谷遊歩道さんぽ道」の側溝水溜まりでアオジとシジュウカラが気持ちよさそうに水浴していた。

（担当 粕谷 和夫、山崎久美子）

### ○八王子城跡で夏鳥を探そう（第 1 回）

日時：2024 年 4 月 26 日（金）9:00～11:40

天気：晴れ

コース：八王子城跡駐車場（集合 9 時）⇒広場⇒管理棟⇒大手門跡⇒古道⇒虎口 八王子城跡御主殿跡⇒御主殿の滝⇒林道⇒折り返し地点

観察した鳥：15 種（ベスト：キビタキ、オオルリ）

トビ コゲラ ハシボソガラス ハシブトガラス ヤマガラ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス センダイムシクイ メジロ キビタキ オオルリ イカル コジュケイ サンショウクイ（亜種不明）

参加者：9 名 八王子城跡ガイド：上岡一雄さん

概要・感想等：

翌日の 4 月 27 日・28 日に八王子城跡の屋外模型広場で「第 3 回元ハマルシェ」の準備のためテント張りなどで車の出入りがあり、いつも見られる場所でカワラヒワやホオジロ、セキレイ、ウグイス、キビタキなどが見られなかった。山ツツジが鮮やかなオレンジ色で見頃でした。

今回は八王子市文化財課にカワセミ会（団体）で見学の申し込みをし、歴史にも鳥にも植物にも詳しい高尾山ガイドでもある上岡一雄さんに【探鳥会をしながら八王子城跡のガイド】をお願いした。

八王子城跡は小田原に本拠をおいた小田原北条氏の三代目氏康の三男、氏照が築いた山城。系図などについて詳しい話があった。山城の説明を聞きながらの鳥見はうまくいくかと係としては心配でした。キビタキの鳴き声がするので皆で探している時は、説明を待ってもらった。キビタキが枝に止まって囀るのが良く見え皆で観察できた。ガイドと一緒にないと、入れない曲輪・土塁に入り説明を聞いた。昨年近くの木に営巢したコサメビタキは、今年は確認できなかった。オオルリの声が 2 か所で聞けたが、姿は見られず、毎年止まる御主殿跡の木のとっぺんでも姿は見られなかった。上岡さんの話では今年は 4 月 29 日（月）から御主殿の木にオオルリが来るようになったそうです。八王子城跡に初めて来た会員もいて、八王子城跡の歴史を聞きながら夏鳥探鳥会ができ、キビタキのオレンジ色の姿も見られ皆さん満足したとのことで一安心です。

（担当 門倉 美登利、中村 后子）

### ○権現尾根と大戸緑地

日時：2024 年 5 月 11 日（土）8:30～11:25

天気：快晴

行程：JR 高尾駅南口発 8:12（館ヶ丘団地行バス）⇒館ヶ丘団地バス停着 8:26・8:30 発⇒権現平⇒段木入の丘⇒段木入の広場⇒大戸緑地 10:40 発⇒館ヶ丘団地バス停着 11:25・11:30 発⇒高尾駅南口着 11:46

観察した鳥：22 種（ベスト：ホオジロ クロツグミ ノスリ）

カルガモ ノスリ コゲラ アオゲラ ハシボソガラス ハシブトガラス ヤマガラ ヒガラ シジュウカラ ツバメ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ クロツグミ キビタキ スズメ キセキレイ カワラヒワ ホオジロ コジュケイ ガビチョウ

参加者：13 名

概要・感想等：

中央線に遅れが出ていたが、集合時刻には皆さん集まったので、予定通り出発した。すぐにホオジロが枯れ枝の天辺で鳴いていた。ただ、いつもと少し違う鳴き声だった。遠くでキビタキも。ウグイスの声はそこかしこですが、ほかの鳥は…。遠くに、またホオジロ。確かにこのコースでは珍しい鳥だったはずだが…。権現平で休憩しながら受付をした。ヒヨドリのみ。しばらく進むと、木を突く音。コゲラかな、と思ったが、一瞬アオゲラが飛んだ。段木入りの丘で休憩。エナガの巣と食痕があった。なんの羽なのか判断できず。スカイツリーもよく見えた。段木入り広場に向けて下り始めると、クロツグミが二声ほど鳴いた。オオルリは鳴かない。段木入り広場のピオトープに着くと、クロツグミとわかる声で鳴いた。カルガモ夫妻も。キセキレイは何回も鳴いた。

大戸緑地でトイレ休憩。途中で帰る方がいたので鳥合せをした。19 種?! 去年は 4 月 22 日に実施し、28 種だったので、5 月上旬に設定したのが大外れに…。オオルリが鳴かない…。思うように行かないものだ、と実感。スズメとカワラヒワを追加確認しながら大戸八雲神社の横を曲がった時、上空に猛禽類が出現。ノスリだった。途中に野菜販売所があったので、8 名が買い物に。野菜を大量に購入していた。町田街道を渡ろうとすると民家の屋根にキセキレイがいた。やっと鳥をじっくり見られた。風はあるものの暑さを感じながら館ヶ丘団地バス停に着いた。バスにはすぐ乗車できた。

(担当 加藤 岸男)

### ○程久保川と七生公園を歩く

日時：2024 年 5 月 15 日（水）9:00～11:40

天気：晴れ

コース：京王線高幡不動駅に集合して、駅近くの程久保川後畠橋から川沿いの遊歩道を上流に向かい多摩動物公園の西側にある七生公園の園内を一周した。

観察した鳥：24 種（ベスト：カワセミ、カルガモ、キビタキ）

カルガモ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、トビ、カワセミ、コゲラ、オナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、ムクドリ、キビタキ、スズメ、キセキレイ、ハクセキレイ、カワラヒワ、カワラバト（ドバト）、ガビチョウ

参加者：11 名

概要・感想等：

程久保川の下程久保橋とたばこや橋の間でカワセミ 2 羽の親が「頭を前にした魚を咥えて」川の中の定点と思われるところに止まっていた。コンクリート 3 面張の川で、近くに営巣できそうな土の壁はないが、塩ビ管の排水穴が多数両側にあるので、この穴のどれかに営巣中で巢中の雛に餌を運んでいるものと推定した。カルガモは数か所で親が観察できたが、ヒナ連れはいなかった。七生公園でキビタキのさえずりが聞こえたが、ガビチョウの声にかき消されるような感じであった。七生公園のトンボ池でモリアオガエルが鳴いていた。

(担当 粕谷 和夫、武藤 邦子)

### ○八王子城跡で夏鳥を探そう（第 2 回）

日時：2024 年 5 月 30 日（木）9:00～11:40

天気：晴れ

コース：八王子城跡駐車場（集合 9 時）⇒広場⇒管理棟⇒大手門跡⇒古道⇒虎口 八王子城跡御主殿跡⇒御主殿の滝⇒林道⇒折り返し地点（鳥合わせ）

観察した鳥：16 種（ベスト：サンコウチョウ キビタキ キバシリ）

ホトトギス トビ ノスリ コゲラ サンコウチョウ ハシボソガラス ヤマガラ ヒガラ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス クロツグミ メジロ キビタキ コジュケイ ガビチョウ

参加者：13 名 八王子城跡ガイド：村松雄大さん

概要・感想等：

今回 2 回目の地元発見探鳥会、【八王子城跡で夏鳥を探そう】を計画し、今回も八王子市の文化財課にカワセミ会団体で申し込みをして八王子城跡ガイドで歴史に詳しい村松雄大さんに案内をお願いした。ホトトギスが 2 個体、あちこちを鳴きながら飛びまわり、歓迎してくれ、帰りには飛ぶ姿も見られた。

八王子城跡は日本 100 名城の一つで、小田原に本拠をおいた小田原北条氏の三代目氏康の三男、氏照が築いたりっぱな山城で、北条早雲など北条氏の家系図について詳しい話があった。虎口は、



曲輪の出入り口で直進できないようにするなど侵入しづらいよう工夫がされていることなどと曲輪の説明があった。今回も山城の説明を聞きながらの鳥見は、うまくいくかと心配した。前回キビタキの鳴き声がするので大騒ぎになり話を待ってもらったので、今回サンコウチョウが出たら説明を中断して、鳥見にすることをお願いしてスタートした。

御主殿跡で、説明を聞いている時、キバシリが出て、残念ながら全員が見られなかった。キバシリは毎年、御主殿奥の林道で見られるが、今回ミツデカエデの後ろ側で見られた。サンコウチョウが2か所で営巣。

キビタキと3か所に、カメラマンが70人くらいずついた。サンコウチョウは巣の周りを飛ぶのが観察できた。5月2日（木）からサンコウチョウが八王子城跡に現れたとの情報を前回ガイドしてくれた上岡さんから頂き皆楽しみにしていた。5月24日（金）サンコウチョウが巣造りを始めたとのこと。昨年3か所で営巣・巣立ちしたコサメビタキは、もう巣立ったとのこと。クロツグミのきれいな囀りが、駐車場上の山の方から聞こえた。キビタキは5か所で良くさえずっていた。今回はオオルリの声が聴けなかった。

アサギマダラが優雅に飛んでいた。他に観察した蝶はミスジチョウ、コムスジでした。鳥合わせで何年か前に比べると八王子城跡の樹木が大きくなり暗い感じがする。私有地問題もあり難しい面もあるが、伐採とか環境問題全体も考えていく方が良いとの意見も出た。今回八王子城跡に初めて来た4人。歴史もよくわかり、鳥見もでき、地元発見の良い企画だと思ったとの意見も出て、4月・5月と急な企画でしたが、歴史ガイド付きなので参加したという方もいた。夏鳥のキビタキ、サンコウチョウも見られ良かったとの感想が多くでた。今回は一人で大変でしたが八王子城跡の夏鳥調査が楽しめてよかった。

（担当 門倉 美登利）

## ○高月城跡、秋川、高月水田

日時：2024年6月11日（火）10:10～11:40

天気：晴れ

コース：滝山城のルーツである高月城跡を訪ねた後、東秋川橋上流側の秋川右岸堤防を歩き、最後に高月水田に出た。

観察した鳥：26種（ベスト：ホトトギス、ホオジロ）

キジ、カルガモ、キジバト、カワウ、アオサギ、ホトトギス、イカルチドリ、トビ、オナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、ツバメ、メジロ、オオヨシキリ、セッカ、ムクドリ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ、コジュケイ、カワラバト（ドバト）、ガビチョウ

参加者：8名

概要、感想等：

今回は高月城跡もロープが張られてなく、入ることができました。川の流れに沿ってウグイスやオオヨシキリを聞きながら気持ちよく歩きました。林ではホトトギスが間近でじっくり見られました。

（担当 浅野 恵美子）

鳥信（主として2024年1月～6月）

取りまとめ：粕谷和夫

今期は 662 件が鳥信として会員等から送付された。送付頂いたデータの表記については、一部統一表記に変えている。鳥番号前に「F」が付いているのは、本会 HP の「フォト鳥信」にアップされたものである。  
配列は鳥番号（日本鳥学会鳥類目録第 7 版）順である。最後の哺乳類等は鳥信ではないが、参考で五十音順。

F	番号	鳥名	年/月/日	羽数	観察した場所	状況その他特記事項	観察者	区分	メッシュ
	5	キジ	2024/3/20	1羽	南浅川・富士森高校前草原	オス。15:40 頃。昨年 この近くでメス3羽観察出来ましたが、今回はオスでした。南浅川でオスを見たのは初めてです。	中山尊人、中山千晶	行動	八王子 4H
F	5	キジ	2024/4/12	2羽	あきる野雨間	農耕地。雌雄各 1 羽。『ケーツケーツ』の鳴き声が聞こえると春爛漫を感じます	野崎照夫	行動	拝島 4F
F	5	キジ	2024/4/14	2羽	南浅川右岸・五月橋上流 100m 位	♂♀各 1。夕暮れ時、枯草の中で採餌しているようだった。	中橋薫	行動	八王子 4J
F	5	キジ	2024/6/17	1羽	宇津貫緑地	雑木林の一角にオカトラノオの小さな群落があり、虎の尾型の白い穂状の花を咲かせていた。すると突然オカトラノオが波打ち出した。何事かとビックリしているとキジのオスが出てきた。2 度ビックリ。	粕谷和夫	行動	八王子 6E
F	5	キジ	2024.4.27	1羽	浅川・長沼橋上流側河原	春は浅川の河原で外来種ナヨクサヅギが咲き誇る。その花の中にキジのオスが姿を見せた	粕谷和夫	行動	八王子 9H
	24	オシドリ	2024/1/15	1羽	JR鉄橋上流側の多摩川と谷地川が合流する水路	♂。水路の少し暗い奥まった所に何か見えゴミかと思いましたが写真でよく見ると紫がかかった胸と脇の白い2本の線などが見えオシドリのようです。寝ているようで顔は見えませんでした	浜田早苗	希少	立川 1B
	24	オシドリ	2024/4/6	2羽	北浅川・松竹	♂1♀1 タカの渡り調査地上流側のたまり	古山隆	希少	八王子 0K
	24	オシドリ	2024/4/9	2羽	北浅川・陵北大橋下流、沈下橋付近	オス、メス。傘に驚き、下流に飛ぶ。	柚木育子	希少	拝島 2B
	24	オシドリ	2024/5/25	2羽	北浅川・松竹公園付近	♂♀ペア 上流から流れにのって下ってきて、人に驚いて上流に飛ぶ	古山隆	希少	八王子 0K
F	26	オカヨシガモ	2024/4/1	4羽	北浅川・壱分方町東京天使病院近くの堰	(雌雄各 2 羽)。元八王子に用事がありそのついでに北浅川沿いを散策したところ堰の上流でオカヨシガモが泳ぎながら採餌していた。多摩川では見かけるカモだが浅川ではあまり見かけないのではと思いながら繊細で美しい姿を楽しんだ。	岡本昭男	行動	拝島 2B
F	27	ヨシガモ	2024/3/29	2羽	川口川・駒形橋上流側	春の彼岸中に墓参りができなかったが、時間ができたので墓参り、その帰りに川口川に立ち寄ってみたら今年も来ていた。	粕谷和夫	希少	拝島 3C
	27	ヨシガモ	2024/5/1	2羽	高月浄水場の池	オス 1・メス 1、未だいた。他にマガモオス 1・コガモオス 1 も未だいた。	粕谷和夫	希少	拝島 6F
	28	ヒドリガモ	2024/4/11	4羽	浅川・長沼橋右岸の長沼橋と堰との真ん中辺	ゆったりと泳いでいた。終認と思われる。	山崎悠一、山崎久美子	終認	武蔵府中 0H
	32	カルガモ	2024/5/6	1家	多摩川・中央線橋梁から上流へ 100 メートルほど行った所	今年初めてカルガモの親子を見たので報告いたします。正午ごろ。多摩川中央線橋梁から上流へ 100 メートルほど行った、多摩川土手に沿った日野市側の日野用水の「日野市多摩川第一排水区樋管」のあたり。用水をカルガモの親 1 羽(たぶんメス)とヒナが 1 羽が泳いでいた。樋管の堰の奥からヒナの鳴き声がするので、しばらく観察していたら、堰の奥にヒナ 2 羽が確認できた。どうやら 2 羽が堰から落ちて、用水に戻れなくなった様子。助ける手立てがなかったので、枯れ枝を用水と堰との段差のところに投げ入れ、登れるような形にしたが、果たして登ってこれたか、未確認です。	谷口紀美代	繁殖 4②	立川 1B
	32	カルガモ	2024/5/28	4羽	谷地川・新鶴見橋付近	親子(羽数:親 2 羽・ヒナ 2 羽)。孵化して 2~3 日の小さなヒナが親鳥と採餌していた。オスも近くにいた。ヒナ 2 羽という事は他はカラスにでもやられたのでしょうか。当地のカルガモのヒナ初認。	福本健	繁殖 4②	立川 0B
	32	カルガモ	2024/5/31	12 羽	浅川・一番橋上流約 120m 左岸岸边に近い流れ(右岸側から観察)	親 1、雛 11 羽。雛たちは岸边の草を啄んだり、流れの中に首を入れたりして採餌していた。周りを用心しながらも親も懸命に採餌していた。やがて急な流れの中を右岸側へ親が渡り、それに続いて雛たちも少し躊躇するような動きを見せながらも無事に渡り終えて親ともに草むらに消えた。雛たちは既にふわふわした毛が見られなかったので孵化してから 1 週間以上は経過していると思われた。	岡本昭男	繁殖 4②	武蔵府中 1J
	32	カルガモ	2024/6/1	4羽	浅川・平山橋から 100m 位上流、右岸側の流れ	親 1、幼鳥 3 羽。中洲から泳いで右岸側に来て草を啄んでいた。しばらくして中洲に戻り草むらの中に消えた。幼鳥は小さかったが親と変わらない外観だったので生まれてから 1 ヶ月以上たっているように思われた。	岡本昭男	繁殖 4②	武蔵府中 0H
F	32	カルガモ	2024/6/17	1羽	宇津貫・調整池	環境省のレッドデータブックでは準絶滅危惧種に指定されているアサザが今年も開花した。湖面が黄色い花で満たされた。この花の中にカルガモ 1 羽が飛び込んで来た。カルガモも花の開花を喜んでいるのかのように大きな口を開けてくれた。	粕谷和夫	行動	八王子 6E
F	32	カルガモ	2024/6/19	14 羽	浅川・長沼橋右岸下流	(親鳥 1 幼鳥 13)。中洲の草叢からカルガモが流れに出てきたので観察していると幼鳥が次から次と計 13 羽現れました。よく無事にこれだけの数の子育てに成功したものだと思鳥に敬意を表し投稿することになりました。	能田正行	繁殖 4②	武蔵府中 0G
F	32	カルガモ	2024/6/22	5羽	城山川・五反田橋上流側約 100m	(2021・2022 年と同じ付近)。雛 5 羽(親未確認)。カルガモの雛を 5 羽確認、親は付近で確認出来なかった。	荻島伸介	繁殖 4②	八王子 5K

	35	オナガガモ	2024/1/7	1羽	多摩川JR鉄橋上流側100M付近	(雄)渡来したばかりなのか背中を頭に入れぐっすりと寝ていました 1羽だけでしたが今冬もやっと姿を見せてくれました	浜田早苗	初認	立川 1B
F	35	オナガガモ	2024/2/15	1羽	多摩川・JR 中央線鉄橋上流	オスが1羽だけ他のカモたちと一緒に泳いでいた。	福本健	行動	立川 1B
	38	コガモ	2024/1/8	25羽	南浅川陵南公園プール	12:00頃。25羽(オス、メス合計)。南浅川は水が溜れコガモ、カルガモがプールに集合しています。又南浅川沿いの梅が咲き始めました。	中山尊人、中山千晶	行動	八王子 3H
	38	コガモ	2024/4/2	2羽	浅川・一番橋上流約200mの流れ	2羽が岸辺の流れに沿って懸命に採餌していた。首を水の中に入れて上げるまでの時間がかかなり長と感じた。この近くでコガモが常駐している様子はなかったので移動中に立ち寄ったのではないかと思えた。	岡本昭男	行動	武蔵府中 1J
	38	コガモ	2024/5/15	0羽	湯殿川・大橋～殿田橋	大橋～殿田橋で5月4日以降毎日、15日までコガモを観察した結果 11日の18時を最後に見かけなくなりました。13日はカタクリ橋まで足を延ばしましたが、やはり見つかりませんでした。湯殿川の2024年の終認は5月11日とします。	目黒明子	終認	八王子 5G・6G
	38	コガモ	2024/5/17	1羽	大栗川・新川橋～常盤橋の間	7:40頃。♀。5/1から観察を始め、5/17に♀1羽を観察した後、2観察日連続でゼロであったため5/17を終認日とした。	佐藤哲郎	終認	武蔵府中 3F
F	41	ホシハジロ	2024/1/12	3羽	多摩川・JR 中央線鉄橋上流	キンクロハジロやオカヨシガモと一緒に泳いでいた。	福本健	希少	立川 1B
	42	ホシハジロ	2024/2/2	4羽	高月浄水場池	♂3♀1	古山隆	希少	拝島 6E
	42	ホシハジロ	2024/4/2	1羽	多摩川・滝山下	昭和用水堰 上流側 ♀1羽	多摩川滝山城跡下定期 C(古山)	希少	拝島 6E
	46	キンクロハジロ	2024/1/7	1羽	多摩川JR鉄橋上流側100M付近	(雄)川の中の浅瀬でのんびり羽繕いしていました 会員の方の話では翌日いなくなったそうです	浜田早苗	行動	立川 1B
F	46	キンクロハジロ	2024/1/12	1羽	多摩川・JR 中央線鉄橋上流	先日会員情報で探しに来たときは見つけれなかったが、今日は川の真ん中を泳いでおり、すぐにわかった。	福本健	行動	立川 1B
	46	キンクロハジロ	2024/5/4	2羽	浅川・長沼橋右岸500m位下流の堰	定期カウントの時に、キンクロハジロが雄雌で1つがいがい5月なのに残っていた。	山崎悠一、山崎久美子	行動	武蔵府中 0H
F	46	キンクロハジロ	2024/5/19	1羽	浅川・平山用水堰	5月3日の出現から2週間以上この地に留まっているのですが、今日の観察で翼の異常に気がきました。左翼の翼角の先(初列風切)がありません。事故で失ったのか奇形かは分かりませんがこれでは長距離飛行(渡り)は無理でしょう。元気に泳ぎ活発に採餌していますが見ていると不憫です。この先この地に留まると思われますので経過観察を続けます。	能田正行	行動	武蔵府中 0H
	46	キンクロハジロ	2024/6/30	1羽	浅川・長沼橋右岸500m位下流の堰	朝6時半ごろ、長沼橋右岸500m位下流の堰に雄1羽が水面を泳いでいた。	山崎久美子	行動	武蔵府中 0H
	47	スズガモ	2024/2/2	1羽	多摩川滝山下	昭和用水堰 上流側 ♂1羽	多摩川滝山城跡下定期 C(古山)	希少	拝島 6E
F	51	シノリガモ	2024/2/11	1羽	多摩川・中央線鉄橋の下流	(オス若?)。日野の自然を守る会の「より鳥みどり観察会」での観察。スタッフとして参加していた高野丈さんが見つけ、参加者の多くが観察できた。頻繁に水に潜って採餌する様子が観察できた。	小久保雅之	希少	立川 2B
	51	シノリガモ	2024/2/18	1羽	多摩川・JR 中央線鉄橋下流側	♂(第1回冬羽?)オオパンの群れの中、盛んに潜り、採餌(水草?) 2/11が初認とのこと	古山隆	希少	立川 2B
	51	シノリガモ	2024/2/24	1羽	多摩川・中央線鉄橋下流側	オナガガモの1ペアお休み中の近くでのんびりお休み中で顔は見えず。見物人15名程度。オスの若鳥とのことであった。	粕谷和夫	希少	立川 4A
	58	ミコアイサ	2024/2/2	3羽	多摩川・滝山下	昭和用水堰 上流側 ♀型3羽	多摩川滝山城跡下定期 C(古山)	希少	拝島 6E
	62	カイツブリ	2024/3/7	2羽	多摩川・JR鉄橋下流側	ペアと思われる2羽が何度も甲高い声で鳴いたりお互いの居場所を確認するように「ピッ」「ピッ」と鳴きあったりして1羽が長い水草を啜って巣材運びのような行動をしていました。	浜田早苗	行動	立川 2B
F	63	カイツブリ	2024/5/15	1羽	浅川・平山用水堰	観察中、偶然水面の何かを捕まえました。大きなドジョウのようです。しかし大き過ぎるのか啜えているだけで吞めません。3、4分啜えたままウロウロして最後は放棄してしまいました。	能田正行	行動	武蔵府中 0H
	64	カンムリカイツブリ	2024/2/1	2羽	多摩川・JR鉄橋上流側	流れの中でのんびりとしている2羽が見え近くのカモの群れの中にまだキンクロハジロ1羽の姿もありました	浜田早苗他会員外1名	希少	立川 1B
	64	カンムリカイツブリ	2024/2/3	3羽	多摩川・JR 中央線鉄橋上流部	オオパンやカイツブリと共に採餌をするカンムリカイツブリが3羽いた。	小川圭太	希少	立川 1B
	64	カンムリカイツブリ	2024/3/2	3羽	多摩川・JR 中央線鉄橋上流部	オオパンやカイツブリと共に採餌をするカンムリカイツブリが3羽いた。	小川圭太	希少	立川 1B
	64	カンムリカイツブリ	2024/4/6	2羽	多摩川・JR 中央線鉄橋上流部	オオパンやカイツブリと共に採餌をするカンムリカイツブリが2羽おり、夏羽に変わっていた。	小川圭太	希少	立川 1B
	74	キジバト	2024/2/14	1羽	自宅(高尾町)南会館前	電線に止まり鳴いていた。今季初認	福本順吉	行動	八王子 2G
	78	アオバト	2024/1/8	1羽	多摩森林科学園	PM12:30。♀。飛んできたのを確認したらアオバト♀であった。枝葉の向こうに登って行って見失った。	今野美代子	希少	八王子 2H
	78	アオバト	2024/4/20	1羽	高尾山・稲荷山コース	稲荷山コース中腹でアーオーオと鳴く声を聞いた。	小川圭太	希少	八王子 0F

	78	アオバト	2024/5/8	声	醍醐林道・ににく沢出 合い手前	オオルリ他夏鳥調査中、はっきりした声を聞く	粕谷和夫、井 上京子、武藤 邦子	希少	五日市 4A
	78	アオバト	2024/5/16	声	小宮公園こなら平付 近	11:10. 声とシルエットのみ。鳴いた後に墓地の方から管理事 務所の方に飛ぶシルエットが見えた。	今野美代子	希少	拝島 7A
	78	アオバト	2024/5/21	声	川町谷戸	椎茸のホダギ林、隣接する八王子霊園から声	粕谷和夫	希少	八王子 2K
	78	アオバト	2024/5/25	1羽	日野市・七生福祉園 内	谷合となっている地形の雑木林から声が聞こえてきた。	小川圭太	希少	武蔵府中 3H
	78	アオバト	2024/5/27	1羽	宝生寺緑地	川口方面から声が聞こえてきた	柚木育子	希少	拝島 2C
	78	アオバト	2024/6/5	1羽	初沢山	午前7時ごろ。ここ数日、初沢山の方から、アオバトの鳴き声 が聞こえます。毎年この時期になると鳴き声がします。	角田幸男、関 谷孝	希少	八王子 2F
	139	ゴイサギ	2024/3/9	1羽	浅川・平山橋下流約 20m	幼鳥。右岸草むらの中。平山橋から眺めていたら流れの際の 草むらでじっとしているのが目に入った。やがて右岸から中洲 に移りしばらくして下流に飛び去った。河川工事続きの平山橋 近辺での出会いは何年越しかであった。	岡本昭男	行動	武蔵府中 0H
F	141	ササゴイ	2024/5/3	1羽	浅川・平山用水堰	15:40 頃。コサギの後を追って対岸の木陰から姿を現した。首 を上げて暫くこちらを窺っていたがやがて右手の草叢に姿を 隠した。3 枚目の写真は手前にアオサギがいますが陰にコサ ギがいて、ササゴイはそのコサギの行動を目で追っていま す。今季初認	能田正行	希少	武蔵府中 0H
F	144	アオサギ	2024/5/15	20 羽+	中野上町	知人に教えてもらいサギの集団営巣を見に行ってきました。一 本の大きな木に7、8個の巣があり、営巣しているのはアオサ ギでした近くにコサギ、アマサギもいましたが営巣はしていな いようでした。	久保山嘉男	繁殖 ①	5八王子 6E
F	144	アオサギ	2024/6/5	10 羽+	中野上町	サギの子供がギャーギャー鳴いているとの情報で、再び営巣 地行ってきました。巣の雛はずいぶん大きくなって巣立ち間近 と思われます。	久保山嘉男	繁殖 ①	5八王子 6E
	144	アオサギ	2024/6/12	11 羽	八王子市中野上町	内8羽は幼鳥、通称「山田の森」敷地内の高木にコロニーを形 成 5巣の内、1巣はほぼ巣立ちしたと思われる幼鳥が3羽、1 巣にはまだ小さい雛2羽、枝上に巣立ちしたと思われる幼鳥3 羽がバラバラに止まる。	古山隆	繁殖 ①	5拝島 6A
F	148	コサギ	2024/3/10	5羽	浅川・新井橋下流側	カワウが潜って集団採餌中、カワウに追い立てられた小魚な どを狙ってコサギが集まってきた。	粕谷和夫	行動	武蔵府中 3K
F	148	コサギ	2024/3/28	40 羽+	浅川・平山橋下流	コサギは画像外にもう数羽いた。	玉木雅治	行動	武蔵府中 0H
F	148	コサギ	2024/4/17	1羽	大栗川・下の川橋付 近	大栗川の下の方の川橋から上流側にカワセミ、下流側の堤防内側 のコンクリート張の所でコサギがコガモとともに腹をコンクリ ートに着けて座って休んでいた。通常は長い脚で立っているサ ギが座っている姿はユウモラスであった。	粕谷和夫	行動	武蔵府中 3F
	166	クイナ	2024/1/7	2羽	北浅川・天使病院横 の堰の上流側	16:20頃 ヨシ原でのプレイバック調査でそれぞれ別の場所 から聞こえるクイナの警戒の鳴き声を確認する。	古山隆	希少	拝島 2B
	166	クイナ	2024/1/14	1羽	日野市・程久保川右 岸	草地近くの水辺を歩いていたが、左岸の藪の中に飛び移り見 えなくなった。	菅野桂子他・冬 鳥一斉調査参 加者	希少	武蔵府中 3J
F	166	クイナ	2024/1/22	1羽	浅川・浅川大橋下流 元横山公園前の右岸 岸辺	先回見た場所と同じ場所に居たので同一個体と思われます。	下野彰夫	希少	八王子 7K
	166	クイナ	2024/2/3	1羽	湯殿川・釜土橋上流 側	ツルヨシの株元で見え隠れ、同じ場所にパン、カイツブリ、カル ガモもいた。	粕谷和夫他(湯 殿川定期 C 参 加者)	希少	八王子 6G
	166	クイナ	2024/2/3	3羽	湯殿川・釜土橋上流 側・時田大橋上流側・ 大橋下流側	12:20/13:00/14:15. 餌を探しているところを観察した。のどが 茶色でお尻のシマバンに茶色が混じる一番若そうな個体は採 餌の失敗を繰り返していたが、白黒シマバンがしっかりした個 体は何かを食べていた。	今野美代子	希少	八王子 6G
	166	クイナ	2024/2/9	1羽	多摩川・日野市クリ ンセンター前ワンド	パン 2 羽がガマの茂みに逃げ込んだ時奥にクイナの姿も見え ましたが良く見える場所には出て来てくれませんでした。	浜田早苗	希少	武蔵府中 4K
F	166	クイナ	2024/2/17	1羽	浅川・鶴巻橋上流右 岸側ワンド	鶴巻橋の上流右岸側のワンド内で一瞬何か動いたので、暫 く待つとクイナが短時間だが枯草の中で確認できました。この 北浅川(松枝橋～鶴巻橋)コースでクイナを確認するのは初め てです。	荻島伸介	希少	八王子 5K
	166	クイナ	2024/2/24	1羽	南浅川・睦橋下流	13:50 頃。南浅川で私たちは初認です。カルガモ、コガモと一 緒にいました。	中山尊人、中 山千晶	希少	八王子 4J
	166	クイナ	2024/3/2	1羽	川口川 川口川橋 上流側	左岸の湿地で採餌	古山隆	希少	八王子 6K
	166	クイナ	2024/3/3	1羽	湯殿川上流部・新田 中橋と新関橋の間	10時頃。流れの中で餌取りに集中していた。	加藤岸男	希少	八王子 4F
	166	クイナ	2024/3/7	1羽	多摩川・JR鉄橋下流 側	左岸の岸辺に姿を見せた後すぐ奥の茂みに隠れて見えなくな りました。	浜田早苗	希少	立川 2B
F	166	クイナ	2024/3/8	1羽	浅川・鶴巻橋上流左 岸側	先月、鶴巻橋上流右岸側ワンドで確認したクイナです。鶴巻橋 の上から未明に降った雪が残った左岸側の枯草の上で採餌し ているのを確認した。約 40 分後に鶴巻橋上流側約 50m の右 岸より左岸側の枯草の上を確認すると、クイナはまだ枯草の 上で採餌していた。	荻島伸介	希少	八王子 5K
F	163	クイナ	2024/3/9	2羽	湯殿川・釜土橋と白旗 橋	湯殿川野鳥定期カウント中、クイナ、パン、オオパンの水鳥 3 種は今月も確認できた。クイナは釜土橋上流側と白旗橋下流 側で 2 羽確認できた。	粕谷和夫	希少	八王子 6G、八王 子 5F



	166	クイナ	2024/4/6	2羽	浅川一番橋上流約10mの中洲の細い流れ	一番橋の上から鳥の少なさを嘆きながら眺めていると突然、クィクィクィ・・・と連続的に鳴きながら1羽を追いかけのようにして飛んできた。飛び降りると素早く流れの両サイドの草むらに消えた。上からの観察で上面の褐色、大きさ、鳴き声、動きしか確認できなかったがクイナと判断した。	岡本昭男	希少	武蔵府中1J
	166	クイナ	2024/4/14	1羽	北浅川・天使病院裏堰上	水辺の水草の所を歩いてた。すぐに隠れて見えなくなった。4月月例探鳥会で数人の方が見た。	中村后子	希少	拝島2B
	170	ヒクイナ	2024/1/7	2羽	北浅川・天使病院横の堰の上流側	16:20頃 ヨシ原でのブレイバック調査でそれぞれ別の場所から聞こえるヒクイナの警戒の鳴き声を確認する。	古山隆	希少	拝島2B
F	170	ヒクイナ	2024/1/15	1羽	谷地川・新旭橋下流	知人より越冬中のヒクイナが居るとの事で行ってみると中々現れず気長に待っていると聞き慣れない声がかし茂みの下に隠れるように現れました。すぐに警戒していなくなりましたが暫くして又現れ川沿いの茂みをゆっくりと歩くのを観察出来ました。陽に当たって綺麗なえんじ色の羽と赤い目や足がとても印象的でした。その後上空にハイタカが現れ驚いたのか手前側の茂みに飛んで来て見えなくなりました。	浜田早苗	希少	立川0C
	170	ヒクイナ	2024/4/7	1羽	浅川・ふれあい橋上流	水辺に現れ忍びやかに草陰へ。数秒間、視認した。	玉木雅治	希少	武蔵府中3K
	174	バン	2024/1/14	2羽	南浅川・富士森高校近く	幼鳥か 1回目の冬羽かは不明？ 2羽は、仲良く並んで泳いでいた。12月17日、木野さんがフオト鳥信で報告済みと同じ個体と思われる。	門倉美登利他 冬鳥一斉調査 担当チーム	希少	八王子4J
	174	バン	2024/1/14	1羽	北浅川・陵北大橋下流付近。	水草の中から出て来た	中村后子他冬鳥一斉調査	希少	拝島2B
	174	バン	2024/1/27	1羽	湯殿川右岸・浅川合流点から約50～60m上流	草陰で暗い水辺を歩いたり泳いだりしながら採餌していた。その他にマガモ、コガモ、カルガモもいて賑やかだった。ジュニアクラブのコースでは数年ぶりでありまたこの場所では初めて見た。	岡本昭男他ジュニアクラブメンバー	希少	八王子9G
	174	バン	2024/2/2	1羽	浅川右岸・八高線鉄橋上流側	8:50頃。1羽で泳ぎ、時折中州にあがる。この辺りでは比較的珍しい。	佐藤哲郎	希少	八王子8J
	174	バン	2024/2/3	1羽	湯殿川・釜土橋上流側	ツルヨシの株元で見え隠れ、同じ場所にクイナ、カイツブリ、カルガモもいた。バンは他にかたくり橋の下流側にもいた。	粕谷和夫他(湯殿川定期C参加者)	希少	八王子6G
F	174	バン	2024/2/6	1羽	北浅川・中央高速道橋上流	(幼鳥)。北浅川でカルガモ8、マガモ4を観察中に川の中からバンの幼鳥が鳴き声を出しながら反対岸の雪の上に飛び出た。バンをこの北浅川(松枝橋～鶴巻橋)コースで確認するのは初めてです。	荻島伸介	行動	拝島4A
	174	バン	2024/2/9	3羽	多摩川・日野市クリーンセンター前ワンド	斜面から水面に降りてきたバンが水中の枯草を啜え食餌している所へ2羽のペアらしいバンがゆっくり近づいて来ると大きな声を出し翼を振り上げて追い払ってしまいペアはガマの茂みに逃げ込んで行きました。	浜田早苗	希少	武蔵府中4K
	174	バン	2024/2/24	2羽	南浅川・東横山橋下流	13:40頃。何度か1羽は見えていましたが、本日は2羽が一緒にいるところを見ることができました。	中山尊人、中山千晶	希少	八王子4J
	174	バン	2024/3/4	1羽	浅川右岸側・八高線鉄橋～大和田橋中間	8:45頃。先月バンを確認した場所の近く。オオバン1羽と泳ぐ。	佐藤哲郎	希少	八王子8J
	174	バン	2024/3/7	1羽	多摩川・JR鉄橋下流側	左岸の岸近くで水面に出て来たり奥の草地に入ったりしていました	浜田早苗	希少	立川2B
F	174	バン	2024/3/10	1羽	南浅川・五月橋上流右岸	枯草の中を移動する黒い鳥を観察していたら、比較的に見やすい場所に出てきた。足の形状でバンとした。	中橋薫	希少	八王子4K
	174	バン	2024/3/12	1羽	浅川・浅川橋 下流側	泳ぎながら、水面で採餌	古山隆	希少	八王子6K
F	174	バン	2024/3/21	2羽	南浅川・東横山橋	東横山橋でバン2羽に出合ったがクイナは確認できなかった。	粕谷和夫	希少	八王子4H
	174	バン	2024/4/30	2羽	浅川・浅川橋 下流側	左岸側の緩やかな流れのところ 2羽で行動(採餌)ペアと思われる	古山隆	希少	八王子6K
	174	バン	2024/5/3	1羽	多摩川・JR中央線鉄橋上流部	オオバンの群れに混じり幼鳥と見られるバンがいた。	小川圭太	希少	立川1B
	174	バン	2024/5/4	1羽	湯殿川・稲荷橋上流側	花が終わり種が稔った菜の花の茎の後ろを見え隠れ	粕谷和夫他(湯殿川定期C参加者)	希少	八王子6G
	175	オオバン	2024/1/4	25羽	多摩川・JR中央線鉄橋上流部	約200mの範囲で計25羽が川で採餌等の活動をしていた	小川圭太	行動	立川1B
	175	オオバン	2024/2/3	32羽	多摩川・JR中央線鉄橋上流部	約200mの範囲で計32羽が川で採餌等の活動をしていた	小川圭太	行動	立川1B
	175	オオバン	2024/2/9	1羽	浅川・浅川橋から上流10m位の右岸	2023年の定期カウントでは一度も姿を見なかったオオバンが1羽浅川橋上流10m位の川岸で寝ていた。	井上京子他定期カウント参加者4名	行動	八王子6K
	175	オオバン	2024/3/2	30羽	多摩川・JR中央線鉄橋上流部	約200mの範囲で計28羽が川で採餌等の活動をしていた。	小川圭太	行動	立川1B
	175	オオバン	2024/4/6	15羽	多摩川・JR中央線鉄橋上流部	約200mの範囲で計15羽が川で採餌等の活動をしていた。	小川圭太	行動	立川1B
	175	オオバン	2024/5/3	14羽	多摩川・JR中央線鉄橋上流部	約200mの範囲で10羽以上が川で採餌等の活動をしていた。	小川圭太	行動	立川1B
	185	ホトギス	2024/5/9	声	みどり幼児園(小仏川)	声。梅郷橋の方からホトギスの声が何度か聞こえた。比較的近くで鳴いているようだったが姿は見えなかった。(小仏川沿い、今年はキビタキがよく鳴いています。去年はキビタキは少なく、オオルリが多かった。)	井川麻利子	初認	八王子1G

	185	ホトトギス	2024/5/12	1羽	横川町自宅	夜中にかなり大きな声で飛びながら鳴くホトトギスの声を聞いた。今年も近くの長房の山や飛びながら鳴くホトトギスの声が聞こえ始めた。5月16日の明け方も飛びながら鳴く声を聞いた。	門倉美登利	初認	八王子 4K
	185	ホトトギス	2024/5/13	1羽	宝生寺団地裏山方面	宝生寺団地裏山方面で鳴きながら移動する。	柚木育子	初認	拝島 1B
	185	ホトトギス	2024/5/15	1羽	まや霊園(八王子市鎌水)	10:50頃。東側(大栗川源流の子ノ神谷戸方向)から2声聞こえた。	佐藤哲郎	初認	八王子 7D
	185	ホトトギス	2024/5/17	1羽	多摩川・谷地川合流点釣り堀池付近	夕方土手を歩いていたら、河原でホトトギスの鳴く声を聞いた。毎年やってくる場所で、今年もこれからしばらく声を聞けそうだ。	福本健	初認	立川 1C
	185	ホトトギス	2024/5/17	1羽	多摩テック跡地で	早朝7時10分に多摩テック跡地で鳴き声を聞いた。	山崎久美子	初認	武蔵府中 1G
	185	ホトトギス	2024/5/17	1羽	松竹公園南側の山	囀りが聞こえる	古山隆	初認	八王子 0K
	185	ホトトギス	2024/5/18	1羽	川口緑地保全地域	川口緑地保全地域の繁殖期調査で確認した。出発前に聞いた鳴き声が、途中でまた4人で聞いた。	山崎悠一、山崎久美子、高梨規子、坂本良子	初認	拝島 2D
	185	ホトトギス	2024/5/18	1羽	戸吹緑地	緑地中央部の沢方向から鳴き声が再三聞こえた。	門口一雄、門口裕子	初認	拝島 3E
	185	ホトトギス	2024/5/21	1羽	川町谷戸	ウグイスのさえずり(約10羽)が聞こえる所で鳴きながら飛んでいた。	粕谷和夫	行動	八王子 2K
	185	ホトトギス	2024/5/21	2羽	高尾山・びわたき3号路・1号路	2羽が? 琵琶滝道の登りと3号路・1号路で大きな声で鳴きながら飛んでいた。	門倉美登利・前田恵美子他研修参加者7名	行動	八王子 0F
	185	ホトトギス	2024/5/22	1羽	自宅(中野町)	声。3:00。数回鳴いたのを確認。	今野美代子	行動	拝島 6B
	185	ホトトギス	2024/5/22	声	紅葉台・桃源台公園	午前9時頃。初沢山の方からホトトギスの鳴き声が聞こえた。毎年夏になるとホトトギスの声が聞こえる。直ぐ近くの木に止まっていたようでよく聞こえました。	今野美代子	行動	八王子 2F
	185	ホトトギス	2024/5/23	1羽	上柚木「神明神社」付近	1羽? 「キッチン中山」の駐車場に居ると神明神社方向から鳴き声が聞こえて来た。毎年神明神社の上の方で鳴き声を聞いていたが今年も聞けてほっとした。	市村緑	行動	八王子 9E
F	185	ホトトギス	2024/5/24	2羽	多摩川・多摩大橋下流	ホトトギスが上流側に行ったり、下流側に行ったり鳴きながら飛んでいた。鳴きながら飛んでくれるのでカメラの準備も出来て、鳥種の判断にも困らなかった。	荻島伸介	行動	立川 0C
	185	ホトトギス	2024/5/25	1羽	日野市・七生福祉園内	周囲の雑木林の樹上を鳴きながら飛翔していた。	小川圭太	行動	武蔵府中 3H
	185	ホトトギス	2024/5/27	1羽	高幡台団地 緑地	囀り声	古山隆	行動	武蔵府中 3H
	185	ホトトギス	2024/6/1	1羽	多摩川・JR中央線鉄橋上流部	* JR中央線鉄橋上流側対岸に鳴くホトトギスの声を聞いた。	小川圭太	行動	立川 1B
	185	ホトトギス	2024/6/2	2羽	高尾山・薬王院大本堂の後ろの木	雨の中 2羽のウグイスが大声で鳴き続ける。続いてホトトギスが2本の杉の木の周りで長い間、鳴きながら飛び回っている。ウグイスを追い出したのか、何があったかは不明ですがウグイスとホトトギスの大声が長い間続いた。	門倉美登利・前田恵美子他研修参加者7名	行動	八王子 0F
F	185	ホトトギス	2024/6/6	1羽	秋川・高月浄水場からやや下流側堤防	ホトトギスが秋川・高月浄水場付近から多摩川・昭和水堰付近を何度も往復していた。多摩川トライアングルの西側中央付近にある「高月夫婦ツリー」にも数回止まったが、枝破りで視認が困難だった。	荻島伸介	行動	拝島 6E
	185	ホトトギス	2024/6/7	1羽	自宅(高尾町)前の金毘羅山	11:15頃。金毘羅山中腹辺りから「キョキョッ、キョキョキョキョキョ」の鳴き声が聞こえた。再度確認するため近くの会館の方へ行ってみたがその後は鳴かなかった。今年初認はめの可能性あり。	福本順吉	行動	八王子 2G
F	185	ホトトギス	2024/6/11	2羽+	秋川・高月浄水場からやや下流側堤防	浅野(恵)氏案内で地元発見探鳥会「高月城跡、秋川、高月水田」の探鳥中に8名のメンバーと共に観察しました。高月浄水場下流側の「高月夫婦ツリー」の中からホトトギスの声を確認、全員で暫く観察していると手前の枝に出て来て姿を見せてくれました。この高月夫婦ツリーは、2本の柳?の木ですが、ホトトギスが2羽以上居て縄張り争い中のようで、飛び去る事が無く十分に観察できました。	荻島伸介	行動	拝島 6E
	185	ホトトギス	2024/6/12	1羽	梅の郷まちの広場(圏央道下)付近	声が聞こえた。	千葉横子他定期カウント参加者	行動	八王子 0G
	185	ホトトギス	2024/6/19	1羽	自宅(高尾町)前の金毘羅山	ひと判断。朝8:15頃、金毘羅山中腹辺りから「トッキョキョカキョク」の鳴き声が聞こえた。この声で確認したのは今年初認、ウグイスが鳴いているのでウグイスの巣に托卵した鳥ではと推定している。	福本順吉	行動	八王子 2G
	185	ホトトギス	2024/6/29	2羽	高尾山・祈祷殿(駐車場の周りの山)	祈祷殿駐車場の山で久しぶりに大きな声で鳴くホトトギスの声を聞いた。8時半頃、車を置く時、13時頃車を出す時2回とも大きな声で鳴きながら飛びまわっていた。	門倉美登利	繁殖 3	八王子 1F
	187	ツツドリ	2024/5/3	1羽	小下沢林道 関場峠	毎年、小下沢林道終点の関場峠で鳴き声をきいています。今年も聴くことが出来ました。	中山尊人、中山千晶	希少	与瀬 8H
	193	ヒメアマツバメ	2024/5/15	3羽	南大沢アウトレットモール上空	聞き慣れない鳴き声だったので空を見上げるといきなり飛んで来て直ぐに飛び去った。	市村緑他会員1名	行動	武蔵府中 0D

F	202	イカルチドリ	2024/3/27	2羽	浅川・高幡橋下流側	河原でみが尾羽を広げて鳴きながら求愛行動を繰り返し♀も尾羽の下に潜る行動をしていました。その後みが巣穴候補？の窪みに胸を押し付け♀に見せている様子でしたが♀は気に入らなかったのか背を向けどこかへ行ってしまいみはしょんぼりと佇んでいました	浜田早苗	繁殖⑤	4	武蔵府中2K
	202	イカルチドリ	2024/4/27	2羽	浅川・新浅川橋下流側	丸石河原で求愛ディスプレイ。アイリングが黄色でなかったのがイカルチドリとした。	ジュニアクラブ観察会	繁殖⑤	4	八王子8J
F	203	コチドリ	2024/3/27	2羽	浅川・高幡橋上流	今シーズン初めてコチドリ2羽を確認しました。昨年は3月12日だったので、かなり遅いですね。もちろんもっと前からいた可能性はありますが。	小久保雅之	初認		武蔵府中2K
	203	コチドリ	2024/4/15	1羽	浅川・一番橋上流約300m、右岸水際	遠くから飛んできた鳥が見えたので近づいて確認したら懸命に採餌しているコチドリだった。	岡本昭男	行動		武蔵府中1J
	203	コチドリ	2024/5/8	2羽	北浅川・夕焼け橋下流北浅川(小田野中央公園)	カワセミ会の桜の木の付近。1羽 浅瀬で水浴びをしていた。1羽 浅瀬を歩いていた。	中村后子他2名	行動		拝島1B
	203	コチドリ	2024/5/25	2羽	GMG 八王子ゴルフ場クラブハウス北側の造成地	今年も例年と同じ場所で声と姿を確認	中村啓二、中村美弥子	行動		拝島2E
	203	コチドリ	2024/6/1	1家	北浅川・ゆうやけ橋	橋の下の河原で雛3羽と卵1個を確認	青木静子他定期カウント参加者	繁殖①	5	拝島1A
F	203	コチドリ	2024/6/4	1羽	高月水田	田植えが2割程終わっていた。代掻きのために水が張られた田んぼに今年もコチドリが来ていた。	粕谷和夫	行動		拝島6E
F	213	ヤマシギ	2024/3/1	1羽	日野市落川(府中四谷橋下流の中洲)	府中四谷橋下流側の歩道から多摩川をのぞきむとヤマシギが採餌していた。	渡辺仁	希少		武蔵府中5J
F	219	タシギ	2024/1/2	1羽	浅川・鶴巻橋下流	2023年11月に観察した場所から約100m上流で、水の中に嘴を入れて採餌していた。風景に溶け込んで石ころのように見えたので今までも見落としていた可能性もあります。	荻島伸介	希少		八王子5K
	219	タシギ	2024/1/29	1羽	湯殿川右岸・浅川合流点から約50～60m上流	キセキレイを見ているとその先の草陰で暗くなった水際の土をつつきながら採餌していた。この辺りで初めて見た。	岡本昭男	希少		八王子9G
F	219	タシギ	2024/2/8	1羽	浅川・暁橋右岸	何度かタシギ探しに行ったが会えずじまい。今日やっと発見、	井上京子	希少		八王子7K
	219	タシギ	2024/3/3	1羽	浅川・平山橋50m位下流	左岸から見た。中洲の縁を歩いて採餌していた。	岡本昭子、岡本昭男	希少		武蔵府中0H
F	239	クサシギ	2024/1/3	1羽	浅川、新井橋上流	新井橋の上流にいて、飛んだ時の腰の白さが目立っていました。	小久保雅之	希少		武蔵府中3K
F	239	クサシギ	2024/4/25	1羽	浅川・平山用水堰	堰の右岸でキセキレイ、カイツブリなどを観察中、50mほど離れた草むらにシギを発見。イソシギだろうと思いながら撮影し、後で画像を精査して夏羽のクサシギと判りました。この場所では初認です。2日後に再訪したときは姿がありませんでした。渡り途中の立ち寄りだったのでしょうか。	能田正行	希少		武蔵府中0G
F	241	キアシシギ	2024/5/4	10羽	浅川・滝合橋上流および下流	15:15～15:55。はじめ、滝合橋上流側でイソシギが採餌している傍へ5羽が下流側より飛来。橋の下流側にも5羽が認められた。計10羽。大型連休で川筋には釣り人や川遊びの子供が数人いたので、人影に驚いて半数が上流側へ移動したのだろうと思われる。組み写真の上位左画像にはイソシギも写っていて体長比較ができる。今春季初認。	能田正行	通過		武蔵府中0H
	241	キアシシギ	2024/5/5	4羽	浅川・一番橋上流約300m、右岸に近い中洲の水際	キアシシギの透き通った声がしてその方向に2羽が水際を歩きながら採餌していた。オートバイの音に驚いて30mほど上流に移動したがまた元の場所近くに舞い戻った。その時には4羽に増えていた。しばらくして4羽のうち2羽が水浴びをした。羽が長い分だけダイナミックで美しい水浴びだった。	岡本昭男、岡本昭子	通過		武蔵府中1J
	241	キアシシギ	2024/5/6	3羽	浅川・滝合橋下流約100m	右岸側から観察。時々聞こえる声を頼り確認すると水際を歩きながら採餌していた。通過とはいいいながら15日まで毎日見られている。行動範囲は次第に広がり滝合橋から平山橋下流(約200m位)まで拡大している。(補足:先に報告した一番橋上流の4羽も相変わらず見られる。)	岡本昭男	通過		武蔵府中0H
	241	キアシシギ	2024/5/7	1羽	浅川・浅川橋付近	上流から下流へ飛ぶ	古山隆	通過		八王子6K
F	241	キアシシギ	2024/5/14	1羽	城山川・北浅川との合流地点付近	城山川下流域でキアシシギが採餌していた。観察していると次の2点が気になった。①キアシシギは、イソシギが3～4m付近までに近付くと追いかけ回して追い払っていた。(数日前に別個体？でも目撃)②キアシシギは、非常に警戒心が強く人の気配を感じると鳴き声(警戒時の鳴き声？)を上げながら飛び去る。	荻島伸介	通過		八王子5K
	241	キアシシギ	2024/5/17	7羽	浅川・一番橋下流側300M～500Mの間	桜並木下で5羽が休んでいてその先の水門近くで2羽が流れの中で採餌していました	浜田早苗	通過		武蔵府中1K～2K
	241	キアシシギ	2024/5/20	3羽	浅川・川口川合流付近	中州で採餌	古山隆	通過		八王子6K
	244	イソシギ	2024/4/7	1羽	浅川・平山橋下流約100m	堰のコンクリートブロックの上。ブロックの上で片趾立ちして時々目を瞑ったり開けたりして休息中に見えた。1時間半後に見に行っても同じ姿勢でいた。この辺りでは久しぶりの出会いであった。	岡本昭男	行動		武蔵府中0H
	339	ミサゴ	2024/1/4	2羽	多摩川・谷地川合流部付近	1羽の飛翔を少し下流部で目撃した後、他の1羽と共に飛翔する姿を約1時間後に再度目撃した。	小川圭太	行動		立川0C
	339	ミサゴ	2024/1/15	1羽	多摩川・JR鉄橋上流側	食べかけらしい大きな魚を掴んで上流から飛来し定位置の木にとまり魚を少し食べた所で近くにいたノスリが気になったの	浜田早苗	行動		立川1B

					か又魚を持って飛び立ちノスリに追われながらも上流方向へ逃げ切りました			
	339	ミサゴ	2024/2/2	1羽	多摩川滝山下	昭和水堰 下流側右岸 上空 大型のコイを足指ではさみ飛ぶ	多摩川滝山城跡下定期 C(古山)	行動 拝島 6E
	339	ミサゴ	2024/2/3	2羽	多摩川・谷地川合流部付近	魚を掴んでいると思われるミサゴを別の個体 2 羽が飛翔していた。	小川圭太	行動 立川 1B
	339	ミサゴ	2024/2/3	2羽	多摩川・ひょうたん池付近	近くを一緒に飛ぶように見える 2 羽を観察。	小川圭太	行動 立川 0C
	339	ミサゴ	2024/3/2	1羽	多摩川・JR 中央線鉄橋上流部	魚を掴んでいると思われるミサゴ 1 羽の飛翔を観察。	小川圭太	行動 立川 1B
	339	ミサゴ	2024/3/2	1羽	多摩川・ひょうたん池付近	上空を飛翔して移動していく1羽を確認。	小川圭太	行動 立川 0C
	339	ミサゴ	2024/3/4	1羽	多摩川浅川合流部	高木に止まっていた。	門口一雄、門口裕子	行動 武蔵府中 4K
	339	ミサゴ	2024/4/6	1羽	多摩川・JR 中央線鉄橋上流部	下流に向かうミサゴ 1 羽の飛翔を観察。	小川圭太	行動 立川 1B
	340	ハチクマ	2024/5/25	3羽	谷地川上流端(岩の入り橋)付近	(行動)3 羽が林の上空で時々旋回しながらゆっくり上昇、少し高度を上げたあと、西にまっすぐ飛び去った。(識別)大きさはカラスより大きめ 羽は、たもとが少しある感じ 羽先は写真拡大では 6 本に数えられた。鳴き声は、ピョー と延びた声でサンバの声とは違った。羽ばたきは、少なくゆったり、飛ぶ速度もゆっくりめ(小さいですが写真有)。	中村啓二、中村美弥子	行動 拝島 2E
F	354	ツミ	2024/3/30	2羽	南大沢界隈(明示せず)	(♂1 羽、♀1 羽)。2-3 日前から、南大沢某所でツミの鳴き声が聞こえていた。3 月 30 日にツミの姿を視認できたところ、交尾をした。その後メスは、交尾より前から置いてあったと思われる獲物を食べた。獲物は写真を見るとネズミと思われる。最後は丸呑みした。	岡田浩郎	繁殖 4 武蔵府中 ⑤ 0D
	354	ツミ	2024/5/15	2羽	陵北大橋上流の山入川、神谷橋付近	声がして見てみると、交尾の最中だが、メスは小鳥を食べていた。オスはすぐ飛んだが、メスは夢中で、時々鳴きながら食べていた。	柚木育子	繁殖 4 拝島 1B ⑤
	354	ツミ	2024/5/15	声	下柚木・富士見台公園	ツミ(鳴き声のみ)。1 羽? 帰ろうとしたら今度は近くの木の上からツミの声がした。営巣しているか確認したかったが一声鳴いただけで姿は見えなかった。	市村緑他会員 1 名	行動 武蔵府中 0E
	354	ツミ	2024/5/21	2羽	中田遺跡公園(川口川沿い)	公園内のサクラの大木に 2 羽が飛来し、鳴き合っていた。	粕谷和夫	行動 拝島 6A
F	354	ツミ	2024/6/23	2羽	南大沢付近(詳細公開せず)	(オス 1 羽、メス 1 羽)。オスの幼鳥がオナガの狩りに失敗しました。メス(多分幼鳥)は木の枝をくわえたり足に握りこんだりして遊んでいました。	岡田浩郎	繁殖 5 武蔵府中 ① 0D
	354	ツミ	2024/6/24	2羽	南大沢駅付近	駅前を歩いていたら、ツミの鳴き声が聞こえた。どこににいるのかと探しているうちに、上空を飛ぶトビに、半分ほどの大きさの鳥が 2 羽交互にアタックしているのに気が付いた。双眼鏡もカメラも持っていなかったので確認はできていないが、大きさや羽根の形、腹側が白っぽかったこと、その付近で鳴き声を聞いたことからツミと判断した。トビは再三の急降下攻撃に嫌気がさしたか、南へ飛び去った。その後ツミが上空に舞い上がったところで見失った。	岡田浩郎	行動 武蔵府中 0D
F	354	ツミ	2024/6/25	4羽	日野市内の街路樹(詳細非公開)	1 週間前には白い幼綿羽に包まれフワフワだったヒナ達が今日午後観察に行ってみると目の前で次々巣を離れ 10m 程離れた別の木に飛び移って行きました。この時親鳥の声が聞こえたのですが姿は見つけられませんでした。2 枚目の画像には 4 羽の幼鳥が写っていますが枝や幹が被っていて識別が難しいのでマークをつけておきます。	能田正行	繁殖 5 非公開 ⑤
	355	ハイタカ	2024/1/15	1羽	谷地川・新旭橋下流付近	尾羽が角ばって長く見えるハイタカが上空を大きく旋回しながら暫く飛んでいました。ヒクイナ(フオ鳥信済)が驚いたように川岸の茂みに逃げ込みました	浜田早苗	行動 立川 0C
	355	ハイタカ	2024/2/1	1羽	北浅川・松枝橋と中央高速道橋の中間付近	カラスにモビングされながら北浅川の上流方法に飛び去った。	荻島伸介、門倉美登利	行動 拝島 4A
	355	ハイタカ	2024/2/3	1羽	北浅川・陵北大橋～元木橋	木にとまっていた。	青木静子他定期カウント参加者	行動 拝島 1B
	355	ハイタカ	2024/2/3	1羽	多摩川・谷地川合流部付近	上昇気流で上空を飛翔していくハイタカを観察。	小川圭太	行動 立川 1B
	355	ハイタカ	2024/2/3	1羽	多摩川・ひょうたん池付近	地上から飛翔していく 1 羽を観察。	小川圭太	行動 立川 0C
F	355	ハイタカ	2024/2/15	1羽	小宮公園・ひよどり山上空	ハイタカ 1、ノスリ 1。ハイタカがノスリをモビングしていました。小宮公園定期カウントで、参加者全員で観察しました。	田中博之	行動 拝島 7A
	355	ハイタカsp	2024/3/1	1羽	上壱分小学校上空付近	下流に消えた。	中村后子他定期カウント	行動 拝島 2B
	355	ハイタカ	2024/3/2	1羽	多摩川・JR 中央線鉄橋上流部	羽ばたきながら上昇気流で上空を飛翔していくハイタカを観察。	小川圭太	行動 立川 1B
	355	ハイタカ	2024/4/2	1羽	浅川・一番橋上流約 200m	雄成鳥。右岸の雑木の奥。ムクドリの群れが止まっている木の裏側でムクドリのギャーギャー鳴く声と共にバタバタと羽音が聞こえた。その後、近くでムクドリを足元に捕まえたハイタカが枝越しに見えた。まもなくカラスがやってきて攻撃したため飛び去った。趾にはムクドリを掴んでいなかった。	岡本昭男	行動 武蔵府中 1J

	355	ハイタカ	2024/4/7	1羽	北浅川・松枝橋と中央 高速道橋の中間付近	右岸側の雑木林より羽を素早くバタバタしながら飛び立ち、旋回しながらどんどん上昇して見えなくなった。	荻島伸介、木野孔司	行動	拝島 4A
	356	オオタカ	2024/1/14	1羽	城山川・浅川合流地点	11:00 頃。冬鳥一斉調査後、出発地点までもどった所、対岸の木にツグミと大きな鳥が飛び込み。ツグミは細かい枝の中を飛び去りました。鳴き声で確認。木に止まった大きな鳥を双眼鏡で確認したところオオタカでした。	中山尊人、中山千晶	行動	八王子 4K
	356	オオタカ	2024/2/1	1羽	小山西内裏公園大田切池	池の奥の方の水面近くの古木に留まり時々首を動かしたりしていた。近くにシジュウカラが群れていたが狩をする様子はなかった。こんな近くでオオタカを見たのは初めてでした。	市村緑他 1 名	行動	八王子 9C
F	356	オオタカ	2024/2/1	1羽	小山西内裏公園・大田切池	毎朝オオタカの巣付近を観察していたが姿がなく少し離れた池の古木に留まっていた。	市村緑	行動	八王子 9C
	356	オオタカ	2024/2/3	1羽	片倉城址公園	11:15。♀。上空を山田駅方面へ飛び去った	今野美代子	行動	八王子 7G
	356	オオタカ	2024/2/3	1羽	多摩川・谷地川合流部付近	谷地川合流部付近で水面付近の獲物を狙って飛翔し、上流川へ飛んでいった。	小川圭太	行動	立川 1B
	356	オオタカ	2024/3/2	1羽	多摩川・ひょうたん池付近	河原上空を飛翔していくオオタカ若鳥を観察。	小川圭太	行動	立川 0C
	356	オオタカ	2024/3/13	1羽	小山西内裏公園芝生広場奥の雑木林	昨年営巣した古巣付近を鳴きながら少し奥の方へ入っていった。	市村緑他会員 1 名	行動	八王子 9C
F	356	オオタカ	2024/4/4	1羽	浅川左岸・サイカチ池	16:09。長沼橋下流から低空で飛来し河畔林に止り、5分ほどあたりを覗いながら羽繕いや排便をし、ここでは狩りをせず上流方向(中央線鉄橋の先)へ飛び去りました。	能田正行	行動	八王子 9H
	356	オオタカ	2024/4/6	2羽	多摩川・JR 中央線鉄橋上流部	カラスにモビングされるオオタカ 2 羽を観察。	小川圭太	行動	立川 1B
	356	オオタカ	2024/4/6	1羽	多摩川・谷地川合流部付近	上空を飛翔するオオタカを観察。	小川圭太	行動	立川 1B
	356	オオタカ	2024/4/7	1羽	陵南公園・参道側	14:00 頃。ベンチのまわりで寛いでいたカワラバトが慌てて飛び立ちました。上空を見るとオオタカが旋回していました。旋回した後、南浅川下流の方へ飛び去りました。	中山尊人、中山千晶	行動	八王子 3H
	356	オオタカ	2024/4/7	1羽	浅川・平山橋下流約 200m、右岸河原の木	(若 1 羽)木の枝の込み合っている場所に止まっていた。その近くにカラスがやってきたがしばらくはいたがやがて飛び去った。	岡本昭子、岡本昭男	行動	武蔵府中 0H
	356	オオタカ	2024/4/10	1羽	日野高校上空	南側丘陵から飛来、旋回し多摩川方向に飛び去る。	門口一雄、門口裕子	行動	武蔵府中 4K
	356	オオタカ	2024/5/3	2羽	長沼公園	沢沿いの巨木に鳴きながら飛来し、幼鳥にエサを渡し飛び去る。	門口一雄、門口裕子	繁殖 5 ①	八王子 9F
	356	オオタカ	2024/5/26	1羽	浅川・浅川橋付近	早朝5時45分頃 下流側から上流側へ飛ぶ ツバメがモビング	古山隆	行動	八王子 6K
	356	オオタカ	2024/6/7	1羽	上一分小学校の隣の老人施設	避雷針に止まっていた。	中村后子他定期カウント	行動	拝島 2B
	356	オオタカ	2024/6/7	1羽	松枝住宅付近	上空を飛んでいた。	中村后子他定期カウント	行動	拝島 3B
	356	オオタカ	2024/6/8	1羽	長沼公園	朝5時半に、都立長沼公園から警戒音が聞こえた。	山崎久美子	繁殖 3	八王子 9G
F	356	オオタカ	2024/6/13	1羽	小宮公園	定期カウントの最中に、かわせみの小道のあたりで、小鳥を追いかけしている成鳥を観察しました。	田中博之	行動	拝島 7A
	356	オオタカ	2024/6/20	4 羽	小宮公園隣り	親子連れ(親 1+雛 3)、雛は巣立ち前の枝移りしていた。親が餌を運んできた。	粕谷和夫、井上京子、栗原豊	繁殖 ①	拝島 7A
	358	ノスリ	2024/1/3	1羽	左入・国道 16 号左入街道交差点	旋回飛翔しながら上昇中	粕谷和夫	行動	拝島 7B
	358	ノスリ	2024/1/4	1羽	多摩川・JR 中央線鉄橋上流部	多摩川対岸の大きな枯れ木によく止まっている個体と思われるが、今回も木に止まっていた。	小川圭太	行動	立川 1B
F	358	ノスリ	2024/1/6	1羽	浅川・大和田橋上流	一瞬、ゴミ袋と思ったが、双眼鏡で確認すると腹巻が特徴のノスリと確認できた。自宅で画像を拡大すると何か食べているようにも見える。	荻島伸介	行動	八王子 7K
	358	ノスリ	2024/1/8	2羽	多摩森林科学園上空	AM9:50。2 羽で仲良くくるくるまわりながら山陰に飛び去ってしまった。	今野美代子	行動	八王子 2H
	358	ノスリ	2024/1/14	2羽	多摩川合流部及び新井橋上空	その 1、多摩川合流部の対岸のクルミの木?に止まっていた。その 2、新井橋上空を上流方向から旋回しながら下流方向に飛ぶ。	門口一雄他冬鳥一斉調査担当チーム	行動	武蔵府中 4K
F	358	ノスリ	2024/1/18	1羽	多摩川・中央線鉄橋上流、左岸	多摩川右岸からノスリが上昇気流に乗ってかなり高いところを帆翔してる様子を観察していたら、いきなり翼を縮めて急降下してきた。途中から脚を目標に向かって伸ばしていることも写真で確認できた。その後対岸(立川側)の草むらに消えた。高いところからネズミなどを見つけて急降下してきたものと考えられた。	小久保雅之	行動	立川 1C
	358	ノスリ	2024/2/3	1羽	多摩川・JR 中央線鉄橋上流部	対岸の枯れ木に止まっていた	小川圭太	行動	立川 1B
	358	ノスリ	2024/2/3	1羽	多摩川・谷地川合流部付近	川よりも南側を飛翔していく 1 羽を観察。	小川圭太	行動	立川 0C
	358	ノスリ	2024/2/15	1羽	浅川・ふれあい橋上空	旋回していた。	門口一雄、門口裕子	行動	武蔵府中 4K
	358	ノスリ	2024/3/2	1羽	多摩川・JR 中央線鉄橋上流部	多摩川上流側より飛翔し、対岸の枯れ木に止まった	小川圭太	行動	立川 1B



	358	ノスリ	2024/3/10	1羽	北浅川・右岸側(檜原小学校西側付近)	北浅川の右岸側の枯草の中から下流方向に飛び立ち、近くの雑木林に飛び込んだが、暫くするとオナガが鳴き声と共に騒ぎ出した直後にノスリが飛び出て近くの葉の無い木に一時的にとまったが、直ぐに上流方向に飛び去った。	荻島伸介	行動	拝島 4A
	358	ノスリ	2024/3/14	2羽	醍醐川	12:50. 2羽でぐるくる上空を回っていたが、小津方面へ飛び去って行った。	今野美代子	行動	五日市 7A
	364	クマタカ	2024/4/7	1羽	北浅川・佐戸バス停付近	上流側西側の尾根上で旋回	古山隆	希少	与瀬 9K
	372	フクロウ	2024/4/3	2羽	自宅と自宅付近(中野町)	PM20:00～1時間以上。♂2羽。入浴中にフクロウの声に気が付いたので夫に頼んだら、居場所を見つけてシルエットのみですが1羽視認することが出来ました。多摩病院裏の雑木林と近くの公園で2羽いて張り合って鳴いていたため1時間以上鳴いているのを確認しました。声を確認したのは4年連続。今年は2羽に増えて嬉しい限りです。	今野美代子と夫と娘	希少	拝島 6B
	372	フクロウ	2024/4/17	1羽	多摩病院雑木林	声。23:50。♂。目の前を歩くハクビシンを見ていたらフクロウの声を聴いたそうです。	今野美代子の夫	希少	拝島 6B
	372	フクロウ	2024/4/17	1羽	自宅(中野町)	声。19:05-15。♂。鳴きながら東に移動していった。	今野美代子	希少	拝島 6B
	372	フクロウ	2024/4/21	1羽	自宅(中野町)	声。23:23-25。♂。少し鳴いたら鳴き止んでしまった。	今野美代子	希少	拝島 6B
	372	フクロウ	2024/4/22	1羽	自宅(中野町)	声。20:20-25。♂。5分ほどで鳴き止んでしまった。	今野美代子	希少	拝島 6B
	372	フクロウ	2024/4/30	1羽	多摩病院雑木林	声。19:15。♂。自宅で窓を開けていたら聞こえた。囀りの延長なのか地鳴きなのか「ほ↓ほ↑ほ↑ほ↑ほ↑ほ↑」と初めて聞く鳴き方でも鳴いていた。	今野美代子	希少	拝島 6B
	372	フクロウ	2024/5/9	声	恩方・大久保バス停付近	20時、晴、春の星座を見ているとゴロスケホッホの声が聞こえてきた。	粕谷和夫	希少	八王子 0K
	372	フクロウ	2024/5/10	1羽	多摩病院雑木林から	♂声。21:40。自宅で窓を開けていたら囀りのゴロスケホーホーが聞こえた。	今野美代子	希少	拝島 6B
	372	フクロウ	2024/5/14	2羽	多摩病院雑木林と甲の原中学校上	♂声2羽。21:00～1時間以上。今年は多摩病院の雑木林に♂1羽とみつい台の公園に♂1羽が居ついているらしく、たまに囀り合戦となる。ただ、未だ♀の要求鳴きは聞いたことがない。	今野美代子	希少	拝島 6B
	372	フクロウ	2024/5/20	1羽	自宅(中野町)・多摩病院雑木林から	♂声。20:00。自宅で窓を開けていたら囀りのゴロスケホーホーが聞こえた。ホッホホウホウホウと地鳴きもしていた。	今野美代子	希少	拝島 6B
	372	フクロウ	2024/5/23	1羽	自宅(中野町)・甲の原中学校方面から	声。20:10。♂。甲の原中学校方面から。自宅で窓を開けていたら囀りのゴロスケホーホーが聞こえた。	今野美代子	希少	拝島 6B
	372	フクロウ	2024/5/23	1羽	自宅(中野町)・多摩病院雑木林から	声。0:05。♂。多摩病院雑木林から。自宅で窓を開けていたら囀りのゴロスケホーホーが聞こえた。	今野美代子	希少	拝島 6B
	372	フクロウ	2024/6/2	1羽	自宅(中野町)・多摩病院雑木林から	声。20:15。♂。多摩病院雑木林から。自宅で窓を開けていたら囀りのゴロスケホーホーが聞こえた。	今野美代子	希少	拝島 6B
	372	フクロウ	2024/6/6	1羽	自宅(中野町)・多摩病院雑木林から	声。21:10。♂。多摩病院雑木林から。自宅で窓を開けていたら囀りのゴロスケホーホーが聞こえた。	今野美代子	希少	拝島 6B
	372	フクロウ	2024/6/11	1羽	自宅(中野町)・甲の原中学校方面から	声。23:10。♂。甲の原中学校方面から。自宅で窓を開けていたら囀りのゴロスケホーホーが聞こえた。 これ以降は、暑くて窓を閉めていたり、旅行に行っていたりで聞いていません。今年は雄2羽が近くに陣取って、互いに縄張り宣言をしていたので良く鳴いたようです。ただ、メス特有の鳴き声は一度も聞こえなかったため…繁殖はなかったんじゃないかと思われます。	今野美代子	希少	拝島 6B
	374	アオバズク	2024/5/2	1羽	八王子市狭間町付近	23時30分頃。自宅の至近の場所で約5分程鳴いていた。毎年繁殖している御霊神社の個体かと推測します。	加藤岸男	希少	八王子 3F
	374	アオバズク	2024/5/10	声	高尾山口駅西側の山の中	19時50分、晴、春の星座を見ているとホッホウ、ホッホウの音が聞こえてきた。	粕谷和夫	希少	八王子 1F
	374	アオバズク	2024/6/3	2羽	駒木野公園付近・自宅(小仏川)	19時半頃、アオバズクが2羽、川に沿った電線や電柱に止まったり、向かいの森に飛んで電線に戻って来たりした。そのうちの1羽は鳴いたりもした。確かではないが、2羽のアオバズクがくる前に、森の川原に潜むカメラマンがアオバズクの鳴き声の音声を流しているようだった。	井川麻利子、井川志織子	希少	八王子 1G
	374	アオバズク	2024/6/17	声	湯殿川・西明神橋付近	19時50分、ホテル調査中に声を聞く	粕谷和夫	希少	八王子 3F
	374	アオバズク	2024/6/24	声	川口川・下田守橋～新関戸橋	19時55分、ホテル調査中に声を聞く	粕谷和夫	希少	拝島 0D
F	383	カワセミ	2024/2/17	1羽	城山川・三村橋下流	セイタカアワダチソウのてっぺんにベニマシコでは無くカワセミがいました。	荻島伸介	行動	八王子 4K
F	383	カワセミ	2024/2/20	2羽	浅川・鶴巻橋上流側	カワセミのメス2羽の争う姿を目撃しました。右側のカワセミが水の中に引き込んだため、短時間でしたがこの様な水中戦も観察できました。	荻島伸介	行動	八王子 5K
F	383	カワセミ	2024/3/3	1羽	多摩御陵	『溪流の宝石』の翡翠も最近はアチコチで棲息しています。それでも見つけるとキメキメします。	野崎照夫	行動	八王子 2H
F	383	カワセミ	2024/3/30	1羽	城山川・三村橋下流	カワセミが急に「もぞもぞ」と動き出したので、ベレットを吐き出すと思いシャッターを切った。非常に苦しそうなお顔のカワセミがベレットを吐き出した画像を確認したが、この時に気になったのは口に付いた土だった。掘り始めた巣穴の場所は何処なのか気になります。	荻島伸介	行動	八王子 4K
F	383	カワセミ	2024/5/6	2羽	浅川・萩原橋下流側約150m	キアシシギの観察中にカワセミの番が現れ、求愛給餌を目撃しました。	荻島伸介	繁殖⑤	八王子 6K

F	383	カワセミ	2024/5/15	2羽	程久保川の下程久保橋とたばこや橋の間	カワセミ2羽の親が「頭を前にした魚を喰えて」川の中での定点と思われるところに止まっていた。コンクリート3面張の川で、近くに営巣できそうな土の壁はないが、塩ビ管の排水穴が多数両側にあるので、この穴のどれかに営巣中で巣中の雛に餌を運んでいるものと推定した。	粕谷和夫	繁殖④	武蔵府中3J
	393	アカゲラ	2024/1/4	1羽	多摩川・谷地川合流部付近	河原の木に飛翔してきた個体がしばらく止まり、また隣の林へと飛翔していった。	小川圭太	希少	立川1B
	393	アカゲラ	2024/1/6	1羽	長沼公園	公園西端の雑木林コナラの枯れ木で採餌していた。	門口一雄	希少	八王子9F
	393	アカゲラ	2024/1/20	1羽	戸吹緑地尾根筋の北側、明大の学校林内	古木の梢付近で採餌していた。	門口一雄、門口裕子	希少	拝島3E
F	393	アカゲラ	2024/2/1	1羽	片倉城跡公園	しきりに木をつついて何か探しているようでした。	浜野知恵子	希少	八王子8G
	393	アカゲラ	2024/3/11	2羽	高尾山・ビジターセンター北側ベンチ付近	アカゲラ♂2羽がナラ枯れのコナラの樹皮で採餌。	千葉禎子他定期カウント参加者	希少	与瀬9E
	397	アオゲラ	2024/2/17	2羽	黒川清流公園	16:05。♂♀。近くで♂♀2羽が採餌しているのを観察した。♀を観察しているうちに♂を見失った。	今野美代子	行動	武蔵府中1K
	397	アオゲラ	2024/6/26	1羽	暁町緑地	姿、地鳴き、ドラミングを確認、付近にアオゲラのもものと見られる古巣穴あり。	粕谷和夫	繁殖3	拝島6A
	401	チョウゲンボウ	2024/2/2	1羽	北野清掃工場	9:20頃。排気塔の最上部にとまる。浅川左岸から確認。	佐藤哲郎	行動	八王子8J
	401	チョウゲンボウ	2024/2/16	1羽	浅川・高幡橋付近	雌上流から飛来し高幡橋付近でホバリングした後下流に飛び去りました	浜田早苗	行動	武蔵府中2K
	401	チョウゲンボウ	2024/2/17	1羽	石川工業地帯	♀。倉庫の屋根際の際を探るように飛んでいた。前日も近くで主人が観察しているので営巣場所探しか？	今野美代子	行動	八王子9A
	401	チョウゲンボウ	2024/3/16	1羽	ヒヨドリ山トンネル抜けて中央高速を過ぎたあたり	16:30。道路上空を左入町方面に横切って行った。	今野美代子	行動	拝島7B
	401	チョウゲンボウ	2024/3/22	1羽	JR八王子駅北口	野村証券ビル付近 ビル屋上の方から鳴き声	古山隆	行動	八王子7J
	401	チョウゲンボウ	2024/5/2	1羽	浅川・新浅川橋下流側	9:20頃。左岸側から右岸側へ上空を飛翔。後を数羽のツバメが追う。	佐藤哲郎	行動	八王子8J
	401	チョウゲンボウ	2024/5/3	1羽	京王八王子駅前	駅前の上空を旋回飛翔	粕谷和夫	行動	八王子7J
	401	チョウゲンボウ	2024/6/3	2羽	JR八王子駅(北口)付近	幼鳥2羽7ビル壁面に設置された広告取付用の台座から顔を出す その後継続的に観察されたが、6/12夕方には姿が見られず、この日に2羽とも巣立ったと思われる(前年も同一場所で繁殖)	古山隆	繁殖5⑤	八王子7J
F	406	ハヤブサ	2024/1/12	1羽	日野市クリーンセンター上空	多摩川・浅川合流点付近から浅川を上流に向かって歩いていたら、上空に出現。浅川上流方面に飛んで行きました。	小久保雅之	行動	武蔵府中4K
	407	ハヤブサ	2024/1/8	1羽	陵南公園上空	PM15:10。南浅川上流から現れ、陵南公園上空で旋回しながら登って消えて行った。	今野美代子	行動	八王子3H
F	407	ハヤブサ	2024/2/9	2羽	多摩川・中央線鉄橋の上空	上空に2羽のハヤブサが現れ、互いに威嚇するような行動が見られた。	小久保雅之	行動	立川2B
	407	ハヤブサ	2024/4/6	1羽	多摩川・ひょうたん池付近	上空を上流へ向かい飛翔するハヤブサを観察。	小川圭太	行動	立川0C
	412	サンショウクイ	2024/1/20	2羽	館町緑地	亜種リュウキュウサンショウクイ。湿地のヘリを歩いていた。	加藤岸男、門倉美登利(越冬期緑地調査参加者)	希少	八王子4E
	412	サンショウクイ	2024/2/1	1羽	高尾山6号路	高木の枝先にいたがすぐに飛び去った。(亜種リュウキュウサンショウクイ)	管野桂子他琵琶滝定期カウント参加者	希少	八王子0E
	412	サンショウクイ	2024/3/7	2羽	高尾山清滝駅先	比較的遠くで鳴いていた。(亜種リュウキュウサンショウクイ)	管野桂子他琵琶滝定期カウント参加者	希少	八王子1F
	412	サンショウクイ	2024/4/11	2羽	高尾山山頂近く	頭上を鳴きながら飛んでいた。(亜種リュウキュウサンショウクイ)	管野桂子他琵琶滝カウント参加者	希少	与瀬9E
	412	サンショウクイ	2024/5/2	1羽	高尾山3号路	登山道上空で鳴いていた。(亜種サンショウクイ)	管野桂子他琵琶滝カウント参加者	希少	八王子0E
	412	サンショウクイ	2024/5/2	1羽	高尾山山頂近く	頭上で鳴いていた(亜種サンショウクイ)	管野桂子他琵琶滝カウント参加者	希少	与瀬9E
	412	サンショウクイ	2024/5/3	3羽	北土代沢の入り口	北土代沢の入り口(夕焼け小焼け会館の駐車場の隣)で空中を飛んでいた。	山崎悠一、山崎久美子、玉木雅治	希少	五日市7A
	412	サンショウクイ	2024/5/3	1羽	力石沢	力石沢(ます釣り場の向かい側)で1羽が空中を飛んだ	山崎悠一、山崎久美子、玉木雅治	希少	五日市7A
	412	サンショウクイ	2024/5/6	1羽	奥高尾・一丁平	登山道真上の枯れた高木の樹冠部で採餌していた。尾の長さと同じ下面が際立って見えた。	門口一雄、門口裕子	希少	与瀬8E
	412	サンショウクイ	2024/6/1	1羽	松竹公園付近	亜種リュウキュウサンショウクイ 上空から鳴き声	古山隆	希少	八王子0K
	412	サンショウクイ	2024/6/6	2	高尾山6号路と3号路	頭上で鳴いていた。(亜種サンショウクイ)	管野桂子他琵琶滝カウント参加者	希少	八王子0E

	418	サンコウチョウ	2024/5/6	1羽	裏高尾・日影沢林道中程	頭上の林の樹冠付近で鳴いていた。カメラを持ったバーダーと一緒に探すが姿を確認出来なかった。	門口一雄、門口裕子	希少	与瀬 9F
F	418	サンコウチョウ	2024/5/12	2羽	八王子城跡	休日は 50 人以上のBirderが鳴き声に右往左往です	野崎照夫	希少	八王子 1J
F	418	サンコウチョウ	2024/5/14	2羽	八王子城跡	道沿いの木立を素早く移動していました。	田中博之	希少	八王子 1J
	418	サンコウチョウ	2024/5/18	1羽	戸吹緑地	緑地中央部の沢方向から鳴き声が再三聞こえた。	門口一雄、門口裕子	希少	拝島 3E
	418	サンコウチョウ	2024/5/23	2羽	底沢峠	夏鳥調査コースの沢沿い、上部縦走路付近で鳴いていた。	門口一雄	希少	与瀬 9E
	418	サンコウチョウ	2024/5/29	2羽	八王子城跡林道・御主殿の滝の奥の橋付近の杉林	♂♀。さえずりも聞こえ、飛び回っていた。♂が枝にとまり暫く、羽繕いをしていた。	千葉禎子	繁殖 3	八王子 0H
	418	サンコウチョウ	2024/6/1	1羽	松竹・八王子城山登山口付近	♂ 杉林で囀る	古山隆	希少	八王子 0J
	418	サンコウチョウ	6 月 6 日	1羽	長沼公園	公園中央部付近で鳴いていた。	門口一雄、門口裕子	希少	八王子 9F
	418	サンコウチョウ	2024/6/6	2羽	高尾山6号路	1羽は上部階段脇の高木の幹に止まっていて雌のようであったがすぐに飛び去った。もう1羽は山頂手前で鳴いていた。	菅野桂子他琵琶滝カウント参加者	希少	与瀬 9E
	418	サンコウチョウ	2024/6/8	声	駒木野公園付近・自宅(小仏川)	声。朝、7時半頃、川に沿った森からサンコウチョウの鳴き声が聞こえた。13 日の早朝にも同じ方から声が聞こえた。5分程度。	井川麻利子	希少	八王子 1G
	418	サンコウチョウ	2024/6/12	2羽	高尾山・ふじ道と3号路合流から、山頂寄り谷側	♂♀が鳴きながら飛び回っていた。	千葉禎子他定期カウント参加者	希少	与瀬 9E
	418	サンコウチョウ	2024/6/29	1羽	高尾山・薬王院四天王門付近	薬王院の木々の中でホイホイと鳴きながら動いているのがわかり皆で探した。姿はよく確認出来なかったが鳴きながら杉並木下の3号路の方に鳴きながら飛んで行った。周りにいた人皆で写真を見てサンコウチョウを楽しんだ。	門倉美登利他ボランティア 4人	繁殖 3	八王子 0E
F	420	モズ	2024/2/3	2羽	多摩川・JR 鉄橋上流部右岸	定期カウント中、並んで止まる2羽を目撃。さらにもう1羽のオスもいて競っている様子でした。	小川圭太	行動	立川 1B
F	420	モズ	2024/3/2	2羽	川辺堀之内 パイパス工事現場の横	オス1羽、メス1羽。ピンボケの写真ですが、行動として面白かったのでご紹介します。モズは繁殖期にメスがパートナーを求めてオスのテリトリーに入ってくるのが知られています。通常ですとオスは求愛ダンスをしたり、求愛給餌をしてメスを大切に扱います。実際に何回かその様子を観察したこともあります。しかし、今日はオスがメスを攻撃して追い払っているように見えたのです。いろいろなことが想像されますね。既にペアが成立しているオスのテリトリーに侵入してきた別のメスが攻撃された。オスが求愛のために大切に隠していたハヤニエを、メスが盗もうとした。さあ、何があったのでしょうか。	小久保雅之	行動	武蔵府中 2K
F	420	モズ	2024/5/10	2羽	浅川・一番橋下流左岸	モズの幼鳥2羽を確認しました。もうしっかり飛べるようになっていました。親に餌をおねだりするような鳴き声を発していましたが、親鳥は姿を現さず。	小久保雅之	繁殖 5 ⑤	武蔵府中 1J
	420	モズ	2024/5/15	2羽	浅川・一番橋上流約 100m	幼鳥。右岸の木。葉陰の間で時々羽を震わせながら黄色い口を大きく開いて餌をおねだりしていた。どこからか一瞬鋭い声がして姿を消した。可愛い姿を久しぶりに見た。	岡本昭男	繁殖 5 ⑤	武蔵府中 1J
	427	カケス	2024/1/8	1羽	多摩森林科学園	PM12:30。♀。主人にアオバトの位置を教えてたら、主人が見つけ私も視認した。	今野美代子	行動	八王子 2H
F	435	ハシボソガラス	2024/2/18	1羽	浅川・ふれあい橋上流右岸	食パンを拾ってきたハシボソガラスが、浅川の砂礫の隙間にそれを隠し、さらに石を2つ3つ上から置いて隠していました。	小川圭太	行動	武蔵府中 3K
	436	ハシブトガラス	2024/1/24	1羽	自宅(高尾町)南側	11:40 頃。墓地のブロック塀に止まり鳴いていた。今季初認	福本順吉	行動	八王子 2G
F	436	ハシブトガラス	2024/2/11	1羽	日野市黒川清流公園	木の枝でくばしの左と右を交互に擦り、丁寧に手入れをしているハシブトガラス。研いでいるのか、汚れを取っているのか。	小川圭太	行動	武蔵府中 1K
	436	ハシブトガラス	2024/6/10	1羽	高幡不動駅構内	小鳥をくわえて飛ぶ。そのあとをハクセキレイが3羽、激しく鳴きながら追いかける。嘴に咥えているのはハクセキレイの幼鳥(巣立ちビナ)ではないかと推測される	古山隆	行動	武蔵府中 3K
F	438	キクイタダキ	2024/1/13	3羽ー	片倉城跡公園・住吉神社の上の広場	2・3羽。シジュウカラ・ヤマガラスの混群れに。せわしく針葉樹の小枝を飛び回り、シャッターチャンスが難しかった。最初はウグイスをまちがえて撮っていた。スナツブは頭頂部のイタダキの黄色がポイントです。	野崎照夫	希少	八王子 7G
F	442	ヤマガラ	2024/1/12	1羽	清水入緑地(南大沢)	清水入緑地カウントで秋に隠しておいたエゴの実を掘り出したと思われるヤマガラに出合った。	粕谷和夫	行動	武蔵府中 1C
	445	シジュウカラ	2024/2/25	1羽	自宅(高尾町)	9:15 頃、庭に來たので巣箱内のカメラ映像をチェック。巣箱に入って中の苔など咥えて巣作りを見せていた。未だ本格的な巣作りではなさそう。今春巣箱で初認。	福本順吉	行動	八王子 2G
	445	シジュウカラ	2024/5/6	1家	自宅(高尾町)	我が家の巣箱の状況、2022 年まで3回繁殖したヤマガラ使用した巣箱に今年はシジュウカラが営巣した。4/4~4/16にかけて11 来産卵、4/28 に8 羽孵化、3 個の卵が残っていたが、5/1 に異変、雛がいなくなった。1 羽と1 個の卵が残っていた。9 羽の雛が消えた。原因不明。家の周りにはムクドリやインビヨドリが来ているのでインビヨドリに狙われたかも知れない。巣箱の下あたりには何も落ちていなかった。またはヘビかともおもったが、5/5 朝まで1 羽の親から餌をもらっていたが、5/4 に卵1 個がなくなっていたが、親が食べたのか、これも不明。無精卵のようであった。5/6 朝1 羽が死んでいた。タベ寒かつ	福本順吉	繁殖 3	八王子 2G

					たためか、よく分からない。5/6 今年は諦めて、カメラ等は全て外し、巣箱は天候をみて外す予定です。			
	445	シジュウカラ	2024/6/1	1家	自宅庭(美山町)	朝 7 時頃、親鳥の様子から巣立ちを促している行動とあったが、オオルリ調査のため外出。帰宅した時にはすでに巣立った後でした。巣立ちの瞬間を見ることが出来ず残念！ 2000 年に初めて巣箱を取り付けて以来、ほぼ毎年繁殖を確認しています。	笹川佳子	繁殖 5 ① 拝島 0B
F	452	ヒバリ	2024/2/16	2羽	浅川市民プール近くの草地	2 羽であまり動かず時々地面を突いたりしていました	浜田早苗	行動 武蔵府中 2K
F	452	ヒバリ	2024/5/10	2羽	多摩川・谷地川合流点河原	河原で 2 羽が近くで採餌しているのに出合った。	福本健	行動 立川 0C
	457	ツバメ	2024/3/13	2羽	南浅川・陵南公園付近	南浅川上空。陵南公園付近を旋回。鳴き声なし。	玉木雅治	初認 八王子 3H
F	457	ツバメ	2024/3/18	1羽	浅川・高幡橋上流、駒形公園付近	ツバメ 1 羽が強風の中、元気に飛んでいました。昨年は 3 月 12 日に日野の自然を守る会の「より鳥みどり観察会」が初認でしたので、今年はちょっと遅かったです。	小久保雅之	初認 武蔵府中 2K
	457	ツバメ	2024/3/22	1羽	浅川左岸・平山橋下流約 100m	雄。電線に止まっていた。	岡本昭子	初認 武蔵府中 1J
	457	ツバメ	2024/3/23	1羽	高尾駅北口前交差点	オス。鳴き声が聞こえたので見上げると、交差点にかかる電線にツバメが 1 羽止まっていた。尾の長さからオスと思われる。少しまえに花盛りだった駅前の白木蓮が茶色く萎れていた。	井川麻利子	初認 八王子 2G
	457	ツバメ	2024/3/30	7羽	八王子みなみ野駅の上空	10:00 頃。今年になってからは初めて見ました。	高橋靖乃	行動 八王子 6F
F	457	ツバメ	2024/3/31	1羽	多摩川・JR 中央線鉄橋下流 100m 右岸アパート	(お腹が赤いツバメ)。2024.3.31 及び 2024.4.11。3 月下旬からお腹が赤いツバメが「ただツバメ」とアパートの 3 階で巣づくりを行っており、浜田さんが写真(最初の 2 枚)を撮られ、古山さん、渡辺仁さんにアカハラツバメが確認した。渡辺さんの見解として交雑種と思われるとのことでした。(後の 2 枚は 4 月 11 日福本撮影)	福本健	繁殖 4 ③ 立川 2B
	457	ツバメ	2024/4/4	4羽	北浅川・元八王子市民センター付近	元八王子市民センター付近と北浅川の上空付近をグルグルと旋回していた。	中村后子、村田靖雄	行動 拝島 2B
F	457	ツバメ	2024/4/15	2羽	高幡不動北口モノレール下	私の家族が借りている店舗の軒下に昨年営巣。途中で落下したため、今年は初めから人工巣を取り付けたところ、つがいが出てきました。	小川圭太	繁殖 3 武蔵府中 3K
	457	ツバメ	2024/5/2	1家	自宅(高尾町)北側	自宅北側道路路角の「こまぎの訪問看護ステーション・天馬」で巣作りしていた。なお、高尾駅南の方へ買い物途中で北口前でツバメ 2 羽が飛んでいるのを確認した。今春初認。	福本順吉	繁殖 4 ③ 八王子 2G
F	457	ツバメ	2024/5/18	3羽	高幡不動北口モノレール下	ひな 1 羽、親鳥 2 羽。4 月 16 日に報告した人工巣に 5 個の卵が産卵されましたが、ひなはいつの間にかいなくなってしまう、1 羽となりました。何に襲われたのかは不明です。1 羽が大事に育てられています。	小川圭太	繁殖 5 ① 武蔵府中 3K
F	457	ツバメ	2024/6/1	7羽	日野市高幡(自宅)	(ひな 5 羽・親鳥 2 羽)。他の場所で巣立ったツバメの一家がマンションに飛来し、7 階の手すりまで親鳥が運ぶ餌を待っていた。親はトンボを取ってくる人が多いが、大きくてひなはなかなか飲み込めず、落としていた。	小川圭太	繁殖 4 ② 武蔵府中 3K
F	459	コシアカツバメ	2024/4/14	2羽+	都営日野新井アパート上空	東京の数少ないコシアカツバメの集団営巣地である都営日野新井アパートで今年もコシアカツバメ確認できました。今シーズン初認です。このアパートは現在建て替え工事が行われていて、13 号棟まであった建物は順次解体され、2031 年までに全ての古い建物がなくなり、それに代わって新たな建物が建設される予定で、毎年、今年もここで繁殖してくれるだろうかと心配しています。	小久保雅之	初認 武蔵府中 3K
	459	コシアカツバメ	2024/5/18	2羽	日野市・仲田小学校付近	仲田小上空や市民の森ふれあいホールの上空を飛んでいて、昨年子育てした仲田小の巣に来たのでしょうか。巣に出入りする所は見られませんでした	浜田早苗	行動 立川 2B
F	461	イワツバメ	2024/2/29	4羽	浅川・大和田橋左岸側橋下	去年は 2 月 28 日だと記憶しておりますが、今年は 2 月 29 日でした。盛んに左岸側橋下古巣に出入りし、数分で上流に飛び去りました。写真は頭掻きのところ。	下野彰夫	初認 八王子 8K
	461	イワツバメ	2024/3/14	2羽	浅川・浅川大橋 上流側	飛翔	古山隆	初認 八王子 7K
	461	イワツバメ	2024/3/15	3羽+	高尾駅北口	朝、ジュリジュリと鳴きながらパステローター上空を飛んでいた。	井川志織子	初認 八王子 2G
	461	イワツバメ	2024/3/15	12 羽	浅川・大和田橋	大和田橋上空で飛翔していた	井上京子他定期カウント参加者	初認 八王子 7K
	461	イワツバメ	2024/3/16	1羽	道の駅滝山	16:35。♀。道の駅第二駐車場上空を 3 羽が鳴きながら飛び交っていた。	今野美代子	初認 拝島 7B
	461	イワツバメ	2024/4/19	2羽+	湯殿川沿い・殿田橋真下	9:30 頃。10 分ほど見ていましたが、数分おきに出入りを繰り返していたので、橋の下に巣があるのかなと思いました。	高橋靖乃	繁殖 5 ③ 八王子 5F
	461	イワツバメ	2024/4/30	5羽+	八王子市立元木小学校校庭	16:15 分頃 上空に現れ数回旋回して見えなくなった。	中村后子、他 1 名	行動 拝島 1B
F	461	イワツバメ	2024/5/10	20~30 羽	浅川・暁橋下	木澤氏担当の定期カウントでイワツバメの巣作りを参加メンバーと一緒に観察しました。1 羽が巣材の土を運び、2 羽で協力して新居を作っていました。	荻島伸介	繁殖 4 ③ 八王子 7K

	461	イワツバメ	2024/5/18	36 羽+	新川崎街道の中央道 日野バス停付近	親鳥24羽と雛12羽+。ガード下に巣が13個有りその内12か所 で子育て中でした。其々の巣には雛がいて顔を出したり親鳥 が来ると大きな声で鳴いたりしていました。巣のすぐ真下で は車が途切れる事無く通っていました。	浜田早苗	繁殖 5 ①	立川 3A
F	461	イワツバメ	2024/5/18	3羽	浅川・大和田橋下	大和田橋のイワツバメ営巣調査中、橋下の河原に巣立ち間も ない雛を 3 羽見つけました。近くに寄っても全く逃げません。	佐藤哲郎	繁殖 5 ⑤	八王子 8K
	461	イワツバメ	2024/6/1	10 羽±	南浅川・東横山橋	12:50 頃。皆様もご存じと思いますが 東横山橋 橋桁に10羽 程度のイワツバメがいます。盛んに飛び回っていました。	中山尊人、中 山千晶	繁殖 5 ①	八王子 4J
	463	ヒヨドリ	2024/2/6	1羽	自宅(高尾町)西側	10:29 頃、西側道路垣根から自宅の庭へ飛び移った。今季初 認	福本順吉	行動	八王子 2G
F	463	ヒヨドリ	2024/4/6	1羽	多摩川・谷地川合流 地点付近	顔を一面真っ黄色にして蜜を吸うヒヨドリでした。	小川圭太	行動	立川 1B
	464	ウグイス	2024/2/24	1羽	浅川・鶴巻橋上流側	久しぶりに晴れた本日、鶴巻橋上流側でウグイスの囀りを確 認しました。本日の聞いたウグイスの囀りは、100 点満点で 50 点程度で少し練習が必要と感じました。	荻島伸介	初認	八王子 5K
	464	ウグイス	2024/2/24	1羽	多摩川・中央線鉄橋 下流側	シノリガモを見ていると対岸から囀りが聞こえた。囀り初認	粕谷和夫	初認	立川 4A
	464	ウグイス	2024/2/25	声	自宅・駒木野公園付 近(小仏川)	声。朝、雨が降り始める前、外からウグイスの囀りが聞こえま した。ホーケキョ、という感じで、まだまだ。一度きりでした。	井川志織子	初認	八王子 1G
	464	ウグイス	2024/2/25	声	日野市・中央線鉄橋 付近(多摩川右岸)	声。朝、川原でカモ類を見ていたところ、ウグイスの囀りが聞こ えた。	井川麻利子、 井川志織子	初認	立川 2B
	464	ウグイス	2024/3/11	1羽	明神町4丁目 南多 摩中等学校 西側	住宅の庭で囀る	古山隆	行動	八王子 7J
	464	ウグイス	2024/3/20	1羽	南浅川・白山橋上流 側	10:20 頃、さえずり。墓参りの帰り、左岸灌木の中から今一つ 上手とはいえないさえずりが聞こえてきました。今春初認	福本順吉	行動	八王子 2G
	464	ウグイス	2024/3/29	1羽	自宅(高尾町)西側	16:30 頃、自宅西側住宅庭付近よりあまり上手でないさえずり が聞こえた。この辺では今季初認。前の金毘羅山でも鳴いて いた。	福本順吉	行動	八王子 2G
F	464	ウグイス	2024/4/4	1羽	浅川左岸・大和田運 動公園	笹藪から少し高い枝へ飛び出し、見事な囀りを聞かせてくれま した。1枚目は「ホーホケキョ」、2枚目は谷渡りの「ケキョケキ ョ…」です。	能田正行	行動	八王子 9H
	464	ウグイス	2024/5/18	1羽	浅川・浅川橋 下流側	橋の下 中州から囀りの声	古山隆	行動	八王子 6K
	465	ヤブサメ	2024/5/4	1羽	駒木野公園と梅郷橋 間の森(小仏川)	声。森の奥の方からヤブサメの声が聞こえた。4 月にも駒木野 公園の辺りで聞こえたが確信が持てなかった。	井川麻利子	行動	八王子 1G
	465	ヤブサメ	2024/6/1	2羽	北浅川・くぬぎ沢	入口のブッシュに巣立ち後の幼鳥が2羽 付近で繁殖したと思 われる	夏鳥調査・和田 峠下(古山隆)	繁殖 5 ⑤	与瀬 5K
	466	エナガ	2024/4/23	1家	小宮公園	4 月 23 日に 8 羽位巣立ちました。カメラマンが多く、すぐにば らけてその後は 8 羽が揃うことはありませんでした。小宮公園 内で分かっていた所はもう一か所ありましたが、4 月 23 日以 降に巣立ったようです(友人から確認)。	井上京子	繁殖 5 ①	拝島 7A
	476	オオムシクイ	2024/5/25	1羽	谷地川源流/戸吹町 の農家奥の谷戸	囀り 鳴き声が3音節のジロジロであることから判断(4 音 節のジュリジュリジュリでは無かった)	中村啓二、中 村美弥子	希少	拝島 2E
	479	エゾムシクイ	2024/4/20	1羽	いしばしい緑地	8:40。キビタキやウグイスに混じって「ヒーソーチー」と聞こえ てきた。前日朝(7 時前)にも通りがかった時に聞こえていたた め、今回は録音して認定委員会のひとりに確認して頂いた。翌 日(4/21)も行ってみたが、聞こえてこなかった。	浜野知恵子	通過	八王子 8F
	480	センダイムシク イ	2024/4/2	2羽	高尾山・大平林道旧 作業小屋先	2羽が掛け合いのように鳴いていた。	加藤岸男	初認	与瀬 9E
	480	センダイムシク イ	2024/4/13	1羽	北浅川・鞍骨沢	囀り	古山隆	初認	与瀬 5K
	480	センダイムシク イ	2024/6/12	1羽	高尾山・1 号路女坂	さえずりが聞こえた。	千葉禎子他定 期カウント参加 者	行動	八王子 0F
	492	オオヨシキリ	2024/4/19	1羽	浅川・一番橋と河原の 児童ランドの中間 あたりの葎原	夕方、土手を歩いていると例の「ギョギョウシ、ギョギョシ」と遠 慮がちながらの声を確認できたが姿は見えなかった。	岡本昭男	初認	武蔵府中 1J
	492	オオヨシキリ	2024/4/20	声	北浅川・陵北大橋と沈 下橋の間	声のみ。朝 8 時頃、	柚木鎮夫	初認	拝島 2B
	492	オオヨシキリ	2024/5/9	2羽	浅川・浅川大橋 下流 側	水管橋の上流側、下流側 右岸 それぞれ1羽ずつ囀り	古山隆	行動	八王子 7K
	492	オオヨシキリ	2024/5/15	1羽	浅川・浅川大橋 下流 側	水管橋の下流側 中州？のヨシ原から囀りの声	古山隆	行動	八王子 7K
F	499	セッカ	2024/3/23	1羽	浅川・滝合橋左岸 100m 下流	河川改修で河岸のヨシが殆ど刈り払われ僅かに残る枯れたヨ シ原で、アオジ、ホオジロ、スズメらに交じってブッシュ内を移 動していました。	能田正行	行動	武蔵府中 0H
F	499	セッカ	2024/5/2	1羽	浅川・萩原橋下流右 岸側	セッカは飛行時の上昇と下降で鳴き方を変えると勝手に思い 込んでいたが、この個体は写真のように地上にとまって上昇 時と下降時の鳴き声を繰り返していました。5 月 10 日に浅川 橋下流で、別個体と思われるセッカがツルヨシに止まってさえ ずっていました。	荻島伸介	行動	八王子 6K
	499	セッカ	2024/5/9	1羽	浅川・浅川大橋 下流 側	水管橋の下流側 右岸 囀り飛翔	古山隆	行動	八王子 7K
	499	セッカ	2024/6/16	1羽	南浅川・睦橋上流	13:00 頃。睦橋上流でヒツ、ヒツ、ヒツ、ヒツ、と連続する鳴き声 を聞きました。帰宅して YOUTUBE で鳴き声検索すると正しく セッカの鳴き声でした。	中山尊人、中 山千晶	行動	八王子 4J



F	500	キレンジャク	2024/3/13	1羽	小宮公園	ヒレンジャクの群れとは少し離れて、目の前に来てくれました。たくさんの方が写真を撮っていたので、会員の方もいたのではと思いますが、鳥信に投稿されていないようですし、14日の定期カウントの記録にも入っていないようなので、記録として投稿しておきます。	小久保雅之	希少	拝島 7A
	501	ヒレンジャク	2024/1/23	5羽	高尾山	歩道脇のケヤキの枝に止り、寄生しているヤドリギの実を啄んでいるようだった。	管野桂子	希少	八王子 0F
	501	ヒレンジャク	2024/2/1	6羽	日野市黒川清流公園	ヤドリギのある大ケヤキに今年も数日前からヒレンジャクが飛来し羽を休めたり採餌したりしていました。途中ツミの鳴く声がすると警戒して飛び去りましたが暫くすると又戻って来ました	浜田早苗他会員外1名	希少	武蔵府中 1K
F	501	ヒレンジャク	2024/2/7	3羽	黒川清流公園	段丘上部のヤドリギに3羽到来。まだ熟した実が少ないためか殆ど啄む様子がなく、すぐに3羽一緒に段丘下へ飛び去った。段丘下の湧水路や池も探したが見つからなかった。カメラの人達の話では1月31日初認。3日間連続で複数羽出現したが2月3日から一旦姿を見せず今日(2/7)出現。去年の記録では初認が2月下旬ごろだったので約3週間早い到来です。	能田正行	希少	武蔵府中 1K
	501	ヒレンジャク	2024/2/14	1羽	高尾山・浄心門	定期カウントの時に確認	千葉楨子他定期カウント参加者	希少	八王子 0F
	501	ヒレンジャク	2024/2/24	12羽	南浅川・陵南公園分園横	12:30頃。10～12羽。陵南公園分園の桜の木にはヤドリギが沢山あります。(対岸の桜の木にも)何時か見れるかと思っていましたが、それが本日でした。10～12羽の群れが、分園、対岸の桜とヤドリギの実を啄み移動していました。初めて見る事ができました。	中山尊人、中山千晶	希少	八王子 3H
F	501	ヒレンジャク	2024/3/7	3羽	日野黒川清流公園	2月中旬に姿を消したヒレンジャクが2月末から連日再来しています。多い日は10羽前後、昨日は6羽、今日は3羽でした。全てヒレンジャクでキレンジャクは現認できていません。ヤドリギの実が完熟していて、満腹になるまで食べると水を飲み排泄をしてまた食べる。これを何度も繰り返す午後3時半頃西の方角へ飛び去りました。	能田正行	希少	武蔵府中 1K
	501	ヒレンジャク	2024/3/9	2羽	小宮公園	2羽で行動、ヤブランの実を食べる	古山隆	希少	拝島 7A
F	501	ヒレンジャク	2024/3/11	10羽	小宮公園	おながの小道の両側の藪の地面で採餌していて、時折、かわせみの道の沢を訪れていました。	田中博之	希少	拝島 7A
F	504	ミソサザイ	2024/2/3	1羽	小宮公園	コゲラの小径の木道を歩いていると地鳴きが聞こえたので探すと、直ぐ脇から飛び出し木道の下に潜る。出てこないの諦めてナラガシで伐採したコナラの丸太置場(一番下)に目をやると虫を探していた。ここはルリビタキも根城にして虫を探していた。	下野彰夫	行動	拝島 7A
	504	ミソサザイ	2月13日	1	長沼公園	観察者の数M先の小沢の水際にいた。その後雑木林に飛び去る。	門口一雄	行動	八王子 9F
	504	ミソサザイ	2024/3/10	4羽	小下沢林道	12:00～13:30頃。羽数各1羽・4カ所。4カ所で確認できました。3カ所は囀り、1カ所は地鳴き、1カ所所では嘴で巣材のような物を咥えて移動していました。	中山尊人、中山千晶	行動	八王子 8H
	506	ムクドリ	2024/2/28	2500羽	八王子駅北口二階デッキ及び周辺	北風が吹く真冬の調査になりました。16時30分～18時10分。晴れ 気温 11℃ 日没時間17時36分。 17:00 J.COM アンテナ及びヨドバシカメラ屋上に飛来。同時刻にドン・キホーテ屋上、八王子中町ビル屋上に飛来 17:30 各所、500羽以上集まる。 17:40 J.COM アンテナの個体が全てドン・キホーテ屋上に移動する。 17:50 ドン・キホーテ屋上及び周辺で購入完了。 総数は2500羽、昨年の2月は800羽でした	対中義雄	塙	八王子 7J
	506	ムクドリ	2024/4/7	1家	自宅(高尾町)隣り	10:20頃、自宅前の空き家M宅の屋根にムクドリ1羽が止まって鳴いていた。隣家A宅の犬が吠えていたので屋根を見て確認できたもの。今春初認、去年も雨戸戸袋で繁殖していたので、今年も営巣しているようです。	福本順吉	繁殖 4④	八王子 2G
	506	ムクドリ	2024/5/18	1家	自宅(高尾町)隣り	我が家前の家の戸袋で営巣していたムクドリの雛が5/17午後巣立ちした様子です。巣立ちの際、親鳥と雛が鳴き騒いでいた。雛は5羽と思われるが1羽が未だ残っていて、5/18朝も親鳥が餌を運んでいました。1羽残っているのではと推測しています。	福本順吉	繁殖 5①	八王子 2G
	506	ムクドリ	2024/5/29	500羽	JR 八王子駅北口 2階デッキ及び周辺	晴れ、22℃、18:30～19:30、日没18:51 18:40 ドン・キホーテ屋上に数羽止まる、同時に仲町ビルにも飛来する。 18:55 J.COM アンテナに飛来するも直ぐ西方向に飛ぶ 19:10 三崎町の四方をビルに囲まれた屋敷林で購入を確認しました。(500羽±) 駅前街路樹及び紅花トチノキには入りませんでした。因みに2023年5月はムクドリ700±、ハクセキレイは確認できていません。梅雨の走りを感じられる陽気でしたが、新緑の緑が元氣を出せとのオーラを私は感じました。	対中義雄	塙	八王子 7J
	512	カワガラス	2024/3/14	2羽	醍醐川	12:30。川面を2羽連れ立って飛んで行った。	今野美代子	希少	五日市 7A
F	512	カワガラス	2024/4/11	2羽	八王子市内	多分2羽?カワガラスを見ていたら巣を見つけてしまいました。流れの裏なので巣は見えませんが、親鳥が頻繁に巣に餌を運び、雛が鳴くのを確認しました。ただ、1羽巢の付近でぼさーっと見張り番をしている個体が居ました。(写真1)これは父鳥なのでしょうか?それともヘルパーなのでしょうか?餌を獲った親鳥が戻ってくると寄って行って大騒ぎしますが、(餌を受け取るわけでもない)自分で餌を獲りに行く様子は見られませ	今野美代子	繁殖 5①	繁殖中のため伏せます。

						んでした。孵化した雛がいる状態でぼさーつとしている父鳥は どうなのか・・・と思ったりもしたので、ヘルパーのかなーと思 ったのですが、ご存じの方がいらっしゃいましたらご教示いた だけますと幸いです。			
	512	カワガラス	2024/6/1	1羽	浅川市民センター北 歩道橋下の堰堤下流	羽繕い、採餌。	千葉楓子	希少	八王子 2G
	514	トラツグミ	2024/1/13	1羽	多摩御陵・参道	13:30 頃。昨年、鷹の渡り調査で城山湖にて加藤さんからトラ ツグミ多摩御陵に居ると聞いていましたが本日初めて観察で きました。ツツジの中のトラツグミまで1mまで接近でき、肉眼 で詳細に見ることが出来ました。	中山尊人、中 山千晶	希少	八王子 3H
F	514	トラツグミ	2024/1/14	1羽	多摩御陵	昨年は八王子市内ではトラツグミに出会えなかったのが今年 出会えたのはとても嬉しかったです。1 時間半ほど待機してや っと会えました。	市村緑	希少	八王子 2H
F	514	トラツグミ	2024/1/20	1羽	宇津木台緑地	都指定の緑地保全地域の越冬期一斉調査。ミヤマホオジロが 前日までに観察されたという情報があったが、出会うことがで きなかった。その代わりトラツグミを観察できた。雑木林を歩い ていると、ツグミ大の鳥が前方を横切って林の中に降りた。確 認するとトラツグミであった。	粕谷和夫	希少	拝島 8C
F	514	トラツグミ	2024/1/21	2羽	小宮公園	警戒心が強い。今年のトラツグミは人間の気配を感じると林へ 逃げ込んでいく。もう一か所、別の場所でも確認。	井上京子	希少	拝島 7A
F	514	トラツグミ	2024/2/18	1羽	小宮公園 カワセミの 小道	伐採でできた草地に現れました。近くにはミソサザイ、シロハ ラも。	田中博之	希少	拝島 7A
F	514	トラツグミ	2024/3/18	1羽	八王子市堀之内田ん ぼの学校	北風が強く平山城址公園の鳥影が薄かった日、風下の堀之内 田んぼの学校まで足を延ばすと畦道で採餌していた。今季公 園内は大規模な整備伐採が続いた所為か野鳥の出現が激減 している。	能田正行	希少	武蔵府中 1G
	514	トラツグミ	2024/3/19	1羽	長沼公園	トラツグミが霧降の道中程の草地で採餌中、数m後方の当方 を警戒？しながらゆっくり道に沿って進む。数分後藪に入る。	門口一雄	希少	八王子 9G
F	514	トラツグミ	2024/3/28	1羽	御陵参道緑地帯	2022 年 3 月にも同じ緑地で会いました。今回は地面で採餌し ていました。じっとしていると体の模様が落葉の散った地面に 溶け込んでおり気づきませんでした。	木野孔司	希少	八王子 3H
	518	クロツグミ	2024/4/20	1羽	小下沢林道	12:00 頃。夏鳥調査の帰路 林道に降りてきて 落ち葉を捲り ながら移動する様子をしっかりと観察できました。これまで、囀 りを聴くことは有りましたが、姿を見たのは初めてです。又、初 めて地鳴きも聴けました。	中山尊人、中 山千晶	初認	与瀬 8H
	518	クロツグミ	2024/4/21	1羽	北浅川・くぬぎ沢	囀り	古山隆	初認	与瀬 5K
	521	シロハラ	2024/1/4	1羽	多摩御陵参道	12:30 頃。ここ数年観察しています。今年も来てくれました。	中山尊人、中 山千晶	行動	八王子 3H
	521	シロハラ	2024/1/6	1羽	長沼公園	公園南端の草地と林の境のコナラの枝に止まっていた。	門口一雄、門 口裕子	行動	八王子 9F
	521	シロハラ	2024/1/16	1羽	南浅川・敷島橋から 両界橋	10:30 頃から 13:00 頃。他にヒヨドリ 3、キセキレイ 1、シジウ カラ 1、ダイサギ 1、川の水が少なくカモ類はいなかった。今季 初認	福本順吉	行動	八王子 2G
F	521	シロハラ	2024/1/17	1羽	片倉城跡公園	午後 3 時半。公園内はす沼周辺で採餌していました。近くの柵 にやってきて暫くこちらの様子を窺ってから雑木林の中へ飛び 去りました。	能田正行	行動	八王子 7G
	521	シロハラ	2024/2/12	1羽	多摩御陵・参道横広 場	13:00 頃。地上を歩く様子をじっくり観察できました。	中山尊人、中 山千晶	行動	八王子 3H
	521	シロハラ	2024/3/19	1羽	長沼公園	長沼公園霧降の道入り口付近の道端数mの斜面で採餌中の シロハラが当方の接近に警戒し？小枝に飛び移り、その後藪 に入る。	門口一雄	行動	八王子 9G
	521	シロハラ	2024/3/20	1羽	八王子市城山手1丁 目	町内の遊歩道の植込みから、飛出し庭へ入った。	千葉楓子	行動	八王子 3J
	521	シロハラ	2024/3/20	1羽	多摩御陵・参道横の 草原	15:00 頃。木の枝に止まっている様子を観察出来ました。	中山尊人、中 山千晶	行動	八王子 3H
	521	シロハラ	2024/4/18	1羽	駒木野庭園と梅郷橋 間の山道(小仏川)	朝 7 時半頃、山道を歩いている時にシロハラを見た。川沿いの 木々の下でカサコン音をさせながら採餌していた。今冬はこの 辺りでシロハラを確認できなかったのがで渡り途中の個体なの かなと思った。	井川麻利子	行動	八王子 1G
F	521	シロハラ	2024/4/21	1羽	小宮公園・サービスセ ンターに近い東側	しろはらの小道をサービスセンター方向に移動中にシロハラ のさえずりが上から聞こえた。近くが一番背の高い木のてっぺ ん付近でさえずる姿を真下から確認、少し離れて見やすい所 で観察した。膝痛のために山歩きが多い探鳥会に参加してい ないためか、八王子市内での美しいさえずりを聞いたのは初 めてで非常に感動しました。	荻島伸介	行動	拝島 7A
	522	アカハラ	2024/1/14	1羽	浅川・新井橋左岸上 流の草地	草地にいたが、直ぐ藪に入る。	門口一雄他冬 鳥一斉調査担 当チーム	希少	武蔵府中 4K
F	522	アカハラ	2024/1/15	1羽	谷地川・新旭橋下流	東光寺グランド方向から飛んで来て川向こうの木にとまり暫く していなくなりました	浜田早苗	希少	立川 0C
	522	アカハラ	2024/1/30	1羽	小山内裏公園大田切 池	いつも色々な野鳥が降りて来る場所に今朝はアカハラが来て 水を飲んだり、水浴びをしたりして暫く観察出来た。	市村緑他会員 1 名	希少	八王子 9C
	522	アカハラ	2024/3/1	1羽	小田野中央公園	北浅川の対岸	青木静子他定 期カウント参加 者	希少	拝島 1A

	522	アカハラ	2024/4/6	1羽	多摩川・谷地川合流部付近	木の中程に止まる 1 羽を観察。	小川圭太	希少	立川 1B
	525	ツグミ	2024/1/22	10 羽	浅川・浅川大橋 下流側	右岸の草地で採餌	古山隆	行動	八王子 7K
	525	ツグミ	2024/4/15	1羽	小田野中央公園	カワセミ会の桜の下。桜の下であたりをキョロキョロ見回しながら歩いていた。	中村后子	行動	拝島 1A
	530	コマドリ	2024/5/26	1羽	醍醐林道(関場～和田峠)	8:00～9:30 醍醐林道上部(ににく沢出合)9:30～10:45。コマドリとした個体は 1 羽と思われる。コマドリと考える声は醍醐林道上部の 2 つ目のカープミラーの地点から和田峠に突き上げる醍醐川上流部支流の 1 つの谷筋から数声聞こえた。遠くて序奏が聞こえないのでコリリとの判断に迷うところであるが、より谷筋に響きやすい乾いたヒンカララなのでコマドリとした。なお以前会った醍醐林道によく来る人の話では醍醐川上流部、但しににく沢出合からそれほど遠くない辺りに毎年来ているとのこと。	下野彰夫	希少	五日市 4A
F	536	ルリビタキ	2024/1/11	2羽	小宮公園・かわせみの小道	定期カウントの際、かわせみの小道の沢沿いで、全員で観察できました。	田中博之	行動	拝島 7A
	536	ルリビタキ	2024/1/17	1羽	小山内裏公園鮎道脇付近	突然目の前に降りたがすぐに飛び去った。メスカ雄の若鳥だったが残念ながら確認出来なかった。	市村緑	行動	八王子 9C
	536	ルリビタキ	2024/1/17	1羽	小山内裏公園大田切池北側サンクチュアリのフェンス付近	♀。サンクチュアリの中を覗いて見たら飛び出してフェンスに留まり暫くすると藪の中に飛んで行った。(以前より観察している個体と思われるが暫くぶりにまた見られた)	市村緑	行動	八王子 9C
F	536	ルリビタキ	2024/1/17	1羽	片倉城跡公園・本丸広場	オス。午後 3 時ごろ。公園整備中で下草刈りのエンジン音が響く中、約 30 分に亘り本丸広場周辺の木立や斜面を移動して採餌していました。10 人以上のカメラマンを引き連れ、さながら人気スターのワンマンショーの態でした。	能田正行	行動	八王子 7G
	536	ルリビタキ	2024/3/23	1羽	駒木野公園上流の山道(小仏川)	オス。久しぶりに山道を歩き、川沿いの藪の中を飛び回る鳥をよく見ると青いルリビタキだった。もうルリビタキはいないだろうと思っていたので、シーズンの最後に確認できて嬉しい。山道にはキバナノアマナが咲いていた。	井川麻利子	行動	八王子 1G
F	540	ジョウビタキ	2024/2/6	1羽	小宮公園	ジョウビタキ 1 羽、アオジ 10 羽以上。雪に鮮やかでした。	田中博之	行動	拝島 7A
	540	ジョウビタキ	2024/3/7	1羽	小仏川沿いの道 高尾駅に向かって右側にブルーベリーが植えてある場所の左側の空き地	♂。午前 11 時ごろ。はじめはブルーベリー畑のそばの木に何羽か鳥がいたのですが、その中の 1 羽が飛んできてジョウビタキだとわかりました。一緒にいた鳥の種類はわかりません。	宇都宮信子	行動	八王子 0G
F	540	ジョウビタキ	2024/3/11	2羽	黒川清流公園	(オス 1、メス 1)。目の前でいろいろなポーズを見せてくれたジョウビタキのオスが、枝に移った後、囀り始めた。その直後、今まで姿を見せていなかったメスが 2m ほどの近くにやって来た。すぐに離れてしまったため、その後どうなったかは分からない。長野県では普通に繁殖しているということですし、山梨で昨年さえずりを聞いていますが、東京(日野)では初めての観察です。オスの画像は動画から切り出したものです。	小久保雅之	行動	武蔵府中 1K
F	543	ノビタキ	2024/4/4	2羽	浅川・鶴巻橋下流	2 羽? 浅川でも春・秋に人気のノビタキを確認しました。渡り途中の休養のようですが、目的地はどこでしょうか。	荻島伸介	通過	八王子 5K
	549	イソヒヨドリ	2024/1/3	1羽	八王子市寺町 中央線沿い民家の屋根	オス。12:30 頃。初詣の途中で見かけました。	中山尊人、中山千晶	行動	八王子 6J
	549	イソヒヨドリ	2024/1/3	1羽	南浅川・横山橋 橋脚の上	オス。13:00 頃。ここ一か月間見かけませんでしたが今日は出会えました。	中山尊人、中山千晶	行動	八王子 4J
	549	イソヒヨドリ	2024/1/20	1羽	南大沢駅前バスロータリー付近	7:40 頃。オス。バス停の屋根にとまっていたが、ロータリー前のセブンイレブンの上へ移動し、さえずりを繰り返す。	佐藤哲郎	行動	武蔵府中 0D
	549	イソヒヨドリ	2024/1/27	1羽	あったかホール(北野町)	メス。ジュニアクラブの帰り道、あったかホールの脇道を通っていたら出てきた。	浜野知恵子	行動	八王子 8J
	549	イソヒヨドリ	2024/1/27	1羽	浅川右岸・長沼橋と JR 中央線の間あたりの建物の屋根	雄。屋根にある扇型の排気ファンカバー?と思われる上にしばらくいたがすぐに裏側に消えた	岡本昭男他ジュニアクラブメンバー	行動	八王子 9H
	549	イソヒヨドリ	2024/1/28	1羽	片倉台団地のはじ	オス。11:40。総会への行きがてら、片倉台団地から湯殿川へ向かう途中の住宅街で、地面にいたらしいオスが飛び立った。	浜野建男、浜野知恵子	行動	八王子 8G
F	549	イソヒヨドリ	2024/1/28	1羽	湯殿川・日向前橋下流	♂。総会に向かう途中、湯殿川の橋を渡っていたら、ひだまりでぬくぬくしているイソヒヨドリを見た。ずっと動かなかった。	浜野建男	行動	八王子 8H
	549	イソヒヨドリ	2024/1/29	1羽	鍵水・マンション「ベルトラッセ」南側～都営鍵水 2 丁目団地	♂。鍵水公園を抜けて帰る途中都営鍵水 2 丁目団地方面に飛んで行く姿を確認した。	市村緑	行動	八王子 9D
	549	イソヒヨドリ	2024/1/31	1羽	本郷横丁交差点(ローソン100)の入ったビル 5 階	♂が 5 階のベランダの手すりの角に止まった後、8 階のベランダへ飛び込んだ。	千葉槇子	行動	八王子 6K
	549	イソヒヨドリ	2024/2/1	1羽	いなげや日野栄町店隣の4階建て集合住宅	オス。4階のベランダで暫く良い声で囀っていてその後屋上に飛び移り辺りを見回したあと飛び去りました。	浜田早苗他会員外1名	行動	立川 1B
F	549	イソヒヨドリ	2024/2/1	1羽	北浅川と中央高速道が交差している橋脚部分	コンクリート製の空きスペースに入り暫くして出て来て、オープンスペースに留まりましたので、写真を撮りました。採餌している感じでは無く、家探しているように感じました。	荻島伸介	行動	拝島 4A
	549	イソヒヨドリ	2024/2/7	1羽	長房団地内・渡辺医院	渡辺医院の 4 階ベランダの手すりに♂がとまっていた。	千葉槇子	行動	八王子 4J

F	549	イソヒヨドリ	2024/2/19	1羽	浅川右岸・長沼橋上流 土手沿い工場の屋根	オスの若鳥が強風を避けるように風下の屋根の縁を伝い歩きしていた。曇り空が幸いして、オス若鳥の特徴であるオスの羽色とメスの鱗状斑が交ざりあった羽衣が鮮明に観察できた。	能田正行	行動	八王子 9H
F	549	イソヒヨドリ	2024/3/3	1羽	浅川・鶴巻橋下流側付近	(♀)。2024 年 3 月 3 日、3 月 15 日。左岸側から右岸側のコンクリートブロックに飛んで来て、ブロックとブロックの間で採餌していた。目の前約 10m 程度まで近づいたため、人の気配を感じたらしく、左岸側の橋桁裏に移動して見えなくなった。鶴巻橋付近で♀を観察したのは初めてです。	荻島伸介	行動	八王子 5K
	549	イソヒヨドリ	2024/3/6	1羽	自宅(日野市高幡)ベランダ	オス。オスがベランダにきて、ちょっとした隙間など採餌のような活動をしていた。つい最近ベランダにイナゴがいたので、そういった昆虫を探しているのかもしれませんが。その後隣のベランダへ移り、見えなくなりました。	小川圭太	行動	武蔵府中 3K
	549	イソヒヨドリ	2024/3/7	1羽	駒木野・清明園 西側の門付近	午前 11 時 30 分頃。オス。道を挟んだ西側の民家付近から飛んできて門に止まったが、すぐに飛び立つイソヒヨドリを見る前に小仏川沿いを歩いていて ジョウビタキ♂1羽、カンラダカ1羽も確認しました。	宇都宮信子	行動	八王子 1G
F	549	イソヒヨドリ	2024/3/10	1羽	北浅川・中央高速道交差付近の水辺	今月もイソヒヨドリ♂を中央高速道路橋脚付近で確認した。今回は水辺近くで採餌していた。	荻島伸介	行動	拝島 4A
	549	イソヒヨドリ	2024/3/11	1羽	浅川・一番橋と平山橋の中間あたりの水門	雄。水門に設けられた波けしブロックの上に姿を現したがしばらくして入り組んだブロックの間に消えた。	岡本昭男	行動	武蔵府中 1J
	549	イソヒヨドリ	2024/3/19	1羽	大栗川・大田平橋(上柚木公園の東端付近)の西側	イソヒヨドリ オスが民家の屋根の上とベランダを何度も行き来していた。ここでイソヒヨドリを見たのは初めて。	岡田浩郎	行動	武蔵府中 0E
	549	イソヒヨドリ	2024/3/20	1羽	高尾駅近く	高尾駅近くでイソヒヨドリと思われる鳥を見ました。スマホで写真を撮った時刻 14:43 (会員外からの情報)	O	行動	八王子 2G
	549	イソヒヨドリ	2024/3/20	1羽	南浅川・横山橋付近(電線の上)	オス。15:30 頃。電線の上で囀っていました。	中山尊人、中山千晶	行動	八王子 4H
	549	イソヒヨドリ	2024/3/29	2羽	自宅(高尾町)北側	14:10 頃、自宅北側角にある介護ステーション「天馬」の屋根すれすれに西側の方向から 2 羽が鳴きながら飛んで来て、東の方向へ飛び去った。直ぐ東の方向にあるマンション・グランシャリオ等を確認したがどこへ行ったか判明しなかった。今春初認。	福本順吉	行動	八王子 2G
	549	イソヒヨドリ	2024/3/30	1羽	八王子みなみ野駅アクロスモールの駐車場の柵	オス。10:00 過ぎ。柵の上に留まって、行ったり来たりしていました。	高橋靖乃	行動	八王子 6F
	549	イソヒヨドリ	2024/4/1	1羽	自宅(高尾町)東側	10:50 頃、自宅東側マンション・グランシャリオの南西側角で鳴いていたが直ぐに飛び去ったため、♀♂を確認することができなかった。グランシャリオでは初認。	福本順吉	繁殖④	八王子 2G
	549	イソヒヨドリ	2024/4/1	1羽	元八王子 2 丁目の石神坂バス停付近	2024 年 3 月 31 日と 4 月 1 日に連続で見ました。時間は、両日共に午前 10 時頃。あまり鮮明ではありませんが、写真も撮りました(オス)。お役にたてれば幸いです。私は、近くを流れる城山川沿いを毎日散歩して、いろいろな鳥たちを見て楽しんでいますが、この鳥は初めて見ました。(会員外からの情報)	K	繁殖④	八王子 3K
	549	イソヒヨドリ	2024/4/1	1羽	JR 八王子駅北口	京王プラザホテル付近 囀り声	古山隆	繁殖④	八王子 7J
	549	イソヒヨドリ	2024/4/2	1羽	アクロスモール八王子みなみ野の斜め前タニヤマデンタルクリニックビルの屋上	♂。囀りが聞こえて来たので探しているとビルの屋上に居た。	市村緑	繁殖④	八王子 6F
	549	イソヒヨドリ	2024/4/2	0羽	イトーヨーカ堂狭間店	イトーヨーカ堂 5 階に調査に行ってみた。30 分程いたが声も姿も確認できなかった。以前にいつも巣作りしている所を見たが、糞や巣の材料などは落ちていなかった。また、調べに行ってみます。	福本順吉	行動	八王子 3G
	549	イソヒヨドリ	2024/4/2	1羽	元八王子 2 丁目の石神坂バス停付近	今日(4 月 2 日)もイソヒヨドリと思われる鳥を妻が近所の家の屋根で見つけて、短いですが動画を撮りました(オス)。これで 3 日連続での観察となりますので、近所に巣があるのでしょうか。(会員外からの情報)	K	繁殖④	八王子 3K
	549	イソヒヨドリ	2024/4/3	1羽	元八王子 2 丁目の石神坂バス停付近(城山川・月夜峯新橋付近)	4 月 3 日も散歩中にイソヒヨドリに会いました。朝、城山川沿いの道を何時ものように散歩していたら、月夜峯新橋の少し下流の柵の上にとまっているのを妻を見つけました(オス)。散歩の時間帯と鳥の行動パターンがうまく一致しているのでしょうか、これで 4 日連続で会うこととなりました。(会員外からの情報)	K	繁殖④	八王子 3K
	549	イソヒヨドリ	2024/4/6	1羽	北浅川・川原宿大橋付近	オス。川原宿大橋のコンビニの屋根	青木静子他定期カウント参加者	繁殖④	拝島 1A
	549	イソヒヨドリ	2024/4/6	1羽	七生中学校の校舎の屋上	定期カウントの最中に、七生中学校の校舎の屋上、道路から見える場所、で、鳴いていた。	山崎悠一、山崎久美子	繁殖④	武蔵府中 1J
	549	イソヒヨドリ	2024/4/6	1羽	七生中学校(浅川・一番橋近く)の屋上の建物	(雄) 屋上の建物の最上部で囀りその後、突然に舞い上がって空中の虫を捕らえて飛び去った。	岡本昭子、岡本昭男	繁殖④	武蔵府中 1J
	549	イソヒヨドリ	2024/4/8	1羽	京王線高尾山口駅付近	電柱に止まり、囀り	古山隆	繁殖④	八王子 1F
	549	イソヒヨドリ	2024/4/10	1羽	浅川・日野高校上流部	左岸川岸に止まっていた。	門口一雄、門口裕子	繁殖④	武蔵府中 4K

549	イソヒヨドリ	2024/4/11	1羽	駒木野公園付近住宅地(小仏川沿い)	雄。雄が明け方から囀っている。メスの姿はないが、毎日同じ場所でも高らかに囀っている。これまで、この場所(自宅)でイソヒヨドリの姿を見ることはあっても常に確認することはなかった。	井川麻利子 井川志織子	繁殖 4	八王子 1G (4)
549	イソヒヨドリ	2024/4/11	1羽	みどり幼児園付近(小仏川沿い・荒井)	雄。民家の屋根の上や電柱の上で、毎日、高らかに囀っている。この場所でも、これまでイソヒヨドリを毎日見ることはなかった。自宅の辺りではイソヒヨドリの生活圏が川に沿って奥まってきたと感じる。今春、裏高尾町でも、高尾駅や甲州街道、駒木野病院付近(西浅川町)と同じくらい、イソヒヨドリの囀りが聞こえるようになった。これからよく観察しようと思う。	井川麻利子	繁殖 4	八王子 1G (4)
549	イソヒヨドリ	2024/4/11	1羽	元八王子2丁目の石神坂バス停付近(城山川・月夜峯新橋付近)	犬の散歩中に聞き慣れない鳥の鳴き声が聞こえたので見上げるとイソヒヨドリでした。慌てて自宅からカメラを持ってきて撮りましたので、お知らせします(オス)。前回の報告は4月3日でしたので、8日ぶりとなります。(会員外からの情報)	K	繁殖 4	八王子 3K (4)
549	イソヒヨドリ	2024/4/14	1羽	陣場街道榎原バス停付近	オス。ビルの屋上でさえずっていた。	粕谷和夫	繁殖 4	拝島 4B (4)
549	イソヒヨドリ	2024/4/14	1羽	八幡町交差点付近	エルシィの南側マンション屋上 め囀り	古山隆	繁殖 4	八王子 6J (4)
549	イソヒヨドリ	2024/4/14	1羽	秋川街道・榎原バス停横	ジェーソン八王子榎原店 屋上 め囀り	古山隆	繁殖 4	拝島 4B (4)
549	イソヒヨドリ	2024/4/15	3羽	八王子みなみ野駅前・アクロスモール	オス・メスのペアとオス1羽の2組。オスは2羽とも屋上でさえずっていた。	粕谷和夫	繁殖 4	八王子 6F (4)
549	イソヒヨドリ	2024/4/15	1羽	国道16号寺町・中央線踏切付近	オス。ビルの屋上でさえずっていた。	粕谷和夫	繁殖 4	八王子 6J (4)
549	イソヒヨドリ	2024/4/15	2羽	小門町と南新町の境界付近・都道506号の両側	ペアと思われる2羽が鳴いたり、民家の屋根や近くの電柱などを移動していた。	粕谷和夫	繁殖 4	八王子 6J (4)
549	イソヒヨドリ	2024/4/15	2羽	日野市豊田2丁目付近	午前中にオスが電柱を伝い飛びして囀り。午後はメスが同じ辺りにいた。この付近で初めて同日に雌雄を見た。オスの囀りと動きは縄張り宣言か？	玉木 雅治	繁殖 4	武蔵府中 1J (4)
549	イソヒヨドリ	2024/4/15	1羽	JR八王子駅北口	め 京王プラザホテル横の駐輪場横のマンション屋上 アンテナに止まり、囀り	古山隆	繁殖 4	八王子 7J (4)
549	イソヒヨドリ	2024/4/16	1羽	八王子医療センター屋上	オス。9:00 過ぎ。屋根の上の端でしばらく囀った後、飛び去りました。	高橋靖乃	繁殖 4	八王子 3F (4)
549	イソヒヨドリ	2024/4/16	1羽	浅川・一番橋北詰から北東50mほどのコンテナ置き場(貸倉庫?)	メス。倉庫の舗装通路で採餌していたがしばらくして倉庫の影に消えた。	岡本昭男	繁殖 4	武蔵府中 1J (4)
549	イソヒヨドリ	2024/4/16	1羽	浅川・浅川橋 左岸	ビル上方より囀り声	古山隆	繁殖 4	八王子 6K (4)
549	イソヒヨドリ	2024/4/17	1羽	JR八王子駅ビル(セレオ北館)	オス、駅ビル東側の地上にまどめられているゴミの中の何かを食べていた。	粕谷和夫	繁殖 4	八王子 7J (4)
549	イソヒヨドリ	2024/4/17	1羽	甲州街道八日町4丁目バス停付近	オス、八日町4丁目のマンションのベランダにいて北の方向に飛び去る。	粕谷和夫	繁殖 4	八王子 6J (4)
549	イソヒヨドリ	2024/4/18	1羽	自宅(高尾町)	8:46 頃、めが自宅玄関前電柱上でさえずっていた。その後も10分位止まっていた。西側マンション・マイキャッスル高尾に毎年営巣している親鳥の縄張り宣言と推測した。午後とも2度来ていた。自宅玄関前電柱上は今年初めてです。	福本順吉	繁殖 4	八王子 2G (4)
549	イソヒヨドリ	2024/4/19	1羽	北野駅南口西側	オス。北野駅南口の西側約400メートル、湯殿川沿いの2階建民家の屋根にじっと止まっていた。	粕谷和夫	繁殖 4	八王子 8G (4)
549	イソヒヨドリ	2024/4/20	1羽	狭間駅付近(スフォルタアリーナとスバル整備場の間の電柱)	オス。午前9時30分頃。以前より イソヒヨドリの特徴ある甲高い鳴き声は聞いていました。やっと目視できました。スフォルタは巨大な壁に見えるのでこの辺りで営巣しているような気がします。	関谷孝	繁殖 4	八王子 3G (4)
549	イソヒヨドリ	2024/4/20	1羽	西八王子駅南口付近	オス。駅南口から約300m南のマンションの屋上でさえずり。	粕谷和夫	繁殖 4	八王子 5J (4)
549	イソヒヨドリ	2024/4/20	1羽	高尾駅南口付近	オス。東浅川小学校東側のマンションのベランダでさえずり。	粕谷和夫	繁殖 4	八王子 2G (4)
549	イソヒヨドリ	2024/4/20	1羽	西浅川町(国道20号から旧甲州街道に入って約50m付近)	オス。ドミール小名路。昨年営巣した巣の近くでさえずる。	粕谷和夫	繁殖 4	八王子 1G (4)
549	イソヒヨドリ	2024/4/20	1羽	八幡町八王子繊維貿易会館	オス。会館の屋上の看板の上でさえずり、その後南方向へ飛び去る。	粕谷和夫	繁殖 4	八王子 6J (4)
549	イソヒヨドリ	2024/4/20	1羽	みなみ野病院の屋上	オス。8:00 過ぎ。屋根の上の端でひとしきり囀っていました。	高橋靖乃	繁殖 4	八王子 5F (4)
549	イソヒヨドリ	2024/4/20	1羽	自宅(絹ヶ丘)	雄1羽が、夕方5時の30分前から同じ町内に鳴いていたが、とうとう自宅前まで近づいてきた。自宅前の電線に止まって鳴いていた。	山崎悠一、山崎久美子	繁殖 4	八王子 9G (4)
549	イソヒヨドリ	2024/4/21	0羽	イトーヨーカ堂狭間店	10:30 から10:40 頃まで、イトウウカ堂5階駐車場に行ってきました。着いた途端に1羽飛び去った鳥がいたが、確認できず。その後は姿や声も聞こえず。また広場にカラスの糞らしき物が一面にあり、推測ではあるがカラスに狙われて営巣していない可能性があります。営巣する場所の下には巣材や糞などは見つかりませんでした。	福本順吉	行動	八王子 3G
549	イソヒヨドリ	2024/4/22	1羽	八王子市下恩方町	め。リトルリーググラウンド隣の高尾製作所の屋根の上いた。見慣れない鳥がいたので双眼鏡で見たらイソヒヨドリだった。	中村后子	繁殖 4	拝島 1A (4)



	549	イソヒヨドリ	2024/4/22	1羽	京王堀之内駅前「日産東京」南側の線路下	♀。飛んで来たと思ったら線路下の鳩よけトゲの脇の狭い隙間に一直線に入って行った。	市村緑	繁殖④	4武蔵府中1E
	549	イソヒヨドリ	2024/4/22	1羽	明神公園(通称タコ公園)	雄。明神公園の地面から隣接する民家の屋根に飛び立った。	尾本聖子、尾本琴美	繁殖④	4八王子7J
	549	イソヒヨドリ	2024/4/23	1羽	ニュータウン通り松木CoCo 壱番屋前	♂。ニュータウン通り松木 CoCo 壱番屋前の茶色のマンション屋上アンテナの上。綺麗な囀りが聞こえてきたので探してみると、マンション屋上で囀っている姿を確認した。	市村緑	繁殖④	4武蔵府中2E
	549	イソヒヨドリ	2024/4/27	1羽	山田川・浅川合流付近	オス。浅川水管橋の方から山田川右岸の建物に移動	ジュニアクラブ観察会	繁殖④	4八王子8H
	549	イソヒヨドリ	2024/4/27	1羽	日本通運の倉庫(明神町2丁目の交差点)	オスが倉庫とその近くのビル間を移動。さえぎり有り	粕谷和夫	繁殖④	4八王子8J
	549	イソヒヨドリ	2024/4/28	2羽	元八王子2丁目の石神坂バス停付近(城山川・月夜峯新橋付近)	4月11日に報告してからご無沙汰しております。その後の状況について報告いたします。①4月14、15日に数回観察しました。その後、声を聴くこともなく、姿も見ませんでした。②4月28日に10回目の観察をしました。これまでと大きく異なるのは、二羽を同時に観察したことでした(粕谷注;送られた写真判定でオス2羽のバトル)。(会員外からの情報)	K	繁殖④	4八王子3K
	549	イソヒヨドリ	2024/4/29	2羽	高尾町・浅川事務所前	民家前の電線にオスメス2羽が止まっていた。オスのさえぎり有り。	粕谷和夫	繁殖④	4八王子2G
	549	イソヒヨドリ	2024/4/29	1羽	高尾町・JA 八王子事務所	メス。直ぐに飛び去ってしまった。	粕谷和夫	繁殖④	4八王子2G
F	549	イソヒヨドリ	2024/4/29	3羽	シャトレーゼ京王堀之内駅前店の屋上	14:20 頃。(♂2, ♀1)。外でイソヒヨドリの鳴き声が聞こえたので自宅ベランダから外を見ると、3羽(♂2, ♀1)のイソヒヨドリがシャトレーゼの屋上にいた。♂2羽は互いに争うような行動はしなかったが、ときおり羽を膨らませるような動作をした。	佐藤哲郎	繁殖④	4武蔵府中2E
	549	イソヒヨドリ	2024/4/	1羽	石川町・コニカミノルタ	4月にオスのさえぎりは視認して聞いたが、その後タイミングが合わないのか見ていない。	今野美代子の夫	繁殖④	4拝島9A
F	549	イソヒヨドリ	2024/5/1	2羽	シャトレーゼ京王堀之内駅前店の屋上	♂。10:30 頃。雨にもかかわらず、一昨日に続いて♂2羽が同じ場所ですえぎっていた。近くに♀は見当たらなかった。	佐藤哲郎	行動	武蔵府中2E
F	549	イソヒヨドリ	2024/5/2	1羽	横川町・三村橋バス停近くの4階建てビル屋上	(♂)。自宅前で朗々としたイソヒヨドリの鳴き声に気が付き、声がする方向の4階建てビルの屋上アンテナで姿を確認した。	荻島伸介	繁殖④	4八王子4K
	549	イソヒヨドリ	2024/5/4	2羽	湯殿川・白旗橋付近	白旗橋付近の昨年営業した場所(レンタル倉庫の隙間)にオスメスがいた。	粕谷和夫他(湯殿川定期C参加者)	繁殖④	4八王子5F
	549	イソヒヨドリ	2024/5/4	1羽	北浅川・松竹橋付近	オス。松竹バス停の向かい側の電線で鳴いていた。	青木静子他定期カウント参加者	繁殖④	4八王子0K
	549	イソヒヨドリ	2024/5/8	1羽	浅川・ふれあい橋上流右岸そばの集合住宅	マンションのあちこちをオスが移動。繁殖の可能性あり。この場所で観察したのは初めて。	玉木 雅治他(一番橋コース定期C参加者4人)	繁殖④	4武蔵府中3K
	549	イソヒヨドリ	2024/5/9	2羽	南大沢駅前・イトーヨーカドー塔屋	オス1羽、メス1羽。最も高い看板の角でオスが鳴いていた。そのすぐ近くにメスがいた。	岡田浩郎	繁殖④	4武蔵府中0D
	549	イソヒヨドリ	2024/5/10	1羽	高尾駅南口駅前大型マンション屋上	夕暮れでうす暗く、オスメスの判別ができなかった。	粕谷和夫	繁殖④	4八王子2G
	549	イソヒヨドリ	2024/5/10	1羽	高尾駅周辺(甲州街道、浅川事務所入口付近)	オス。マンションの屋上に止まって鳴いていて、その後東側方向へ飛んで行った。	粕谷和夫	繁殖④	4八王子2G
	549	イソヒヨドリ	2024/5/14	1羽	宇津貫工業団地バス停付近(栄太郎工場付近)	オスが電線に暫くの間止まっていて、その後宇津貫緑地方面の建物の方へ飛んで行った。	粕谷和夫	繁殖④	4八王子6F
	549	イソヒヨドリ	2024/5/14	1羽	高尾駅北口(入口交番より)	高尾駅入口交番より、東側、甲州街道沿いのマンション(協立ライアンス・高尾駅前)屋上のソーラーパネルの角にイソヒヨドリが止まっていました。南側の遊歩道から見ました。	千葉槇子	繁殖④	4八王子2G
	549	イソヒヨドリ	2024/5/15	1羽	京王線北野駅前の湯殿川沿いのマンション屋上	雄1羽が、朝方10時にマンション屋上で鳴いていた。	山崎悠一	繁殖④	4八王子8G
	549	イソヒヨドリ	2024/5/16	1羽	高尾・狭間住宅(屋上給水塔の上)	オス。毎日、イソヒヨドリの声が高らかに聞こえていました。今日はその姿を捉えました。狭間住宅の非常階段で繁殖しているのではと思いますが、よくここで鳴いているので近くに巣があるのではと思います。	関谷孝	繁殖④	4八王子3G
	549	イソヒヨドリ	2024/5/17	1羽	日本通運の倉庫(明神町2丁目の交差点)	オス。声無く、餌も啜えていなかったが、昨年までの巣の近くの方へ飛んでいった。	粕谷和夫	繁殖④	4八王子8J
	549	イソヒヨドリ	2024/5/17	1羽	JR 八王子駅北口東側	オス。京王プラザホテル地上駐車場の東の2階自転車駐輪所の裏(東側)民家の底のように餌を啜えて入って行き、直ぐに出てきた。巢中の雛に餌を与えたものと推定。	粕谷和夫	繁殖①	4八王子7J
	549	イソヒヨドリ	2024/5/17	1羽	南新町(間宮病院付近)	18時50分。オス。声無く、餌も啜えていなかった。南の方へ飛び去った。昨年までの出没場所と同じであるが、具体的な巣の位置は特定できていない。	粕谷和夫	繁殖④	4八王子6J
	549	イソヒヨドリ	2024/5/17	1羽	南大沢の都立大前	お昼の12時34分にイソヒヨドリと思われる鳥を見かけましたのでご連絡いたしました。青色の体に黒い羽でとても珍しかったので、写真も撮っております。一羽で、目撃場所は八王子市南大沢の都立大前です。(会員外からの報告)	T	繁殖④	4武蔵府中0D

549	イソヒヨドリ	2024/5/17	0羽	イトーヨーカ堂狭間店	イトウウカ堂の調査(5階駐車場)、10:00～13:30 まで、現地で確認しました。前回駐車場に糞が沢山落ちていたと報告しましたが、これはドバトの糞でした。ハトのねぐらになってしまったようです。ヨウカ堂の事務所でも聞いてみましたが、そのようです。駐車禁止の表示もありました。これでここでのイソヒヨドリの繁殖はなくなったという事になりました。実際、ハトが観察中に入ってきたのでわかりました。	福本順吉	行動	八王子 3G
549	イソヒヨドリ	2024/5/17	1羽	自宅前の駐車場(市絹ヶ丘)	オス。早朝の6時に、駐車場で鳴いていたイソヒヨドリが隣家屋根上で鳴いていた。	山崎久美子	繁殖④	4/八王子 9G
549	イソヒヨドリ	2024/5/17	2羽	東豊田2丁目一番橋北側周辺	「みんなの診療所」の屋根に雌がいてそこから向かいのマンションに飛んだ後見失いました。浅川でキアシシギを観た帰りに又一番橋近くの電線に雌がいて近くの空き地に飛んだ所へ付近で囀っていた雄が来て雌の気を引くような行動をしていましたが雌が飛び去り雄も後を追う様になりました。	浜田早苗	繁殖⑤	4/武蔵府中 1J
549	イソヒヨドリ	2024/5/18	1羽	大和田町のエコタウン(旧ムラウチ電気)	メス。3階屋上の外付け階段。大きな餌を啜って巣があると思われる中に入ってしまった。	粕谷和夫	繁殖①	4/八王子 8K
549	イソヒヨドリ	2024/5/18	1羽	明神町 3-11(マンション)	オス。以前営巣した松姫最中ビルの南側のマンションの屋上。餌を啜ってなく、さえずりも無し。しばらくして西方向に飛び去った。	粕谷和夫	繁殖④	4/八王子 7J
549	イソヒヨドリ	2024/5/18	1羽	JR日野駅	雌。駅の近くに来た時イソヒヨドリの良い声が聴こえ探してみると駅舎の屋根に雌がいて啜っていたのを食べていました。囀る声はそれより遠くから聞こえていたように思えもう1羽いたのかもしれませんが。	浜田早苗	繁殖④	4/立川 1B
549	イソヒヨドリ	2024/5/18	1羽	自宅(駒木野公園付近・小仏川)	メス。朝、最近見かけなかったイソヒヨドリのメスが自宅前の電線に止まり辺りを伺っていた。オスもこの付近にいるので営巣しているのではないかと思われる。(昨年、イソヒヨドリが営巣した近くのアパートの換気扇には、今のところ何もいない。)	井川麻利子	繁殖④	4/八王子 1G
549	イソヒヨドリ	2024/5/19	1羽	八王子市天神町(自宅付近)	オス。16時30分頃。住宅地民家の屋根にいて、声無く、餌も啜えていなかった。南新町の方へ飛び去った。	粕谷和夫	繁殖④	4/八王子 6J
549	イソヒヨドリ	2024/5/19	1羽	西八王子駅北口付近	オスの声。甲州街道南側の千人町2丁目のビルの上	宇都宮信子	繁殖④	4/八王子 5J
549	イソヒヨドリ	2024/5/19	1羽	セブンイレブン長沼店の駐車場前の電柱	セブンイレブン長沼店の駐車場前の電柱でさえずっていたが、店舗屋根に飛び見えなくなった	山崎久美子	繁殖④	4/八王子 9G
549	イソヒヨドリ	2024/5/20	1羽	東浅川町のマンション(京王高尾線/狭間駅 徒歩7分、JR中央線/高尾駅 徒歩10分)	夕方にマンション・サニーハイツ屋上にいた一羽はヒッ、ヒッ、という声で鳴いていました。近くに巣があって、巣立ちが近いのかもしれませんが。	横山由美子	繁殖⑤③	4/八王子 3G
549	イソヒヨドリ	2024/5/21	1羽	浅川・浅川橋 左岸	橋付近の理髪店近くでさえずり	野口佐和子	繁殖④④	4/八王子 6K
549	イソヒヨドリ	2024/5/21	1羽	豊田にある富士電機敷地内の裏手にある建物	5/21にオスの餌運びを確認した。以下は経過です。5月18日 建物の敷地外のマンション屋上に姿確認その後2時間待つも現れず。5月21日 敷地内裏手建物5階の非常階段手摺りに雄が餌を啜え辺3分後に下へスーと降りたが3階辺りから建物が手前にあり見えない(場所を変え保育園他で見るが殆んど見えず) 5月27日 21日と同じようにフワーと降り営巣の確認できませんでした(色々な場所から覗くが見えず) 6月1日 マンション屋上や7階ベランダや私の居る側の草や木でエサ探すが2時間の間、手摺りの下に降りる姿無し	武藤邦子	繁殖①	4/武蔵府中 0J
549	イソヒヨドリ	2024/5/21	1羽	絹ヶ丘一丁目の電線	朝5時半にS宅前の電線に止まっていた。声は出していないしエサもくわえていなかった	山崎久美子	繁殖④	4/八王子 9G
549	イソヒヨドリ	2024/5/23	2羽	イオン多摩平の森店	1羽(雄)と雌雄不明1羽。雄がイオンの屋上ガーデンのフェンスの所を出たり入ったりしていました。その少し前には豊田駅前のビルの屋上にいてドバトを追いかう様に飛んで見えなくなりました 雌雄不明で同じ個体かも不明です。	浜田早苗	繁殖④	4/武蔵府中 0J
549	イソヒヨドリ	2024/5/23	1羽	京王堀之内駅前「日産東京」南側の線路下	み。4月22日に観察した場所ではオスが留まっているのを確認した。以前メスが同じ場所の高架下に入っていく姿を見たので多分営巣していると思われる。	市村緑	繁殖④	4/武蔵府中 1E
549	イソヒヨドリ	2024/5/24	2羽	北野駅南口西側(湯殿川・湯殿川橋付近)	みが電線にいて、近くにマンション屋上に移動すると、みがいた所に近くに♀が餌を啜ってやってきた。しかし、巣の位置は特定できなかった。	粕谷和夫	繁殖①	4/八王子 8G
549	イソヒヨドリ	2024/5/24	1羽	京王線北野駅前、北野街道との交差点近く	15時頃に、野猿街道と北野街道の交差点の野猿街道側の歩道にいた。飛び上がってマンション屋上に移った。野猿街道側の歩道上に居た雄1羽が、野猿街道沿いのマンション屋上に移った。	山崎久美子	繁殖④	4/八王子 8G
549	イソヒヨドリ	2024/5/25	1羽	山田川・浅川合流付近	メス、山田河川右岸の建物の屋根、塔を移動。先月(4月27日)はオスを観察、今日はメスだったが餌は啜えていなかった。	ジュニアクラブ 観察会	繁殖④	4/八王子 8H
549	イソヒヨドリ	2024/5/25	1羽	甲州街道八日町4丁目バス停付近	オス、八日町4丁目の前のマンションの屋上にいてさえずっていた。	粕谷和夫	繁殖④	4/八王子 6J
549	イソヒヨドリ	2024/5/25	3羽	南大沢駅前・イトーヨーカドー駐車場	オス1羽、不明2羽。駐車場と本館の間の通路の上でオス1羽が鳴いていた。駐車場の避雷針で1羽が鳴いていた。屋上階の柵の上に1羽がいた。後者2羽は、白い雲を背景にしたシルエットで雌雄は不明。	岡田浩郎	繁殖④	4/武蔵府中 0D

549	イソヒヨドリ	2024/5/25	1羽	南大沢郵便局の西側のライオンズマンションの屋上	オス。屋根の上で鳴いていた。この位置では見かけた記憶があまりない。	岡田浩郎	繁殖 4 ④	武蔵府中 0D
549	イソヒヨドリ	2024/5/25	2羽	元八王子 2 丁目の石神坂バス停付近(城山川・月夜峯新橋付近)	5月中にこれまで 10 回の観察をしましたので報告します。雌ではないかと思う個体もいたのですが、確信が持てないので、不鮮明な写真もありますが、確認していただければありがたいです(粕谷注:送られた写真判定で巣立ち雛)。(会員外からの情報)	K	繁殖 4 ②	八王子 3K
549	イソヒヨドリ	2024/5/25	1羽	自宅近くのセブンイレブン(絹ヶ丘)	16時半頃。自宅近くのセブンイレブン絹ヶ丘1丁目店隣の野猿街道沿いの TV アンテナの上でさえずっていた雄1羽が、電線に移ったりしていた。	山崎悠一、山崎久美子	繁殖 4 ④	八王子 9G
549	イソヒヨドリ	2024/5/26	2羽	みなみ野5丁目 自宅駐車場	午後4時頃。3月中旬からイソヒヨドリの囀りがガビチョウに交じって時折聞こえていたが、今年は修繕工事のためか、ほとんど姿を見なかった。2日ほど前からようやくメスの鳴き声(フイーフイー)が聞こえたので、注意してみたら、メスが駐車場の街灯の上で 虫を咥えて鳴いていた。雛は見えなかったが、屋上で囀るオスの姿を確認した。両足が揃っていたので、去年・一昨年に観察した個体ではなかった。	高橋靖乃	繁殖 4 ①	八王子 5E
549	イソヒヨドリ	2024/5/26	2羽	小山内裏公園	多摩境の小山内裏公園でつがいを見ました！(会員外からの情報)	H	繁殖 4 ④	八王子 9C
549	イソヒヨドリ	2024/5/27	1羽	高尾駅周辺(甲州街道、浅川事務所入口付近)	オス。マンションの屋上に止まって鳴いていて、その後地上の方へ消えた。餌は咥えてなかった。	粕谷和夫	繁殖 4 ④	八王子 2G
549	イソヒヨドリ	2024/5/27	1羽	小仏川・上栢田橋付近	オス。電柱から河原に降りて、取った餌をくわえて近くに民家屋根に止まった。	粕谷和夫	繁殖 4 ①	八王子 2G
549	イソヒヨドリ	2024/5/28	1羽	松木「レクセルマンション京王堀之内」	み。「レクセルマンション京王堀之内」北側の階段の手摺。綺麗な囀りが聞こえて来たので探していたらマンションの北側に居るのが観察出来た。暫くすると大栗川の方に飛び去った。	市村緑他 1 名	繁殖 4 ④	武蔵府中 1E
549	イソヒヨドリ	2024/5/28	1羽	長沼駅と北野駅の間、北野街道の手動交差点の民家の屋根上	16時頃、京王線長沼駅と北野駅の間、北野街道の手動交差点の民家の屋根上で、雄1羽が鳴いていた。駅前と違う所で声がするので、注意して眺めていると電線の上から屋根上に飛び移った。	山崎悠一	繁殖 4 ④	八王子 9G
549	イソヒヨドリ	2024/5/30	1羽	松木・旧ボルボディーラー	♀。松木、旧ボルボディーラーのスロープの手摺の様な白いパイプの上にいたがその後飛び去った。レクセルマンションの目の前なので見に行ってみたらメスがいた。餌は加えていなかったし近くには雄の姿もなかった。	市村緑	繁殖 4 ④	武蔵府中 1E
549	イソヒヨドリ	2024/5/31	1羽	八王子みなみ野駅西口の量販店	オス。前年営業したアクロスモール立体駐車場の 3 階の北西側にはいなかったが、その隣の量販店(サンワ)の屋上にいた。さえずり無し、餌も咥えてなかった。	粕谷和夫	繁殖 4 ④	八王子 6F
549	イソヒヨドリ	2024/5/31	1羽	南多摩病院の西側	午後 4 時 10 分頃 南多摩病院の西側の道を歩いていたら、イソヒヨドリのオスの姿を見ました。住所は散田町 3 丁目 8-12 サンハيلمビル(1 階は美容院)の外階段の3階部分。小さい声がしたので見上げたらオスが 1 羽いましたが、すぐに外階段の内側に移動してしまいました。先日の声が聞こえた北口のビル付近では今のところ姿を見ていません。	宇都宮信子	繁殖 4 ④	八王子 5J
549	イソヒヨドリ	2024/6/1	1羽	湯殿川・白旗橋付近	湯殿川定期カウントゴール地点の白旗橋手前にメスが先月確認した巣の付近の屋根や電線を移動していた。	粕谷和夫他(湯殿川定期 C 参加者)	繁殖 4 ④	八王子 5F
549	イソヒヨドリ	2024/6/1	1羽	狭間・佐藤製菓八王子工場	オス。工場の北側から出て来て電線に止まった後、住宅団地の方へ飛んで行った。	粕谷和夫	繁殖 4 ④	八王子 3G
549	イソヒヨドリ	2024/6/1	1羽	東浅川町(東浅川ビル・町田街道「東浅川信号」付近)	オス。マンション空き家の巣があると見られる通気口に餌を咥えて入って行った。	粕谷和夫	繁殖 4 ①	八王子 3G
549	イソヒヨドリ	2024/6/1	1羽	福祉センター入口バス停(東浅川町)付近	若鳥オス。バス停の電線、民家の屋根等を移動していた。	粕谷和夫	繁殖 5 ⑤	八王子 3G
549	イソヒヨドリ	2024/6/1	1羽	西八王子駅南口(南多摩病院西側付近)	オス。電線や屋根を移動した後、巣があると思われる方へ飛んで行ったが餌は咥えてなかった。	粕谷和夫	繁殖 4 ④	八王子 5J
549	イソヒヨドリ	2024/6/1	1羽	西八王子駅南口	オス。以前営業した場所(散田 3 丁目 9 田沢ビル付近)のマンション屋上に飛んできて、直ぐ消えた。	粕谷和夫	繁殖 4 ④	八王子 5J
549	イソヒヨドリ	2024/6/1	1羽	小門町 15(八幡町 3 の三峯神社前付近)	オス。三峯神社前にいて、一旦地面に降りた後、小門町 15 の住宅地の方へ飛んで行った。	粕谷和夫	繁殖 4 ④	八王子 6J
549	イソヒヨドリ	2024/6/1	2羽	ヤオコー八王子並木町店	11:00 頃。♂♀1羽。ヤオコーと隣のマンションの屋上を餌を咥えて行き来していました。	中山尊人、中山千晶	繁殖 4 ①	八王子 4J
549	イソヒヨドリ	2024/6/1	3羽	みなみ野5丁目 自宅マンション	オスと雛2羽。正午前後。マンション共有廊下にて。2羽の雛が修繕用の足場で鳴いていた。修繕ネットで建物がほぼ覆われていたため出られなくなっていた。オス親がネットの外でしきりに鳴き、ネット越しにエサを与えようとするなど、親子共々パニック状態。虫取り網で裏木戸に誘導しようと試みたが届かず、工事関係者に伝えたところ、対処しますとのことでした。(イソヒヨドリの閉じ込めは隣の棟でも発生していた)。夕方、外出から帰ると雛の姿はなかった。無事に出了らなればよいのですが、心配です。	高橋靖乃	繁殖 4 ②	八王子 5E
549	イソヒヨドリ	2024/6/3	1羽	BigA(長沼町)西となりの民家	朝6時頃、BigA(八王子市長沼町943-9)西となりの民家の TV アンテナでさえずっていた。	山崎久美子	繁殖 4 ④	八王子 9G
549	イソヒヨドリ	2024/6/4	2羽	日野市・豊田小学校周辺	オスとメスが近くを飛び回る。やがてメスはミズを咥えて学校の外部階段奥へ。オスは時折、地鳴きして周囲を飛翔した。小学校周辺でこの時期にペアを見たのは初めて。	玉木雅治	繁殖 4 ①	武蔵府中 1J

	549	イソヒヨドリ	2024/6/6	1羽	絹ヶ丘の民家の TV アンテナ	朝4時半頃、八王子市絹ヶ丘1-19-16の民家の TV アンテナでさえずっていた。自宅近所にイソヒヨドリが営巣しているとの信念のもと、探しているのですが、見つからない。	山崎久美子	繁殖 4	八王子 9G	④
	549	イソヒヨドリ	2024/6/6	1羽	ステーキハウスあさくま(打越町)の屋根	朝7時半頃、ステーキハウスあさくま(八王子市打越町673-2)の屋根でさえずっていた。	山崎悠一	繁殖 4	八王子 8G	④
	549	イソヒヨドリ	2024/6/6	1羽	スシロー(長沼町)の前の電線	13:20 頃、スシロー(八王子市長沼町1076-1)の前の電線に留ってさえずっていた。	山崎久美子	繁殖 4	八王子 8G	④
	549	イソヒヨドリ	2024/6/6	1羽	エンジェルシャトーマンション(???)	13:22頃、エンジェルシャトーマンションの2F でイソヒヨドリがさえずっていた。	山崎久美子	繁殖 4	八王子 8G	④
	549	イソヒヨドリ	2024/6/7	1羽	松枝住宅グランド側の通路	3、4 階をいったり来たりし飛んでいた。	中村后子他定期カウント	繁殖 4	拝島 3B	④
	549	イソヒヨドリ	2024/6/8	1羽	高尾駅南口駅前大型マンション屋上	オス、外付け階段から高尾駅方面に飛んで行った。	粕谷和夫	繁殖 4	八王子 2G	④
	549	イソヒヨドリ	2024/6/8	1羽	小仏川・上栢田橋付近	オス。5/27 と同じ場所で電柱に止まっていた。	粕谷他カワセミ会月例探鳥会	繁殖 4	八王子 2G	④
	549	イソヒヨドリ	2024/6/8	2羽	小仏川・駒木野公園付近	駒木野公園と小仏関所跡の間の住宅地で、オス、メスが電線、民家屋根、庭などを移動していた。	粕谷他カワセミ会月例探鳥会	繁殖 4	八王子 1G	④
	549	イソヒヨドリ	2024/6/8	2羽	イオン多摩平 1 丁目のマンション	オス 1 羽、幼鳥 1 羽。「クイーンシティ豊田多摩平の丘」の西側 4~7F ベランダ。幼鳥が親の後を追うようにして時々羽を震わせたり、大きな口を開いて餌をねだっていた。9 日、10 日にも同じ場所で同様の幼鳥の行動が見られたが観察場所からは親の姿は見えなかった。会員外・日野市在住からの情報	M	繁殖 4	武蔵府中 ② OK	
	549	イソヒヨドリ	2024/6/8	1羽	北野街道と16号バイパスとの交差点	朝7時半頃に、北野街道と16号バイパスとの交差点ガードの上でさえずっていた。	山崎久美子	繁殖 4	八王子 8G	④
	549	イソヒヨドリ	2024/6/10	1羽	メジロ台駅前	メス。駅前交番の隣りのビルの屋上に止まっていた	粕谷和夫	繁殖 4	八王子 4G	④
	549	イソヒヨドリ	2024/6/10	1羽	メジロ台・のドン・キホーテ店隣り	オス。ドン・キホーテ店の西隣りの建物の屋上でさえずっていた。	粕谷和夫	繁殖 4	八王子 4G	④
	549	イソヒヨドリ	2024/6/11	1羽	天神町 18・天神町ぼうけんひろば	オス。警戒音を出しながら公園内を移動していた。	粕谷和夫	繁殖 4	八王子 6J	④
F	549	イソヒヨドリ	2024/6/13	4羽	大和田町	昨年単独でベランダを訪れていた左趾全欠損の雄が、今年は 4 月 2 日に顔を見せてから直ぐに若い雌に付きまとわれるようになった。この雄は持ち歌のレパートリーが広く、今まで聞いたどのイソヒヨドリよりも美声でありほどなくして番いになった。5 月 15 日前後に 2 羽雛が生まれたようで以降は大概 2 匹虫を啜えて頻繁に運ぶ姿が観られた。雄も餌運びするが主に餌運びは雌で、先に電柱のような見晴らしの良い場所で猛禽等を警戒して雌を先導し、雌が集中して数回餌を運んだ後、最後に雄も啜えて運ぶということが多かった。営巣場所は別の番いが営巣したエコ・タウン八王子大和田店非常階段ではなく、大和田市民センター屋上とみられるが結局わからないままであった。6 月 13 日には隣の民家に 2 羽の雛連れで訪れてお披露目してくれたが、実際の巣立ちは逆算及び成長具合から 10 日程前と推定される。	下野彰夫	繁殖 5	八王子 8J ④及 び 5⑤	
	549	イソヒヨドリ	2024/6/15	1羽	自宅(高尾町)付近	♂。18:10 頃から 18:20 頃まで西側住宅 S さん宅で屋根に止まって鳴いていた。ご主人が出てきたので事情を説明して観察していたが、北東方向に飛び去ってしまった。	福本順吉	繁殖 4	八王子 2G	④
	549	イソヒヨドリ	2024/6/17	1羽	自宅(高尾町)	幼鳥。17:40 頃、自宅庭に降りて採食していたようです。幼鳥は今年初認、西側マンション・マイキャッスル高尾で巣立ちした幼鳥と推測した。	福本順吉	繁殖 5	八王子 2G	⑤
	549	イソヒヨドリ	2024/6/17	2羽	八王子みなみ野駅西口・アクロスモールの南隣りのマンション	♂2 羽がマンションの屋上角とその直ぐ下の階の窓枠のような所において、屋上にいた♂がその下にいた♂を追ひ払った。屋上の♂はその後アクロスモールの立体駐車場の方へ移動した。	粕谷和夫他(宇津貫カウント参加者)	繁殖 4	八王子 6F	④
	549	イソヒヨドリ	2024/6/17	1羽	宇津貫公園入口付近	♂。「宇津貫公園入口」信号の角のマンションの屋上角において、直ぐに姿を消した。	粕谷和夫他(宇津貫カウント参加者)	繁殖 4	八王子 6F	④
	549	イソヒヨドリ	2024/6/17	2羽	浅川・一番橋北側	親鳥♂1羽 雛1羽。道路わきの倉庫や重機置き場の物陰から餌をねだってピーピー鳴く雛の声が聴こえ近くで餌を探していた雄親が雛に餌を与えるのが見えました。雛はもう親鳥と同じ位に大きくなっていて親鳥の後を追って飛んでいました。	浜田早苗	繁殖 4	武蔵府中 ② 1J	
F	549	イソヒヨドリ	2024/6/17	2羽	横浜線八王子みなみ野駅付近	八王子みなみ野駅西口・アクロスモールの南隣りのマンション、♂2 羽がマンションの屋上角とその直ぐ下の階の窓枠のような所において、屋上にいた♂がその下にいた♂を追ひ払った。屋上の♂はその後アクロスモールの立体駐車場の方へ移動した。	粕谷和夫	行動	八王子 6F	
	549	イソヒヨドリ	2024/6/22	2羽	御霊神社境内	オス:1羽、幼鳥:1羽。別々に行動していました。(会員外からの情報)	M	繁殖 4	八王子 3F	②
	549	イソヒヨドリ	2024/6/24	1羽	南新町 14(ローソン南新町店の北隣り)	オス、民家屋根に長い間止まっていた。地鳴きのような声を出していた。	粕谷和夫	繁殖 4	八王子 6J	④
	554	コサメビタキ	2024/4/28	声	駒木野公園・梅郷橋間の森(小仏川)	木々の中でコサメビタキの声を聞いた。移動しながら鳴いている。毎夏ここに来る。	井川麻利子、井川志織子	初認	八王子 1G	
	554	コサメビタキ	2024/5/3	1羽	小下沢林道	8:50 頃。夏鳥調査 2 回目 小下沢林道の入口すぐの梅林横ここ 2 年観察できませんでしたが、今年は視認できました。観察できるのは いつもこの場所です。	中山尊人、中山千晶	希少	与瀬 8H	
	554	コサメビタキ	2024/5/17	1羽	松竹公園付近	北浅川や公園沿いの桜の木に止まり囀る	古山隆	希少	八王子 OK	

	554	コサメビタキ	2024/5/26	4羽	小仏川・蛇滝橋付近 梅林	親2羽、ヒナ2羽。昨年営巣した梅の木とは違う木で、今年もコサメビタキが営巣していた。ヒナはだいぶ大きくなっている様子だった。	井川麻利子、 井川志織子	繁殖 5 ①	八王子 0G
	558	キビタキ	2024/4/20	1羽	山入川・陵北大橋の 上流、山入川の、神 谷橋付近	さえずりと、姿を確認、	柚木育子	初認	拝島 1B
	558	キビタキ	2024/4/20	4羽	高尾山・稲荷山コース 登山道	稲荷山コースに入っすぐの樹上でオスがさえずり、目視もできた。コース前半 200～300m おきにさえずりがあり、計 4 羽	小川圭太	初認	八王子 1F
	558	キビタキ	2024/4/20	6羽	高尾山・稲荷山コース から 3 号路登山道	同じく稲荷山コース中腹以降～下山の3号路にて計 6 羽のさえずり。うち 1 羽を目視でも確認。	小川圭太	初認	八王子 0F
	558	キビタキ	2024/4/20	声	駒木野公園付近(小仏 川)	声。午前中、森の中からキビタキの声が聞こえてきた。この日以降、毎日囀りが聞こえる。	井川麻利子、 井川志織子	初認	八王子 1G
	558	キビタキ	2024/4/21	1羽	北浅川・くぬぎ沢	囀り	古山隆	初認	与瀬 5K
	558	キビタキ	2024/4/25	1羽	小山内裏公園芝生広 場脇の雑木林	最初は木のてっぺん付近にいたがだんだんと下の方に降りて来た。	市村緑他会員 2 名非会員 1 名	初認	八王子 9C
F	558	キビタキ	2024/4/25	3羽+	小宮公園・こげらの小 道	声だけで無くやっと姿を捕らえました。さえずりはひよどりの小道他 2 か所でも確認できました。	狭島伸介	初認	拝島 7A
F	558	キビタキ	2024/4/25	1羽	小山内裏公園	朝のお散歩中、木の高い所に居たが暫くすると写真が撮りやすい場所に降りてくれました。毎年このシーズンが来るとワクワクします。	市村緑	初認	八王子 9C
	558	キビタキ	2024/4/26	2羽	八王子城跡付近の林 道	「地元発見探鳥会・八王子城跡で夏鳥を探そう」の下見でキビタキの鳴き声を2か所で聴いた。姿は確認できなかった。地元発見探鳥会 4 月 26 日には鮮やかなオレンジ色の姿を観察できた。	門倉美登利・ 中村后子・柚木 育子	初認	八王子 OH
	558	キビタキ	2024/4/27	2羽	滝山城址	14:10。♂2 羽。本丸付近と、その下の広場で囀っていた。	今野美代子	初認	拝島 6D
	558	キビタキ	2024/5/3	1羽	小下沢林道	8:40 頃。夏鳥調査 2 回目 小下沢林道の入口で囀りを聞けました。	中山尊人、中 山千晶	行動	与瀬 8H
	558	キビタキ	2024/5/5	1羽	長沼駅前のフジタ写 真館入口の前	早朝に、写真館のガラスにぶつかったらしく、窓の下に横たわって死んでいた。	山崎久美子	行動	八王子 9G
	558	キビタキ	2024/5/15	1羽	下柚木・富士見台公 園	♂。すぐ近くの高い木の上で囀っていたので暫く探していると見える枝に降りて来た。	市村緑他会員 1 名	行動	武蔵府中 0E
	558	キビタキ	2024/5/18	2羽	宇津木緑地	杉林の中、オス 2 羽が至近距離で杉の枝に止まって 2 羽ともさえずっていた。また、近くの市指定の宇津木台緑地でもキビタキ 1 羽がさえずっていた。	粕谷和夫、木 澤隆雄	行動	拝島 8C
	558	キビタキ	2024/5/21	声	川町谷戸	椎茸のホダギ林、隣接する八王子霊園から声	粕谷和夫	行動	八王子 2K
	558	キビタキ	2024/6/1	1羽	松竹・八王子城山登 山口付近	♂ 餌(アオムシ類)をくわえて、警戒の声 近くに巣があり、育雛中の様子	古山隆	行動	八王子 0J
	558	キビタキ	2024/6/4	1羽	日野市程久保	七生特別支援学校 東側の丘陵から囀り声	古山隆	行動	武蔵府中 3H
	561	オオルリ	2024/4/11	1羽	高尾山6号路	上部の高木に止り鳴いていた。	菅野桂子他琵琶 滝カウント参加 者	初認	八王子 0E
	561	オオルリ	2024/4/18	3羽	八王子城跡の林道	「地元発見探鳥会・八王子城跡で夏鳥を探そう」の下見でオオルリの鳴き声を3か所で聴いた。姿は確認できなかった。	門倉美登利・ 中村后子・柚木 育子	初認	八王子 OH
	561	オオルリ	2024/4/20	1羽	小下沢林道	10:40 頃。夏鳥調査1回目 5カ所で鳴き声を観察しました。最後の1カ所では、目の前の木の横枝に止まり移動する様子をしっかりと観察出来ました。又、オオルリの地鳴き？！を聴くことができました。	中山尊人、中 山千晶	初認	与瀬 8H
	561	オオルリ	2024/4/21	2羽	北浅川・くぬぎ沢	囀り	古山隆	初認	与瀬 5K
	561	オオルリ	2024/5/21	1羽	高尾山頂・トイレの後 ろの木	オオルリの声がするので探した。高尾山頂付近で鳴くの聞いていたが動く姿を見たのは初めてです。「イナモリ草を探そう」事前研修でオオルリの鳴き声と、青い姿を皆で確認できた。	門倉美登利・前 田恵美子他研修 参加者7名	行動	与瀬 9E
	561	オオルリ	2024/6/9	声	駒木野公園付近・自 宅(小仏川)	声。朝 8 時ごろ、自宅向かいの山(高尾山)からオオルリの囀りが聞こえてきた。今年、キビタキはよく鳴いているがオオルリを聞くのは初めて。去年はオオルリが多く、キビタキが少なかった。	井川麻利子、 井川志織子	行動	八王子 1G
	569	スズメ	2024/1/10	2羽	自宅(高尾町)	9:35 頃自宅の戸戸を開けたら西側道路脇垣根に 2 羽のスズメが鳴き交わっていた。今季初認。	福本順吉	行動	八王子 2G
	569	スズメ	2024/5/14	1羽	八王子市中野上町1 丁目	自宅マンション1階ベランダに設置した巣箱に餌をくわえて入る 巣箱の中から微かに雛と思われる鳴き声 5/27 夕方には巣箱の中からの鳴き声が聞こえず、巣立った様子	古山隆	繁殖 5 ⑤	八王子 6K
	573	キセキレイ	2024/3/16	2羽	駒木野公園付近(小仏 川)	毎年営巣する民家の腰高窓の簾にキセキレイが来ました。簾の中に入ったり出たりしています。また、川原で忙しく鳴き交わしています。声は昨日から、あたりによく響くようになりました。	井川麻利子	繁殖 3	八王子 1G
	573	キセキレイ	2024/5/8	1羽	醍醐林道・龍泉寺を 過ぎて入山トンネル 方面への林道分岐付 近	民家付近で巣材を啜えて飛んでいった	粕谷和夫、井 上京子、武藤 邦子	繁殖 4 ③	五日市 6A
	573	キセキレイ	2024/5/16	2羽	小宮公園弁天池付近	幼鳥 1・親鳥 1。10:00。弁天池周辺で、巣立ち雛に♂の親鳥が何度も給餌している様子を観察した。先に見ていた人は雛は 2 羽いたというが、私は 1 羽しか確認できなかった。	今野美代子	繁殖 4 ②	拝島 7A



	574	ハクセキレイ	2024/2/28	418 羽	八王子駅北口二階デッキ及び周辺	北風が吹く真冬の調査になりました。16時30分～18時10分。晴れ 気温 11℃ 日没時間17時36分。 17:35 オクトーレビル壁面に飛来する。 徐々に窓枠に止まり始める。 18:05 チェカーにてカウント結果341羽昨年の2月は418羽でした。	対中義雄	峙	八王子 7J
	574	ハクセキレイ	2024/5/29	50 羽±	JR 八王子駅北口 2 階デッキ及び周辺	晴れ、22℃、18:30～19:30、日没18:51 19:05 くまざわ書店前の街路樹に数羽の鳥影を確認する。 19:15 50羽± 近年はムクドリに追いやられオクトーレビルの窓枠に定宿でしたが、久しぶり街路樹に降り入りました。 因みに2023年5月は、ハクセキレイは確認できていません。梅雨の走りが感じられる陽気でしたが、新緑の緑が元気をさせとのオーラを私は感じました。	対中義雄	峙	八王子 7J
F	580	ビンズイ	2024/1/14	3羽	北浅川・松枝橋下流	葉の落ちた木の頂上に止まっていたが、人に気が付いたか飛び去った。しかし、運良く一羽が比較的近くの枝に止まった。	荻島伸介	行動	拝島 4B
	580	ビンズイ	2024/4/16	2羽	自宅(鍵水)前の土手	目の前に2羽で飛んで来て桜の木に留まりその後直ぐに地面に降りてゆっくりと歩いていた。白い眉斑とお腹の黒い縦斑がくっきり見えた。(2年前の 11 月にもこの場所で観察した)	市村緑	行動	八王子 9C
	584	タヒバリ	2024/2/2	43 羽	高月町水田	一つの田んぼで群れで採餌する。カシラダカ3羽も混じる	古山隆	行動	拝島 6F
	584	タヒバリ	2024/3/22	1羽	浅川・平山橋下流約100m	堰。浅い流れのところで時々鳴きながら採餌していた。この辺りで見るのは今冬では珍しい。	岡本昭男	行動	武蔵府中 0H
	586	アトリ	2024/2/6	100 羽 +	駒木野公園上流側(小仏川)	川沿いの木々に無数のアトリが止まっていた。飛んでいるものもいた。7 日も 50 羽くらいの群が山の上の方を飛んでいた。	井川志織子、 井川麻利子	希少	八王子 1G
F	586	アトリ	2024/2/6	1羽	北浅川・中央高速道橋上流	大雪の影響なのか、カシラダカ 30±、ホオジロ 20±、アオジ 10±、シジュウカラ 10±、メジロ 5±などが多数飛び回っていたが、赤っぽい一羽が混じっていた。ベニマシコと一瞬思ったがこのコースでは初めてのアトリみだった。	荻島伸介	希少	拝島 4A
F	586	アトリ	2024/2/10	3羽	多摩平第一公園	枝で休んだり地面に降りてケヤキの実の様なものを啄んだりしていました 数日前にも近くの多摩平の森公園上空を飛ぶ 30 羽程の群れを観察しました。	浜田早苗	希少	武蔵府中 0K
	587	カワラヒワ	2024/2/19	60 羽±	高幡台団地・1 号棟跡地	草地 群れで採餌 この個体群は三列風切の白い部分の幅が広めで、亜種オオカワラヒワであると思われる 1 月9日～3月19日の間、ほぼ、継続的に観察された。	古山隆	行動	武蔵府中 3J
	587	カワラヒワ	2024/5/4	2羽	浅川・一番橋と平山橋のほぼ中間点、右岸の土手	土手の斜面に多くの色とりどりのスイバが風に揺れていた。その隙間に鳥影がちらっと見えた。確認するとスイバの細い茎に止まりゆらゆらと揺れながら花序(果実?)を啄んでいるカワラヒワだった。	岡本昭男	行動	武蔵府中 1J
	592	ベニマシコ	2024/1/7	1羽	多摩川JR鉄橋上流側100M付近	《雌》川沿いの茂みに飛んで来て隠れる様に小枝にとまりすぐには飛び去りました	浜田早苗	希少	立川 1B
	592	ベニマシコ	2024/1/14	1羽	浅川右岸・水管橋～中央線鉄橋間	10:30 頃。メス。右岸の枯草の上にとまっていたが、すぐ草の中に隠れてしまった。	佐藤哲郎	希少	八王子 8H
	592	ベニマシコ	2024/1/30	1羽	浅川・浅川大橋 上流側	右岸 オギ原から鳴き声	古山隆	希少	八王子 7K
	592	ベニマシコ	2024/2/3	2羽	多摩川・谷地川合流部付近	水辺にいる 1 羽と、河原の荒地にいる 1 羽(どちらもメス)を目撃。	小川圭太	希少	立川 0C
	592	ベニマシコ	2024/3/1	1羽	北浅川・川原宿大橋上流	川原宿大橋の上流でメスを確認しました	青木静子他定期カウント参加者	希少	拝島 1A
F	592	ベニマシコ	2024/3/1	2羽	浅川・鶴巻橋上流側約 80m	(♂1, ♀1)。2024 年 3 月 1 日・3 月 2 日。右岸側ヨシ原の中にある 2～3m 程度の新芽が少し大きくなった低木に、ヨシ原の中から2羽の鳥が枝にとまった。双眼鏡で確認するとベニマシコ(♂と♀)だったが、ムクドリが同じ木にとまると飛び去った。翌日も同じ樹木に♂と♀の 2 羽が現れたがこの樹木の新芽を食べるためだと確認できた。その時の写真も追加します。	荻島伸介	希少	八王子 5K
	592	ベニマシコ	2024/3/4	1羽	浅川右岸・長沼橋～中央線鉄橋中間	7:55 頃。メス。枯れたヨシの中を移動。	佐藤哲郎	希少	八王子 9H
F	592	ベニマシコ	2024/3/15	1羽	浅川・鶴巻橋上流側約 10m	(♂)。今シーズン鶴巻橋上流側でベニマシコを 4 回目撃した場所は、100m 以内の非常に狭い範囲だった。ベニマシコが越冬中に過ごすエリアは、今まで漠然と翼がある鳥だからもっと広いと推測していたが意外と狭いのではと体感しました。今回は、ベニマシコの声がした方向のノバラの中で鳥影を見付け、枝がかぶらない位置で覗くと、枯れた野草の種を食べていました。	荻島伸介	希少	八王子 5K
F	592	ベニマシコ	2024/3/19	1羽	サイカチ池(浅川長沼橋左岸上流)	メス。池端の藪からアオジと一緒に飛び出して土手下のヨシ原へ降りた。丁度この時、上空のトビを警戒して辺りの野鳥が一斉に飛び交った。それで運よく姿を見せてくれたのだと思う。	能田正行	希少	八王子 9H
F	592	ベニマシコ	2024/3/21	5羽	浅川左岸・中央線鉄橋上流直ぐの枯れた水門の前のヨシ原	♂2 羽、♀3 羽。いつもアオジのいる木の辺りから複数の声がすると思ったら階段脇のヨシ原にいました。暫くこちらを通過していないので越冬したものか移動中かは不明です。盛んに採餌していました。	下野彰夫	希少	八王子 9H
	592	ベニマシコ	2024/4/8	1羽	浅川・長沼橋～大和田橋間	3 月 21 日に写真を撮って以降、左岸大和田橋下流 150～400 mでときどき声を聞いております。昨日 4 月 8 日朝も声を聞いたので一応記録まで。終認か？ 声のみで移動しながら鳴いているのでおそらく右岸側のオギのよく生えている辺りです。そろそろ終認とは思われますがまだ居るかも知れません。	下野彰夫	希少	八王子 8J
	599	ウソ	2024/1/27	5羽	滝ノ沢林道	フサザクラの実を食べる ♀2♀3 亜種アカウソ♂も混じる	古山隆	希少	与瀬 9J

	599	ウソ	2024/2/1	4羽	高尾山6号路	川辺の低木を上流に飛び移りながら移動していた	管野桂子他琵琶滝定期カウント参加者	希少	八王子 0F
	599	ウソ	2024/2/13	2羽	長沼公園	亜種アカウソ。晴。観察者の数M先の小さな沢沿いにいた。枯れ草と雑木の小枝を歩き来しながら採餌していた。その後、急斜面の雑木林に飛び去った。	門口一雄、門口裕子	希少	八王子 9G
	599	ウソ	2024/3/7	6羽	高尾山6号路大山橋先	沢沿いの低木で採餌していた。	管野桂子他琵琶滝定期カウント参加者	希少	八王子 0F
	599	ウソ	2024/3/11	3羽	高尾山・金毘羅台	ウソ♀3羽がサクラの芽を採餌。	千葉槇子他定期カウント参加者	希少	八王子 1F
	599	ウソ	2024/3/11	3羽	高尾山・1号路金毘羅台	♀3羽がサクラの芽を採餌。	千葉槇子他定期カウント参加者	希少	八王子 1F
	599	ウソ	2024/4/2	2羽	高尾山・大平林道学習の道分岐	路面でゆっくり採餌していた。	加藤岸男	希少	与瀬 9E
	599	ウソ	2024/4/2	2羽	高尾山・大平林道学習の道分岐	路面でゆっくり採餌していた。	加藤岸男	希少	与瀬 9E
	599	ウソ	2024/4/6	2羽	高尾山・4号路みやま橋先	声が聞こえた。	千葉槇子他定期カウント参加者	行動	八王子 0E
	600	シメ	2024/4/6	4羽	南浅川・陵南公園	12:30 頃。銀杏の木。羽数 4 羽(各1羽)。シメは久々に観察出来ました。	中山尊人、中山千晶	行動	八王子 3H
	602	イカル	2024/1/4	声	自宅(裏高尾町駒木野・小仏川沿い)	声。朝、9 時 30 分頃、自宅のドアを開けると、イカルの囀りが聞こえた。例年、冬の間はイカルの声を聞いたり、姿を見たりしないので驚いた。	井川麻利子	行動	八王子 1G
	602	イカル	2024/1/29	6羽	鎌水公園西側階段脇の地面	何かを採餌中の様で地面を一生懸命突いていた。	市村緑	行動	八王子 9D
F	602	イカル	2024/3/15	1羽	八王子市宮上中学校西側の法面	近くでイカルが鳴いているなと見上げると、イカルが木のくぼみに溜まった水を飲んでた。	岡田浩郎	行動	八王子 9D
	602	イカル	2024/4/3	6羽	上柚木西歩道橋近くの木の上	イカルの囀りが聞こえたので木に近づくと5羽が飛び立ち 1 羽だけ残ってくれたので黄色の嘴がはっきりと確認出来た。	市村緑	行動	八王子 9C
	602	イカル	2024/4/30	1羽	多摩病院雑木林	11:40-12:15。声がしたので双眼鏡で観たら枯れ木で囀っているのを視認した。自宅から確認したのは初めて。	今野美代子	行動	拝島 6B
	610	ホオジロ	2024/1/8	3羽	南浅川・横山橋上流	11:40 頃。鳴き声はしていましたが 本日視認できました。	中山尊人、中山千晶	行動	八王子 4H
	610	ホオジロ	2024/3/30	1羽	八王子みなみ野駅駅前交差点手前の街路樹	10:00 頃。木の上で囀っていました。	高橋靖乃	行動	八王子 6F
F	610	ホオジロ	2024/6/13	3羽	清水入緑地(南大沢)	緑地入口のフェンスにホオジロの親子(親 1、子 2)がいて、フェンスの下の草地に上り下りしていた。親の夏羽が鮮やかであった。	粕谷和夫	繁殖②	武蔵府中 1C
	617	カシラダカ	2024/2/7	73 羽+	豊田児童グラウンド(浅川・一番橋上流左岸河川敷グラウンド)	グラウンドの南側で群れで採餌していた。これほどの数の群れを見たのは初めてだった。草むらの地表近くではまだ雪が解けずに覆われていたので採餌できないためと考えられる。画像で羽数を確認したのは 73 羽であったが撮影しきれない部分もあったので 100 を超えていたかもしれない。	岡本昭男	行動	武蔵府中 1J
F	617	カシラダカ	2024/2/7	4羽	大栗川・下の川橋付近	2月5日の雪で地面が覆われたが、カシラダカが雪が解けた部分の地面で採餌していた。	粕谷和夫	行動	武蔵府中 3F
	617	カシラダカ	2024/2/11	2羽	長沼公園	公園西側草地と林(藪)の境付近で、枯れ草の茎に止まったり下りたりしていた。	門口一雄、門口裕子	行動	八王子 9G
	617	カシラダカ	2024/2/29	20 羽	高幡台団地・1号棟跡地	草地で群れで採餌 3月7日には同じ個体群と思われる群れが草地際の木に止まり、囀る 3月11日には27羽の群れが見られた	古山隆	行動	武蔵府中 3J
	617	カシラダカ	2024/3/7	1羽	高尾天満宮の梅林付近・小仏川沿いの道	午前 11 時ごろ。梅林の方から飛んできて、川との間にある木に止まる	宇都宮信子	行動	八王子 0G
	618	ミヤマホオジロ	2024/1/8	3羽	多摩森林科学園	PM15:10。♂3 羽。日陰の斜面で採餌していた。	今野美代子	希少	八王子 2H
F	618	ミヤマホオジロ	2024/1/31	5羽	多摩森林科学園・釣舟草通り 61 番ポスト付近	15 時頃 随分と人馴れしてきました。5 羽の群れ(3 羽は雄。2 羽は不詳)でした。	田中博之	希少	八王子 2H
F	624	アオジ	2024/1/4	2羽	湯殿川・時田大橋付近	川沿いの地面で警戒する様子もなく、しきりに地面をついばんでいました。	高橋靖乃	行動	八王子 7G
	624	アオジ	2024/1/8	2羽	南浅川・富士森高校前	11:30 頃。葦原。昨年から鳴き声は聴いていましたが今日は葦の穂先に止まる姿を視認できました。	中山尊人、中山千晶	行動	八王子 4J
F	624	アオジ	2024/1/14	1羽	小宮公園	人馴れしているのか至近距離でも全く逃げようとせずじっと写真を撮らせてくれました。	市村緑	行動	拝島 7A
F	624	アオジ	2024/3/8	10 羽+	小宮公園	雪原で、群れで採餌していました。	田中博之	行動	拝島 7A
	624	アオジ	2024/4/3	1羽	上柚木西歩道橋の手前のフェンスの上	み。綺麗な囀りが聞こえて来たので近づいてみるとアオジだった。今まで地鳴きしか聞いた事がなかったので朝から清々しい気分です。	市村緑	行動	八王子 9C
F	624	アオジ	2024/4/17	1羽	松が谷・松が谷遊歩道	松が谷遊歩道さんぽ道の側溝水溜まりでアオジとジュウカラが気持ちよさそうに水浴していた。遊歩道を通行人が通っても逃げなかった。	粕谷和夫	行動	武蔵府中 3F

	625	クロジ	2024/1/11	1羽	高尾山6号路	草藪を動いていたがすぐに飛び去った	管野桂子他琵琶滝定期カウント参加者	希少	八王子 0E
	625	クロジ	2024/1/20	1羽	館町緑地	上空で飛び回りながら泣く声が聞こえた。	加藤岸男く門倉美登利(越冬期緑地調査参加者)	希少	八王子 3E
F	628	オオジュリン	2024/3/11	1羽	浅川右岸・八王子市役所前	アリスイ目当ての探鳥中に枝に止まっている見慣れない小鳥に遇いました。古山氏よりオオジュリン♀と教えて貰いました。	荻島伸介	希少	八王子 5K
F	628	オオジュリン	2024/3/27	3羽	浅川右岸・日野市民プール前	土手下の枯草に飛んで来て夢中の茎の中の虫を啄んでいました。頭部が少し黒くなっているのもいました。	浜田早苗	希少	武蔵府中 2K
F	628	オオジュリン	2024/4/2	2羽	浅川右岸・中央線～長沼橋の中程	枯れたヨシの中を移動。頭が少し黒く、夏羽移行中と思われる。近くにもう1羽いたがおそらく♀。	佐藤哲郎	希少	八王子 9H
	901	コジュケイ	2024/2/17	2羽	黒川清流公園	15:25。♂♀。藪の中で番で採餌していた。♀が来ると♂が寄り添い近くで羽づくろいをしていた。	今野美代子	行動	武蔵府中 1K
	901	コジュケイ	2024/3/14	6羽	紅葉台団地・桃源台公園	午前10時頃。公園内の茂みに隠れていたコジュケイの集団が、犬の気配を感じて一斉に飛び立ちました。高さは2メートルぐらいの所をフェンスの反対に向かって逃げていきました。最近、よく見かけます。毎年この辺りで子育てをしています。	関谷孝	繁殖 4②	八王子 2F
F	901	コジュケイ	2024/6/20	1羽	小宮公園	遊歩道にいたコジュケイが木に登り出した。そして赤く稔ったヒメコウゾの実を食べ始めた。その後で近くにいたガビチョウも同じ実を食べていた。	粕谷和夫	行動	拝島 7A
	908	カオグロガビチョウ	2024/1/14	声	松枝住宅バス停付近	左岸対岸から声が聞こえた。	中村后子他冬鳥一斉調査	行動	拝島 3B
	908	カオグロガビチョウ	2024/5/3	1羽	集合場所の松枝橋から少し先雑木林の中	声が聞こえた。	中村后子他定期カウント	行動	拝島 3B
	909	ガビチョウ	2024/2/24	1羽	自宅(高尾町)南・金毘羅山	中腹辺りから鳴き声が聞こえた。今季初認	福本順吉	行動	八王子 2G
	909	ガビチョウ	2024/5/7	1羽	中野上町1丁目	自宅マンション横、東側の住宅 庭木に止まり囀る	古山隆	行動	八王子 6K
	910	ソウシチョウ	2024/1/20	6羽	長房保全緑地隣接住宅団地内の道路	アスファルト舗装道路上でこぼれたヌルデの果実？を採餌していた。	千葉禎子	行動	八王子 2J
F	910	ソウシチョウ	2024/1/22	6羽ー	小宮公園・カワセミの小道	5-6羽。この公園では久しぶりです。高い梢に群がっていました。	田中博之	行動	拝島 7A
	910	ソウシチョウ	2024/5/3	4羽	長沼公園	霧降の道中程の笹藪で鳴きながら飛び内っていた。	門口一雄、門口裕子	行動	八王子 9F
	910	ソウシチョウ	2024/5/2	1羽	高尾山3号路	鳥の警戒音のような声でしたので探すと小枝に止まっているのを確認したが、すぐに飛び移り見えなくなった。	管野桂子他琵琶滝カウント参加者	繁殖 3	八王子 0E
		アブラコオモリ	2024/2/20	3頭	浅川・浅川大橋～浅川橋間	18:00 気温が上がり飛び出した模様 最高気温24℃	古山隆	哺乳類	八王子 7K
		イタチ	2024/2/3	1羽	湯殿川・釜土橋上流側	河原を約10メートル走り去る	粕谷和夫他(湯殿川定期C参加者)	哺乳類	八王子 6G
F		イタチ	2024/5/10	1頭	浅川・鶴巻橋下流	定期カウントでイタチが浅川を泳いでいる姿を参加メンバーと一緒に目撃しました。2枚目の写真は別の日に近くで顔だけ出した姿です。	荻島伸介	哺乳類	八王子 5K
		イノシシ	2024/4/23	不明	浅川・暁橋上流側	右岸 餌をとるため何か所も地面を掘り起こした跡 前夜に現れたと思われる	古山隆	哺乳類	八王子 7K
		タヌキ	2024/3/14	3頭	上恩方町	14:55。民家横の畑の斜面を3匹が歩いていた。3匹とも疥癬だった。	今野美代子	哺乳類	五日市 6A
F		タヌキ	2024/6/2	2頭	浅川・鶴巻橋上流側 約10m	(親1、子1)。定期カウントの出発場所の鶴巻橋の上から左岸側を移動するタヌキを目撃しました。画像の左側には子供が1頭います。タヌキと異なるような印象ですが、疥癬症のために毛が抜け落ちたためようです。古山氏にタヌキと教えて頂きました。	荻島伸介	哺乳類	八王子 5K
		ニホンザル	2024/6/8	4頭+	中央高速沿いの林の中(御霊谷川上流)	中央高速道沿いの道から御霊谷川沿いでサルの小集団に出会いました。親子もいました。桑の実を食べていました。	粕谷和夫・門倉美登利他6月月例探鳥会参加者	哺乳類	八王子 1H
		ハクビシン	2024/4/17	1頭	多摩病院フェンス	23:50。ずっと目の前のフェンスの上を歩いていたそうです。	今野美代子の夫	哺乳類	拝島 6B
		カジカガエル	2024/4/6	声	小仏川・駒木野公園付近	川の方からカジカガエルの声が聞こえました。駒木野公園付近ではコクサギの柑橋系の匂いが漂い、ツバメが飛び交っています。	井川麻利子 井川志織子	両生類	八王子 1G
		カジカガエル	2024/6/8	声	小仏川沿い駒木野公園付近	暑い日でしたが小仏川上櫛田橋から駒木野公園付近までの何か所かで鳴いていた。参加者から【良いですね。癒されます】との声がありました。	粕谷和夫・門倉美登利他6月月例参加者	両生類	八王子 IG
		アオダイショウ	2024/6/8	1匹	神明神社の入口・鳥居の下の草むら	小仏関所北側の神明神社入口の鳥居の下草むらの中から突然大きなアオダイショウがニョロニョロ現れ皆で驚いた。	粕谷和夫・門倉美登利他6月月例探鳥会参加者	爬虫類	八王子 IG

# 2024 年 オオルリ他夏鳥調査結果

まとめ： 粕谷 和夫

八王子市の鳥・オオルリの生息地である丘陵地や山間部の自然環境の動向を見守るため、1992 年以来生息数調査を毎年行っている。また、オオルリの他にツツドリ、ホトトギス、クロツグミ、キビタキ、センダイムシクイ等の夏鳥の数もカウントした。夏鳥のカウントしたのは♂の羽数で、メスはカウント対象外である。

## 1. 調査場所

第 1 表に示す通り八王子市内の丘陵地、山間部の沢筋、谷筋の 19 区域で行った。踏査総延長は、109km である。

## 2. 調査時期

4 月下旬～7 月上旬にそれぞれの区域で 2～4 回行った。

## 3. 調査参加会員数

第 1 表の通り、延べ 83 名の会員が調査を行った。

(第 1 表) オオルリの調査場所別調査責任者、延参加者数 (2024 年)

調査区域	調査延長	調査責任者	延べ参加数
①上川(今熊山北沢、同南沢、金剛の滝)	3	玉木雅治	4
②加住南丘陵(谷地川源流部)	6	中村啓二	4
③川口丘陵(天合峰、釜の沢、滝の沢)	6	大石茂雄	4
④美山(山入川奥、美山小学校奥、お屋敷川)	5	中村后子	4
⑤小津(下恩方辺名、小津川源流部奥)	7	加藤岸男	7
⑥醍醐川上流(醍醐川上流部、ににく沢)	6	佐藤哲郎	3
⑦醍醐川下流(醍醐川下流部、盆堀林道)	4	粕谷和夫	8
⑧和田峠下(くぬぎ沢、和田峠谷)	3	古山隆	2
⑨明王峠下(明王溪谷、クラ骨沢、ビロウ沢)	6	門口一雄	6
⑩力石周辺(力石沢、南土代沢、駒木野沢他)	8.5	山崎悠一	5
⑪板当・滝沢林道	9	渡辺仁	2
⑫元八王子(御主殿の滝奥、八王子城跡奥)	4	柚木育子	2
⑬裏高尾(小下沢林道関場峠迄)	5	中山尊人	4
⑭小仏城山下(日影沢城山頂上迄、行の沢)	7.5	柚木育子	2
⑮高尾山1(6号路、3号路、琵琶滝下山コース)	8	管野桂子	12
⑯高尾山2(小仏川下流、蛇滝コース、4・5・1号路)	5	千葉楨子	6
⑰大垂水峠下(案内川上流から一丁平方面)	3	加藤岸男	2
⑱表高尾(中沢川、入沢川、榎窪川)	10	浜野建男	4
⑲初沢川・東高尾尾根	3	角田幸男	2
計	109		83

#### 4. 結果

結果は第2表の通りであり、オオルリは合計48羽で前年の47羽とほぼ同数、50羽前後で推移した約20年前の低水準であった。オオルリのカウントと同時に実施した夏鳥他全野鳥の調査結果は第3表の通りであり、キビタキは前年を上回った。

（第2表）沢別・年次別のオオルリ羽の出現数（八王子山間部、丘陵地）【2000年以降分】

場所	'00	'01	'02	'03	'04	'05	'06	'07	'08	'09	'10	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21	'22	'23	'24
①上川 （今熊山北沢、同南沢、金剛の滝）	1	2	2	2	2	2	1	2	3	3	1	2	1	2	0	0	3	1	4	3	8	7	3	2	3
②加住南丘陵 （谷地川源流部）	3	1	0	0	1	1	1	2	2	2	1	0	0	0	0	0	1	1	2	0	3	0	0	0	0
③川口丘陵 （天合峰、釜の沢、滝の沢）	0	0	1	0	2	0	1	0	1	0	0	2	0	0	0	0	2	1	1	1	1	0	1	0	0
④美山 （山入川奥、美山小学校奥、お屋敷川）	0	0	0	0	0	1	1	1	1	2	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2
⑤小津 （下恩方辺名、小津川源流部奥）	4	13	11	8	5	8	11	12	11	6	9	8	9	8	13	12	17	10	13	10	14	14	23	0	4
⑥醍醐川上流 （醍醐川上流部、ににく沢）	8	5	8	7	4	4	6	6	4	6	3	5	4	6	2	8	5	4	3	4	4	5	5	3	3
⑦醍醐川下流 （醍醐川下流部、盆堀林道）	2	2	4	3	4	3	3	4	4	5	3	3	4	4	3	4	2	2	3	4	4	3	3	5	3
⑧和田峠下 （くぬぎ沢、和田峠谷）	2	2	2	2	3	4	4	4	5	2	3	1	1	1	3	4	3	3	2	3	5	3	3	2	4
⑨明王峠下 （明王溪谷、クラ骨沢、ピロウ沢）	5	3	3	4	4	6	6	5	7	4	5	3	3	5	7	6	7	4	4	5	4	4	5	4	4
⑩力石周辺 （力石沢、南土代沢、駒木野沢他）	1	6	6	4	6	12	13	9	14	9	8	11	8	6	18	8	8	5	9	5	6	8	11	9	3
⑪板当・滝沢林道	8	4	8	5	5	7	7	7	11	10	8	5	5	7	7	9	5	4	6	3	2	3	4	2	4
⑫元八王子 （御主殿の滝奥、八王子城跡奥）	1	1	1	2	4	5	3	5	5	1	4	1	2	2	4	2	2	2	4	2	1	6	1	1	2
⑬裏高尾 （小下沢林道開場峠迄）	6	2	2	6	3	4	4	3	4	4	3	5	4	4	2	4	5	3	8	8	5	9	8	6	5
⑭小仏城山下 （日影沢城山頂上迄、行の沢）	3	5	3	3	3	5	4	7	5	11	8	6	4	4	5	4	4	2	2	3	2	2	1	1	2
⑮高尾山1 （6号路、3号路、琵琶滝下山コース）	3	3	3	7	7	4	6	7	6	9	8	9	2	9	4	4	9	7	3	6	9	3	7	3	3
⑯高尾山2 （小仏川下流、蛇滝コース、4・5・1号路）	4	6	4	4	5	7	6	5	4	2	8	2	3	4	4	2	4	2	5	3	5	0	5	1	1
⑰大垂水峠下 （案内川上流から一丁平方面）	2	2	1	1	2	2	5	6	16	8	5	2	2	5	3	5	4	5	6	5	7	5	5	3	4
⑱表高尾 （中沢川、入沢川、榎窪川）	3	2	4	5	4	6	7	9	5	5	4	5	3	11	5	3	8	6	6	7	2	5	7	3	1
⑲初沢川・東高尾尾根	1	0	1	1	1	0	1	0	3	2	2	2	1	0	3	3	6	1	2	2	0	0	0	0	0
計	57	59	64	64	65	81	90	94	111	91	84	73	58	79	84	79	96	64	84	75	83	78	93	47	48

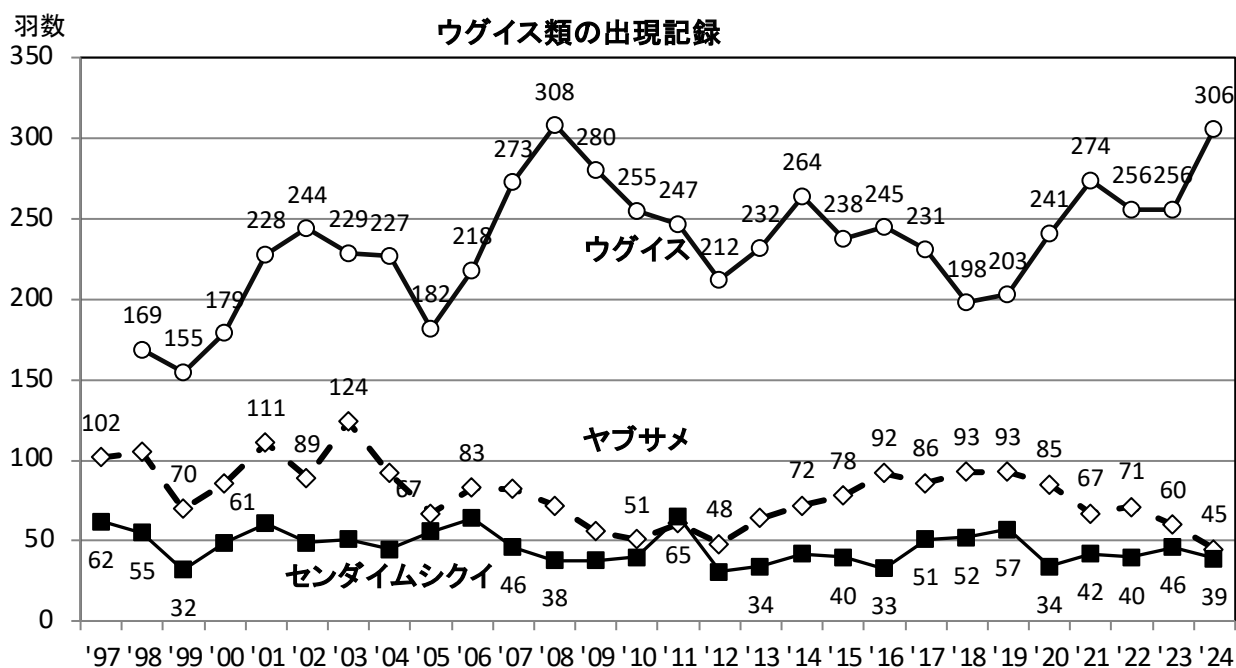
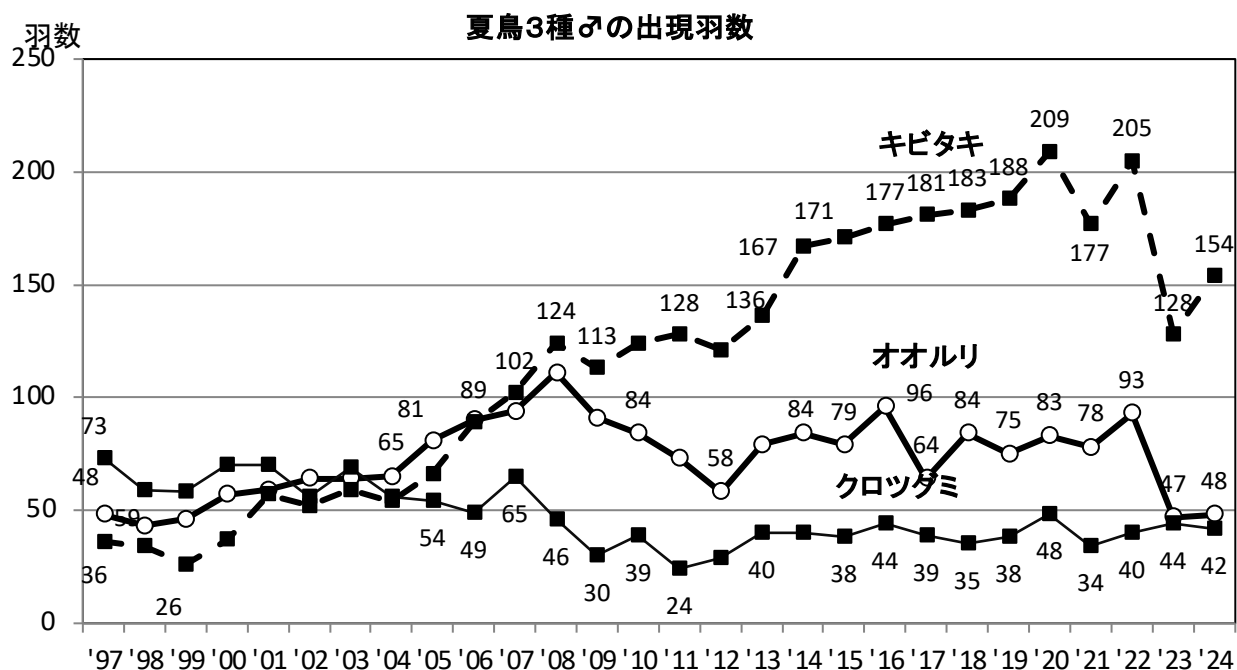


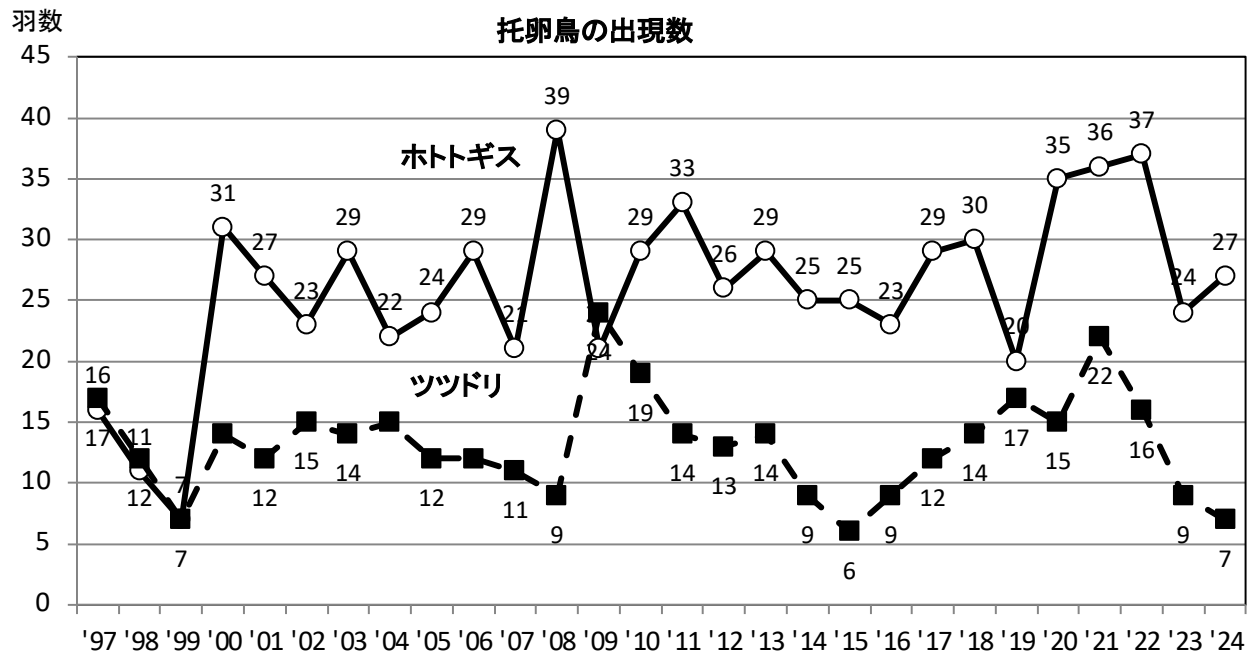
(第3表)2024年オオルリ他夏鳥野鳥調査結果

①～⑯は調査要領の ①～⑯に対応		①上川 (今熊山北沢、同南沢、金剛の滝)	②加住 南丘陵 (谷地川源流部)	③川口 丘陵 (天合峰、釜の沢、滝の沢)	④美山 (美山町バス終点奥探石場)	⑤小津 (小津バス停奥、小津川源流部奥)	⑥醍醐 川上流 (醍醐川上流部、盆堀林道)	⑦醍醐 川下流 (醍醐川下流部、盆堀林道)	⑧和田 峠下 (くぬぎ沢、和田峠谷)	⑨明王 峠下 (明王溪谷、クラ骨沢、ピロウ沢)	⑩力石 周辺 (力石沢、南士代沢、駒木野沢他)	⑪松竹 周辺 (板当・滝の沢林道、八王子城跡北)	⑫元八 王子 (御主殿の滝奥、八王子城跡奥)	⑬裏高 尾 (小下沢林道開場峠迄)	⑭小仏 城山下 (日影沢城山頂上迄、行の沢)	⑮高尾 山1 (6号路、3号路、琵琶滝下山コース)	⑯高尾 山2 (小仏川下流、蛇滝コース、4・5・1号路)	⑰大垂 水峠下 (案内川上流から一丁平方面)	⑱表高 尾 (中沢川、入沢川、榎窪川)	⑲初沢 川・東 高尾尾 根	出現箇 所数	出現個 体数	
出現した鳥の羽数	185	ホトギス	1	1	3	2	1	1		1	2	2			1	1	1	1	6	3	15	27	
	187	ツツドリ					2			1				1	1				2		5	7	
	418	サンコウチョウ	3	1						2	1	2	1		2	2	1	2	4		11	21	
	457	ツバメ		5	6	4	6		3	2		2	3			1	5		2		11	39	
	461	イワツバメ														30				2	2	32	
	464	ウグイス	21	14	8	10	32	10	18	7	21	23	25	8	9	13	18	8	20	30	11	19	306
	465	ヤブサメ	3	1			1	2		2		4	5	2	7	7	3		3	5		13	45
	480	センダイムシクイ	8				3	1	5			6	3	1	1			1	4	6		11	39
	504	ミソサザイ	1				1	3		2	3	2			2				2			8	16
	518	クロツグミ	4	2	1	1	6	2	4	3	2	2	1		1	3	3		3	4		16	42
	554	コサメビタキ		2			1	1							1							4	5
558	キビタキ	14	16	1	4	8	4	8	4	11	6	18	5	3	6	10	7	8	18	3	19	154	
561	オオルリ	3			2	4	3	3	4	4	3	4	2	5	2	3	1	4	1		16	48	
出現した鳥	4	ヤマドリ														●						1	
	5	キジ		●	●																	2	
	32	カルガモ		●	●				●	●						●			●			6	
	74	キジバト	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●			●	●	●	16	
	78	アオバト	●	●			●	●	●	●	●	●	●			●	●		●			11	
	144	アオサギ							●	●	●	●										4	
	203	コチドリ		●																		1	
	340	ハチクマ		●																		1	
	342	トビ	●	●	●							●								●	●	6	
	358	ノスリ					●											●		●		3	
	383	カワセミ		●				●														2	
	390	コゲラ	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	17	
	397	アオゲラ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●		●	●	●	17	
	412	サンショウクイ					●		●	●			●	●			●		●	●		8	
	420	モズ		●																		1	
	427	カケス					●	●	●	●	●	●	●				●	●	●			10	
	435	ハシボソガラス		●	●	●	●				●	●	●	●	●			●			●	10	
	436	ハシトガラス	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	17	
	441	コガラ				●																1	
	442	ヤマガラ	●	●		●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	17	
	443	ヒガラ	●				●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●		14	
	445	シジュウカラ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	19	
	463	ヒヨドリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		18	
	466	エナガ		●	●							●	●		●	●		●		●	●	9	
	476	オオムシクイ		●																		1	
	485	メジロ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	19	
	506	ムクドリ			●																●	2	
	512	カワガラス						●														1	
	514	トラツグミ														●						1	
	569	スズメ		●	●	●	●					●	●				●		●		●	9	
	573	キセキレイ		●		●	●		●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	14	
574	ハクセキレイ		●	●		●					●	●				●	●		●	●	9		
575	セグロセキレイ											●				●				●	3		
587	カワラヒワ	●	●		●	●		●			●	●	●					●			9		
602	イカル		●		●	●	●	●	●		●	●	●			●		●	●		12		
610	ホオジロ		●	●	●	●		●	●	●	●	●	●		●			●	●		12		
624	アオジ										●										1		
901	コジュケイ	●	●	●		●		●		●	●	●	●				●	●	●	●	13		
903	ドバト	●																		●	2		
909	ガビチョウ	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	18		
910	ソウシチョウ															●					1		
出現種類数		24	35	20	21	32	22	28	24	23	33	32	23	18	22	29	22	27	31	22			
サンショウクイ亜種区分																							
①サンショウクイ																○		○					
②リュウキュウス									○			○											
③区分不明						○		○					○						○				
出現種類数		24	35	20	21	32	22	28	24	23	33	32	23	18	22	29	22	27	31	22			

本年は通過を含む夏鳥 16 種（ホトトギス、ツツドリ、コチドリ、ハチクマ、サンコウチョウ、ツバメ、イワツバメ、ウグイス、ヤブサメ、オオムシクイ、センダイムシクイ、ミソサザイ、クロツグミ、コサメビタキ、キビタキ、オオルリ）、留鳥他 38 種（冬鳥、外来種を含む）、計 54 種が出現した。サンショウクイは 8 コースで観察されたが、亜種リュウキュウサンショウクイが含まれているので留鳥とした。亜種別の区分は①サンショウクイが 2 コース、②亜種リュウキュウサンショウクイが 2 コース、③亜種区分不明が 4 コースであった。

本年はハチクマ、ヤマドリ、アオバト、ノスリ、トラツグミ、ソウシチョウ等の注目種が観察された。主な夏鳥等の出現数の経年変化は以下にグラフで示した。





以下は各担当者の特記事項である。

- ① **玉木雅治**：実施日 5/1、6/2・各 2 名。サンコウチョウはこれまで観察したエリアとは別に今熊神社の西域から声が聞こえた。その後、現地へ行って営巢していると確認した。
- ② **中村啓二**：実施日 4/28・2 名、ツマキチョウ、ハンミョウ、ウスバシロチョウ、ニリンソウ、キンラン、ササバギンラン。5/25・2 名。オオムシクイは鳴き声が 3 音節のジジロジジロであることから判断（4 音節のジュリジュリジュリジュリでは無かった）。ハチクマ：[行動]3 羽が林の上空で時々旋回しながらゆっくり上昇、少し高度を上げたあと、西にまっすぐ飛び去った。観察時間は数分間。[識別]大きさは、カラスより大きめ、羽は、たもとが少しある感じ、羽先は写真拡大では 6 本に数えられた。下面の色分け、喉の模様、虹彩は、良く分からなかった。鳴き声は、ピョー と鳴いた。サシバ独特の鳴き声ではなかった。羽ばたきは、少なくゆったり、飛ぶ速度は速くなく、強い羽ばたきや小刻みな羽ばたきはしなかった。 シカ(1)、カジカガエル、サイハイラン。
- ③ **大石茂雄**：実施日 5/11・3 名、6/19、1 名
- ④ **中村后子**：実施日 4/28・2 名、6/2・2 名。カジカガエルの声が聞こえた。
- ⑤ **加藤岸男**：実施日 4/28・1 名、5/19・3 名。6/10・3 名。サンショウクイは最大 3 羽。亜種の区分は不明。
- ⑥ **佐藤哲郎**：実施日 4/30・2 名。5/17・1 名
- ⑦ **粕谷和夫**：実施日 5/5・4 名。オオルリは 3 カ所で確認。（降宿集落、ゴール手前、ゴール付近。ゴール付近では姿も確認）。キビタキは 8 カ所で確認したが全て声だけで、姿は捉えることができなかった。サンショウクイは声だけで、どちらの亜種かは未確認である。アオバトは声だけでゴール手前で確認。キセキレイが電線や民家の屋根で目立った。巣材運びをしているのが 1 羽いた。6/12・4 名。キビタキは 2 回のさえずりの他に 1 カ所で巣立ち間際と見られる幼鳥 2 羽を視認した。サンショウクイは 2 カ所で声を聞いたがどちらの亜種かは不明。カケス 4 羽が桑の実を食べていた。

- ⑧ **古山隆**：実施日 5/14・1 名、くぬぎ沢は重機による作業が行われていて入れず。6/1・1 名、ヤブサメはくぬぎ沢出合で幼鳥（2 羽）も見られた。亜種リュウキュウサンショウクイは鳴き声で確認。
- ⑨ **門口一雄**：実施日 5/4、5/23、6/19・各 2 名。環境の変化；調査コースの主要部（登山道）の陣場山よりの斜面の造林木が成長し、陣場山側やコースの上空が閉鎖状態のため飛翔中の鳥は確認不能です。アオバト、ホトトギス、クロツグミ、ツツドリは、調査コース上部や縦走路付近で鳴いていた。サンコウチョウは、調査地下部の沢沿いで 1、上部縦走路付近の林の中から 1 の鳴き声が聞こえた。オオルリは沢沿いの杉の梢で 1、他は左右の沢沿いの林（森）から鳴き声が聞こえた。
- ⑩ **山崎悠一**：実施日 5/3・3 名、南土代沢の林道が 19 号台風の影響により橋の架け替え工事中で通行不能だった、亜種サンショウクイが北土代沢に 2 羽とカ石沢に 1 羽いた（オオルリ調査で初認である）。6/11・2 名。南土代沢の林道が 19 号台風の影響により橋の架け替え工事継続で通行不能だった、亜種サンショウクイが今回もカ石沢に 1 羽いた。
- ⑪ **渡辺仁**：実施日 5/15・1 名、滝の沢林道→八王子城跡北→板当林道 板当林道は昨年まで崩れて荒れていたが、今年は復旧されていた。オオルリは滝の沢林道と板当林道。板当林道の方が多い。6/30・1 名、板当林道のみ サンコウチョウは 6 月調査のみ。板当林道で確認。なお 2 回の調査の多い方で集計している。サンショウクイは亜種リュウキュウサンショウクイ。
- ⑫ **柚木育子**：実施日 6/6・1 名、サンショウクイの亜種区分は不明。
- ⑬ **中山尊人**：実施日 4/17、5/3・各 2 名、植樹記念碑までは道路は修復されていました。そこから先は、道が細くなった所が数カ所。堂所山への分岐地点はまだ修復されていません。クロツグミが道に舞い降りて落ち葉をひっくり返す様子が観察出来、地鳴きを聞けました。
- ⑭ **柚木育子**：実施日 6/1・1 名
- ⑮ **菅野桂子**：実施日 5/2、6/6・計 8 名。昨年に引き続き夏鳥は少なめ、ミソサザイもカウントできなかった。サンショウクイは亜種サンショウクイ
- ⑯ **千葉楨子**：実施日 5/3・2 名、6/12・4 名。サンコウチョウ♂♀が、ふじ道で飛び交っていた、視認。オオルリは、蛇滝手前付近で視認。
- ⑰ **加藤岸男**：実施日 5/3・1 名、サンショウクイは亜種サンショウクイ。6/5・1 名
- ⑱ **浜野建男**：実施日 5/3・2 名。5/30・2 名、一回目はオオルリが確認できず、2 回目でやっと 1 羽確認できた。確認したサンショウクイは声のみで、亜種の判定はできませんでした。
- ⑲ **角田幸男**：実施日 5/11、6/6・各 1 名。種類、数とも例年より少なかった。

## 2024 年 カルガモ繁殖状況調査結果

まとめ： 粕谷 和夫

浅川の本支流はカルガモの繁殖地であり、親子連れ数を 1988 年以来毎年カウントしている。調査は昨年迄と同様、浅川の本支流、谷地川、大栗川、程久保川を含め、会員が分担して 5 月から 7 月の間に 2 ～3 回の現地観察によって行った。

結果は下図表の通りで、浅川水系では親子連れの組数は減少傾向が続いて本年は 7 組で調査開始以来最低であった。この他に担当者以外が観察した結果は鳥信に収録されている。これによれば以下の 6 か所で観察されているので、実際の本年の親子組数は 7 組よりは多く 13 組と推定される。①浅川・長沼橋右岸下流で(親鳥 1 幼鳥 13)。②浅川・平山橋から 100m 位上流、右岸側の流れ、親 1、幼鳥 3 羽。③浅川・一番橋上流約 120m 左岸岸辺に近い流れ(右岸側から観察)、親 1、雛 11 羽。④南浅川・五月橋下流、親鳥 1 子ガモ 4 (かなり成長していた)。⑤城山川・五反田橋上流側約 100m、雛 5 羽(親未確認)。⑥谷地川・新鶴見橋付近 親子(羽数：親 2 羽・ヒナ 2 羽)。

なお、本年は親子ではなく「子のみ」の観察があったので、第 1 表にこれを加えた。

担当者からの特記事項の抜粋は以下のとおりであり、番号は第 1 表に対応している。

- ①青木静子：一回目、二回目ともに親子 0
- ②中村后子：5 月 3 日無し。6 月 7 日成鳥 4。7 月 5 日無し、夏草が生い茂りほとんど観察出来ません。
- ③荻島伸介：今年も雑草の成長により、側道・堤防から水面が殆ど見えない箇所が多かった。7/7 分 ①親 1 子 1 ②成鳥 2 ③子のみ 3 羽
- ④木澤隆雄：5/10、6/14 (4 ペア+6 個体 計 14 羽)
- ⑤佐藤哲郎：調査日 6 月 4 日、7 月 3 日 7/3：カルガモ親子 9 羽(成鳥 2、子 7) 浅川・湯殿川合流付近、子は親の 2/3 くらいまで大きくなっていた。
- ⑥山崎悠一：記載なし
- ⑦玉木雅治：オスメス・ペアは 7 組、子連れはなし
- ⑨小林一任：調査日(5/19、7/2) 子連れはみられず。単独成鳥のみ(5/19 は 2 羽、7/2 は 10 羽)
- ⑩一場香理：1 回目 5/26 (日) 8 時～10 時、曇り 2 回目 6/30 (日) 7 時 35 分～9 時 30 分、曇り、二日前のまとまった降雨で川の水量多 2 回とも一場香理 1 名による調査
- ⑪荻島伸介、門倉美登利：荻島伸介記：1 名で 6 月 2 日(日)に実施、3 名で 7 月 7 日(日)に実施、門倉美登利記：観察日 5/23(木)3 羽・6/11(火)7 羽・6/27(木)2 羽の 3 回実施しました。親子連れ無し親鳥は 6/11 の 7 羽が一番多かった。例年親子連れが見られるむつみ橋や古道橋等にもいませんでした。
- ⑫中山尊人：5/18,6/8,7/9、3 回実施しました。5 月、6 月はカルガモ各 5 羽でした。7 月に数が増えましたが、少なかった印象です。
- ⑬浜野建男：一回目、二回目ともに親子 0
- ⑭粕谷和夫：一回目、二回目ともに親子 0、2 回目は単独親が 15 と多かったが子連れはいなかった。
- ⑮門口一雄：親子連れ 3 組(1-7, 1-5, 1-2) 単独 2 羽 合計 19 羽
- ⑯武藤邦子：1 回目：5 月 20 日。2 回目：6 月 22 日、葦原に大きな蛇が(5m 以上の青大将?)潜んでいた。蛇の大きさですが、6m あるかもと言ったくらいです。最初は体が 3m 位出ている大きいね、と見ていたらどんどんと尻尾まで全身が現れ、太さは直径 10 cm 以上ありました。ほんとに 2 人共びっくりして見えなくなるまで立ち尽くして鳥肌が立ちました。程久保川にあんな大きな蛇がいるとは。



⑰浅野恵美子：調査日 5/25、6/16。つがい 2 組、単独成鳥 5、計 9 羽で子はいませんでした。川の中は草が生い茂って見えにくかった。

⑱木澤隆雄：5/10、6/14 観察

⑲中村美弥子：観察は 5/26（日） 6/8（土） 6/15（土）の 3 回、羽数が一番多かった 6/15 の羽数を結果として報告いたします

⑳工藤正子：調査日（5/14,7/6）、成鳥とほぼ同じくらいの大きさの幼鳥が 1 羽単独でいた。

㉑登坂久雄：調査日（5/22,7/4）、5/22:親子連れなし。帰路、番場橋で羽化直後のハグロトンボ確認。

(第1表) 2024年カルガモ繁殖期カウント結果 (単位: 組、羽)									
		担当者 (代表者)	親子連れ			子 の み	単独 成鳥 数	カルガモ 数総計	備考
			組 数	親 数	子 数				
北 浅 川	①大沢橋～陵北大橋	青木静子	0				4	4	
	②陵北大橋～松枝橋	中村后子	0				4	4	
	計		0				8	8	
浅 川 本 流	③松枝橋～鶴巻橋	荻島伸介	1	1	1	3	2	7	
	④鶴巻橋～大和田橋	木澤隆雄	0				14	14	
	⑤大和田橋～長沼橋	佐藤哲郎	1	2	7		5	14	
	⑥長沼橋～一番橋	山崎悠一	1	1	8		5	14	
	⑦一番橋～ふれあい橋	玉木雅治	0				17	17	
	⑦ふれあい橋～多摩川合流	門口一雄	1	1	7		1	9	
	計		4	5	23	3	44	75	
川 口 川	⑧川口橋～明治橋	対中義雄	0				8	8	
	⑨明治橋～浅川合流	小林一任	0				10	10	
	計		0				18	18	
南 浅 川	⑩案内橋～敷島橋	一場香理	0				5	5	
	⑪敷島橋～浅川合流	門倉美登利	0				7	7	
	計		0				12	12	
⑫城山川(月夜峰新橋～浅川合流)		中山尊人	0				15	15	
⑬山田川(山田橋～浅川合流)		浜野建男	0				8	8	
湯 殿 川	⑭白旗橋～時田大橋	粕谷和夫	0				15	15	
	⑮時田橋～浅川合流	門口一雄	3	3	14		2	19	
	計		3	3	14		17	34	
浅川水系の計			7	8	37	3	122	170	
⑯程久保川(小宮橋～浅川合流)		武藤邦子	0				8	8	
⑰谷地川(月見橋～新左入橋)		浅野恵美子	0				9	9	
⑱谷地川(新左入橋～田島橋)		木澤隆雄	0				4	4	
⑲谷地川(田島橋～多摩川合流)		中村美弥子	2	3	5		6	14	
⑳大栗川(鑓水～大竹橋)		工藤正子	0			1	24	25	
㉑大栗川(大竹橋～横倉橋)		登坂久雄	4	4	12		21	37	
総計			13	15	54	4	194	267	

(第2表) 浅川水系におけるカルガモの繁殖状況年変化

年	親子連れ				子のみ	単独成鳥	総計
	組数	親数	子数	平均子数			
1988	52	52	276	5.3		402	730
1989	45	49	228	5.1		379	656
1990	84	88	451	5.4		594	1133
1991	57	61	318	5.6		537	916
1992	54	58	272	5.0		452	782
1993	48	49	254	5.3		633	936
1994	48	49	275	5.7		623	947
1995	28	28	146	5.2		522	696
1996	36	38	194	5.4		613	854
1997	41	49	202	4.9		520	771
1998	33	36	171	5.2		434	641
1999	30	31	140	4.7		404	575
2000	23	25	113	4.9		415	553
2001	35	38	199	5.7		413	650
2002	24	25	122	5.1		339	484
2003	23	26	116	5.0		393	535
2004	25	29	159	6.4		429	617
2005	26	30	151	5.8		342	523
2006	19	22	109	5.7		349	480
2007	27	28	166	6.1		360	554
2008	23	27	105	4.6		239	371
2009	21	24	102	4.9		279	405
2010	25	29	125	5.0		258	410
2011	22	22	100	4.5		300	422
2012	19	22	99	5.2		259	380
2013	24	26	143	6		297	466
2014	10	12	61	6.1		253	326
2015	19	17	112	5.9		201	329
2016	17	18	103	6.1		211	332
2017	20	20	120	6.0		214	354
2018	18	21	108	6.0		190	319
2019	13	14	66	5.1		172	252
2020	13	13	64	4.9		173	250
2021	14	15	75	5.4		138	228
2022	16	16	103	6.4		171	290
2023	13	15	71	5.5		196	282
<b>2024</b>	<b>7</b>	<b>8</b>	<b>37</b>	<b>5.3</b>	<b>4</b>	<b>194</b>	<b>243</b>



＜浅川長沼橋右岸下流にて  
中州の草叢からカルガモが流  
れに出てきたので観察してい  
ると幼鳥が次から次と計 13 羽現  
れました。

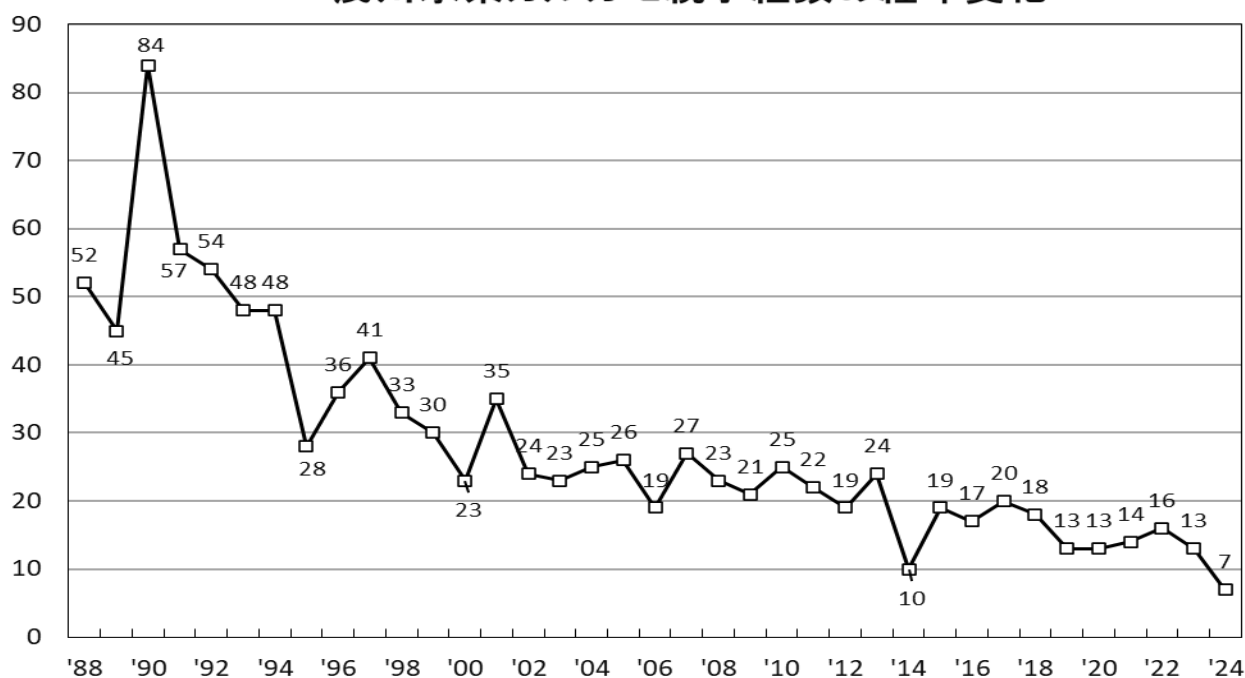
(能田正行撮影)＞

(第3表)水系別のカルガモの親子連れ組数年次変化

年次	北浅川	浅川本流	川口川	南浅川	城山川	山田川	湯殿川	浅川水系計	程久保川	谷地川	大栗川	合計
1988	2	30	13	2	0	1	4	52				
1989	0	18	7	6	9	1	4	45				
1990	2	36	15	11	9	1	10	84				
1991	2	22	10	5	5	1	12	57				
1992	3	24	5	4	6	1	11	54				
1993	4	19	5	5	7	1	7	48				
1994	5	18	9	6	4	1	5	48				
1995	4	10	1	4	3	0	6	28				
1996	5	9	5	8	3	0	6	36				
1997	2	13	3	6	10	0	7	41				
1998	0	14	2	3	8	1	5	33	7	6	5	51
1999	2	4	9	3	7	2	3	30	5	8	2	45
2000	2	9	4	3	4	1	0	23	4	3	3	33
2001	5	9	11	3	4	1	2	35	2	5	4	46
2002	4	3	3	4	4	0	6	24	1	3	6	34
2003	2	5	6	2	3	0	5	23	1	3	3	30
2004	2	6	5	2	2	4	4	25	2	6	2	35
2005	2	5	10	4	0	0	5	26	1	2	3	32
2006	1	5	5	2	1	0	5	19	0	1	1	21
2007	1	8	5	2	1	1	9	27	1	3	1	32
2008	0	7	8	2	0	1	5	23	5	3	2	33
2009	1	7	7	1	1	2	2	21	2	5	3	31
2010	3	9	6	2	1	1	3	25	0	3	3	31
2011	0	9	3	3	1	0	6	22	3	1	1	27
2012	1	5	4	1	2	3	3	19	1	2	2	24
2013	1	7	3	1	3	2	7	24	0	4	5	33
2014	1	4	0	1	1	1	2	10	0	1	2	13
2015	3	4	5	0	1	1	5	19	1	2	1	23
2016	2	5	3	2	0	1	4	17	3	3	6	29
2017	0	8	3	2	0	0	7	20	0	5	7	32
2018	1	4	3	3	0	0	7	18	2	4	2	26
2019	0	4	1	1	1	2	4	13	0	2	3	18
2020	0	1	4	2	1	2	3	13	0	3	3	19
2021	0	3	3	1	1	3	3	14	1	2	1	18
2022	2	5	3	1	1	2	2	16	0	1	2	19
2023	2	6	1	0	1	0	3	13	0	1	7	21
2024	0	4	0	0	0	0	3	7	0	2	4	13

組

浅川水系カルガモ親子組数の経年変化



## 八王子・日野カワセミ会の主な調査範囲



### 編集後記

宮崎県で大きな地震があり、巨大地震注意の呼びかけが行われた。冷蔵庫の転倒防止を行おうと、ホームセンターに行ったら、どこも売り切れになっていた。地震予知はまだまた難しく、野鳥などの野生動物の力を借りて、大地震を事前察知する研究も行われていると聞く。ここ数十年の間に大地震の発生する確率はかなり高いと言われている。これを契機にして、災害への備えを見直し、災害時の備蓄品の整備、身の回りの安全対策、いざという時の避難経路の確認などを行っておきたいと思う。

浜野 建男

### かわせみ

2024年9月発行 第73号

発行 八王子・日野カワセミ会

発行人 粕谷 和夫

題字 河村 洋子

表紙画像 シジウカラ

表紙デザイン 青柳 圭 TEL: 042-397-3006

印刷 株式会社プリントパック

編集人（連絡先） 浜野 建男

八王子市北野台5-14-10

hamano@mx.mesh.ne.jp